

北海道内の福祉輸送の実態把握に関する調査

報告書

平成 22 年 3 月
北海道移送・移動サービス連絡会

目 次

．はじめに	1
1．福祉輸送制度の概要	1
（１）福祉輸送制度開始の背景と経緯	1
（２）制度上の課題	3
2．調査の目的	3
3．業務の概要	4
（１）調査の対象とする福祉輸送の範囲	4
（２）調査の種類	5
．北海道における福祉有償運送の実態	6
1．データの種類	6
2．データの統合と留意事項	7
3．北海道における福祉輸送の実施状況	8
（１）福祉有償運送の実施状況	8
（２）過疎地有償運送の実施状況	15
（３）市町村運営有償運送の実態	18
（４）一般乗用旅客自動車運送事業許可事業者による福祉輸送の実施状況	24
（５）特定旅客自動車運送事業許可事業者による福祉輸送の実施状況	29
（６）福祉有償運送、一般・特定旅客自動車運送（福祉タクシー）実施地域と空白地域 ..	33
．北海道の支庁別にみる福祉輸送の実態	34
1．石狩支庁	35
（１）地域概要	35
（２）福祉輸送の実施状況	36
（３）福祉有償運送の各種人数あたりの車両台数	38
（４）まとめ	38
＜以下、同じ＞	
2．渡島支庁	39
3．檜山支庁	44
4．後志支庁	48
5．空知支庁	54
6．上川支庁	60
7．留萌支庁	66
8．宗谷支庁	70
9．網走支庁	74
10．胆振支庁	79
11．日高支庁	84
12．十勝支庁	88
13．釧路支庁	94
14．根室支庁	98

. アンケート調査結果	102
1 . 利用者アンケート	102
(1) 調査概要	102
(2) 調査結果	102
2 . 事業者アンケート	111
(1) 調査概要	111
(2) 調査結果	111
3 . 運営協議会アンケート	120
(1) 調査概要	120
(2) 調査結果	120
. 総括	123

はじめに

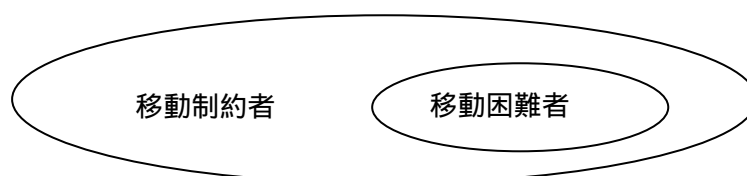
1．福祉輸送制度の概要

外出をしたいと思ったときに、そのために必要な交通手段が用意されているということは、日常生活をおくる上で最も重要な要素の一つである。しかしながら、高齢者、障がい者などは外出する際に何らかの困難を伴い、「移動制約者」と定義される。このことは、移動そのものが制約されていることを表すと同時に、外出したい場所へいつでもでかけられるという「自由」も制約されている状況を示している。そして、「移動制約者」の一部でさらに移動が困難で、車いす使用者など物理的な問題で福祉車両を使用しなければ外出できない人を「移動困難者」と定義される（下表参照）。

移動制約者と移動困難者の定義

移動制約者	高齢者、障がい者、 妊産婦、子連れの人、荷物を持った人
移動困難者	歩行が殆どできない人 100-200m 程度まで歩行できる人 交通車両内で長く立ってられない人 バランスを崩しやすい人、その他公共交通を自力で 利用できない人 福祉車両による移送サービスの提供が必要。

移動困難者と移動制約者



（出典）「タクシー・ST サービスの交通政策・交通システム」（第 27 回土木計画学研究・講演集 2003、秋山哲男）より作成。

地方では、過疎化の影響などにより公共交通機関網が不十分なケースも多く、家族単位の縮小、生活圏域拡大等の事情など社会環境の変化も影響して、「移動制約者」が移動権を確保・維持していくことは、より厳しい環境になってきている。また、北海道は市町の単位が広域であるため、従来の福祉輸送サービスは、福祉車両が必要な「移動困難者」に焦点を当てたものが多かったが、今後は「移動制約者」全体にとっても重要な問題である。そのため、「移動困難者」に対して物理的理由から「福祉車両」を使用して送迎を行うという従来の考えに加えて、いわゆる「セダン車両」を使用して乗降介助を行うことで外出を支援するサービスがこれまで以上に求められてきていると言える。

（１）福祉輸送制度開始の背景と経緯

福祉輸送制度が開始された背景としては、社会的な障壁から乗車拒否が日常的に行われていたため、移動手段が既存の交通事業者のサービスに頼れない状況が続いた。そのため、自発的に自助サービスとして自家用車等により個別に開始され、公共交通の不足を補い移動権の確保

を目標として行われてきた。

1970年代中頃から、ボランティア団体など非営利の市民活動団体による個別移送サービスが開始され、移動制約者のニーズに対応してきた。こうした移送サービスでは、自家用車を用いて料金を収受する（ガソリン代などの実費分）ことから、道路運送法に抵触する可能性が示唆されたものの、利用者のニーズが大きく、事実上黙認されてきた。

一方、平成12年に介護保険制度が施行され、訪問介護事業の一環としてホームヘルパーによる移送介護が認められるようになった。移送介護を実施するためには、道路運送法による許可を得ることが必要だったが、多くの訪問介護事業所が許可を得ずに行ったことから、「白タク行為」として問題となり、特にタクシー業界から取締まり強化の要望があげられるまでになった。

こうした背景を受け、平成15年4月より構造改革特区において、自家用車の有償運送を認める特例措置が講じられ、1年間にわたり制度が検証された。平成16年3月には国土交通省より「福祉有償運送及び過疎地有償運送に係る道路運送法第80条第1項による許可の取扱について（ガイドライン）」が示され、一定の条件を満たして許可を得ることにより、福祉有償運送のサービス実施が認められることとなり、サービスが全国に拡大した。

さらに、平成16年10月には道路運送法が改正され、福祉有償運送は法第80条に規定する「自家用有償運送」の一類型として、正式に位置づけられることとなった。その後、平成18年には道路運送法が一部改正され、福祉有償運送については、同法第80条による許可制から同第79条による登録制へと変更された。

2006年10月道路運送法改正による福祉有償運送部分改正内容

改正前	(使用等の届出) (第78条) 事業用自動車以外の自動車（以下「自家用自動車」）であつて貨物の輸送の用に供するものを使用しようとする者は、国土交通省令で定める事項を国土交通大臣に届け出なければならない。 (略) (共同使用の許可) (第79条) 自家用自動車を共同で使用しようとする者は、国土交通大臣の許可を受けなければならない。 2 国土交通大臣は、自家用自動車の共同使用の態様が自動車運送事業の経営に類似していると認める場合を除くほか、前項の許可をしなければならない。 (有償運送の禁止及び賃貸の制限) (第80条) 自家用自動車は、国土交通大臣の許可を受けなければ、業として有償で貸し渡してはならない。ただし、その借受人が当該自家用自動車の使用者である場合は、この限りでない。 2 国土交通大臣は、自家用自動車の貸渡しの態様が自動車運送事業の経営に類似していると認める場合を除くほか、前項の許可をしなければならない
改正後	(有償運送) (第78条) 自家用自動車は、次に掲げる場合を除き、有償で運送の用に供してはならない。 1 災害のため緊急を要するとき 2 市町村、特定非営利活動促進法第2条第2項に規定する特定非営利活動法人その他国土交通省令で定める者が、次条の規定により一の市町村の区域内の住民の運送その他の国土交通省令で定める旅客の運送を行うとき。 3 公共の福祉を確保するためやむを得ない場合において、国土交通大臣の許可を受けて地域又は期間を限定して運送の用に供するとき。 (登録) (第79条) 自家用自動車有償旅客運送を行おうとする者は、国土交通大臣の行う登録を受けなければならない。 (略) (有償貸渡し) (第80条) 自家用自動車は、国土交通大臣の許可を受けなければ、業として有償で貸し渡してはならない。ただし、その借受人が当該自家用自動車の使用者である場合は、この限りでない。 2 国土交通大臣は、自家用自動車の貸渡しの態様が自動車運送事業の経営に類似していると認める場合を除くほか、前項の許可をしなければならない。 (略)

なお、北海道の移送サービスの背景として、平成 14 年の D P I 世界会議で各国から 3,000 名の障がい者が札幌会議へ参加する際に、空港から会場への交通アクセスの不足が懸念されていたが、ボランティアを中心とした移送サービスによって会議の開催を無事に行い、参加各国から世界一の送迎体制だと評価されたことは、札幌市で福祉輸送に関し、以前から先進的な取り組みが行われていたことを示す好例と言える。また、同時期に札幌で、国土交通省の実証実験として N P O とタクシーの共同配車の実証実験が行われ、移送サービスとタクシーの両サービスの必要性和協力関係が可能であることが客観的に証明されたことが、その後の法改正に強い影響を与えたことも特筆すべきであろう。

これら 2 つの事例は、福祉車両が不足しているためにニーズを補完することが困難であること、セダン車使用によって送迎確保が可能となる対象者がいること、そしてセダン車の利用を認めても民業圧迫には繋がらないということを全国的に示したのであった。

(2) 制度上の課題

福祉輸送の中でも、例えば福祉有償運送制度についてみると、事業者が登録制となっている一方で、それら事業者が全国津々浦々で活動しているという訳ではない。そうした事業者が全てのエリアに行き渡らない主な理由としては、自治体が設置する運営協議会における協議を経て既存のタクシー事業者等の了解を得ないと営業を開始できないことや、運送の対価はタクシーの 2 分の 1 程度なければならないこと、運行管理体制を整備しなければならないこと、運転手が普通二種免許または普通一種免許（この場合認定講習等が必要）が必要であることなどを挙げることができる。そのため、広域な行政単位を有する北海道においても、福祉有償運送事業者が存在しないエリアも存在する。

また、法改正に対する周知が不足し、違反行為に関する認識が不足していることにある。これは、法の対象となる事業者に対してだけでなく、行政側にも認識が不足している部分もあり、法制度上の位置づけが曖昧なままで運営がされている可能性もある。2006 年の法改正は、移動権を社会的な課題として位置づける絶好の機会であるにもかかわらず、周知が徹底しないために問題が矮小化され、交通弱者に対する移動権確保に関する社会的認知を得られていないことも大きな課題である。

そして、福祉有償運送以外にも、「交通空白輸送」「市町村福祉輸送」「過疎地有償運送輸送」などが存在し、移動制約者に対しての交通手段確保の手段が想定されている一方、網羅的にはそれら交通手段のサービス提供状況の数字は整理されていない。つまり、北海道において、どのようなサービス輸送が、どのような種類の車輛によって、どの程度、どの地域に運行しているのか、などについて総合的に確認できる資料は現時点では存在していない。

2 . 調査の目的

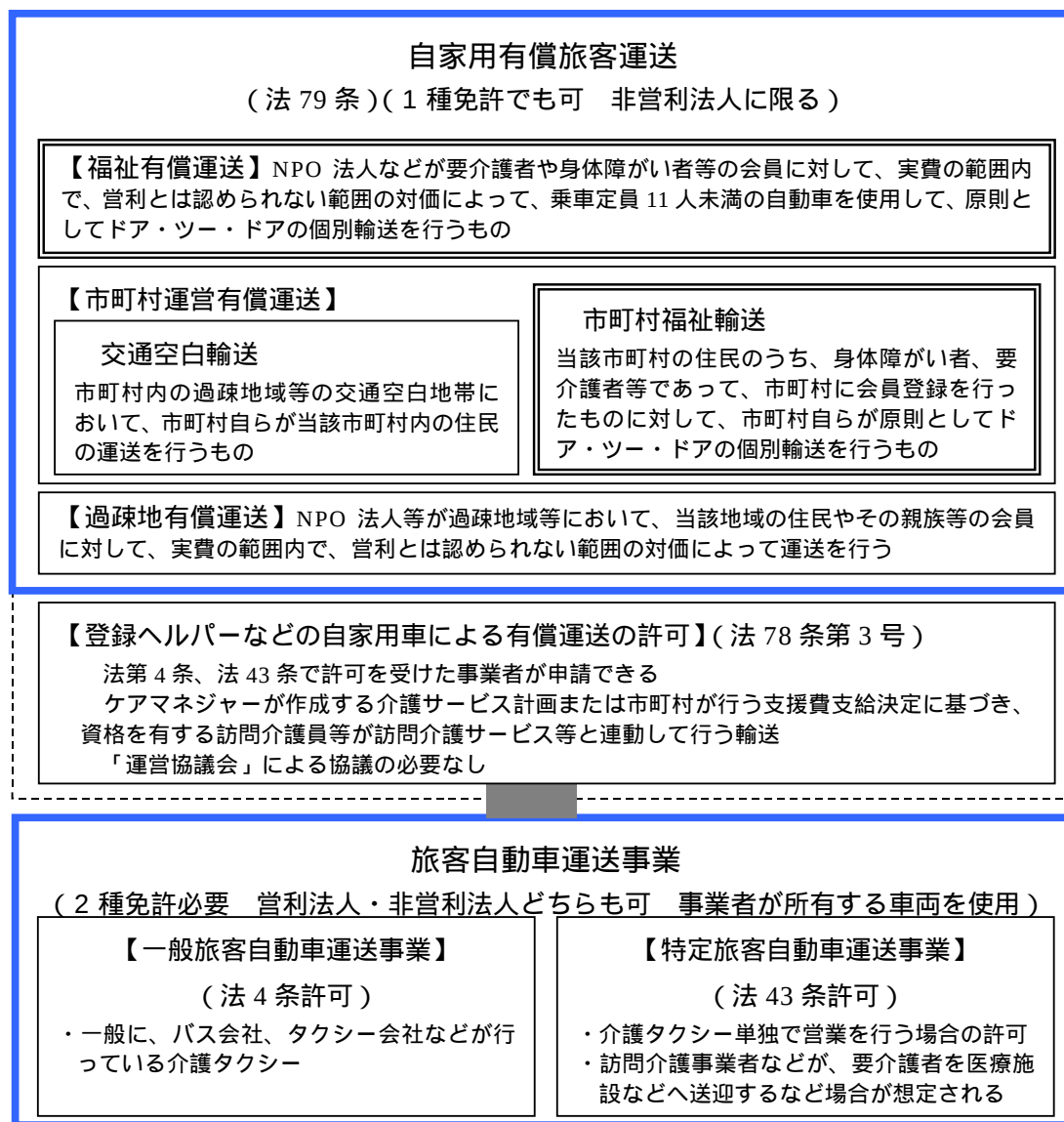
以上のことを踏まえ、本調査では、北海道内の福祉輸送の実態・運送範囲等について詳細に把握する。このことにより、北海道内において福祉輸送が整備されていない「移動空白地帯」を明らかにし、その対応・改善策などについて検討するための基礎資料とする。また、有償運送に関する地域の課題を洗い出し、利用者がより安心してサービスを利用するために必要な事項について整理する。

3. 業務の概要

(1) 調査の対象とする福祉輸送の範囲

道路運送法第 79 条で自家用有償旅客運送として登録を受けた自家用有償旅客運送事業のうち、「福祉有償運送」「市町村営有償運送」「過疎地有償運送」、また同法第 4 条・第 43 条で許可を受けた旅客自動車運送が申請する「登録ヘルパーなどの自家用車による有償運送」を対象とする。

調査の対象とする福祉輸送の範囲（青で囲った部分）



(2) 調査の種類

北海道における福祉輸送の実態(、 章)

北海道運輸局および道内 7 運輸支局(札幌、函館、旭川、室蘭、釧路、帯広、北見)等の保有するデータを踏まえて、登録事業者数、車両数、運送区域などについて登録の種別に整理する。なお、整理の方法としては、まずは北海道全体の概要をつかみ(章) それを踏まえた上で各支庁における地域特性を踏まえながら特徴を整理する。

福祉輸送に係るに対する調査(章)

道内の福祉輸送に関わっている事業者、その利用者、そして原則市町村ごとに設置されている運営協議会の内容について、各種アンケート調査を実施し、様々な視点から北海道の福祉輸送の現状や課題について整理する。

調査で収集した情報の整理(資料編)

各関係機関から入手した資料や人口等地域特性に関するデータについては可能な限り市町村別に数値を整理し、今後の新たな分析に活用できるように配慮した。

北海道における福祉有償運送の実態

1. データの種類

北海道運輸局の「自家用有償旅客運送者登録簿」(記載内容:登録番号、登録年月日、更新登録年月日、事業者名、事業者住所、代表者名、運送種別、事務所の名称および位置、路線又は運送の区域、運送する旅客の範囲、登録車両の種類および台数(事業所別))をはじめとした各種データを基にして整理・分析した。

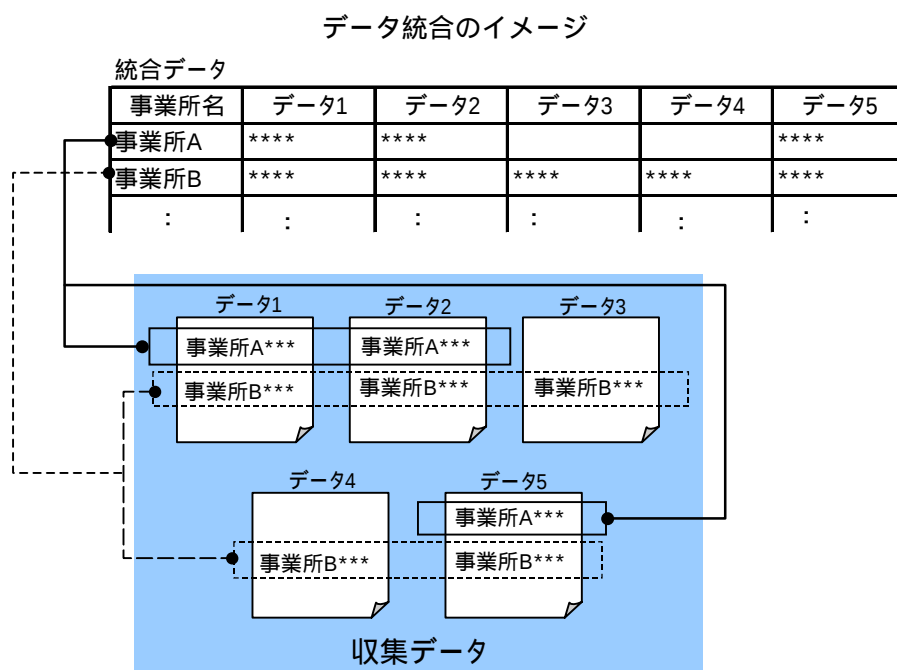
自家用有償旅客運送者登録簿

登録番号		北札第1号	
登録年月日	登録年月日	平成18年4月17日	
更新登録年月日	更新登録年月日	平成20年5月29日	
登録期限	～平成20年6月30日	～平成23年6月30日	
名称	[REDACTED]		
代表者の氏名	[REDACTED]		
住所	[REDACTED]		
運送の種別	市町村運営有償運送 過疎地有償運送 福祉有償運送		
事務所の名称及び位置	名称	位置	名称 位置
路線又は運送の区域			区域 札幌市
運送する旅客の範囲			・身体障害者福祉法第4条に規定する身体障害者 ・肢体不自由、内臓障害、知的障害、精神障害その他の障害を有する者
備考	[REDACTED]		

運送の種別	事業所	自家用有償旅客運送自動車の数						
		軽自動車 (軽自動車)	軽いすゞ車 (軽自動車)	軽用車 (軽自動車)	軽自動車 (軽自動車)	セダン等 (軽自動車)	バス (軽自動車)	合計
福祉有償運送	(所有)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)
	(持込)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)
	(合計)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (1)

2. データの統合と留意事項

収集した各データについて、「団体等名称」等が同一で、さらに「住所」が一致するものを同一団体とみなして「名寄せ」し、各データの項目を横並びに統合した。その際、事業者の法人形態の表記は、(株)→株式会社、(有)→有限会社、NPO 法人→特定非営利活動法人のように統一した。



なお、名寄せをするにあたって、同一の事業所と思われるものであっても違う表記であるものがあったり、運送区域の記載がないものがあったりした。そのため、次のようなことに留意してデータの統合を行った。

- ・データを整理した時点が不明なものもあり、厳密には時点を統一できなかったため、データ整理の時点は、便宜的に主要なデータ時点であった平成 20 年 10 月を時点とする。
- ・データによって、事業者の法人形態が異なる場合（株式会社と有限会社、株式会社と合資会社など）は、株式会社の表記を優先した。
- ・「運送区域」については、事業所所在地の市町村とした。
- ・「自家用有償旅客運送者登録簿」において「路線または運送の区域」が複数地域にまたがる場合は、原則、所在地域にある地域とは別に運送区域がわかるように集計整理した。

3．北海道における福祉輸送の実施状況

(1) 福祉有償運送の実施状況

福祉有償運送の実施状況

道路運送法第 79 条で登録を受けた福祉有償運送を実施している市町村は、全 180 市町村のうち 103 市町村であった。103 市町村のうち、黒松内町を除く 102 市町村で運営協議会が設置されている。

全 180 市町村のうち、運営協議会（福祉）が設置されているのは 110 市町村・109 協議会であり（室蘭・登別市は合同設置）あった。運営協議会が設置されているが、福祉有償運送を実施していない市町村は 8 市町（小樽市、江別市、ニセコ町、栗山町、津別町、新冠町、芽室町、釧路町）であった。なお、これら 8 市町のうち、小樽市、江別市、ニセコ町、津別町の 4 市町においては、当該市町には事業所はないものの、近隣市町の事業所が複数地域での運行を申請している。

福祉有償運送と運営協議会の実施状況

（平成 21 年 10 月時点）

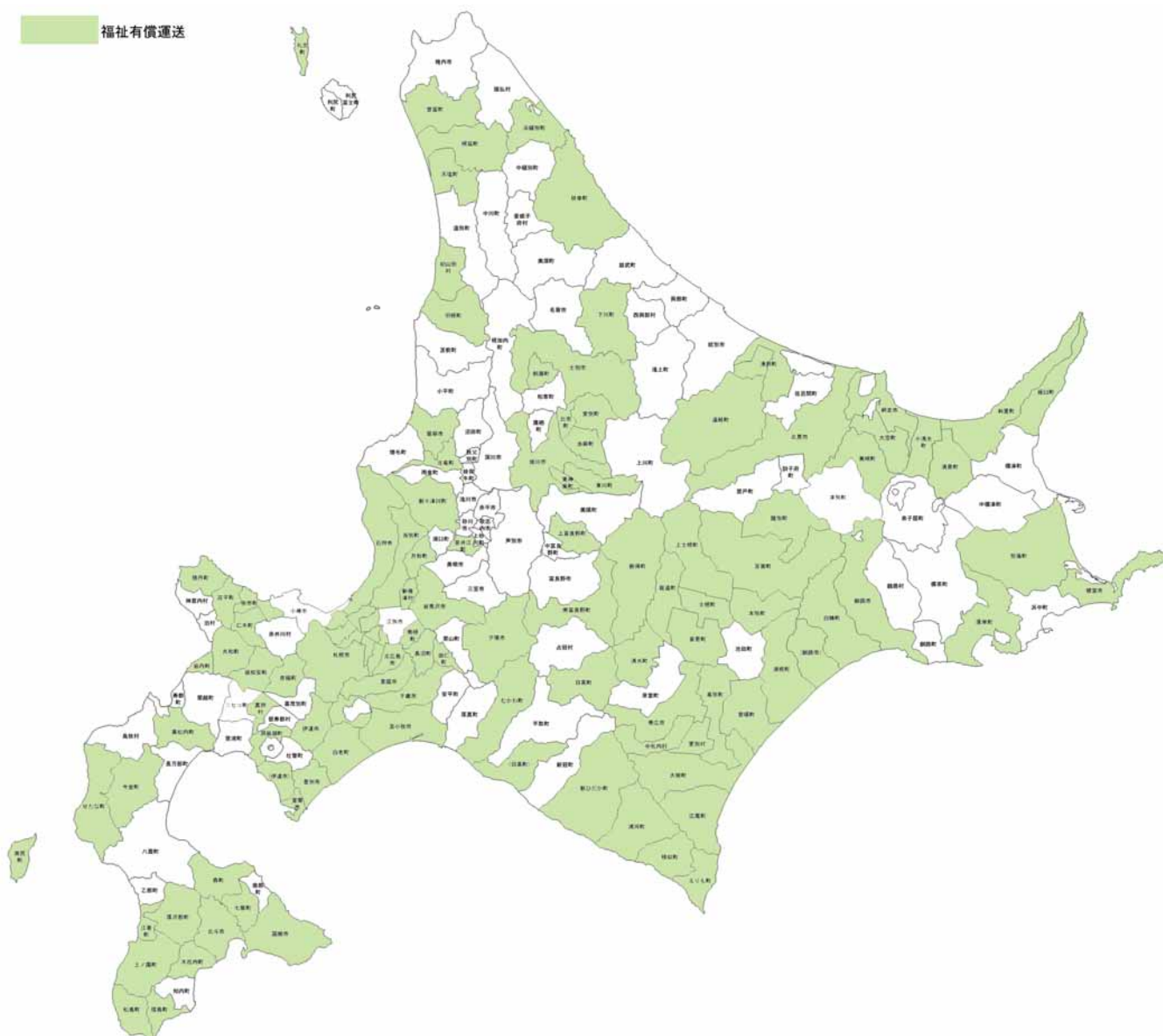
支庁	福祉有償運送 実施		福祉有償運送 未実施	
	運営協議会あり	運営協議会なし	運営協議会あり	運営協議会なし
石狩	札幌市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村		江別市	
渡島	函館市、北斗市、松前町、福島町、木古内町、七飯町、森町			八雲町、長万部町、知内町、鹿部町
檜山	江差町、上ノ国町、厚沢部町、奥尻町、今金町、せたな町			乙部町
後志	真狩村、蘭越町、京極町、俱知安町、共和町、岩内町、積丹町、古平町、仁木町、余市町	黒松内町	小樽市 ニセコ町	島牧村、寿都町、留寿都村、喜茂別村、泊村、神恵内村、赤井川村
空知	夕張市、岩見沢市、南幌町、奈井江町、由仁町、長沼町、月形町、新十津川町、北竜町、		栗山町	美唄市、芦別市、赤平市、三笠市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、上砂川町、浦臼町、妹背牛町、秩父別町、雨竜町、沼田町、幌加内町
上川	旭川市、士別市、東神楽町、当麻町、比布町、愛別町、東川町、上富良野町、南富良野町、剣淵町、下川町、			名寄市、富良野市、鷹栖町、上川町、美瑛町、中富良野町、占冠村、和寒町、美深町、音威子府村、中川町
留萌	留萌市、羽幌町、初山別村、天塩町、幌延町			増毛町、小平町、苫前町、遠別町、
宗谷	浜頓別町、枝幸町、豊富町、礼文町、			稚内市、猿払村、中頓別町、利尻町、利尻富士町
網走	北見市、網走市、美幌町、斜		津別町	紋別市、訓子府町、置戸町、

	里町、清里町、小清水町、遠軽町、上湧別町、大空町			佐呂間町、湧別町、滝上町、興部町、西興部町、雄武町
胆振	室蘭市、苫小牧市、登別市、伊達市、白老町、洞爺湖町、むかわ町			豊浦町、壮瞥町、厚真町、安平町
日高	日高町、浦河町、様似町、えりも町、新ひだか町		新冠町	平取町、
十勝	帯広市、音更町、士幌町、上士幌町、鹿追町、新得町、清水町、中札内村、更別村、大樹町、広尾町、幕別町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町		芽室町	池田町、
釧路	釧路市、厚岸町、白糠町		釧路町	浜中町、標茶町、弟子屈町、鶴居村
根室	根室市、別海町、羅臼町			中標津町、標津町

福祉有償運送実施事業者立地状況

福祉有償運送を実施している各事業所の所在地を整理し、各市町村の事業所があれば福祉有償運送事業を「実施している」と判断し、整理したのが下図である。福祉有償運送を実施している事業所が立地していない地域としては、道北エリア、オホーツクエリア、道東エリアが目立つ。都市部では概ね立地しているが、それでも稚内市、江別市、小樽市など人口が比較的多い地域についても、事業所が存在していない。ただし、小樽市、江別市などは前述したとおり、近隣市町村の事業者のサービスが提供されているという実態はある。

福祉有償運送実施事業者立地状況



福祉有償運送の実施団体・法人数

福祉有償運送の実施団体・法人数については、当該運送事業を実施している 103 市町村全体で 251 団体・法人あった。そのうち、最も団体・法人数が多かったのは札幌市（59 団体・法人）であり、次いで苫小牧市（8 団体・法人）、帯広市、北見市、北広島市（6 団体・法人）となっている。

福祉有償運送の実施団体・法人数が多かった市町村について、上位 8 位までを下表に示す。

福祉有償運送実施団体・法人数（市町村別上位 12 件）

順位	市町村	事業所 件数
	全道	251
1	札幌市	59
2	苫小牧市	8
3	帯広市	6
3	北見市	6
3	北広島市	6
6	別海町	5
6	石狩市	5
8	網走市	4
8	当別町	4
8	白老町	4
8	千歳市	4
8	大空町	4

福祉有償運送の車両台数

福祉有償運送の車両台数については、当該運送事業を実施している 103 市町村全体で 1,309 台あった。そのうち、最も団体・法人数が多かったのは札幌市（233 台）であり、次いで白老町（58 台）、釧路市（57 台）となっている。

福祉有償運送の車両台数が多かった市町村について、上位 18 位までを下表に示す。

福祉有償運送車両台数（市町村別上位 21 件）

順位	市町村名	団体数等	車両台数								車両台数計 (うち軽自動車)
			寝台車	車いす車	兼用車	回転シート車	セダン車	バス			
			(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)			
	全道	251	0	312 (130)	63 (1)	194 (88)	748 (288)	0 (0)	1,309 (499)		
1	札幌市	59	0	83 (30)	5	46 (13)	99 (31)	0	233 (74)		
2	白老町	4	0	13 (1)	0	1	44 (17)	0	58 (18)		
3	釧路市	2	0	7	0	0	50 (21)	0	57 (21)		
4	北広島市	6	0	14 (3)	0	3	34 (6)	0	51 (9)		
5	北見市	6	0	5 (3)	2	7 (6)	23 (8)	0	37 (17)		
6	帯広市	6	0	8 (2)	0	3 (3)	25 (9)	0	36 (14)		
7	室蘭市	3	0	3 (1)	0	6 (3)	24 (5)	0	33 (9)		
8	白糠町	1	0	4 (4)	1	1	26 (9)	0	32 (13)		
9	苫小牧市	8	0	11 (5)	0	8 (6)	12 (3)	0	31 (14)		
10	羅臼町	2	0	3 (1)	1	6 (1)	20 (8)	0	30 (10)		
11	当麻町	3	0	8 (5)	0	1 (1)	20 (5)	0	29 (11)		
12	石狩市	5	0	2 (1)	2	0	24 (14)	0	28 (15)		
12	別海町	5	0	3 (1)	0	2 (1)	23 (8)	0	28 (10)		
14	遠軽町	1	0	9 (5)	0	2 (2)	16 (12)	0	27 (19)		
15	音更町	3	0	3	0	0	19 (12)	0	22 (12)		
15	網走市	4	0	3 (1)	0	3 (1)	16 (6)	0	22 (8)		
17	士別市	2	0	3 (2)	2	1 (1)	15 (14)	0	21 (17)		
18	森町	2	0	1 (1)	2	2	14 (10)	0	19 (11)		
18	厚沢部町	1	0	2 (1)	0	0	17 (10)	0	19 (11)		
18	旭川市	3	0	3 (2)	0	10 (1)	6 (1)	0	19 (4)		
18	古平町	2	0	3 (1)	0	3 (3)	13	0	19 (4)		

人口に対する車両台数

人口 10 万人あたりに対する車両台数をみると、1 位が羅臼町、2 位が古平町、3 位が南富良野町と市を除く、町村地域が高い順位となっている。順位が低い地域は、市が多い。ちなみに、札幌市は、94 位となっている（資料編参照）。

人口 10 万人あたりに対する車両台数（市町村別上位 20 件）

福祉有償運送 実施市町村(103市町村)														
順位	市町村名	人口 (H21.3末住 民基本台 帳)	団体数 等	車両台数										人口10万 人あたり に対する 車両台数
				寝台車 (うち軽自動車)	車いす車 (うち軽自動車)	兼用車 (うち軽自動車)	回転シート車 (うち軽自動車)	セダン車 (うち軽自動車)	バス (うち軽自動車)	車両台数計 (うち軽自動車)				
	全道	5,543,556	251	0	312 (130)	63 (1)	194 (88)	748 (288)	0 (0)	1,309 (499)	23.61			
1	羅臼町	6,130	2	0	3 (1)	1	6 (1)	20 (8)	0	30 (10)	489.4			
2	古平町	3,896	2	0	3 (1)	0	3 (3)	13	0	19 (4)	487.7			
3	南富良野町	2,876	2	0	2	1	2 (1)	9 (1)	0	14 (2)	486.8			
4	厚沢部町	4,680	1	0	2 (1)	0	0	17 (10)	0	19 (11)	406.0			
5	当麻町	7,396	3	0	8 (5)	0	1 (1)	20 (5)	0	29 (11)	392.1			
6	白糠町	9,934	1	0	4 (4)	1	1	26 (9)	0	32 (13)	322.1			
7	月形町	3,933	3	0	3 (1)	2	2 (1)	5 (2)	0	12 (4)	305.1			
8	上湧別町	5,552	2	0	1	1	0	14 (9)	0	16 (9)	288.2			
9	白老町	20,148	4	0	13 (1)	0	1	44 (17)	0	58 (18)	287.9			
10	初山別村	1,459	1	0	1	0	1	2 (1)	0	4 (1)	274.2			
11	剣淵町	3,741	2	0	2 (2)	0	0	8 (1)	0	10 (3)	267.3			
12	幌延町	2,652	2	0	1	2	1 (1)	3 (3)	0	7 (4)	264.0			
13	真狩村	2,283	1	0	1	2	0	3 (3)	0	6 (3)	262.8			
14	礼文町	3,111	1	0	2 (1)	0	2 (2)	4	0	8 (3)	257.2			
15	陸別町	2,790	2	0	1	4	2	0	0	7 (0)	250.9			
16	黒松内町	3,219	1	0	1 (1)	0	2 (2)	5 (3)	0	8 (6)	248.5			
17	別海町	16,207	5	0	3 (1)	0	2 (1)	23 (8)	0	28 (10)	172.8			
18	下川町	3,788	1	0	2 (2)	0	2 (2)	2	0	6 (4)	158.4			
19	豊富町	4,578	1	0	2 (1)	1	1	3 (3)	0	7 (4)	152.9			
20	本別町	8,564	2	0	4 (2)	1	5 (5)	3	0	13 (7)	151.8			

福祉有償運送の車両台数と各種人口比率について

福祉有償運送の車両台数と高齢者人口等との比率を整理したのが下表である。これをみると、羅臼町、南富良野町、古平町、厚沢部町などの左記 と同じく市を除く、町村地域が高い順位となっている。

各種人口と車両台数との比率（市町村別上位 10 件）

65歳以上高齢者						前期高齢者						後期高齢者					
順位	市町村	65歳以上人口	高齢化比率	車両台数	65歳以上1,000人あたりの車両台数	順位	市町村	前期高齢者(65～74歳)人口	前期高齢者比率	車両台数	前期高齢者人口1,000人あたりの車両台数	順位	市町村	後期高齢者(75歳以上)人口	後期高齢者比率	車両台数	後期高齢者人口1,000人あたりの車両台数
1	羅臼町	1,383	22.6%	30	21.69	1	羅臼町	770	12.6%	30	38.96	1	羅臼町	613	10.0%	30	48.94
2	南富良野町	878	30.5%	14	15.95	2	南富良野町	374	13.0%	14	37.43	2	南富良野町	504	17.5%	14	27.78
3	古平町	1,433	36.8%	19	13.26	3	古平町	701	18.0%	19	27.10	3	古平町	732	18.8%	19	25.96
4	厚沢部町	1,575	33.7%	19	12.06	4	厚沢部町	725	15.5%	19	26.21	4	厚沢部町	850	18.2%	19	22.35
5	当麻町	2,514	34.0%	29	11.54	5	当麻町	1,165	15.8%	29	24.89	5	白糠町	1,433	14.4%	32	22.33
6	幌延町	640	24.1%	7	10.94	6	幌延町	310	11.7%	7	22.58	6	当麻町	1,349	18.2%	29	21.50
7	白糠町	2,979	30.0%	32	10.74	7	月形町	562	14.3%	12	21.35	7	幌延町	330	12.4%	7	21.21
8	月形町	1,297	33.0%	12	9.25	8	真狩村	282	12.4%	6	21.28	8	白老町	2,947	14.6%	58	19.68
9	白老町	6,382	31.7%	58	9.09	9	白糠町	1,546	15.6%	32	20.70	9	上湧別町	967	17.4%	16	16.55
10	真狩村	671	29.4%	6	8.94	10	剣淵町	539	14.4%	10	18.55	10	月形町	735	18.7%	12	16.33

介護保険認定者						身体障害者手帳取得者					
順位	市町村	介護保険認定者数(第1号被保険者)	介護保険認定率	車両台数	介護認定者1,000人あたりの車両台数	順位	市町村	身体障害者手帳交付数	手帳交付率	車両台数	身体障害者1,000人あたりの車両台数
1	羅臼町	171	12.4%	30	175.44	1	羅臼町	333	5.4%	30	90.09
2	南富良野町	149	17.0%	14	93.96	2	南富良野町	241	8.4%	14	58.09
3	白糠町	431	14.5%	32	74.25	3	厚沢部町	379	8.1%	19	50.13
4	厚沢部町	286	18.2%	19	66.43	4	月形町	243	6.2%	12	49.38
5	幌延町	106	16.6%	7	66.04	5	白糠町	692	7.0%	32	46.24
6	当麻町	445	17.7%	29	65.17	6	当麻町	654	8.8%	29	44.34
7	上湧別町	248	13.3%	16	64.52	7	古平町	437	11.2%	19	43.48
8	白老町	996	15.6%	58	58.23	8	幌延町	167	6.3%	7	41.92
9	月形町	218	16.8%	12	55.05	9	初山別村	96	6.6%	4	41.67
10	別海町	511	15.3%	28	54.79	10	上湧別町	386	7.0%	16	41.45

全道

運送の種別	実施市町村数	車両台数	65歳以上人口1,000人あたりの車両台数	前期高齢者人口1,000人あたりの車両台数	後期高齢者人口1,000人あたりの車両台数	介護保険認定者1,000人あたりの車両台数	身体障害者手帳取得者1,000人あたりの車両台数
福祉有償運送	103	1,309	1.00	1.89	2.10	5.87	4.51
過疎地有償運送	9	58	0.04	0.08	0.09	0.26	0.20
交通空白輸送	51	201	0.15	0.29	0.32	0.90	0.69
市町村福祉輸送	29	92	0.07	0.13	0.15	0.41	0.32
一般乗用旅客自動車運送事業	64	1,448	1.10	2.09	2.32	6.49	4.98
特定旅客自動車運送事業	13	230	0.17	0.33	0.37	1.03	0.79

人口（高齢者）については住民基本台帳（平成 21 年 3 月末、介護認定者は「介護保険事業状況報告」（厚生労働省、平成 21 年度 9 月時点）身体障害者人口は身体障害者手帳（療育手帳は除く）とし、各市町村の障害者福祉計画を参考にして算出（平成 19 年 3 月末時点）。P 33 に詳述。

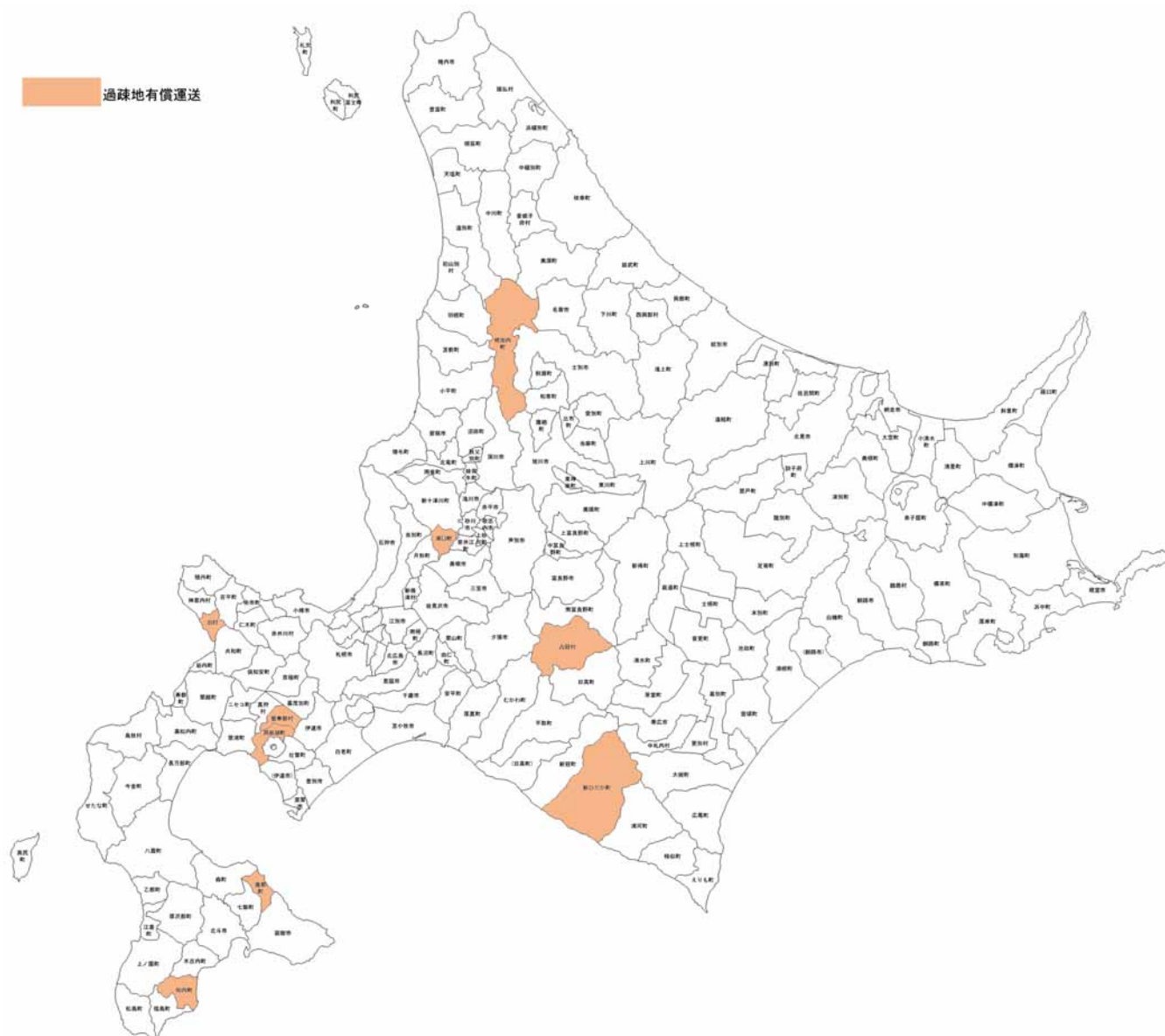
(2) 過疎地有償運送の実施状況

過疎地有償運送の実施状況

道路運送法第79条で登録を受けた過疎地有償運送を実施している市町村は、全180市町村のうち9市町村（知内町、鹿部町、留寿都村、泊村、浦臼町、幌加内町、占冠村、洞爺湖町、新ひだか町）あり、運営協議会（過疎）を設置している9市町村と一致している。

過疎地有償運送を実施している市町村については、下図に示すとおりである。

過疎地有償運送実施状況



過疎地有償運送の実施団体・法人数

過疎地有償運送の実施団体・法人数については、当該運送事業を実施している 9 町村全体で 10 団体・法人あった。

9 町村のうち、洞爺湖町に 2 団体・法人あり、その他の町村は各 1 団体・法人であった。

過疎地有償運送実施団体・法人数（市町村別上位 10 件）

過疎地有償運送 実施市町村(9市町村)		
順位	市町村	団体等 件数
	全道	10
1	洞爺湖町	2
2	新ひだか町	1
2	知内町	1
2	鹿部町	1
2	留寿都村	1
2	泊村	1
2	浦臼町	1
2	幌加内町	1
2	占冠村	1
10	-	-

過疎地有償運送の車両台数

過疎地有償運送の車両台数については、当該運送事業を実施している 9 町村・10 団体・法人全体で 58 台あった。そのうち、もっとも台数が多かったのは知内町（20 台）、次いで洞爺湖町（12 台）、鹿部町（5 台）となっている。

9 町村のうち、洞爺湖町に 2 団体・法人あり、その他の町村は各 1 団体・法人であった。

過疎地有償運送車両台数（市町村別上位 10 件）

過疎地有償運送 実施市町村(9市町村)									
順位	市町村名	団体数 等	車両台数						車両台数計 (うち軽自動車)
			寝台車 (うち軽自動車)	車いす車 (うち軽自動車)	兼用車 (うち軽自動車)	回転シート車 (うち軽自動車)	セダン車 (うち軽自動車)	バス (うち軽自動車)	
	全道	10	0	11	2	4 (2)	41 (18)	0	58 (20)
1	知内町	1	0	1	0	1 (1)	18 (11)	0	20 (12)
2	洞爺湖町	2	0	3	0	0	9 (1)	0	12 (1)
3	鹿部町	1	0	1	1	0	3	0	5 (0)
4	留寿都村	1	0	1	0	0	3 (2)	0	4 (2)
4	泊村	1	0	2	0	0	2 (2)	0	4 (2)
4	浦臼町	1	0	1	0	1 (1)	2 (1)	0	4 (2)
4	占冠村	1	0	1	1	1	1	0	4 (0)
8	幌加内町	1	0	1	0	1	1	0	3 (0)
9	新ひだか町	1	0	0	0	0	2 (1)	0	2 (1)

過疎地有償運送の車両台数と各種人口比率について

過疎地有償運送の車両台数と高齢者人口等との比率を整理したのが下表である。9つの実施市町村しかないため、9位までの掲載となっている。占冠村、知内町などの比率が高い。

各種人口と車両台数との比率（市町村別上位10件）

65歳以上高齢者						前期高齢者						後期高齢者					
順位	市町村	65歳以上人口	高齢化比率	車両台数	65歳以上1,000人あたりの車両台数	順位	市町村	前期高齢者(65～74歳)人口	前期高齢者比率	車両台数	前期高齢者人口1,000人あたりの車両台数	順位	市町村	後期高齢者(75歳以上)人口	後期高齢者比率	車両台数	後期高齢者人口1,000人あたりの車両台数
1	占冠村	301	23.9%	4	13.29	1	占冠村	147	11.7%	4	27.21	1	占冠村	154	12.2%	4	25.97
2	知内町	1,525	28.8%	20	13.11	2	知内町	753	14.2%	20	26.56	2	知内町	772	14.6%	20	25.91
3	留寿都村	529	26.1%	4	7.56	3	留寿都村	225	11.1%	4	17.78	3	留寿都村	304	15.0%	4	13.16
4	泊村	680	34.3%	4	5.88	4	泊村	281	14.2%	4	14.23	4	鹿部町	484	10.4%	5	10.33
5	浦臼町	832	35.4%	4	4.81	5	浦臼町	357	15.2%	4	11.20	5	泊村	399	20.1%	4	10.03
6	幌加内町	651	36.4%	3	4.61	6	幌加内町	309	17.3%	3	9.71	6	幌加内町	342	19.1%	3	8.77
7	鹿部町	1,231	26.3%	5	4.06	7	洞爺湖町	1,652	15.7%	12	7.26	7	浦臼町	475	20.2%	4	8.42
8	洞爺湖町	3,322	31.6%	12	3.61	8	鹿部町	747	16.0%	5	6.69	8	洞爺湖町	1,670	15.9%	12	7.19
9	新ひだか町	6,852	26.2%	2	0.29	9	新ひだか町	3,553	13.6%	2	0.56	9	新ひだか町	3,299	12.6%	2	0.61

介護保険認定者						身体障害者手帳取得者					
順位	市町村	介護保険 認定者数 (第1号被 保険者)	介護保 険認定 率	車両 台数	介護認定者 1,000人あた りの車両台 数	順位	市町村	身体障害 者手帳交 付数	手帳交 付率	車両 台数	身体障害者 1,000人あた りの車両台 数
1	占冠村	43	14.3%	4	93.02	1	知内町	335	6.3%	20	59.70
2	知内町	286	18.8%	20	69.93	2	占冠村	76	6.0%	4	52.63
3	鹿部町	158	12.8%	5	31.65	3	留寿都村	166	8.2%	4	24.10
4	幌加内町	109	16.7%	3	27.52	4	浦臼町	169	7.2%	4	23.67
5	洞爺湖町	575	17.3%	12	20.87	5	幌加内町	159	8.9%	3	18.87
浦臼町(空知中部広域連合)				連合計	資料:[参 考]広域連 合分参照	6	鹿部町	272	5.8%	5	18.38
泊村(後志広域連合)				4		7	泊村	242	12.2%	4	16.53
留寿都村(後志広域連合)				不明		8	洞爺湖町	877	8.3%	12	13.68
新ひだか町(日高中部広域連合)				2		9	新ひだか町	1,783	6.8%	2	1.12
				4							

全道

運送の種別	実施市町村数	車両台数	65歳以上人口1,000人あたりの車両台数	前期高齢者人口1,000人あたりの車両台数	後期高齢者人口1,000人あたりの車両台数	介護保険認定者1,000人あたりの車両台数	身体障害者手帳取得者1,000人あたりの車両台数
福祉有償運送	103	1,309	1.00	1.89	2.10	5.87	4.51
過疎地有償運送	9	58	0.04	0.08	0.09	0.26	0.20
交通空白輸送	51	201	0.15	0.29	0.32	0.90	0.69
市町村福祉輸送	29	92	0.07	0.13	0.15	0.41	0.32
一般乗用旅客自動車運送事業	64	1,448	1.10	2.09	2.32	6.49	4.98
特定旅客自動車運送事業	13	230	0.17	0.33	0.37	1.03	0.79

また、過疎地有償運送を実施している地域では、タクシー事業所がない地域が多い。

タクシー事業所がない市町村

タクシー事業所がない市町村（H20.12現在）	過疎地有償運送実施地域
泊村	○
留寿都村	○
浦臼町	○
知内町	○
鹿部町	○
幌加内町	○
初山別村	
猿払村	
西興部村	

(3) 市町村運営有償運送の実態

市町村運営有償運送の実態

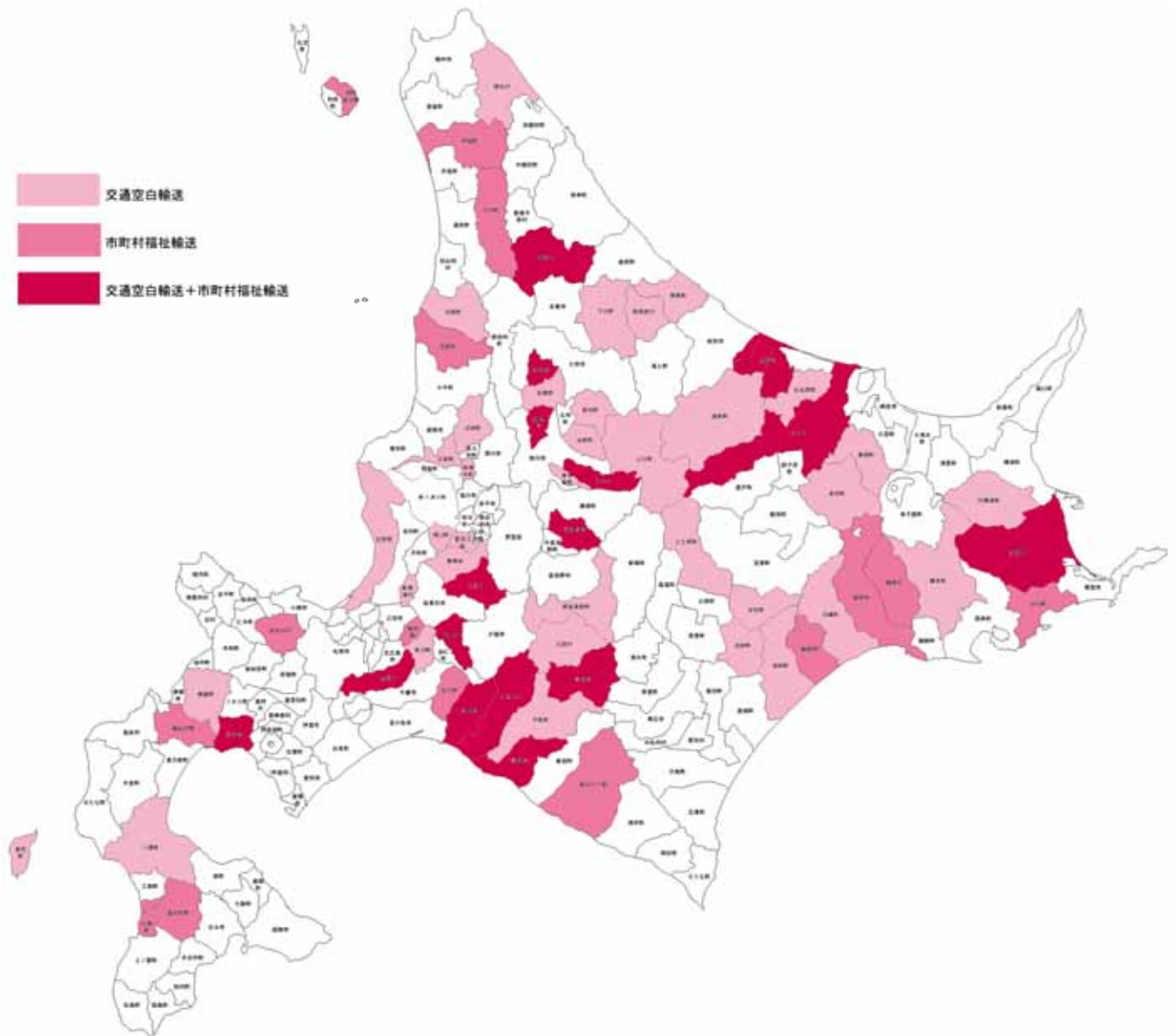
道路運送法第 79 条で登録を受けた市町村運営有償運送を実施しているのは、全体で 66 市町村あり、そのうち「交通空白輸送」を実施しているのは 37 市町村、「市町村福祉輸送」を実施しているのは 14 市町村、そのいずれも実施しているのが 15 市町村であった。

市町村運営有償運送を実施している市町村については、下表、次ページ図に示すとおりである。

市町村運営有償運送実施市町村

	交通空白輸送	市町村福祉輸送	いずれも実施
石狩	石狩市、新篠津村		恵庭市
渡島	八雲町		
檜山	奥尻町	江差町、厚沢部町	
後志	蘭越町	黒松内町、赤井川村	
空知	美唄市、奈井江町、長沼町、浦臼町、妹背牛町、北竜町、沼田町	南幌町	三笠市、栗山町
上川	東神楽町、当麻町、愛別町、上川町、南富良野町、占冠村、和寒町、下川町	中川町	鷹栖町、東川町、上富良野町、剣淵町、美深町
留萌	羽幌町	苫前町、幌延町	
宗谷	猿払村	利尻富士町	
網走	美幌町、津別町、佐呂間町、遠軽町、上湧別町、興部町、西興部村		北見市、湧別町
胆振		安平町	豊浦町、厚真町、むかわ町
日高	平取町	新ひだか町	日高町
十勝	上士幌町、池田町、本別町、浦幌町		
釧路	標茶町、白糠町	釧路市、浜中町、鶴居村	
根室	中標津町		別海町

市町村運営有償運送実施状況



交通空白地輸送の車両台数

交通空白地輸送の車両台数については、当該事業を実施している 51 市町村全体で 201 台であった。最も車両台数が多かったのは美唄市（15 台）、次いで本別町（10 台）、津別町、標茶町（各 9 台）となっている。

交通空白地輸送の車両台数（市町村別上位 11 件）

交通空白輸送 実施市町村（51市町村）								
順位	市町村名	車両台数						
		寝台車 (うち軽自動車)	車いす車 (うち軽自動車)	兼用車 (うち軽自動車)	回転シート車 (うち軽自動車)	セダン車 (うち軽自動車)	バス (うち軽自動車)	車両台数計 (うち軽自動車)
	全道	0	0	0	0	9	192 (7)	201 (7)
1	美唄市	0	0	0	0	0	15	15 (0)
2	本別町	0	0	0	0	0	10	10 (0)
3	津別町	0	0	0	0	2	7	9 (0)
3	標茶町	0	0	0	0	1	8	9 (0)
5	湧別町	0	0	0	0	0	8	8 (0)
6	占冠村	0	0	0	0	0	7	7 (0)
6	長沼町	0	0	0	0	0	7	7 (0)
6	奥尻町	0	0	0	0	0	7 (7)	7 (7)
6	むかわ町	0	0	0	0	0	7	7 (0)
6	栗山町	0	0	0	0	0	7	7 (0)
6	池田町	0	0	0	0	0	7	7 (0)

交通空白地輸送の車両台数と各種人口比率について

交通空白地輸送の車両台数と高齢者人口等との比率を整理したのが次ページ表である。台数では美咲市が多くの台数を保有していたが、比率でみると、占冠村が大きな比率を示している。

各種人口と車両台数との比率（市町村別上位 10 件）

65歳以上高齢者						前期高齢者					後期高齢者						
順位	市町村	65歳以上人口	高齢化比率	車両台数	65歳以上の人口あたりの車両台数	順位	市町村	前期高齢者(65～74歳)人口	前期高齢者比率	車両台数	前期高齢者人口1,000人あたりの車両台数	順位	市町村	後期高齢者(75歳以上)人口	後期高齢者比率	車両台数	後期高齢者人口1,000人あたりの車両台数
1	占冠村	301	23.9%	7	23.26	1	占冠村	147	11.7%	7	47.62	1	占冠村	154	12.2%	7	45.45
2	奥尻町	1,045	31.3%	7	6.70	2	奥尻町	504	15.1%	7	13.89	2	奥尻町	541	16.2%	7	12.94
3	湧別町	1,430	29.5%	8	5.59	3	湧別町	624	12.9%	8	12.82	3	湧別町	806	16.6%	8	9.93
4	浦臼町	832	35.4%	4	4.81	4	浦臼町	357	15.2%	4	11.20	4	浦臼町	475	20.2%	4	8.42
5	津別町	2,166	36.4%	9	4.16	5	津別町	1,014	17.1%	9	8.88	5	津別町	1,152	19.4%	9	7.81
6	沼田町	1,298	34.3%	5	3.85	6	沼田町	584	15.4%	5	8.56	6	標茶町	1,232	14.5%	9	7.31
7	標茶町	2,396	28.2%	9	3.76	7	南富良野町	374	13.0%	3	8.02	7	本別町	1,417	16.5%	10	7.06
8	本別町	2,759	32.2%	10	3.62	8	標茶町	1,164	13.7%	9	7.73	8	沼田町	714	18.9%	5	7.00
9	南富良野町	878	30.5%	3	3.42	9	猿払村	266	9.3%	2	7.52	9	南富良野町	504	17.5%	3	5.95
10	和寒町	1,541	37.9%	5	3.24	10	本別町	1,342	15.7%	10	7.45	10	和寒町	847	20.8%	5	5.90

介護保険認定者						身体障害者手帳取得者					
順位	市町村	介護保険 認定者数 (第1号被 保険者)	介護保 険認定 率	車両 台数	介護認定者 1,000人あた りの車両台 数	順位	市町村	身体障害 者手帳交 付数	手帳交 付率	車両 台数	身体障害者 1,000人あた りの車両台 数
1	占冠村	43	14.3%	7	162.79	1	占冠村	76	6.0%	7	92.11
2	奥尻町	142	13.6%	7	49.30	2	奥尻町	219	6.6%	7	31.96
3	湧別町	219	15.3%	8	36.53	3	湧別町	307	6.3%	8	26.06
4	津別町	292	13.5%	9	30.82	4	浦臼町	169	7.2%	4	23.67
5	沼田町	170	13.1%	5	29.41	5	津別町	438	7.4%	9	20.55
6	本別町	442	16.0%	10	22.62	6	本別町	554	6.5%	10	18.05
7	北竜町	94	11.1%	2	21.28	7	沼田町	289	7.6%	5	17.30
8	南富良野町	149	17.0%	3	20.13	8	池田町	480	6.0%	7	14.58
9	標茶町	453	18.9%	9	19.87	9	和寒町	358	8.8%	5	13.97
10	和寒町	263	17.1%	5	19.01	10	標茶町	647	7.6%	9	13.91

全道

運送の種別	実施市町村数	車両台数	65歳以上人口1,000人あたりの車両台数	前期高齢者人口1,000人あたりの車両台数	後期高齢者人口1,000人あたりの車両台数	介護保険認定者1,000人あたりの車両台数	身体障害者手帳取得者1,000人あたりの車両台数
福祉有償運送	103	1,309	1.00	1.89	2.10	5.87	4.51
過疎地有償運送	9	58	0.04	0.08	0.09	0.26	0.20
交通空白輸送	51	201	0.15	0.29	0.32	0.90	0.69
市町村福祉輸送	29	92	0.07	0.13	0.15	0.41	0.32
一般乗用旅客自動車運送事業	64	1,448	1.10	2.09	2.32	6.49	4.98
特定旅客自動車運送事業	13	230	0.17	0.33	0.37	1.03	0.79

市町村福祉輸送の車両台数

市町村福祉輸送の車両台数については、当該事業を実施している 29 市町村全体で 92 台であった。最も車両台数が多かったのは厚沢部町（18 台）、次いで浜中町（11 台）、豊浦町、新ひだか町、苫前町（各 7 台）となっている。

市町村福祉輸送の車両台数（市町村別上位 10 件）

市町村福祉輸送 実施市町村（29市町村）								
順位	市町村名	車両台数						車両台数計
		寝台車 (うち軽自動車)	車いす車 (うち軽自動車)	兼用車 (うち軽自動車)	回転シート車 (うち軽自動車)	セダン車 (うち軽自動車)	バス (うち軽自動車)	
	全道	3	21	9	4	53	2	92
1	厚沢部町	0	2 (1)	0	0	16 (9)	0	18 (10)
2	浜中町	1	0	0	1	9	0	11 (0)
3	豊浦町	0	1	0	0	6 (4)	0	7 (4)
3	新ひだか町	0	1	1	0	5 (4)	0	7 (4)
3	苫前町	0	1	0	0	6 (5)	0	7 (5)
6	釧路市	0	0	2	3 (1)	0	0	5 (1)
7	赤井川村	0	0	1	0	3	0	4 (0)
8	黒松内町	0	1	0	0	0	2	3 (0)
8	幌延町	0	1	0	0	2	0	3 (0)
8	鶴居村	0	0	0	0	3	0	3 (0)

市町村福祉輸送の車両台数と各種人口比率について

市町村福祉輸送の車両台数と高齢者人口等との比率を整理したのが下表である。赤井川村、厚沢部町、浜中町などの比率が高い。

各種人口と車両台数との比率（市町村別上位 10 件）

65歳以上高齢者						前期高齢者						後期高齢者					
順位	市町村	65歳以上人口	高齢化比率	車両台数	65歳以上1,000人あたりの車両台数	順位	市町村	前期高齢者(65～74歳)人口	前期高齢者比率	車両台数	前期高齢者人口1,000人あたりの車両台数	順位	市町村	後期高齢者(75歳以上)人口	後期高齢者比率	車両台数	後期高齢者人口1,000人あたりの車両台数
1	赤井川村	347	28.2%	4	11.53	1	厚沢部町	725	15.5%	18	24.83	1	赤井川村	185	15.0%	4	21.62
2	厚沢部町	1,575	33.7%	18	11.43	2	赤井川村	162	13.2%	4	24.69	2	厚沢部町	850	18.2%	18	21.18
3	浜中町	1,718	25.5%	11	6.40	3	浜中町	819	12.2%	11	13.43	3	浜中町	899	13.3%	11	12.24
4	苫前町	1,384	36.7%	7	5.06	4	苫前町	630	16.7%	7	11.11	4	苫前町	754	20.0%	7	9.28
5	幌延町	640	24.1%	3	4.69	5	豊浦町	680	14.7%	7	10.29	5	鶴居村	329	12.8%	3	9.12
6	豊浦町	1,501	32.5%	7	4.66	6	幌延町	310	11.7%	3	9.68	6	幌延町	330	12.4%	3	9.09
7	鶴居村	669	26.0%	3	4.48	7	鶴居村	340	13.2%	3	8.82	7	豊浦町	821	17.8%	7	8.53
8	黒松内町	1,074	33.4%	3	2.79	8	黒松内町	446	13.9%	3	6.73	8	黒松内町	628	19.5%	3	4.78
9	利尻富士町	1,050	35.3%	2	1.90	9	利尻富士町	439	14.8%	2	4.56	9	利尻富士町	611	20.5%	2	3.27
10	中川町	669	35.2%	1	1.49	10	中川町	331	17.4%	1	3.02	10	中川町	338	17.8%	1	2.96

介護保険認定者						身体障害者手帳取得者					
順位	市町村	介護保険認定者数(第1号被保険者)	介護保険認定率	車両台数	介護認定者1,000人あたりの車両台数	順位	市町村	身体障害者手帳交付数	手帳交付率	車両台数	身体障害者1,000人あたりの車両台数
1	浜中町	126	7.3%	11	87.30	1	厚沢部町	379	8.1%	18	47.49
2	厚沢部町	286	18.2%	18	62.94	2	赤井川村	137	11.1%	4	29.20
3	苫前町	221	16.0%	7	31.67	3	苫前町	285	7.5%	7	24.56
4	幌延町	106	16.6%	3	28.30	4	鶴居村	154	6.0%	3	19.48
5	鶴居村	120	17.9%	3	25.00	5	幌延町	167	6.3%	3	17.96
6	豊浦町	291	19.4%	7	24.05	6	豊浦町	443	9.6%	7	15.80
7	利尻富士町	154	14.7%	2	12.99	7	黒松内町	207	6.4%	3	14.49
8	中川町	83	12.4%	1	12.05	8	浜中町	781	11.6%	11	14.08
9	上富良野町	392	13.2%	2	5.10	9	利尻富士町	232	7.8%	2	8.62
10	湧別町	219	15.3%	1	4.57	10	中川町	131	6.9%	1	7.63

全道

運送の種別	実施市町村数	車両台数	65歳以上人口1,000人あたりの車両台数	前期高齢者人口1,000人あたりの車両台数	後期高齢者人口1,000人あたりの車両台数	介護保険認定者1,000人あたりの車両台数	身体障害者手帳取得者1,000人あたりの車両台数
福祉有償運送	103	1,309	1.00	1.89	2.10	5.87	4.51
過疎地有償運送	9	58	0.04	0.08	0.09	0.26	0.20
交通空白輸送	51	201	0.15	0.29	0.32	0.90	0.69
市町村福祉輸送	29	92	0.07	0.13	0.15	0.41	0.32
一般乗用旅客自動車運送事業	64	1,448	1.10	2.09	2.32	6.49	4.98
特定旅客自動車運送事業	13	230	0.17	0.33	0.37	1.03	0.79

(4) 一般乗用旅客自動車運送事業許可事業者による福祉輸送の実施状況

一般乗用旅客自動車運送事業許可事業の実施状況

道路運送法第 4 条で「一般乗用旅客自動車運送事業」の許可を受けている事業者による福祉輸送の実施のある市町村は、64 市町村あった。また、許可を受けた事業所のほとんどが、隣接圏域市町村での運行も申請している。圏域での運行がある市町村は、98 市町村となっている。

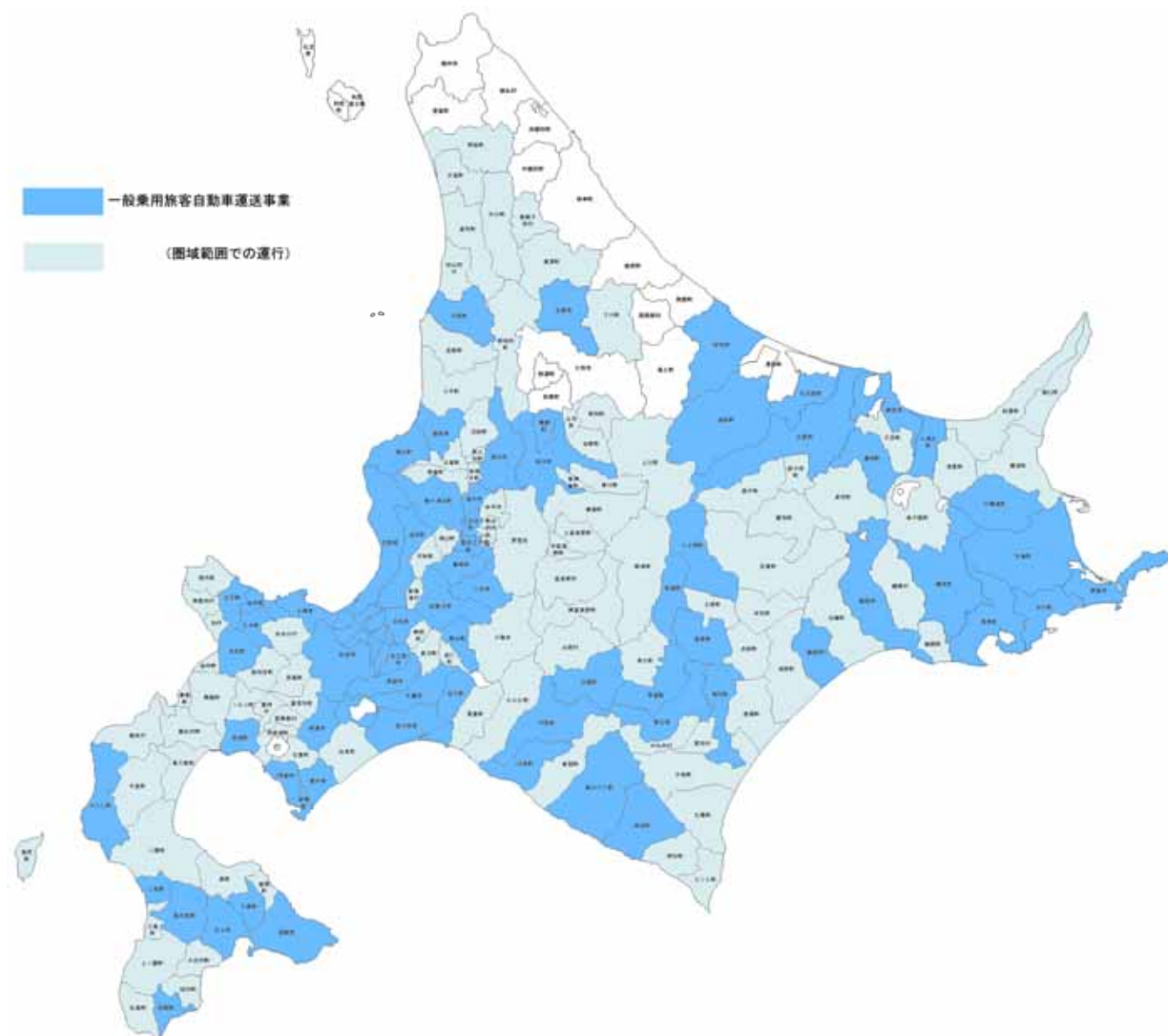
一般乗用旅客自動車運送事業許可事業者による福祉輸送を実施している市町村については、下表、次ページ図に示すとおりである。

一般乗用旅客自動車運送事業許可事業 実施のある市町村

	事業所が所在	隣接圏域として運行
石狩	札幌市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町	新篠津村
渡島	函館市、北斗市、福島町、七飯町	松前町、知内町、木古内町、鹿部町、森町、八雲町、長万部町
檜山	厚沢部町、乙部町、せたな町	江差町、上ノ国町、奥尻町、今金町
後志	小樽市、共和町、古平町、仁木町、余市町	島牧村、寿都町、黒松内町、蘭越町、二セコ町、真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町、倶知安町、岩内町、泊村、神恵内村、積丹町、赤井川村
空知	岩見沢市、美瑛市、三笠市、滝川市、砂川市、深川市、奈井江町、栗山町、新十津川町	夕張市、芦別市、赤平市、歌志内市、南幌町、上砂川町、由仁町、長沼町、月形町、浦臼町、妹背牛町、秩父別町、雨竜町、北竜町、沼田町、幌加内町
上川	旭川市、士別市、名寄市、鷹栖町、和寒町、剣淵町	富良野市、東神楽町、当麻町、比布町、愛別町、上川町、東川町、美瑛町、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村、下川町、美深町、音威子府村、中川町
留萌	留萌市、増毛町、羽幌町	小平町、苫前町、初山別村、遠別町、天塩町、幌延町
宗谷	事業所なし（稚内市、猿払村、浜頓別町、中頓別町、枝幸町、豊富町、礼文町、利尻町、利尻富士町）	
網走	北見市、網走市、紋別市、美幌町、小清水町、佐呂間町、遠軽町、上湧別町、湧別町、滝上町、興部町、西興部村、雄武町	津別町、斜里町、清里町、訓子府町、置戸町、大空町
胆振	室蘭市、苫小牧市、登別市、伊達市、豊浦町、安平町	壮瞥町、白老町、厚真町、洞爺湖町、むかわ町
日高	日高町、平取町、浦河町、新ひだか町	新冠町、様似町、えりも町
十勝	帯広市、音更町、上士幌町、鹿追町、芽室町、幕別町	士幌町、新得町、清水町、中札内村、更別村、大樹町、広尾町、池田町、豊頃町、本別町、足寄町、陸別町、浦幌町
釧路	釧路市、厚岸町、浜中町、標茶町	釧路町、弟子屈町、鶴居村、白糠町
根室	根室市、別海町、中標津町	標津町、羅臼町

一般乗用旅客自動車運送事業許可事業による福祉輸送を行っている地域としては、下図の濃い青色を示した地域である。そして、各事業所において「圏域」として他近隣市町村まで登録していることもあり、それら「圏域」だけで事業所が存在しないエリアを示したのが薄い青色の地域である。これをみると、道北エリア、オホーツク海沿岸エリアにおいて空白地帯が目立つ。また、中空知や十勝北部エリアなどは「圏域」としてはカバーされているものの、事業所が存在する地域からは距離が離れている地域が多い。

一般乗用旅客自動車運送事業実施状況



一般乗用旅客自動車運送事業の実施団体・法人数

一般乗用旅客自動車運送事業の実施団体・法人数については、当該運送事業を実施している 64 市町村で 390 団体・法人あった。

64 市町村のうち、最も団体数が多かったのは札幌市（173 団体・法人）、次いで旭川市（19 団体・法人）、函館市（18 団体・法人）、小樽市（17 団体・法人）となっている。

一般乗用旅客自動車運送事業の実施団体・法人数（市町村別上位 10 件）

一般乗用旅客自動車運送事業 実施市町村(64市町村)		
順位	市町村	団体等 件数
	全道	390
1	札幌市	173
2	旭川市	19
3	函館市	18
4	小樽市	17
5	北見市	13
6	苫小牧市	12
7	紋別市	7
8	室蘭市	6
8	留萌市	6
8	江別市	6

一般乗用旅客自動車運送事業の車両台数

一般乗用旅客自動車運送事業の車両台数については、当該運送事業を実施している 64 市町村・390 団体・法人で、1,448 台あった。1,448 台のうち、事業用車両が 531 台、ぶら下がり車両（自家用車）が 917 台であった。

64 市町村のうち、車両台数が多かったのは札幌市（635 台、うち「ぶらさがり車両」405 台）、次いで小樽市（74 台、うち「ぶらさがり車両」55 台）、旭川市（64 台、うち「ぶら下がり車両」28 台）となっている。

一般乗用旅客自動車運送事業の車両台数（市町村別上位 10 件）

一般乗用旅客自動車運送事業 実施市町村（64市町村）					
順位	市町村名	団体数等	車両台数		
			事業用車 両数	ぶら下がり (自家用車)	計
	全道	390	531	917	1,448
1	札幌市	173	230	405	635
2	小樽市	17	19	55	74
3	旭川市	19	36	28	64
4	北見市	13	23	37	60
5	苫小牧市	12	12	43	55
6	別海町	1	1	50	51
7	余市町	4	9	36	45
8	留萌市	6	6	37	43
9	函館市	18	21	20	41
10	紋別市	7	8	27	35

一般乗用旅客自動車運送事業の車両台数と各種人口比率について

一般乗用旅客自動車運送事業の車両台数と高齢者人口等との比率を整理したのが下表である。

別海町、浦河町、留萌市等の比率が高くなっている。

各種人口と車両台数との比率（市町村別上位 10 件）

65歳以上高齢者						前期高齢者						後期高齢者					
順位	市町村	65歳以上人口	高齢化比率	車両台数	65歳以上1,000人あたりの車両台数	順位	市町村	前期高齢者(65～74歳)人口	前期高齢者比率	車両台数	前期高齢者人口1,000人あたりの車両台数	順位	市町村	後期高齢者(75歳以上)人口	後期高齢者比率	車両台数	後期高齢者人口1,000人あたりの車両台数
1	別海町	3,341	20.6%	51	15.26	1	別海町	1,614	10.0%	51	31.60	1	別海町	1,727	10.7%	51	29.53
2	浦河町	3,624	25.0%	31	8.55	2	浦河町	1,812	12.5%	31	17.11	2	浦河町	1,812	12.5%	31	17.11
3	余市町	6,631	30.6%	45	6.79	3	余市町	3,280	15.1%	45	13.72	3	留萌市	3,084	12.1%	43	13.94
4	鷹栖町	1,987	26.1%	13	6.54	4	鷹栖町	976	12.8%	13	13.32	4	余市町	3,351	15.4%	45	13.43
5	留萌市	6,751	26.5%	43	6.37	5	留萌市	3,667	14.4%	43	11.73	5	鷹栖町	1,011	13.3%	13	12.86
6	共和町	1,899	28.1%	10	5.27	6	厚沢部町	725	15.5%	8	11.03	6	乙部町	750	16.4%	8	10.67
7	乙部町	1,542	33.6%	8	5.19	7	共和町	908	13.4%	10	11.01	7	紋別市	3,320	13.1%	35	10.54
8	厚沢部町	1,575	33.7%	8	5.08	8	乙部町	792	17.3%	8	10.10	8	共和町	991	14.7%	10	10.09
9	紋別市	7,067	28.0%	35	4.95	9	紋別市	3,747	14.8%	35	9.34	9	厚沢部町	850	18.2%	8	9.41
10	増毛町	2,035	37.6%	6	2.95	10	増毛町	850	15.7%	6	7.06	10	増毛町	1,185	21.9%	6	5.06

介護保険認定者						身体障害者手帳取得者					
順位	市町村	介護保険 認定者数 (第1号被 保険者)	介護保 険認定 率	車 両 台 数	介護認定者 1,000人あた りの車両台 数	順位	市町村	身体障害 者手帳交 付数	手帳交 付率	車 両 台 数	身体障害者 1,000人あた りの車両台 数
1	別海町	511	15.3%	51	99.80	1	別海町	773	4.8%	51	65.98
2	浦河町	669	18.5%	31	46.34	2	浦河町	746	5.1%	31	41.55
3	留萌市	1,123	16.6%	43	38.29	3	留萌市	1,365	5.4%	43	31.50
4	紋別市	1,008	14.3%	35	34.72	4	鷹栖町	489	6.4%	13	26.58
5	余市町	1,337	20.2%	45	33.66	5	紋別市	1,456	5.8%	35	24.04
6	鷹栖町	408	20.5%	13	31.86	6	余市町	1,929	8.9%	45	23.33
7	乙部町	273	17.7%	8	29.30	7	乙部町	371	8.1%	8	21.56
8	厚沢部町	286	18.2%	8	27.97	8	厚沢部町	379	8.1%	8	21.11
9	増毛町	323	15.9%	6	18.58	9	共和町	613	9.1%	10	16.31
10	中標津町	630	14.0%	10	15.87	10	羽幌町	513	6.1%	7	13.65

全道

運送の種別	実施市町村数	車両台数	65歳以上人口1,000人あたりの車両台数	前期高齢者人口1,000人あたりの車両台数	後期高齢者人口1,000人あたりの車両台数	介護保険認定者1,000人あたりの車両台数	身体障害者手帳取得者1,000人あたりの車両台数
福祉有償運送	103	1,309	1.00	1.89	2.10	5.87	4.51
過疎地有償運送	9	58	0.04	0.08	0.09	0.26	0.20
交通空白輸送	51	201	0.15	0.29	0.32	0.90	0.69
市町村福祉輸送	29	92	0.07	0.13	0.15	0.41	0.32
一般乗用旅客自動車運送事業	64	1,448	1.10	2.09	2.32	6.49	4.98
特定旅客自動車運送事業	13	230	0.17	0.33	0.37	1.03	0.79

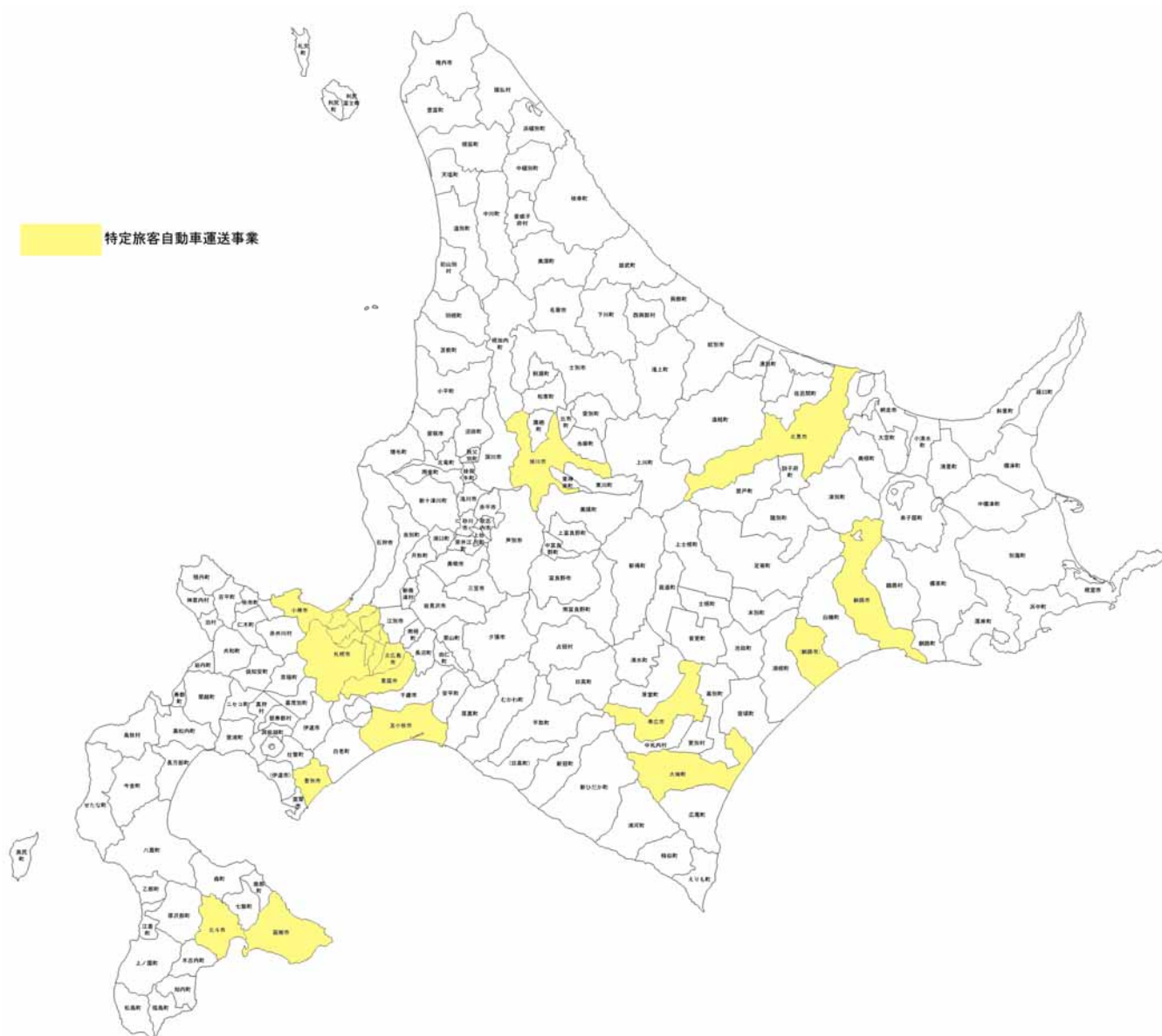
(5) 特定旅客自動車運送事業許可事業者による福祉輸送の実施状況

特定旅客自動車運送事業許可事業者による福祉輸送の実施状況

道路運送法第 43 条で「特定旅客自動車運送事業」の許可を受けている事業者による福祉有償運送の実施のある市町村は、13 市町村（札幌市、函館市、小樽市、旭川市、釧路市、帯広市、北見市、苫小牧市、登別市、恵庭市、北広島市、北斗市、大樹町）あった。

特定旅客自動車運送事業許可事業者による有償運送を実施している市町村については、下図に示すとおりである。

特定旅客自動車運送事業実施状況



特定旅客自動車運送事業の団体・法人数

特定旅客自動車運送事業の実施団体・法人数については、当該運送事業を実施している 13 市町村で 52 団体・法人あった。

13 市町村のうち、最も団体数が多かったのは札幌市（52 団体・法人）、次いで小樽市（13 団体・法人）、函館市（5 団体・法人）、帯広市（4 団体・法人）となっている。小樽市については、福祉有償運送の事業所は存在していないが、この特定旅客自動車運送事業の団体数については 13 と比較的多くなっている。

特定旅客自動車運送事業の実施団体・法人数（市町村別上位 13 件）

特定旅客自動車運送事業 実施市町村(13市町村)		
順位	市町村	団体等 件数
	全道	52
1	札幌市	17
2	小樽市	13
3	函館市	5
4	帯広市	4
5	旭川市	3
5	北広島市	3
7	北見市	1
7	苫小牧市	1
7	釧路市	1
7	恵庭市	1
7	登別市	1
7	北斗市	1
7	大樹町	1

特定旅客自動車運送事業の車両台数

一般乗用旅客自動車運送事業の車両台数については、当該運送事業を実施している 13 市町村・52 団体・法人で、230 台あった（不明の台数は除く）。230 台のうち、事業用車両が事業用車両数は 36 台、ぶら下がり車両（自家用車）が 194 台であった。

13 市町村のうち、車両台数が多かったのは札幌市（78 台、うち「ぶらさがり車両」68 台）、次いで小樽市（62 台、うち「ぶらさがり車両」50 台）、北広島市（25 台、うち「ぶら下がり車両」23 台）となっている。

特定旅客自動車運送事業の車両台数

特定旅客自動車運送事業 実施市町村(13市町村)					
順位	市町村名	団体数等	車両台数		
			事業用車 両数	ぶら下がり (自家用車)	計
	全道	52	36	194	230
1	札幌市	17	10	68	78
2	小樽市	13	12	50	62
3	北広島市	3	2	23	25
4	帯広市	4	4	14	18
5	旭川市	3	1	12	13
6	大樹町	1	1	11	12
7	恵庭市	1	1	8	9
8	北見市	1	3	2	5
9	登別市	1	1	3	4
9	北斗市	1	1	3	4
-	函館市	5	台数不明		
-	釧路市	1	台数不明		
-	苫小牧市	1	台数不明		

特定旅客自動車運送事業の車両台数と各種人口比率について

特定旅客自動車運送事業の車両台数と高齢者人口等との比率を整理したのが下表である。特に大樹町の比率が高く、ほかに北広島市、小樽市などの比率が高くなっている。

各種人口と車両台数との比率（市町村別上位 10 件）

65歳以上高齢者						前期高齢者						後期高齢者					
順位	市町村	65歳以上人口	高齢化比率	車両台数	65歳以上の人口あたりの車両台数	順位	市町村	前期高齢者(65～74歳)人口	前期高齢者比率	車両台数	前期高齢者人口1,000人あたりの車両台数	順位	市町村	後期高齢者(75歳以上)人口	後期高齢者比率	車両台数	後期高齢者人口1,000人あたりの車両台数
1	大樹町	1,765	28.5%	12	6.80	1	大樹町	825	13.3%	12	14.55	1	大樹町	940	15.2%	12	12.77
2	北広島市	12,550	20.6%	25	1.99	2	北広島市	7,231	11.9%	25	3.46	2	北広島市	5,319	8.7%	25	4.70
3	小樽市	41,164	30.4%	62	1.51	3	小樽市	20,753	15.3%	62	2.99	3	小樽市	20,411	15.1%	62	3.04
4	恵庭市	13,531	19.8%	9	0.67	4	恵庭市	7,643	11.2%	9	1.18	4	恵庭市	5,888	8.6%	9	1.53
5	帯広市	36,206	21.5%	18	0.50	5	帯広市	19,917	11.8%	18	0.90	5	帯広市	16,289	9.7%	18	1.11
6	北斗市	10,641	21.6%	4	0.38	6	北斗市	5,582	11.3%	4	0.72	6	北斗市	5,059	10.2%	4	0.79
7	登別市	14,354	27.3%	4	0.28	7	登別市	7,818	14.9%	4	0.51	7	登別市	6,536	12.4%	4	0.61
8	札幌市	368,001	19.5%	78	0.21	8	札幌市	201,038	10.7%	78	0.39	8	札幌市	166,963	8.9%	78	0.47
9	北見市	30,656	24.3%	5	0.16	9	北見市	16,169	12.8%	5	0.31	9	北見市	14,487	11.5%	5	0.35
10	旭川市	87,355	24.6%	13	0.15	10	旭川市	46,626	13.2%	13	0.28	10	旭川市	40,729	11.5%	13	0.32

介護保険認定者						身体障害者手帳取得者					
順位	市町村	介護保険 認定者数 (第1号被 保険者)	介護保 険認定 率	車両 台数	介護認定者 1,000人あた りの車両台 数	順位	市町村	身体障害 者手帳交 付数	手帳交 付率	車両 台数	身体障害者 1,000人あた りの車両台 数
1	大樹町	317	18.0%	12	37.85	1	大樹町	418	6.8%	12	28.71
2	北広島市	2,043	16.3%	25	12.24	2	北広島市	2,729	4.5%	25	9.16
3	小樽市	8,404	20.4%	62	7.38	3	小樽市	11,141	8.2%	62	5.57
4	恵庭市	1,839	13.6%	9	4.89	4	恵庭市	2,941	4.3%	9	3.06
5	帯広市	6,467	17.9%	18	2.78	5	帯広市	7,391	4.4%	18	2.44
6	北斗市	1,878	17.6%	4	2.13	6	北斗市	1,914	3.9%	4	2.09
7	登別市	2,074	14.4%	4	1.93	7	登別市	2,896	5.5%	4	1.38
8	札幌市	66,279	18.0%	78	1.18	8	札幌市	75,855	4.0%	78	1.03
9	北見市	4,816	15.7%	5	1.04	9	北見市	5,591	4.4%	5	0.89
10	旭川市	15,537	17.8%	13	0.84	10	旭川市	17,882	5.0%	13	0.73

全道

運送の種別	実施市町村数	車両台数	65歳以上人口1,000人あたりの車両台数	前期高齢者人口1,000人あたりの車両台数	後期高齢者人口1,000人あたりの車両台数	介護保険認定者1,000人あたりの車両台数	身体障害者手帳取得者1,000人あたりの車両台数
福祉有償運送	103	1,309	1.00	1.89	2.10	5.87	4.51
過疎地有償運送	9	58	0.04	0.08	0.09	0.26	0.20
交通空白輸送	51	201	0.15	0.29	0.32	0.90	0.69
市町村福祉輸送	29	92	0.07	0.13	0.15	0.41	0.32
一般乗用旅客自動車運送事業	64	1,448	1.10	2.09	2.32	6.49	4.98
特定旅客自動車運送事業	13	230	0.17	0.33	0.37	1.03	0.79

(6) 福祉有償運送、一般・特定旅客自動車運送（福祉タクシー）実施地域と空白地域

福祉有償運送、一般・特定旅客自動車運送とともない空白地域(圏域範囲での運送は除く)は、30 市町村であった。

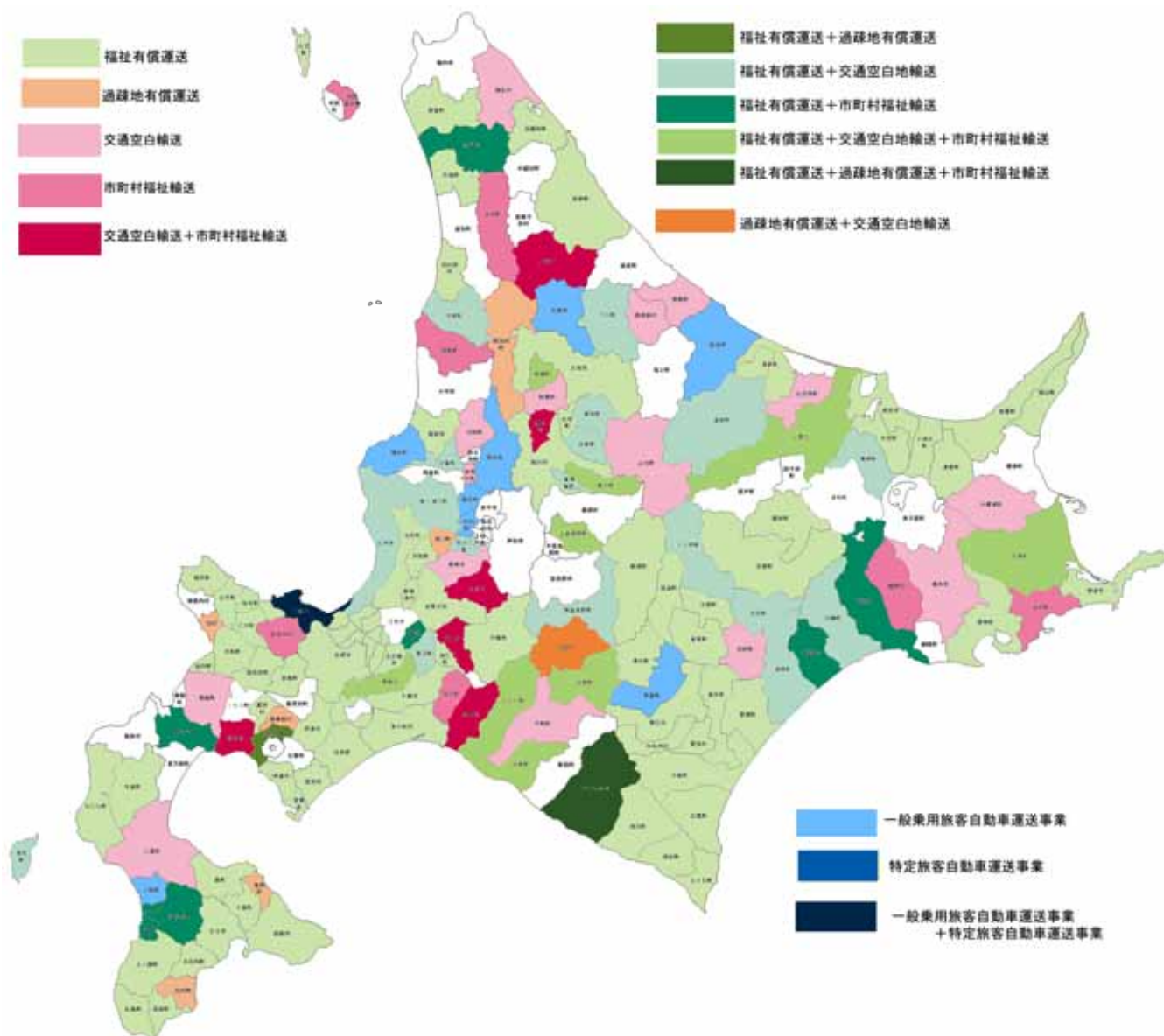
自家用自動車有償運送、一般・特定旅客自動車運送とともない市町村

長万部町、島牧村、寿都町、二セコ町、喜茂別町、神恵内村、芦別市、赤平市、歌志内市、上砂川町、秩父別町、雨竜町、富良野市、美瑛町、中富良野町、音威子府村、小平町、遠別町、稚内市、中頓別町、利尻町、訓子府町、置戸町、滝上町、雄武町、壮瞥町、新冠町、釧路町、弟子屈町、標津町

福祉有償運送、一般・特定旅客自動車運送（福祉タクシー）実施地域については、下図に示すとおりである。なお、自家用有償旅客運送実施で一般・特定旅客運送事業を実施している市町村は、自家用有償運送を優先で配色。自家用有償旅客運送の実施がない市町村は、一般・特定旅客運送事業を配色。白が空白地域となる（複数、圏域範囲での運送は除く）。

これをみると、道北エリアや内陸部においての空白地帯が目立つ（次章にて詳述）。

福祉有償運送、旅客自動車運送事業実施地域と空白地域



北海道の支庁別にみる福祉輸送の実態

章で整理した各種福祉輸送に関するデータをもとに、北海道の支庁別に福祉輸送事業の実態をみていくこととする。なお、各地域の有償運送を行われている地域の背景を踏まえるために、支庁ごとの地域特性も整理した。なお、市町村別に福祉輸送に関する台数をそれぞれ把握し整理したが、各種人口当たりの台数の算出（各支庁の（３））についてはある程度台数が幅広く存在している「福祉有償運送」のみを算出して掲載している。なお、「福祉有償運送」以外の福祉輸送の台数と各種人口の市町村別のデータについては、資料編で整理している。

出典等

- ・ 各種地域特性については、北海道ホームページの各支庁の紹介ページから抜粋した。
（北海道の支庁のページ：<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/gyosei/shicho/index.html>）
- ・ 福祉輸送に関するデータについては平成 20 年 10 月時点のデータとしているため、台数のデータ取得時点と各種人口等地域基礎情報のデータの取得時点が合わないところがある。なお、平成 20 年時点では北海道は 180 市町村であり、それから上湧別町と湧別町が合併したため平成 22 年 2 月時点では 179 となっている。そのため、当該エリアについては人口等の基礎資料のデータについては合併前のデータを採用することとした。
- ・ 平成 20 年時点では北海道市町村・面積については「全国都道府県市区町村別面積調」（国土地理院）の平成 21 年 10 月時点のものを採用した。
- ・ 各市町村別の基礎情報の出典は、人口は各市町村の住民基本台帳の平成 21 年 3 月末時点。
- ・ 介護保険認定者については 65 歳以上が対象となる第一号被保険者を対象とし、「介護保険事業状況報告」（厚生労働省）の平成 21 年度 9 月時点の情報を参考に整理した。ただし、いくつかの市町村においては複数の自治体と連合を組んで介護保険事業を共同で行っており、その場合の認定者については連合全体の認定者はわかっていても連合に属する市町村別には把握できないのが現状である（来年度以降データが公表される見込み）。そのため、連合に属している市町村に関しては介護保険の認定者数が掲載していない。
（例；歌志内市や奈井江町など空知中部地域の 6 つの市町が「空知中部広域連合」を組織し、介護保険事業を合同で行っている）
- ・ 障害者人口については各市町村の障害者福祉計画を参考にして算出しており、時点としては平成 19 年 3 月末時点となっている。また、身体障害者手帳（療育手帳は除く）を所有者数を障害者人口と定義した。
- ・ 章でもふれたとおり、「福祉有償運送」事業を行っている事業所の所在地を軸に把握をしており、営業範囲を複数の自治体にまたがっている場合でも空白地帯と判断される場合がある。
- ・ 第 2 章 2 . データの統合と留意事項にも示したが、1 団体で「路線または運送の区域」が複数地域にあり、かつ 1 事業所が複数地域にまたがる場合は、所在地域（運輸支局登録地域）とは別に車両台数を集計した。また、所在地域が異なる場合のみ、団体数も別団体としてカウントする。（該当団体：6 団体）

1. 石狩支庁（札幌市／江別市／千歳市／恵庭市／北広島市／石狩市／当別町／新篠津村）

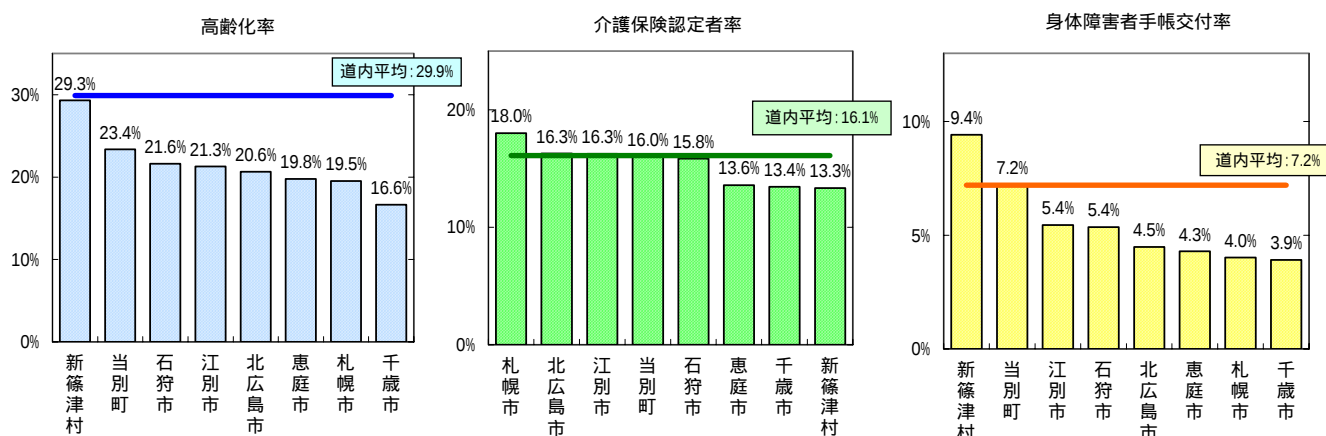
（1）地域概要

面積	3,539.86km ²	人口	2,316,493 人	世帯	1,117,957 世帯
概要					
地 勢					
石狩の北西部は、約 72km にわたり日本海に面し、北端の増毛火山群に属する高山へと続いています。この一帯は、暑寒別天売焼尻国立公園として指定され、変化と景観に富んだ海岸線は、日本海オロロンラインとよばれ、優れた観光レクリエーション地帯として注目されています。南西部は恵庭岳を主峰とする山岳地帯と、エメラルドグリーンに輝く支笏湖が支笏洞爺国立公園を形成しており、原始林に囲まれた湖とその周辺山岳の景観は、まさに北海道らしいダイナミックさと神秘的魅力にあふれています。中央部は、日本三大河川の一つである石狩川が東西に走り、その流域には広大かつ肥沃な石狩平野が広がっています。また、この地域は稲作の中核地帯であると同時に北海道の中核機能を備える道都札幌市を中心に大都市圏を形成しています。総面積は 3,539.86km²で、鳥取県とほぼ同じ面積となっています。土壌は、石狩川流域の肥沃な沖積土壌、南部の樽前系火山灰土、篠津の泥炭土に大別され、また当別町から石狩市、江別市野幌から北広島市にかけての強酸性重粘土壌、恵庭市南部から千歳市にかけては、不良性火山性土などの不良土壌があります。					
気 候					
石狩地方は、概ね日本海側の気候ですが、南部では太平洋側の気候の特徴をあわせもっています。このため、北部や中部では春から秋にかけて晴れる日が多く、札幌で真夏日が1週間ほど観測されるなど比較的温暖です。また、南部では曇りや霧の日が多く、北部や中部より気温がやや低くなります。一方冬季は、シベリア大陸からの季節風により全般に寒冷で雪の日が多くなり、北部や中部では降雪量も多くなりますが、南部では晴れる日が多くなります。 降水量は、夏から秋にかけて多く、特に南部で多くなります。降水量の少ない季節は、北部や中部では春ですが、南部では冬に少なくなります。					
産 業					
農 業					
管内農業は、稲作を中心に発展してきましたが、近年は、小麦、豆類などの畑作物や野菜、花きを含めた複合化が進み、これに畜産を加えて、様々な形態の農業が展開され、米は空知、上川に次ぎ、花きでは空知に次ぐ主産地となっています。また、道内総人口の40%が集中している大都市近郊としての地の利を活かして、農産物の直売や観光農園、市民農園などの都市との交流が活発に行われるとともに、農家による小学生の農業学習・交流会などの食育活動が活発に展開されています。					
森林・林業					
管内の森林面積は、総土地面積の59%を占め、全道森林面積の3.8%に当たります。所管別では国有林が多く、林相別では天然林のウエイトが高くなっていますが、林業生産力は相対的に低くなっています。 一方、森林の持つ保健・休養機能を活かした、学習、スポーツ、レクリエーションなどでの幅広い利用が図られています。					
水産業					
管内は、日本海の石狩湾に面し、砂浜や段丘、懸崖、岩礁が連なる変化に富んだ海岸線を有するとともに、石狩川などが運び込む栄養分によって海藻類の繁茂する藻場が浅海に広がるなど豊かな地形条件を備えています。 漁業生産を見ると、平成19年は数量2753トン（対全道比0.2%）、金額1,430百万円（対全道比0.5%）で、全道に占める割合は小さいものの、多種類の魚介類に恵まれ、水産業は活力ある重要な産業として地域を支える一翼を担っています。 管内の主要生産魚種は、サケ、ホタテ貝、ニシン、ナマコなどですが、平成19年では、数量の78%、金額の73%を占めています。特に近年は、ニシン・ナマコの漁獲が伸びており、漁業者の期待が高まっています。 また漁業資源の維持・増大を図るため、サケ、ヒラメ、ニシン、ハタハタのふ化放流やウニ、アワビなどの種苗放流が行われているなど栽培漁業に力を入れています。 さらに、都市近郊に隣接する生産環境を生かし、消費者に新鮮で安全な水産物を提供するとともに、漁業経営の安定を図るための産直事業として、春から夏にかけて「朝市」が開かれています。					
工 業					
平成19年12月31日現在で実施した工業統計調査（従業者数4人以上の事業所）による本道の事業所数は6,752事業所、従業者数は18万9,875人、製造品出荷額等は5兆7,396億円となっており、事業所数と製造品出荷額等は前年を下回りましたが従業者数は前年を上回っています。 管内の工業は、事業所数、従業者数、製造品出荷額が全道比で25.3%、29.8%、21.6%となり、いずれも前年並です。 産業中分類別では、印刷・同関連産業（74.8%）、金属製品（51.1%）、電気機械器具（50.4%）及びその他の製品（56.2%）の製造品出荷額等が全道の5割以上となっています。					
商 業					
平成19年6月1日現在で実施した商業統計調査によると、管内の全道シェアは、事業所数で32.8%、従業者数で43.7%、年間商品販売額で53.4%となっています。					
観 光					
管内は支笏洞爺国立公園をはじめ、森や湖、海岸など、豊かで魅力的な自然に恵まれ、それらは重要な観光資源となっています。また、札幌市の観光客は年間1,300万人を超え、道内外はもとより、海外からも訪れる国際観光都市となっています。					

（北海道ホームページの支庁紹介より）

■市町村別基礎情報

市町村名	面積(Km ²)	人口	65歳以上人口						第1号被保険者 介護保険認定		手帳交付状況	
			人口	高齢化率	前期高齢者		後期高齢者		認定者数	認定者率	身体障害者手帳	
					人口	高齢化率	人口	高齢化率			交付者数	交付率
札幌市	1,121.12	1,884,939	368,001	19.5%	201,038	10.7%	166,963	8.9%	66,279	18.0%	75,855	4.0%
江別市	187.57	122,344	26,052	21.3%	14,067	11.5%	11,985	9.8%	4,237	16.3%	6,666	5.4%
千歳市	594.95	92,732	15,424	16.6%	8,834	9.5%	6,590	7.1%	2,074	13.4%	3,626	3.9%
恵庭市	294.87	68,483	13,531	19.8%	7,643	11.2%	5,888	8.6%	1,839	13.6%	2,941	4.3%
北広島市	118.54	60,802	12,550	20.6%	7,231	11.9%	5,319	8.7%	2,043	16.3%	2,729	4.5%
石狩市	721.86	61,191	13,235	21.6%	7,187	11.7%	6,048	9.9%	2,096	15.8%	3,283	5.4%
当別町	422.71	18,958	4,428	23.4%	2,306	12.2%	2,122	11.2%	708	16.0%	1,371	7.2%
新篠津村	78.24	3,681	1,079	29.3%	520	14.1%	559	15.2%	144	13.3%	347	9.4%



(2) 福祉輸送の実施状況

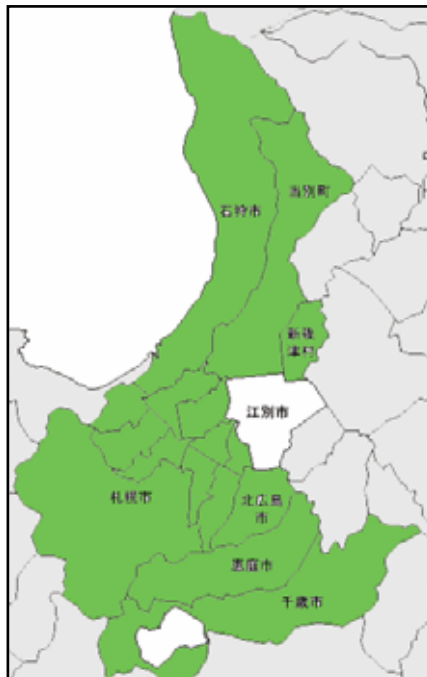
■市町村別福祉輸送サービス提供状況

市町村名	自家用有償旅客運送事業						旅客自動車運送事業			
	福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送		一般乗用旅客		特定旅客	
	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	車両台数	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数
札幌市	59	233					173	635	17	78
江別市							6	7		
千歳市	4	13					4	32		
恵庭市	2	14			2	2	3	8	1	9
北広島市	6	51					3	3	3	25
石狩市	5	28			4		5	6		
当別町	4	11					2	5		
新篠津村	1	5			2					
石狩支庁計	81	355	0	0	8	2	196	696	21	112

■ 自家用有償旅客運送事業がない地域(圏域範囲は除く)
 圏域範囲とは、事業所はないが近隣市町村で運行をまかなっている地域

江別市の福祉有償運送事業については札幌の事業所が営業区域として設定している事例も見られる。

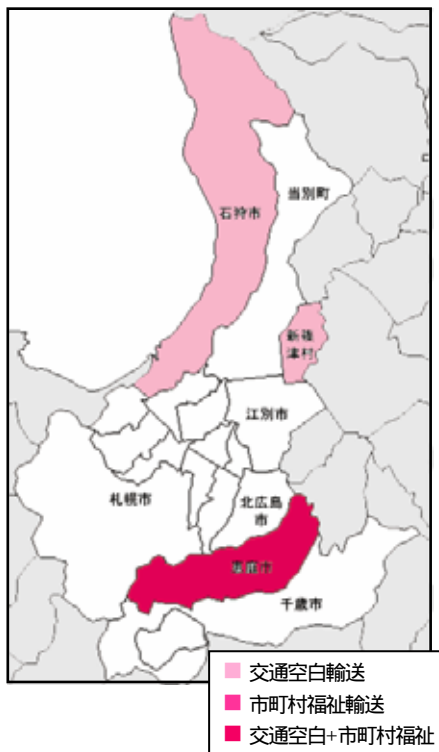
福祉有償運送



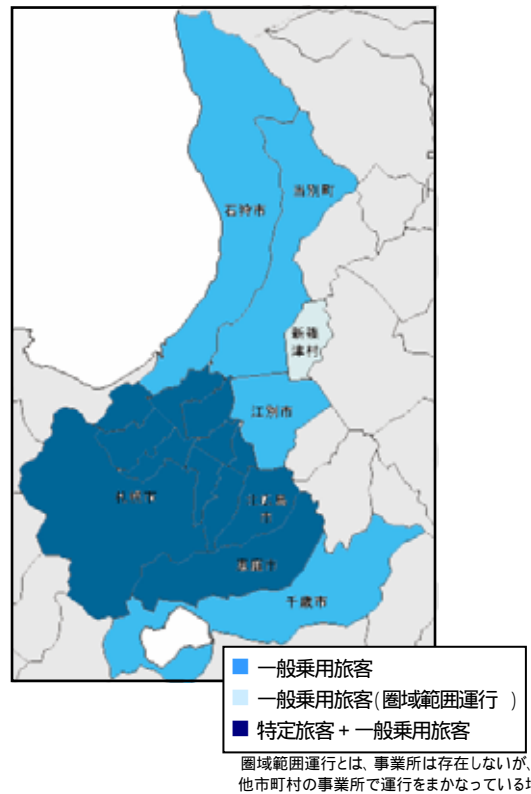
過疎地有償運送



市町村運営有償運送

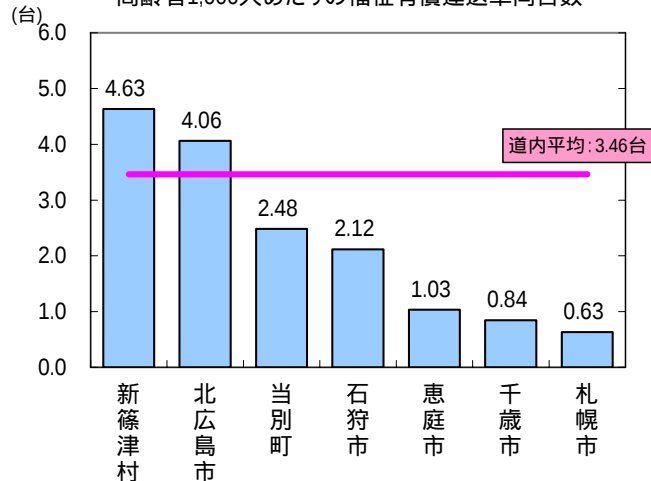


旅客自動車輸送事業

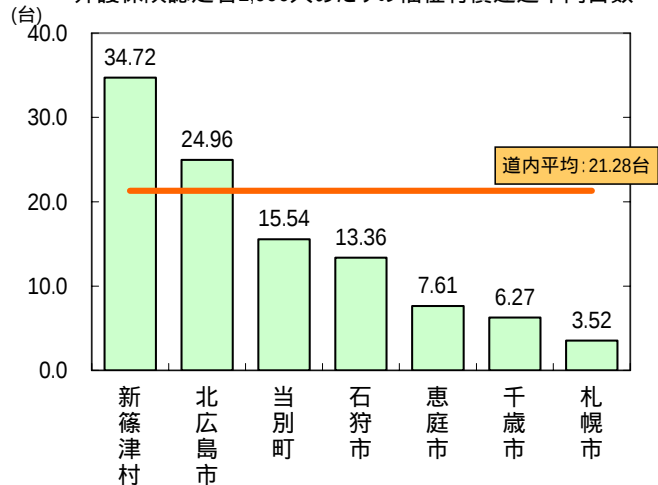


(3) 福祉有償運送の各種人数あたりの車両台数

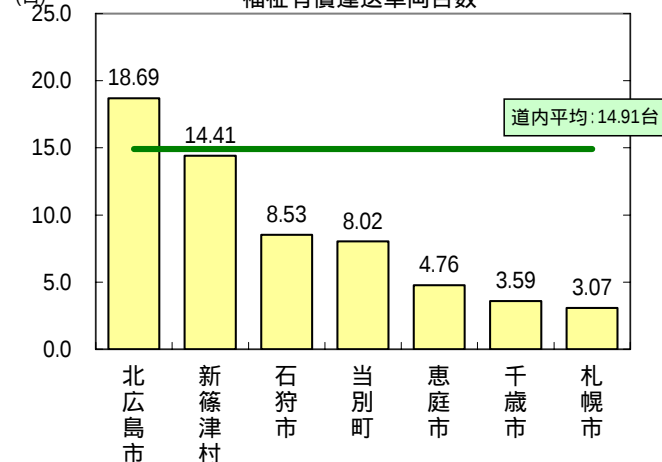
高齢者1,000人あたりの福祉有償運送車両台数



介護保険認定者1,000人あたりの福祉有償運送車両台数



身体障害者手帳所持者1,000人あたりの福祉有償運送車両台数



(4) 石狩支庁まとめ

- 北海道最大の都市札幌を抱え、北海道でもっとも多くの人を抱える支庁である。また、北海道の経済活動も札幌およびその周辺に集積しているため、生産年齢人口の割合が高いことが予想され、そのため高齢化率は全道平均よりも低い。
- 江別市の「福祉有償運送」については福祉有償運送の団体はないが、札幌の事業所が営業区域として設定している。また、一般乗用旅客としての福祉輸送は6つの団体で行われている。
- 都市部ということもあり、過疎地有償運送は存在しないが、市町村運営有償運送は恵庭市、北広島市、新篠津村で見られる。
- 都市部で人口が集中しているので「福祉有償運送」車両も充実していることが予想されたが、北広島市、新篠津村を除いて高齢者1,000人あたり、介護認定者1,000人あたり、身体障害者手帳1,000人あたりそれぞれの台数は全道平均を下回っている。特に、恵庭市、札幌市、千歳市についてはほかの市町村と比べて大きく下回っている。

2. 渡島支庁

(函館市 / 北斗市 / 松前町 / 福島町 / 知内町 / 木古内町 / 七飯町 / 鹿部町 / 森町 / 八雲町 / 長万部町)

(1) 地域概要

面 積	3,936km ²	人 口	449,435 人	世 帯	187,650 世帯
概 要					
地 勢					
渡島は、北海道の南西部、渡島半島に位置しており、総面積は3,936km²で全道の約4.7%を占め長崎県(4,094km²)の広さに匹敵します。 日本海に面する南西部の松前町から、南に津軽海峡、東に太平洋を巡り噴火湾に面する北端の長万部町まで約400kmの非常に長い海岸線を有するのも特徴です。 また、中央部には常時観測火山駒ヶ岳があり、山麓の大沼・小沼・蕁菜沼の3湖沼を含む一帯は大沼国定公園に指定されています。このほか、「松前・矢越」、「恵山」、「檜山」の3つの道立自然公園があり風光明媚な自然環境を形造っています。					
気 候					
北海道の中では全般的に寒暖の差が少なく、温暖な気候であり、積雪も比較的少ない地域ですが、夏の降水量は比較的多くなっています。					
産 業					
農 業					
渡島地域の農業は、北海道農業発祥の地として、古くから営まれている水田を活かし、水稻や大豆などのほか、温暖な気候を活かした園芸作物生産が盛んで、トマトや長ねぎ、にら、だいこん、にんじん、かぶ、ほうれんそう、かぼちゃをはじめとする野菜やカーネーションは、全道で有数の生産量を誇っています。 また、馬鈴しょ、てんさいといった畑作物のほか、りんごやブルーベリーなどの果樹も生産されており、畜産部門においては、渡島北部における酪農や駒ヶ岳山麓の養豚、肉用牛(黒毛和種、褐毛和種及び乳用種)、養鶏など、畜産においても地域の特色を活かした多様な取組みが行われています。こうした渡島の多様な農業生産は、「農業の宝石箱」、「北海道農業の縮図」として表現されています。また、農業産出額は342億円で全道の3.1%となっています。 しかしながら、農家戸数は年々減少しており、農業従事者の高齢者率が高く、後継者不足が懸念されています。このため、農業の担い手の育成・確保を進めるほか、たくましい農業経営の確立など元気の農業・農村づくりの推進に取り組んでいます。					
森林・林業					
渡島地域の林業は、トドマツや道内では希少なスギの人工林を主体として、計画的に植林や保育が行われています。木材産業分野では、森林づくりに伴って産出される木材が有効に活用され、トドマツやスギなどの人工林材を原料とした建築材等が生産されています。特に、トドマツについては、近年、集成材工場が新設され、間伐材の有効利用が図られています。 スギの製材については、管内での消費が少なく、主に道外に出荷されているため、地域の木材を地域で消費する「地材地消」を進める必要があります。このため、住宅の構造材や内装材への利用促進、公共土木工事における使用の奨励など「道南スギ」の地材地消に向けた様々な取組を行っています。					
水産業					
渡島地域の漁業は、日本海海域においては、いか釣り漁業、ウニ・アワビなどの採介漁業、津軽海峡から太平洋にかけては、コンブ漁業、刺し網漁業、定置網漁業、噴火湾海域では、ホタテ貝養殖業やエビ簗漁業など、海域ごとに多種多様な漁業が行われており、近年は、本マグロの一本釣りや延縄漁業が津軽海峡を主体に盛んに行われています。 漁業生産においては、ホタテガイ、コンブ、スルメイカの3魚種が生産額全体の約66%を占めております。この中でも、ホタテガイ及びコンブなどの養殖業が占める割合が約63%となっているなど、各前浜でつくり育てる漁業が推進されています。					
工 業					
当地域の工業は、水産加工業や食品機械製造業、造船業などの海洋関連製造業を主要業種として発展してきました。近年では、函館臨空工業団地などの基盤が整備され、水晶電子部品工場等の先端技術産業の立地が進み、さらには中小企業新事業活動促進法に基づく「北海道事業環境整備構想」において高度技術産学連携地域に設定され、産業の高度化や新産業の創出に大きく寄与することが期待されています。					
商 業					
渡島地域の商業は、平成16年6月1日現在で商店数の67%、販売額の78%が函館市に集中しています。また、小売店1店舗当たりの販売額は全道平均を大きく下回っているほか、既存の商店は、人口の減少や大型店の進出などにより、顧客シェアが縮小している状況にあることから、商店街の近代化など魅力ある商店街づくりへの取組を進めています。					
観 光					
渡島地域には、全国的にも有名な函館、大沼、松前といった観光スポットがあり、北海道の中でも他地域とは異なる気候風土や歴史・文化をもつ観光圏を形成しています。 観光客入込み数は、平成2年度以来1,000万人を越え続けていますが、入込み客の7割以上が春から秋に訪れ、約6割が函館と大沼に集中しているほか、宿泊客の割合が3割であることから、通年型観光や滞在型・広域型観光に向けた取り組みが求められています。					

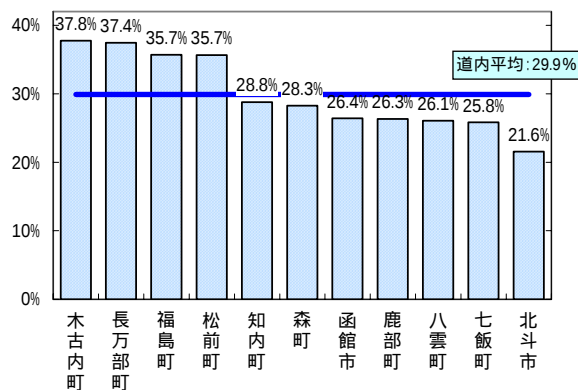
また、平成 17 年度は依然続く厳しい経済状況や、桜の開花が遅れたことなどもあって、4 年連続の減少となっていますが、台湾中心の国際チャーター便の増加にともない、外国人観光客が増加傾向にあり、受入体制の充実などが求められています。また、平成 18 年 6 月 1 日から函館 - ソウル便の定期便が就航されており、さらなる外国人観光客の増加が期待されています。

(北海道ホームページの支庁紹介より)

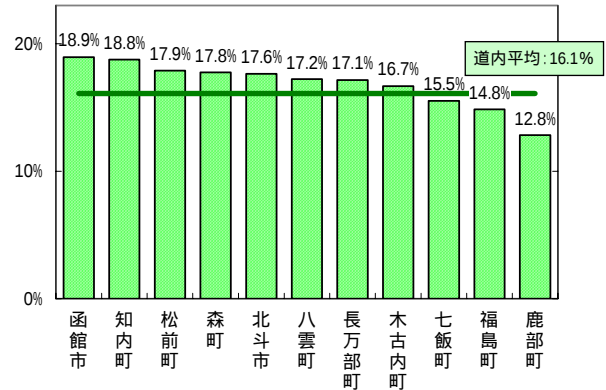
■市町村別基礎情報

市町村名	面積(Km ²)	人口	65歳以上人口						第1号被保険者 介護保険認定		手帳交付状況	
			人口	高齢化率	前期高齢者		後期高齢者		認定者数	認定者率	身体障害者手帳	
					人口	高齢化率	人口	高齢化率			交付者数	交付率
函館市	677.91	284,910	75,276	26.4%	39,194	13.8%	36,082	12.7%	14,262	18.9%	13,526	4.7%
北斗市	397.30	49,371	10,641	21.6%	5,582	11.3%	5,059	10.2%	1,878	17.6%	1,914	3.9%
松前町	293.10	9,568	3,411	35.7%	1,732	18.1%	1,679	17.5%	610	17.9%	671	7.0%
福島町	187.23	5,398	1,927	35.7%	950	17.6%	977	18.1%	286	14.8%	394	7.3%
知内町	196.67	5,296	1,525	28.8%	753	14.2%	772	14.6%	286	18.8%	335	6.3%
木古内町	221.88	5,531	2,088	37.8%	1,022	18.5%	1,066	19.3%	348	16.7%	349	6.3%
七飯町	216.61	28,930	7,475	25.8%	3,780	13.1%	3,695	12.8%	1,160	15.5%	1,207	4.2%
鹿部町	110.61	4,674	1,231	26.3%	747	16.0%	484	10.4%	158	12.8%	272	5.8%
森町	368.27	18,433	5,210	28.3%	2,566	13.9%	2,644	14.3%	925	17.8%	1,120	6.1%
八雲町	955.98	19,335	5,040	26.1%	2,347	12.1%	2,693	13.9%	868	17.2%	1,249	6.5%
長万部町	310.84	6,386	2,391	37.4%	1,053	16.5%	1,338	21.0%	410	17.1%	478	7.5%

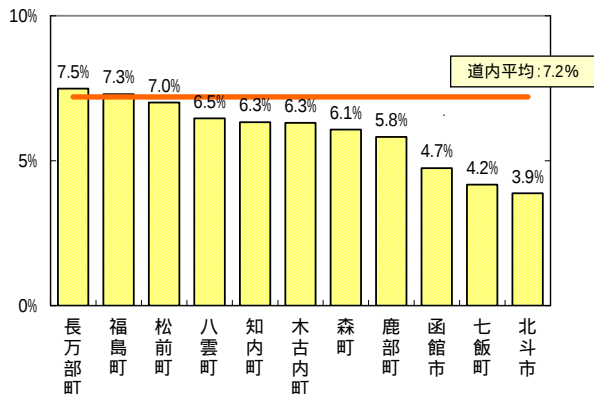
高齢化率



介護保険認定者率



身体障害者手帳交付率



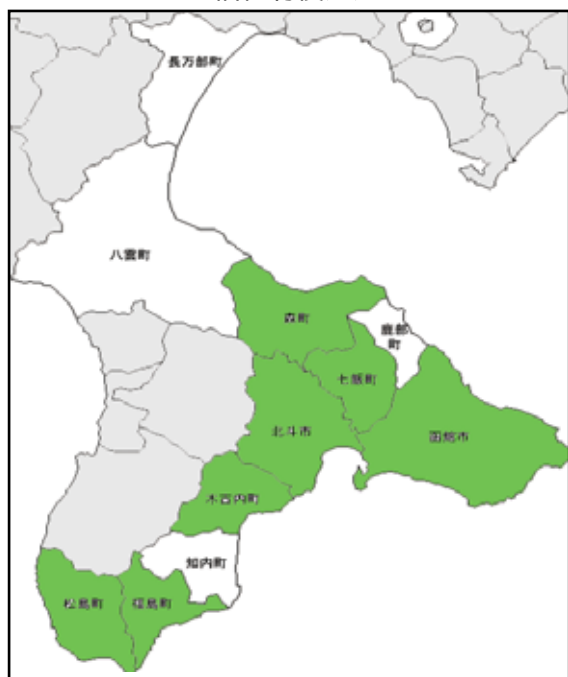
(2) 福祉輸送の実施状況

■ 市町村別福祉輸送サービス提供状況

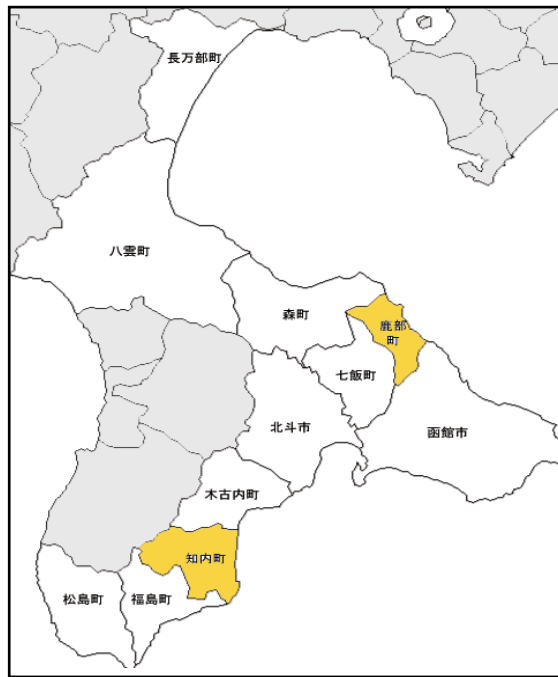
市町村名	自家用有償旅客運送事業						旅客自動車運送事業			
	福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送		一般乗用旅客		特定旅客	
	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	車両台数	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数
函館市	1	3					18	41	5	
北斗市	1	2					2	2	1	4
松前町	1	10								
福島町	1	1					1	4		
知内町			1	20						
木古内町	1	4								
七飯町	1	1					4	6		
鹿部町			1	5						
森町	2	19								
八雲町					2					
長万部町										
渡島支庁計	8	40	2	25	2	0	25	53	6	4

自家用有償旅客運送事業、旅客自動車運送事業ともない地域

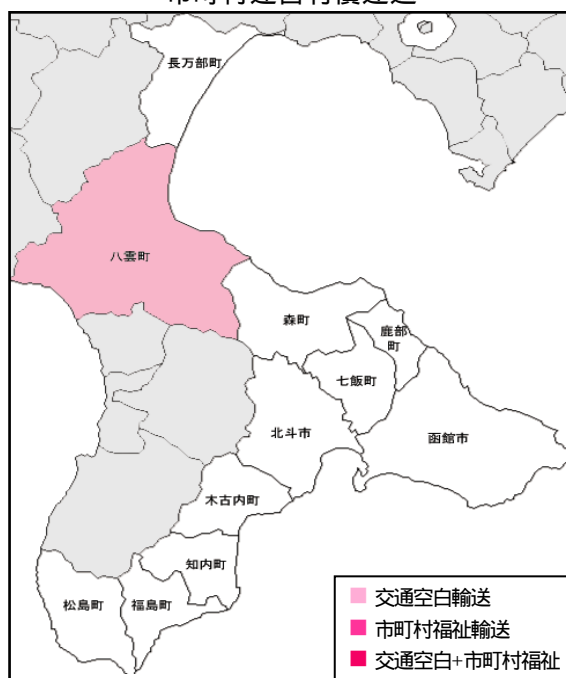
福祉有償運送



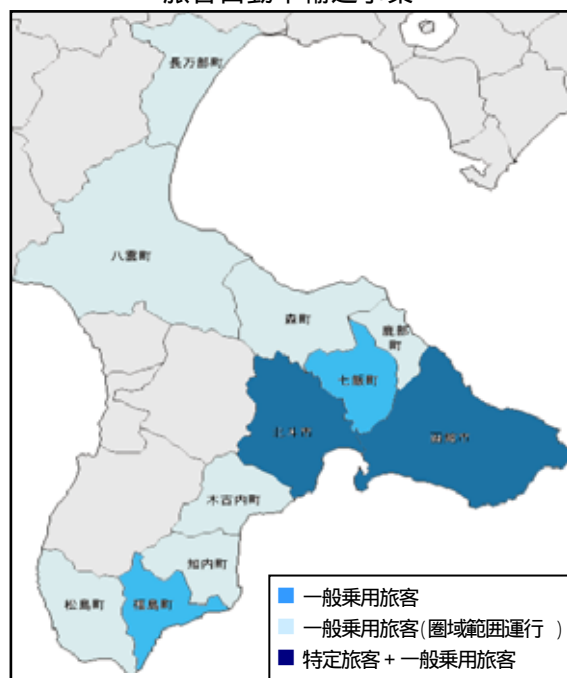
過疎地有償運送



市町村運営有償運送



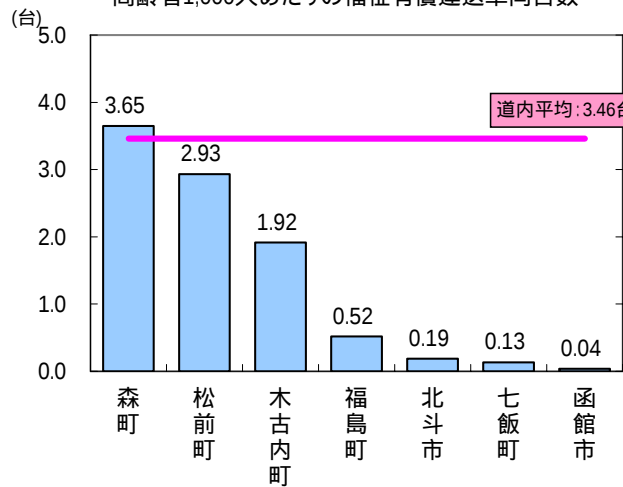
旅客自動車輸送事業



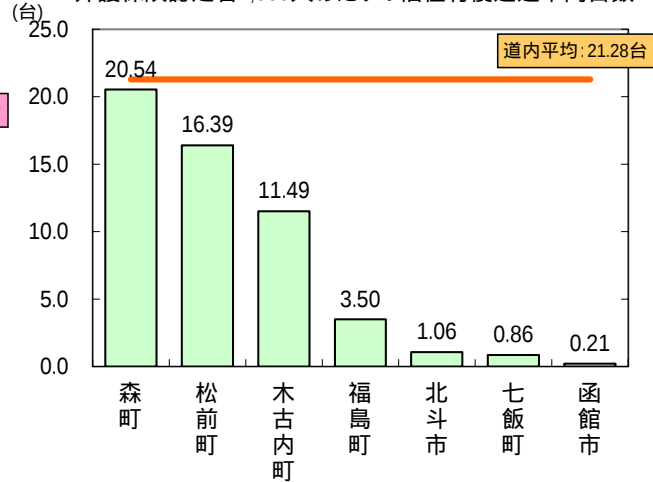
圏域範囲運行とは、事業所は存在しないが、他市町村の事業所で運行をまかっている地域

(3) 福祉有償運送の各種人数あたりの車両台数

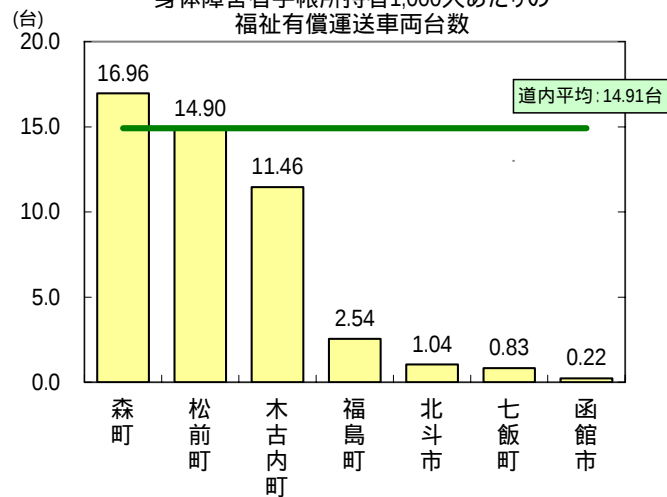
高齢者1,000人あたりの福祉有償運送車両台数



介護保険認定者1,000人あたりの福祉有償運送車両台数



身体障害者手帳所持者1,000人あたりの福祉有償運送車両台数



(4) 渡島支庁まとめ

- 北海道の道南部分で大きな面積（長崎県に匹敵する）を有しており、特に八雲町は日本海と太平洋のどちらにも面しており広大な面積を持つ。
- 人口は函館市が28万人ともっとも多い。また、全道平均と比べて、人口の高齢化率は木古内町、長万部町、福島町、松前町が高くなっており、介護保険人定率については函館市、知内町、松前町が特に高い。
- 福祉有償運送については、長万部町、八雲町、鹿部町、知内町が空白地帯となっているが、そのうち鹿部町と知内町では過疎地有償運送が行われている。また、八雲町では市町村運営有償運送のうち、交通空白輸送が行われているが、車両台数としては2台のみである。
- 旅客自動車輸送事業をみると、一般乗用旅客と特定乗用旅客に関する事業所が存在するのは函館市、七飯町、北斗市、福島町のみで、それ以外は「圏域」で登録されている。
- 圏域を除くと長万部町が交通空白地帯ということになる。
- 高齢者1,000人あたり、介護認定者1,000人あたり、身体障害者手帳1,000人あたりそれぞれの台数で全道平均をすべて上回っているのは森町だけであり、ついで松前町が全道平均に近い。また、逆に、函館市やその近隣の七飯町、北斗町に关してみると非常に低い値を示している。

3. 檜山支庁（江差町／上ノ国町／厚沢部町／乙部町／奥尻町／今金町／せたな町）

（１）地域概要

面 積	2,630km ²	人 口	47,998 人	世 帯	20,719 世帯
概 要					
地 勢					
檜山管内は、北海道の南西部、渡島半島の日本海側に位置し、南北に細長い地形です。大成沖 27 kmにある離島の奥尻町を含む全 7 町で構成されています。 総面積は 2,630km²で佐賀県よりやや大きく、全道 83,454km²のうち、3.2%を占め、14 支庁の中では最も面積が小さい支庁です。西部は日本海側に面して平野が少なく、7町のうち5町が海岸線を有しています。また海岸沿いには切り立つ断崖や奇岩が連続し、夏には穏やかで澄みわたった海とそこに沈む美しい夕日を眺めることができます。北部には後志利別川、南部には厚沢部川、天の川などが流れ、その流域は肥沃な農耕地となっています。管内人口は 47,998 人（平成 17 年 12 月末住民基本台帳）で、全道人口の約 1%となっています。また、高齢者比率は 29.2%と高く全道平均（21.1%）を遙かに上回っています。					
気 候					
北上する対馬海流の影響を受けて比較的温暖で、平成 17 年の年平均気温は 10.1 と全道でも気温の高い地域です。また、すばらしい景観を有する「檜山」、「狩場茂津多」の 2 つの道立自然公園（管内総面積の約 10%）があり、海、山、温泉等の自然に恵まれ、本州と北海道の樹木の植生が混じり、スギの北限、トマツの南限となっています。また、海岸部は冬期間における季節風（たば風）が強く、11 月～3 月にかけての月平均風速は 6.6～7.3m/s と道内でも有数の強風地帯です。積雪量は沿岸部では少なく、山間部では比較的多くなっています。					
産 業					
農 業					
管内の農業は、北部の後志利別川流域、南部の厚沢部川、天の川流域において、水稻、馬鈴しょ、野菜類を中心として生産が営まれています。また、丘陵地や山沿いでは酪農、肉用牛及び養豚が営まれています。水稻については、「きらら 397」、「ほしのゆめ」を主体に作付けされており、良食味・高白度が特徴となっています。馬鈴しょについては、南部では「メークイン」、北部では「男爵」が作付けされており、収益の高い 7 月・8 月に出荷する早出し栽培の推進が図られています。野菜はだいこん、スイートコーン、にんじん、キャベツなど露地野菜中心の作付けとなっており、花きは南部地域でリンドウを主体にストック、トルコギキョウが作付けされています。最近では、農家戸数の減少や農業者の高齢化への対応が緊急課題となっており、南部地域では、温暖な気候を活かし、「アスパラガス立茎栽培」と「いちご高設栽培」の取組みが進んでおり、高齢者や新規就農者にも取り組みやすく、高収益が見込める農業の導入が進んでいます。また、平成 14 年 2 月に檜山・渡島両支庁管内 13 農協の合併により誕生した新函館農業協同組合の統一ブランド「函館育ち」による出荷が多くなってきています。他には、化学肥料や農薬の使用をできるだけ削減する「クリーン農業」も進んできており、YES!clean 表示制度に基づく登録は 7 産地となっているほか、瀬棚町では「有機酪農と有機農業の推進特区」が認定されるなど、有機栽培が活発となっています。このように最近の安全・安心な食品に対する消費者の関心の高まりに対応した取組みも増えています。					
森林・林業					
管内の森林面積は 216,082ha で、土地総面積の 82.2%を占めており全道でも森林面積の割合の高い地域となっています。所管別に見ると、国有林 60.9%、道有林 10.9%、一般民有林 28.2%となっています。管内は、森林帯上は冷温帯林に位置し、ブナ、カエデ等の広葉樹が多く、針葉樹では渡島半島特有のスギやヒノキアスナロ（ヒバ）が生育しているのが特徴となっています。スギについては、「道南スギ」の産地化に向け、またヒノキアスナロについては、ふるさとゆかりの木としての森づくりに向け、取り組みを進めています。主要造林樹種はスギ、トマツで最近の造林面積の 7～8 割を占めていますが、ヒノキアスナロも少ないながらも安定的に造林されています。また、スギ、トマツ、ブナ、ナラを中心に、素材、製材、チップ等が生産されています。間伐材については、地域における有効利用策として、バイオマス・エネルギーや暗渠疎水材としての活用等に積極的に取り組んでいます。					
水産業					
管内の漁業形態は、そのほとんどが家族労働を主体とする小型漁船経営で、沿岸漁業が中心となっています。スケトウダラ・イカ等の回遊資源を主たる魚種として漁業を営んでいますが、これら魚種は漁獲が不安定なため、「つくり育てる漁業（栽培漁業）の振興」により経営の安定化を図っています。 上ノ国町、せたな町、奥尻町、八雲町（旧熊石町）にアワビ種苗生産施設を整備し、アワビの育成・生産を行っているほか、北海道栽培漁業瀬棚センターで、ヒラメ種苗生産を行うとともに、関係地先に稚魚の放流を行うなど水産資源増大に取り組んでいます。また、日本海の冬は特に風が強く海が荒れるため、波の静かな広い海面をつくり出し、漁業者がしっかりとした管理のもとで水産物が生産できる増養殖場の整備も行われています。 一方、漁業を取り巻く環境は厳しく、魚価の低迷、漁業者の高齢化などの数々の問題を抱えています。しかし、先細りする水産業を打破するため全道初の 1 支庁 1 漁協となったひやま漁業協同組合が中心となり、支庁、管内各町が一丸となって水産業の振興に努力しています。その広域的な取り組みとして、ひやまのアワビのブランド化を目指した「ひやまのアワビ普及促進事業」の実施や、地域の特産物である「釣りものたらこ」の名称を一般公募し、合併後、初の統一ブランド「紅乙女」として発売する独自性のある取り組み、直販店の開設など、加工・販売などにも努力しています。さらに、ひやま漁業協同組合では、平成 12 年からスケトウダラの韓国への生鮮輸出を行っており、平成 14 年度からは八雲町（旧熊石町）の海洋深層水を使用して魚体の洗浄処理を行ってから発泡詰めを行うなど、付加価値の向上に努めています。					

工 業

管内の工業は、地場の農水産物を原料とした食料品製造業や、木材・木製品・窯業、土石製品製造業などの地場資源活用型の工業が主体です。事業所数、従業者数、工業出荷額はいずれも減少傾向にあり、従業者規模でも10人未満の事業所が約半数を占めています。管内は平地が少ないなど、企業の誘致には不利な条件にあるものの縫製、化粧品製造、空調フィルター製造等の工場が立地しています。また、海洋深層水の利活用や風力発電など、地場資源や地域の特性を活かした新たなプロジェクトに大きな期待がかけられています。

商 業

管内の商業は、経営規模では従業員1～2人の小規模な商店が全体の半分以上を占め、業種別の商店の数で見ると、小売業の割合が約9割を占めるといった特徴が見られます。また、人口減等に伴い商店数は減少傾向にあります。函館地区等への購買力の管外流出や、管内人口の減少などから商店1店あたりの販売額も、全道平均額の30%に満たない状況にあるほか、かつてない深刻な経済情勢の中、売上高の減少や経営者の高齢化、後継者不足などの問題を抱えています。こうした中、管内各町、商工会では個人消費を刺激し、地元商店街への吸引力を高めながら商業活動を活発化させようと「ポイントカード事業」、「空き店舗対策」を実施するほか、街の顔である中心市街地活性化に向けた活動（江差町、せたな町）など、商店街の活性化に向けた積極的な取り組みを展開しています。

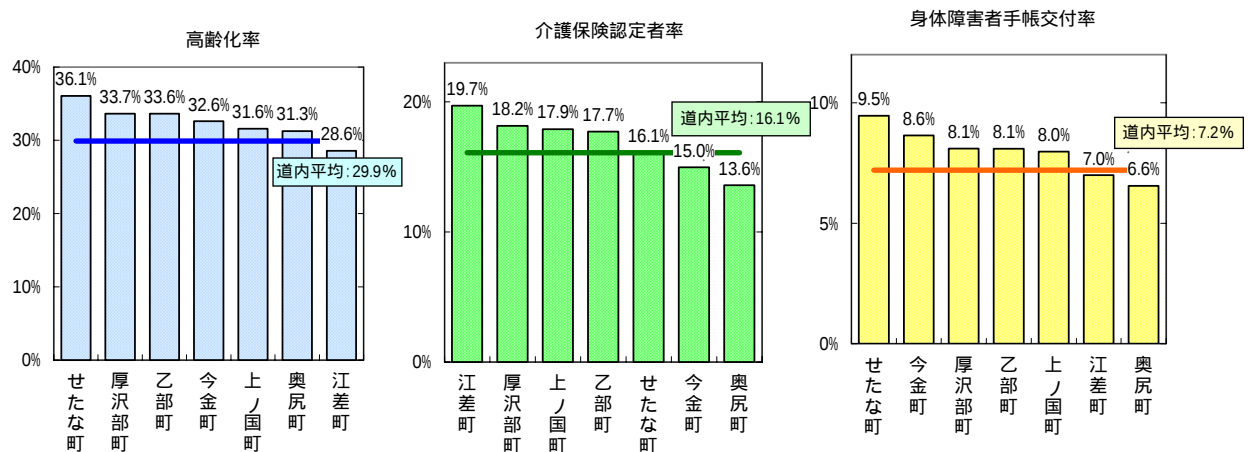
観 光

管内には北海道の中世史を物語る館跡、最古級の寺社、ニシン漁全盛期の商家などの歴史遺産、二つの道立公園や遊歩百選に選ばれた森、縁結びの桂、日本一にも選ばれた清流などの自然があります。近年、それらの観光資源を案内する町民有志による観光ボランティアガイド協会が設立されるなど、住民の手によるまちづくり、観光地づくりが盛んになってきています。また、ウニやアワビといった新鮮な海産物はもちろん、じゃがいもやゆり根等の農産物を使った料理開発を行い、地元の旅館や飲食店で提供するなどして観光客の誘致を図っています。

（北海道ホームページの支庁紹介より）

■市町村別基礎情報

市町村名	面積(Km ²)	人口	65歳以上人口						第1号被保険者 介護保険認定		手帳交付状況	
			人口	高齢化率	前期高齢者		後期高齢者		認定者数	認定者率	身体障害者手帳	
					人口	高齢化率	人口	高齢化率			交付者数	交付率
江差町	109.59	9,412	2,688	28.6%	1,340	14.2%	1,348	14.3%	530	19.7%	658	7.0%
上ノ国町	547.58	6,172	1,950	31.6%	950	15.4%	1,000	16.2%	349	17.9%	492	8.0%
厚沢部町	460.42	4,680	1,575	33.7%	725	15.5%	850	18.2%	286	18.2%	379	8.1%
乙部町	162.56	4,586	1,542	33.6%	792	17.3%	750	16.4%	273	17.7%	371	8.1%
奥尻町	142.98	3,343	1,045	31.3%	504	15.1%	541	16.2%	142	13.6%	219	6.6%
今金町	568.14	6,190	2,018	32.6%	914	14.8%	1,104	17.8%	302	15.0%	535	8.6%
せたな町	638.67	10,107	3,645	36.1%	1,668	16.5%	1,977	19.6%	587	16.1%	956	9.5%



(2) 福祉輸送の実施状況

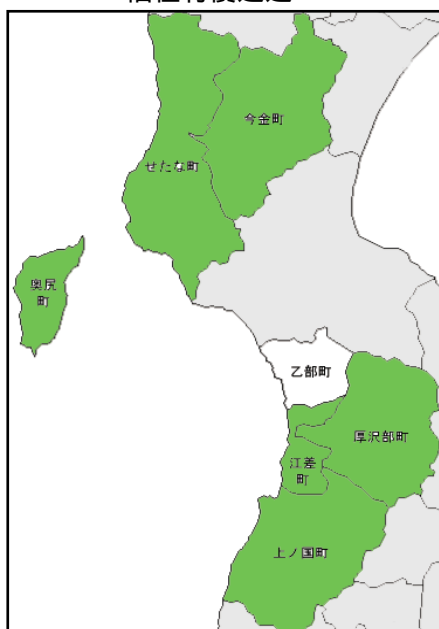
■市町村別福祉輸送サービス提供状況

市町村名	自家用有償旅客運送事業						旅客自動車運送事業			
	福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送		一般乗用旅客		特定旅客	
	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	車両台数	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数
江差町	2	7				1				
上ノ国町	1	4								
厚沢部町	1	19				18	2	8		
乙部町							1	8		
奥尻町	1	4			7					
今金町	1	3								
せたな町	1	3					1	1		
檜山支庁計	7	40	0	0	7	19	4	17	0	0

自家用有償旅客運送事業がない地域(圏域範囲は除く)

圏域範囲とは、事業所はないが近隣市町村で運行をまかなっている地域

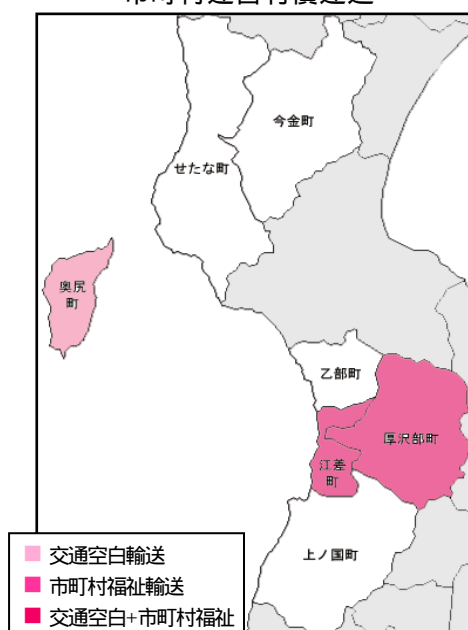
福祉有償運送



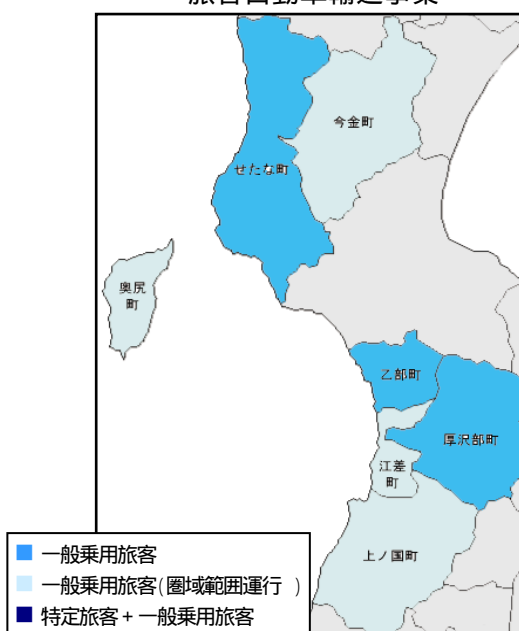
過疎地有償運送



市町村運営有償運送



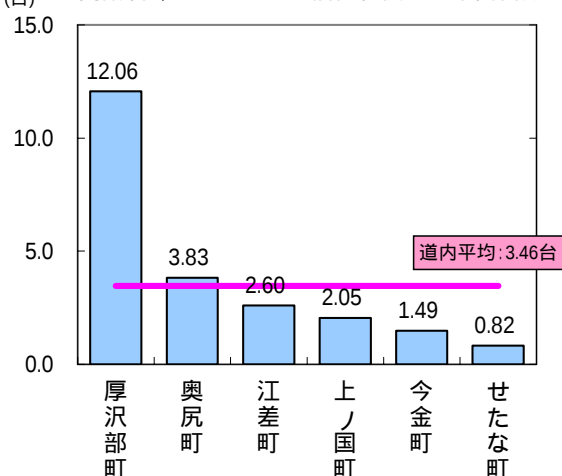
旅客自動車輸送事業



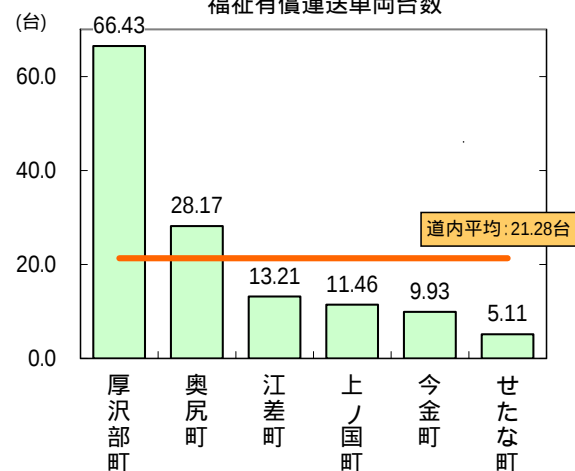
圏域範囲運行とは、事業所は存在しないが、他市町村の事業所で運行をまかなっている地域

(3) 福祉有償運送の各種人数あたりの車両台数

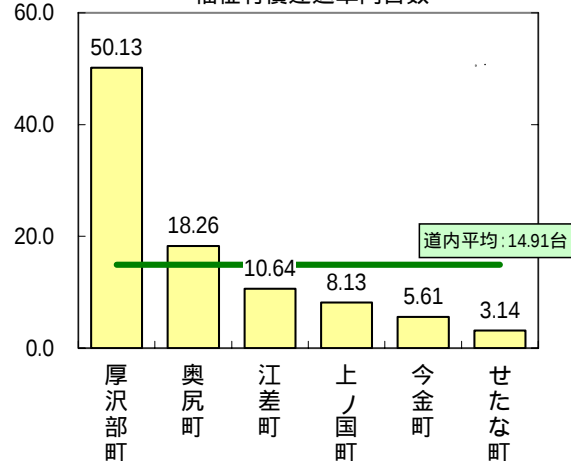
(台) 高齢者1,000人あたりの福祉有償運送車両台数



(台) 介護保険認定者1,000人あたりの福祉有償運送車両台数



(台) 身体障害者手帳所持者1,000人あたりの福祉有償運送車両台数



(4) 檜山支庁まとめ

- 道南の日本海側に縦長に位置し、奥尻島の離島も有し、佐賀県に匹敵する面積を持つ。
- 全支庁の中で日高支庁と同じく市を持たず、最も人口の多いせたな町でも1万人程度の人口となっている。
- 全体的に高齢化率等が道内平均を上回っている。ただし、せたな町に関しては檜山支庁内で最も高齢化率、身体障害者手帳交付率が高いにもかかわらず、介護保険認定率は道内平均並みとなっている。
- 人口は少ないエリアではあるが、乙部町を除いて福祉有償運送の事業は行われており、過疎地有償運送は行われていない。
- 乙部町については、旅客自動車輸送事業にて1つの事業所が一般乗用旅客にてサービスを提供しており8台存在している。
- 福祉有償運送事業の各種人数あたりの全道平均との比較をみると、厚沢部町が突出している。一方で人口が最も多いせたな町では、それぞれの台数において道内平均を大きく下回っている。離島である奥尻島は全道平均並みの台数がある。

4. 後志支庁

(小樽市 / 島牧村 / 寿都町 / 黒松内町 / 蘭越町 / ニセコ町 / 真狩村 / 留寿都村 / 喜茂別町 / 京極町 / 倶知安町 / 共和町 / 岩内町 / 泊村 / 神恵内村 / 積丹町 / 古平町 / 仁木町 / 余市町 / 赤井川村)

(1) 地域概要

面 積	4,305.8km ²	人 口	240,779 人	世 帯	115,879 世帯
概 要					
地 勢 後志は、北海道の南西部に位置し、江戸時代には西蝦夷地に属する地域でした。北部西部は日本海に面し、東部は石狩地域に接しています。また、南は西胆振地域に接するとともに、渡島半島(渡島地域・檜山地域)の付け根にまで及んでいます。後志の総面積は 4,305.82 km²で、全道の総面積 83,456.38 km²の 5.2%を占めており、この面積は山梨県(4,201.17 km²、境界未定区域を除く。)の総面積を上回っています。					
気 候 後志の気象は、日本海側気候に属し、一般的に春から夏にかけては温暖で晴天に恵まれる日が多いのですが、冬は北西の季節風を受け、降雪量が多く、根雪は 11 月中旬から 4 月中旬に及びます。しかし、複雑な地勢のため、地域によっては気象はかなり異なり、特に冬はその差が著しく現れます。北後志は、比較的温暖で積雪量も少なめであるのに対し、羊蹄山麓地帯では、本道の中でも初雪が早く、道内屈指の豪雪地帯となっています。また積丹半島以南の沿岸地帯は、季節風を正面から受けて風雪が強く、海は波浪が激しくなります。					
産 業					
農 業 後志の農業は、気候や土地等の自然条件、大消費地である札幌圏に隣接しているなどの地理的条件から、蘭越・共和の水稲、羊蹄山麓の畑作物・野菜、北後志の果樹、南後志の畜産など幅広い生産活動が行われており、さながら「北海道農業の縮図」と呼べる特徴があります。管内の耕地面積は 36,800ha、農業従事者は 8,882 人、農業産出額は 390 億円で、全道に対する割合はそれぞれ 3.2%、3.6%、3.7%となっています。また、農家一戸当たりの耕地面積は全道の約半分であるのに対し、単位面積当たりの生産農業所得は約 1.2 倍となっており、比較的集約的な農業が展開されているといえます。					
森林・林業 後志の森林面積は、333 千 ha で全道の 6%を占め、樹種別では、カラマツ類、トドマツの針葉樹とナラ類、カンバ類、シナノキ、カエデ、ブナ等の広葉樹で構成され、ブナ自生地は北限となっています。森林組合は、2組合設立されており、民有林の担い手として森林整備等の事業を実施しています。木材加工工場は、製材、チップ、合単板工場合わせて 11 工場が操業しています。また、各地域においては、人工林の造成・複層林施業の促進及び育成天然林施業等を積極的に進めるとともに景観の保全や河川などの水質の保全、農業用水等の確保など森林の公益的機能にも配慮した山づくりを推進することとしています。このほか、生活環境の整備及び効率的な森林施業等のために重要な基盤である林道事業並びに羊蹄山麓の火山灰地帯及び日本海沿岸の崩壊地の予防治山などの治山事業を積極的に実施しています。また、地域材の需要拡大を図るため、「地域材を使って守ろう、しりべしの森」運動がスタートし、この運動の PR の取組みとして作製された、後志産カラマツ(ようていカラマツ)間伐材を工事標識に使用しています。近年、森林浴や自然観察、森林レクリエーションなどの自然とのふれあいを求める人々が増加傾向にあるとともに、水産資源と森林との関係に地域住民の関心が高まっており、関係機関が一体となり河畔林整備に取り組んでいます。					
水産業 後志の漁業は、古くは「ニシン漁」で栄え、「刺し網漁業」等の漁船漁業を主体として発展してきましたが、昭和 52 年の世界各国の漁業専管水域の宣言、いわゆる「200 海里」の設定による国際的な漁場の制約のため、沖合漁業からの大幅な撤退を余儀なくされました。さらに、平成 8 年からは「国連海洋法条約」の発効により、国内はもとより沿岸諸国の漁獲可能量(TAC)の設定など資源の管理を主体とした国際ルールがスタートしました。こういった状況の中で、後志の漁村地域においては、漁業経営体の減少・漁業就労者の高齢化の進行、水産物の市場価格の下落など水産業の低迷が長い間続いており、安定した資源づくりや、漁協・漁家の経営の体質強化など、魅力的でやりがいのある地域産業としての発展に向けた取り組みが必要となっています。漁業の安定的な発展に向けて後志支庁管内の漁村地域では、卵から幼稚仔の時期を人工飼育して天然海域へ放流したうえで、漁場の造成や資源管理の適正化を進めながら、安定した資源の造成を図る栽培漁業の確立に取り組んでいます。また、都市に近接した後志地域の利点を生かし、遊漁・体験漁業・浜市場など都市と漁村の交流の拡大に向けた取り組みが進められています。					
工 業 平成 19 年工業統計調査によると、後志の製造業は、事業所数が 488 で全道の 7.2%、製造品出荷額が約 2,225 億円で 4.0%、従業者数が 11,664 人で 6.1%を占めています。後志の事業所の 8 割以上が従業員数 30 人未満で、従業員 1 人当たりの製造品出荷額は約 19.7 百万円と、全道平均 30.2 百万円の 65.2%の水準となっており、比較的小規模な事業所が多いことがわかります。業種別でみると、食品製造関係(飲料・飼料を含む)が製造品出荷額の 57.9%を占め、特に町村部においては、72.9%を占めるなど、地方資源型工業の中でも農林水産物利用の割合が高くなっています。					

商 業

平成 19 年商業統計調査によると、後志の商業は、事業所数が 3,432 で全道の 5.9%、従業者数が 18,980 人で全道の 4.1%、年間販売額は約 4,329 億円で全道の 2.4%となっています。従業員 4 人以下の事業所数は、卸売業が 365(管内卸売業の 57.3%)、小売業が 2,004(管内小売業の 71.7%)となっています。1 事業所当たりの年間販売額は、卸売業が 3 億 440 万円で全道平均の 35.7%、小売業が 8,551 万円で全道平均の 61.9%となっています。

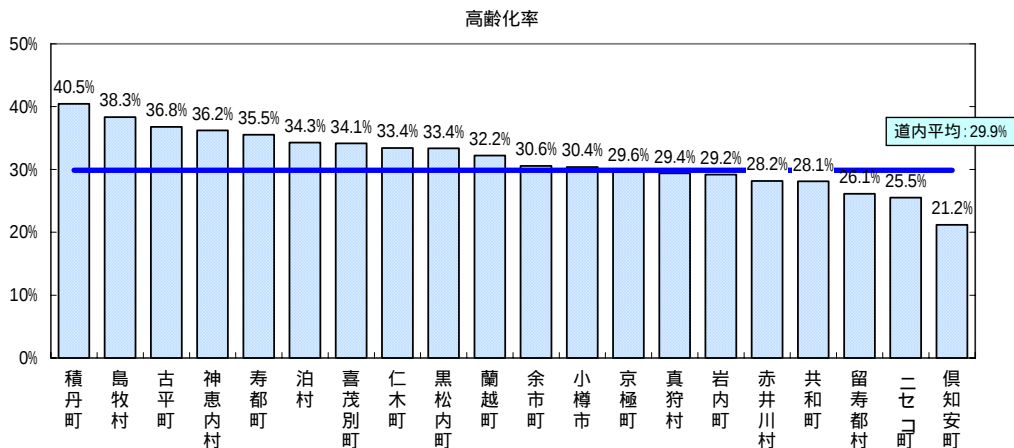
観 光

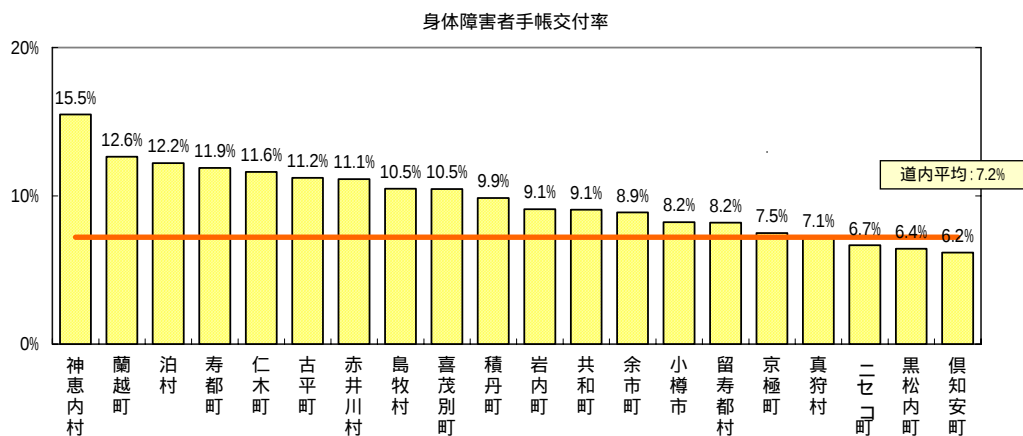
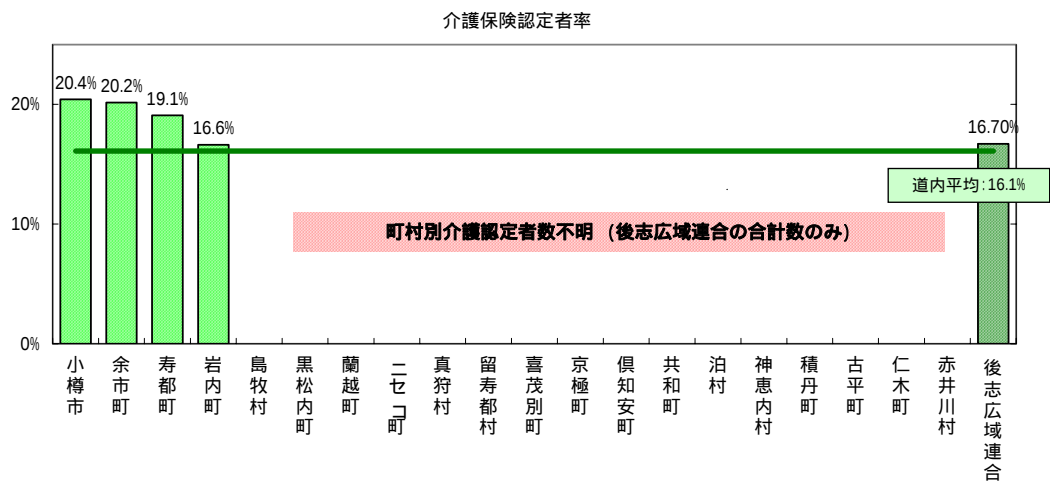
管内は、支笏洞爺国立公園の羊蹄地区、ニセコ積丹小樽海岸国定公園、狩場茂津多道立自然公園を有し、小樽、ニセコ、積丹といった全国的な観光地もあることから、年間 2,143 万人(平成 19 年度観光入込客数調査)の観光客が訪れる本道を代表する観光エリアとなっています。景観に優れ、史跡・伝統文化に富んだ日本海の海岸線、豊富な降雪量と雪質の良さで国内有数のスキーリゾートとして知られるニセコ連峰の山々、豊富な湧出量を誇る数多くの温泉、そして新鮮な山海の幸、おいしい水など、多くの観光資源に恵まれています。また後志の雄大な自然をフィールドにしたラフティング、カヌーに代表される各種アウトドアスポーツやハム・ソーセージ作り、果物狩り、ジャガイモ掘り、工芸品作りなど、多種多様な体験型観光も充実しています。管内における主な見所・名所としては、日本百名山の 1 つであり、富士山に似た姿から蝦夷富士(えぞふじ)とも称される「羊蹄山」、北の海とは思えない透き通った「積丹ブルー」を眼下に望むことができる北海道遺産の「神威岬」、北海道最大級で日本の滝百選に選ばれた名瀑「賀老の滝」、縄文時代の古代人が彫った崖壁彫刻、土器、炉跡等をみることができる国指定史跡「フゴッペ洞窟」などがあります

(北海道ホームページの支庁紹介より)

■市町村基礎情報

市町村名	面積(Km ²)	人口	65歳以上人口						第1号被保険者 介護保険認定		手帳交付状況	
			人口	高齢化率	前期高齢者		後期高齢者		認定者数	認定者率	身体障害者手帳	
					人口	高齢化率	人口	高齢化率			交付者数	交付率
小樽市	243.30	135,500	41,164	30.4%	20,753	15.3%	20,411	15.1%	8,404	20.4%	11,141	8.2%
島牧村	437.26	1,927	739	38.3%	336	17.4%	403	20.9%			202	10.5%
寿都町	95.37	3,568	1,268	35.5%	580	16.3%	688	19.3%	242	19.1%	424	11.9%
黒松内町	345.47	3,219	1,074	33.4%	446	13.9%	628	19.5%			207	6.4%
蘭越町	449.68	5,530	1,783	32.2%	796	14.4%	987	17.8%			699	12.6%
ニセコ町	197.13	4,673	1,192	25.5%	561	12.0%	631	13.5%			312	6.7%
真狩村	114.43	2,283	671	29.4%	282	12.4%	389	17.0%			163	7.1%
留寿都村	119.92	2,025	529	26.1%	225	11.1%	304	15.0%			166	8.2%
喜茂別町	189.51	2,543	868	34.1%	432	17.0%	436	17.1%			266	10.5%
京極町	231.61	3,444	1,020	29.6%	450	13.1%	570	16.6%			258	7.5%
倶知安町	261.24	15,393	3,259	21.2%	1,702	11.1%	1,557	10.1%			952	6.2%
共和町	304.96	6,755	1,899	28.1%	908	13.4%	991	14.7%			613	9.1%
岩内町	70.63	15,437	4,505	29.2%	2,387	15.5%	2,118	13.7%	749	16.6%	1,405	9.1%
泊村	82.35	1,983	680	34.3%	281	14.2%	399	20.1%			242	12.2%
神恵内村	147.71	1,091	395	36.2%	148	13.6%	247	22.6%			169	15.5%
積丹町	238.20	2,729	1,104	40.5%	482	17.7%	622	22.8%			269	9.9%
古平町	188.41	3,896	1,433	36.8%	701	18.0%	732	18.8%			437	11.2%
仁木町	167.93	3,874	1,294	33.4%	610	15.7%	684	17.7%			450	11.6%
余市町	140.60	21,702	6,631	30.6%	3,280	15.1%	3,351	15.4%	1,337	20.2%	1,929	8.9%
赤井川村	280.11	1,231	347	28.2%	162	13.2%	185	15.0%			137	11.1%
後志広域連合									3,061	16.7%		





（２）福祉輸送の実施状況

■市町村別福祉輸送サービス提供状況

市町村名	自家用有償旅客運送事業						旅客自動車運送事業			
	福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送		一般乗用旅客		特定旅客	
	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	車両台数	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数
小樽市							17	74	13	62
島牧村										
寿都町										
黒松内町	1	8				3				
蘭越町					4					
ニセコ町										
真狩村	1	6								
留寿都村			1	4						
喜茂別町										
京極町	1	5								
倶知安町	2	12								
共和町	1	2					1	10		
岩内町	1	6								
泊村			1	4						
神恵内村										
積丹町	1	2								
古平町	2	19					1	1		
仁木町	1	3					1	1		
余市町	2	7					4	45		
赤井川村						4				
後志支庁計	13	70	2	8	4	7	24	131	13	62

自家用有償旅客運送事業がない地域（圏域範囲は除く）

圏域範囲とは、事業所はないが近隣市町村で運行をまかっている地域

自家用有償旅客運送事業、旅客自動車運送事業ともない地域

福祉有償運送



過疎地有償運送



市町村運営有償運送

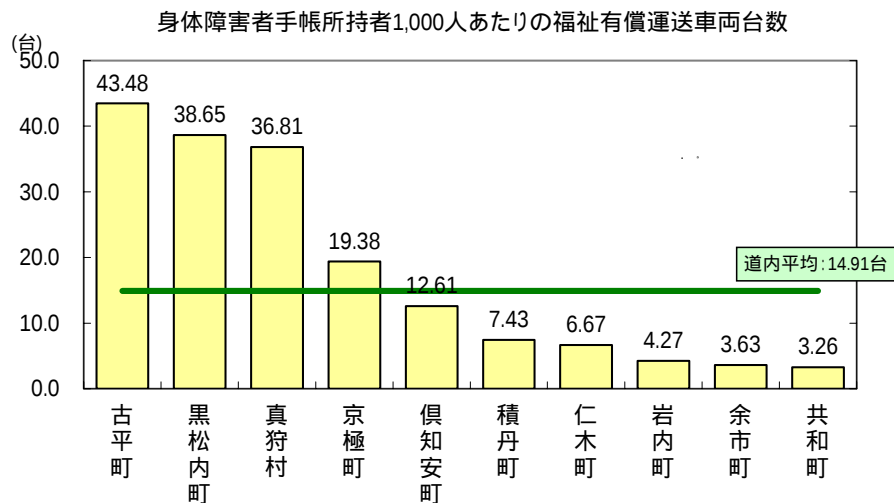
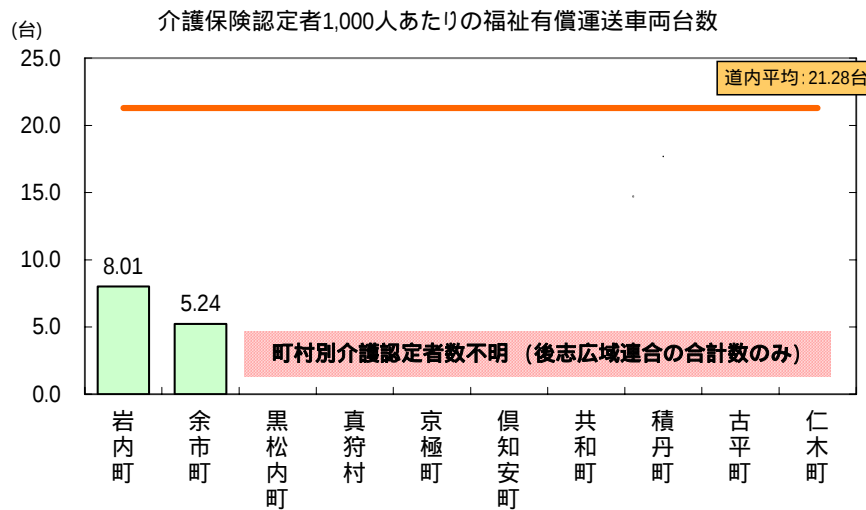
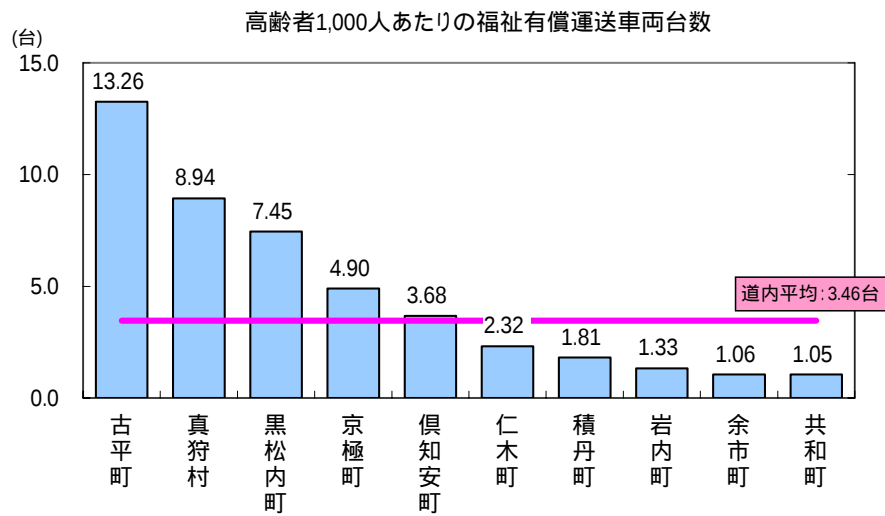


旅客自動車輸送事業



圏域範囲運行とは、事業所は存在しないが、他市町村の事業所で運行をまかなっている地域

(3) 福祉有償運送の各種人数あたりの車両台数



(4) 後志支庁まとめ

- 石狩湾と日本海とに挟まれ、南は渡島支庁や檜山支庁、東は石狩支庁に面しており、山梨県の総面積を超えている。
- 小樽市が 13.5 万人を有するがそれに次ぐのは余市町の 2.1 万人。また 2,000 人を下回る町村も 4 つ存在する。
- 人口の高齢化率では積丹町、島牧村、古平町、神恵内村など海岸沿岸部地域の高齢化率が高く、留寿都、ニセコ、倶知安町など内陸の自治体の高齢化率は道内平均を下回っている。なお、後志広域連合が介護保険事業を展開しているため、当該連合に属する市町村別の要介護度認定者数は把握できない。(積丹町は後期高齢化率(74 歳以上)が北海道で最も高い、次いで神恵内村が 2 位となっている)
- 福祉有償運送は小樽市、神恵内村、赤井川村、島牧村など 6 つの自治体において事業所が存在していない。ただし、小樽市に関しては、近隣市町村の事業所が営業区域として小樽市を登録している事例がある。また、小樽市では、旅客自動車輸送事業が行われており、17 の団体、74 台の車両が存在している。
- 福祉有償運送を行っていない自治体のうち、泊村と留寿都村では過疎地有償運送を行っており、赤井川村、蘭越町では市町村運営有償運送が行われている。
- 福祉有償運送において、高齢者 1,000 人あたりの車両台数をみると、古平町、真狩村、黒松内町、京極町、倶知安町では道内平均を超えている。うち、倶知安町を除く 4 つの町村では身体障害者手帳所持者 1,000 人あたりの台数も道内平均を超えている。

5 . 空知支庁

(夕張市 / 岩見沢市 / 美唄市 / 芦別市 / 赤平市 / 三笠市 / 滝川市 / 砂川市 / 歌志内市 / 深川市 / 南幌町 / 奈井江町 / 上砂川町 / 由仁町 / 長沼町 / 栗山町 / 月形町 / 浦臼町 / 新十津川町 / 妹背牛町 / 秩父別町 / 雨竜町 / 北竜町 / 沼田町 / 幌加内町)

(1) 地域概要

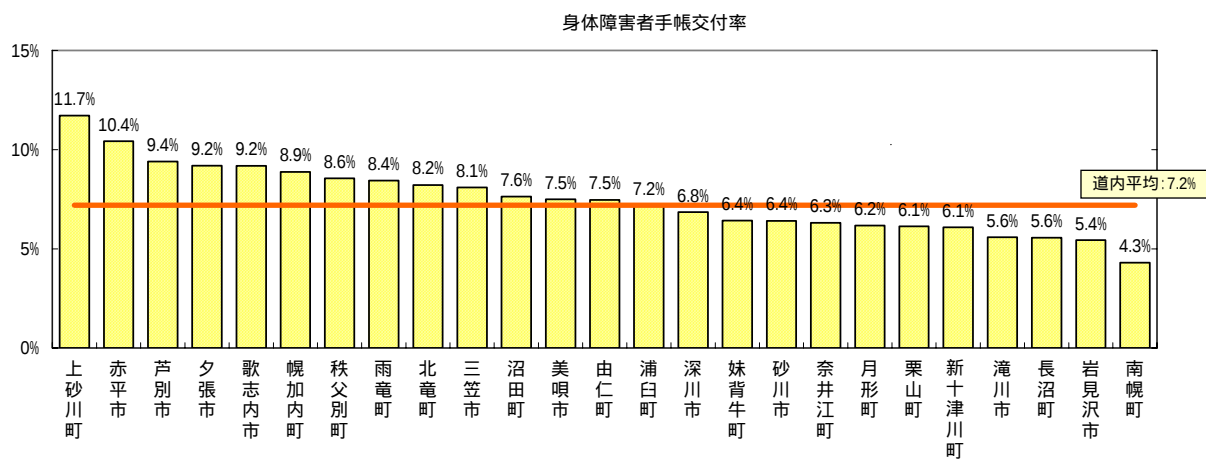
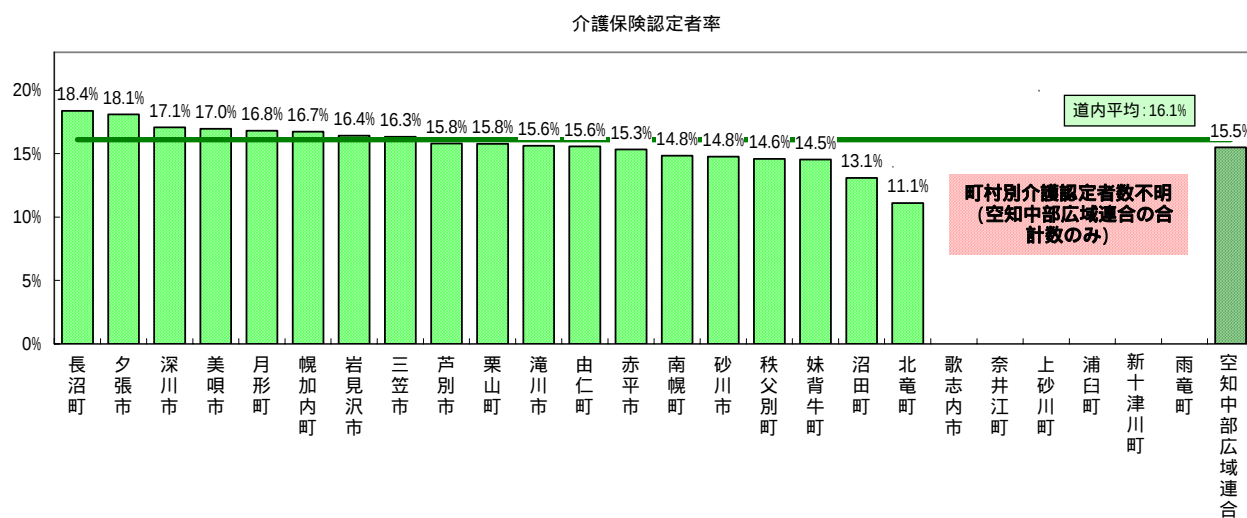
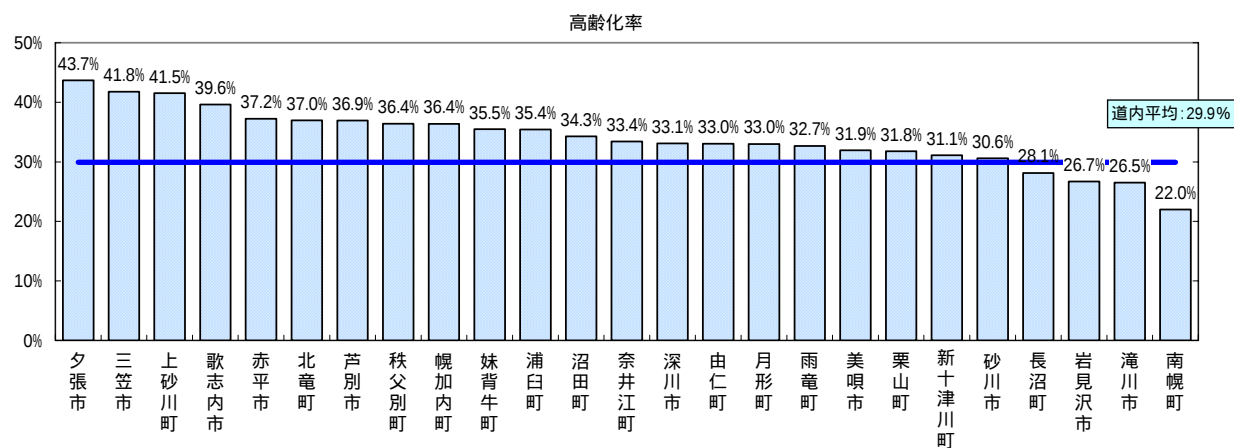
面 積	6,558.22km ²	人 口	365,594 人	世 帯	148,615 世帯
概 要					
地 勢					
空知支庁は、北海道の中央部よりやや西方に位置し、東西約 70km、南北約 180km に及ぶ広大な内陸地帯で、中央を石狩川が縦走し、南西部にかけて豊かな石狩平野が広がっています。総面積は、約 6,558km ² で、全道面積の約 7.9%を占め、ほぼ島根県に匹敵し、東京都の約 3 倍の広さになります。					
気 候					
気候は、南北に細長く続く内陸地帯のため、南部と北部、平野部と山岳部によって気象状況が異なり、南部に比べて、北部は寒暖の差が大きくなっています。降水量は、夏から秋にかけて比較的多く、降雪量も、北部では3m以上になる月があります。					
産 業					
農 業					
空知管内は、耕地面積が 12 万 1,200ha(H20)と全道の約 10%を占め、稲作を主体に地域の特色を生かしながら、野菜や花などを取り入れた様々な農業が展開されています。管内の農家戸数は 11,020 戸(H17)と全道の約 20%を占めていますが、高齢化の進行や後継者不足などから年々減少しています。管内の農業産出額は、水稲や野菜を中心に 1,089 億円(H18)と全道の約 10%を占め、支庁別では十勝、網走、上川に次いで第 4 位となっています。水稲の作付け面積は、5 万 2,500ha(18 年産)と全道の 46%を占めています。安全・安心で良食味な米の生産に取り組んでおり、また、地域ごとに統一した栽培基準を定めるなどブランド米づくりを進めています。近年では、直播(ちょくはん)向けの品種導入や暗渠を利用した地下かんがい技術など、革新的な技術開発により、省力化、低コスト化を進める水稲の直播栽培が増加しています。畑作物については、米の生産調整の拡大により、小麦や大豆などの作付けが増加しており、特にそばは、道内最大の産地となっています。また、野菜や花きは、水田農業における所得確保の手段として作付され、このうち、野菜では、トマト、はくさい、メロン、なす、ねぎ、きゅうり、かぶ、たまねぎ等が道内有数の産地となっています。また、花きでは、切花の作付面積が道内で、集出荷体制の広域化・ブランド化が進められており、「ホクレンの花(北育ち元気村花き生産組合)」、「大地の花便り(南空知花き生産組合)」などの銘柄で出荷されています。また、管内では道の「YES! clean 表示制度」に全道一の 84 集団(20 市町・延べ 2,696 戸)が登録するとともにエコファーマーの登録者数も全道一の 1,910 件となるなど、安全・安心で良質な農産物の生産・供給といったクリーン農業の推進に積極的に取り組んでいます。農業・農村整備事業については、土地生産性や労働生産性の向上を図るため、ほ場の大区画化や用水路等の整備をはじめ、農道や農村公園などの生活環境整備のほか、近年では暗渠排水の集中管理孔を利用した新たな営農技術(地下かんがい技術)の取組など、活気と活力ある農業・農村づくりに向けて様々な事業が実施されています。管内では、事業費ベースで約 182 億円(平成 21 年度)の実施を見込んでおり、全道の 32%のシェアを占めています。管内ではグリーンツーリズムの取組が積極的に展開されています。札幌圏に近いという地の利を生かし、農産物の直売所や農作業体験の受入施設などグリーンツーリズムの関連施設が全道の 4 分の 1 を占める 560 施設が設置されています。また、都市と農村の交流に意欲的な農家の農場を登録する「ふれあいファーム」には全道一の約 384 農場が登録されているとともに、農産物の加工や直売などに取り組む農村女性の活動グループが 57 グループあり、管内の活性化に寄与しています。さらには、都市農村交流施設として、岩見沢市(栗沢町)の「クラインガルテン」や深川市の「アグリ工房まあぶ」などが整備され、また、由仁町の「優良田園住宅」など農村の景観やゆとりある生活を求める都市住民のニーズに応えた取組みも進められています。					
森林・林業					
管内の森林面積は、43 万 6,274ha で、管内土地面積(65 万 5,822ha)の約 3 分の 2 を占めており、北海道の森林面積の 8%あたります。そのうち約 3 割が人工林で、主な樹種はカラマツ(65%)となっています。管内の一般民所有林は、戦後積極的に造林された針葉樹人工林資源が充実している中、近年は国際的な原材料高の影響から、道産材の需要が高まっています。また、これまでの木材生産を重視した森林整備に加え、水資源のかん養や二酸化炭素の吸収・貯蔵等、森林の持つ多面的機能を高度に発揮させるため、無立木地の解消や間伐の推進、複層林施業、天然林施業など、多様な森林整備に取り組んでいく必要があります。さらに、森林整備と併せて、循環資源である木材の利用拡大が大気中の二酸化炭素の増加を防ぎ、地球温暖化に有効であることから、取組の強化に努めています。					
水産業					
管内は、200 余りを数える石狩川支流河川が縦走し、旧河川跡などの沼が多く、「ニジマス」「ドジョウ」「ヤツメ」などの資源に恵まれています。朱鞠内湖、桂沢湖では、「ワカサギ」「ヤマベ」「イトウ」などの孵化放流事業などが行われており、また、健全なスポーツ・フィッシングを楽しむ釣人の穴場としての魅力を秘めています。					

工 業	
管内の製造品出荷額は、平成 19 年工業統計調査によると、前年を上回る 2,634 億円となっていますが、管内の工業立地動向は、平成 2 年の 41 件をピークに、年々減少傾向で推移しており、平成 19 年は 5 件となっています。一方、独自の技術や経営戦略をもとに、高い市場シェアを占める企業が管内には多数あります。そうした優れた経営を行う企業のさらなる育成に向けて、経営革新など企業の新たな取組を支援するとともに、地域が持つ様々な優位性についての PR や工場の新・増設に対する優遇制度の実施により、企業立地を推進しています。	
商 業	
管内の卸売業と小売業を合わせた年間商業販売額は、平成 19 年商業統計調査によると、全道販売額の 4% を占める約 6,614 億円となっており、これを前回、平成 16 年の調査結果と比較すると、約 11% 減少しています。さらに近年、郊外への大型小売店の進出による購買力の流出や空き地・空き店舗の増加などから、街の顔である中心市街地に空洞化が生じています。このため、複数の市町村や商工会議所・商工会などが地域住民とともに、地域の創意工夫を活かしつつ、中心市街地の活性化をめざし、魅力ある商店街づくりを図るため、街並みの整備、空き店舗対策、ポイントカードシステムの導入、イベントの開催などの各種事業に取り組んでいます。	
観 光	
札幌圏と旭川圏の間に位置することから、そのいずれからも気軽に訪れることのできる観光圏として、平成 19 年度には約 1,286 万人の観光客が管内を訪れています。空知は、農業体験などのグリーンツーリズムでは道内の最先進地域であり、地元の農産物を使ったファームレストランやそば打ち体験など、道内有数の農業地帯として、農業との結びつきを強く意識した観光が進められています。また、かつて日本の近代化を支えた炭鉱関連施設、数多くの温泉施設、広大な菜の花畑やひまわり畑などの見どころのほか、こだわりのご当地グルメや、乗馬、カート、グライダー、さらには SL の運転体験など、ユニークなメニューにも事欠きません。これら多彩な地域資源を効果的に活用し、多様化する観光ニーズに対応した地域として、さらに多くの人たちに親しまれていくことが期待されます。	

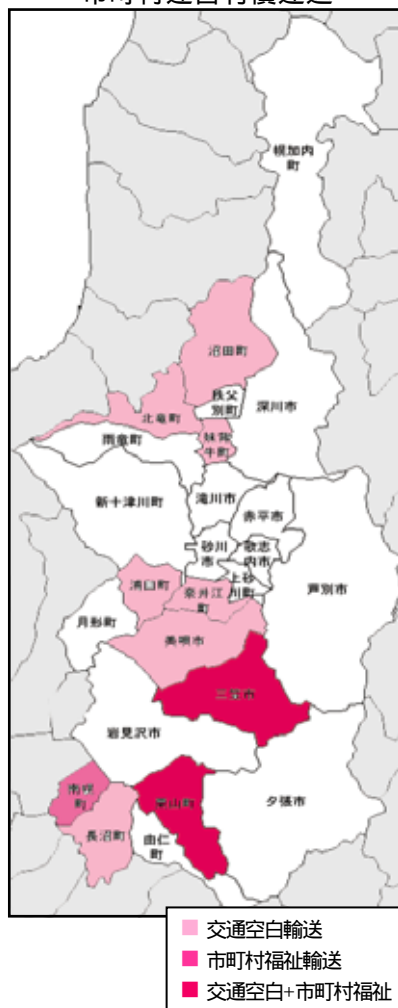
(北海道ホームページの支庁紹介より)

■市町村基礎情報

市町村名	面積(Km ²)	人口	65歳以上人口						第1号被保険者 介護保険認定		手帳交付状況	
			人口	高齢化率	前期高齢者		後期高齢者		認定者数	認定者率	身体障害者手帳	
					人口	高齢化率	人口	高齢化率			交付者数	交付率
夕張市	763.20	11,633	5,084	43.7%	2,453	21.1%	2,631	22.6%	920	18.1%	1,070	9.2%
岩見沢市	481.10	91,191	24,339	26.7%	12,505	13.7%	11,834	13.0%	3,994	16.4%	4,959	5.4%
美唄市	277.61	26,938	8,603	31.9%	4,139	15.4%	4,464	16.6%	1,460	17.0%	2,019	7.5%
芦別市	865.02	17,610	6,505	36.9%	3,101	17.6%	3,404	19.3%	1,028	15.8%	1,657	9.4%
赤平市	129.88	13,258	4,935	37.2%	2,453	18.5%	2,482	18.7%	757	15.3%	1,383	10.4%
三笠市	302.64	11,015	4,603	41.8%	2,179	19.8%	2,424	22.0%	752	16.3%	891	8.1%
滝川市	115.82	44,005	11,667	26.5%	6,265	14.2%	5,402	12.3%	1,823	15.6%	2,455	5.6%
砂川市	78.69	19,349	5,917	30.6%	2,999	15.5%	2,918	15.1%	874	14.8%	1,240	6.4%
歌志内市	55.99	4,759	1,886	39.6%	865	18.2%	1,021	21.5%			437	9.2%
深川市	529.23	24,220	8,011	33.1%	3,992	16.5%	4,019	16.6%	1,368	17.1%	1,659	6.8%
南幌町	81.49	9,028	1,987	22.0%	1,042	11.5%	945	10.5%	295	14.8%	389	4.3%
奈井江町	88.05	6,500	2,173	33.4%	1,043	16.0%	1,130	17.4%			410	6.3%
上砂川町	39.91	4,156	1,726	41.5%	873	21.0%	853	20.5%			487	11.7%
由仁町	133.86	6,242	2,062	33.0%	1,002	16.1%	1,060	17.0%	321	15.6%	466	7.5%
長沼町	168.36	12,168	3,423	28.1%	1,670	13.7%	1,753	14.4%	629	18.4%	676	5.6%
栗山町	203.84	13,739	4,364	31.8%	2,144	15.6%	2,220	16.2%	689	15.8%	842	6.1%
月形町	151.05	3,933	1,297	33.0%	562	14.3%	735	18.7%	218	16.8%	243	6.2%
浦臼町	101.08	2,348	832	35.4%	357	15.2%	475	20.2%			169	7.2%
新十津川町	495.62	7,397	2,302	31.1%	1,168	15.8%	1,134	15.3%			450	6.1%
妹背牛町	48.55	3,706	1,314	35.5%	628	16.9%	686	18.5%	191	14.5%	238	6.4%
秩父別町	47.26	2,842	1,035	36.4%	474	16.7%	561	19.7%	151	14.6%	243	8.6%
雨竜町	190.91	3,019	986	32.7%	473	15.7%	513	17.0%			255	8.4%
北竜町	158.82	2,288	846	37.0%	391	17.1%	455	19.9%	94	11.1%	188	8.2%
沼田町	283.21	3,786	1,298	34.3%	584	15.4%	714	18.9%	170	13.1%	289	7.6%
幌加内町	767.03	1,790	651	36.4%	309	17.3%	342	19.1%	109	16.7%	159	8.9%
空知中部広域連合									1,535	15.5%		



市町村運営有償運送

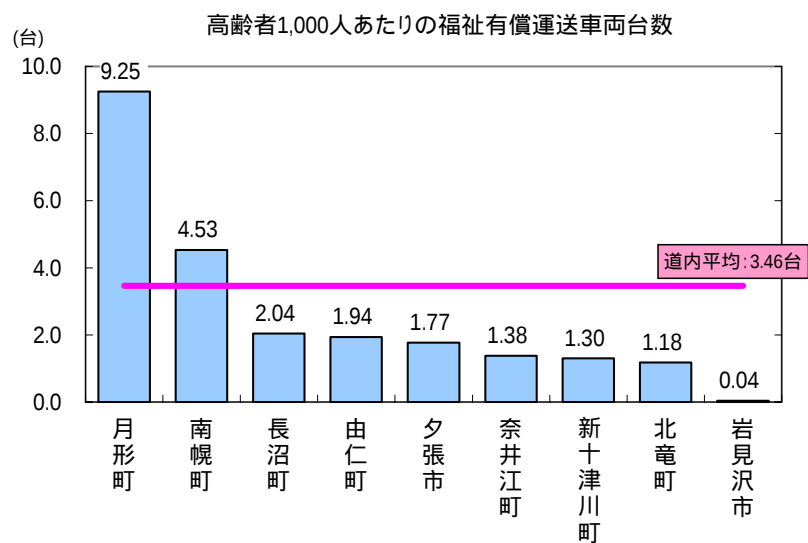


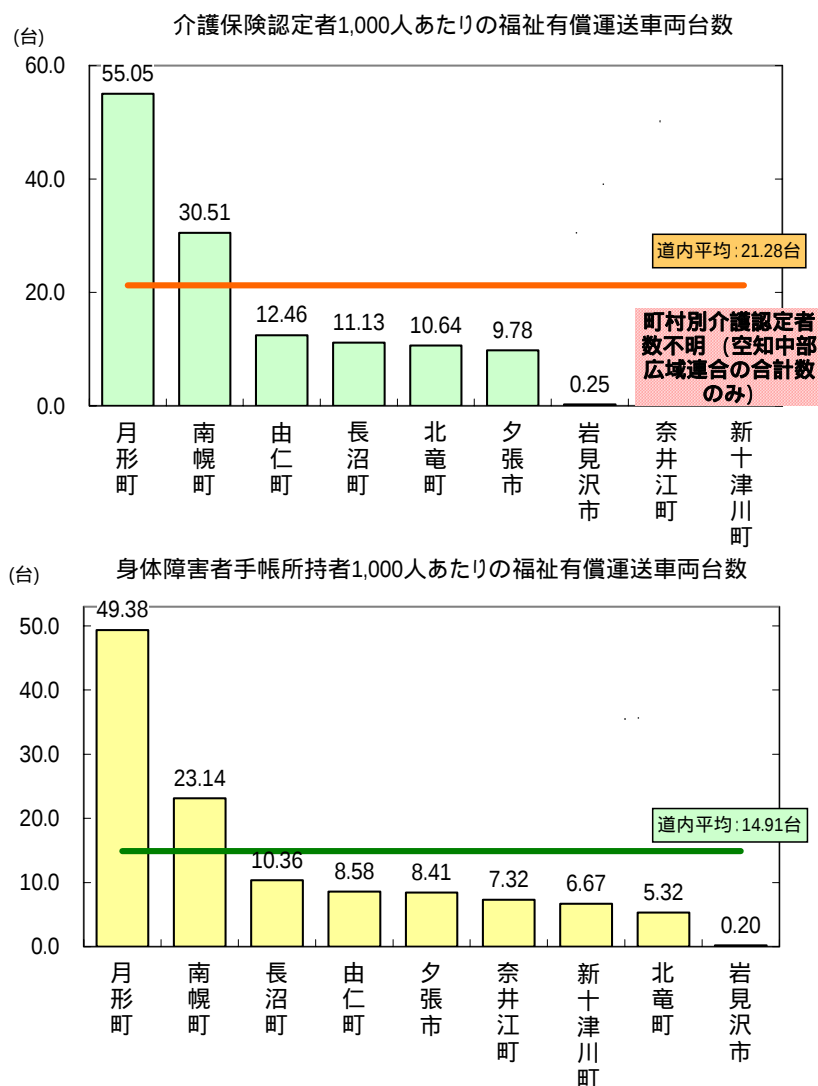
旅客自動車輸送事業



圏域範囲運行とは、事業所は存在しないが、他市町村の事業所で運行をまかなっている地域

(3) 福祉有償運送の各種人数あたりの車両台数





(4) 空知支庁まとめ

- 北海道のほぼ中央部よりやや西に位置し、四方が山に囲まれた内陸地帯。面積は島根県に匹敵する。気温の寒暖が激しく、冬は豪雪地帯でもある。
- 高齢化率は夕張市の 43.7% を筆頭に高い高齢化率を持つ自治体が多い。(夕張市は北海道で最も高齢化率が高い)
- 福祉輸送の福祉有償運送に関しては、芦別市や赤平市をはじめとして 25 の自治体のうち 15 の自治体が事業所が存在しない。しかし、そのうち滝川市、砂川市、深川市については近隣の自治体の事業所が営業区域として登録している。
- 他支庁と比べて市町村運営有償運送が盛んで、とくに交通空白輸送を行っている自治体が 9 つとなっている。
- 各種福祉輸送サービスのサービスが存在しないいわゆる空白地帯は 6 つの自治体が存在しており、芦別市、赤平市、歌志内市、上砂川町、秩父別町、雨竜町など内陸部に集中している。
- 福祉有償運送の高齢者等 1,000 人当たりの車両台数をみると、月形町、南幌町における台数が多い。岩見沢市の台数が少ないのは、福祉有償運送の事業所が 1 つであり、車両も 1 台しかないためである。

6. 上川支庁

(旭川市 / 士別市 / 名寄市 / 富良野市 / 鷹栖町 / 東神楽町 / 当麻町 / 比布町 / 愛別町 / 上川町 / 東川町 / 美瑛町 / 上富良野町 / 中富良野町 / 南富良野町 / 占冠村 / 和寒町 / 剣淵町 / 下川町 / 美深町 / 音威子府村 / 中川町)

(1) 地域概要

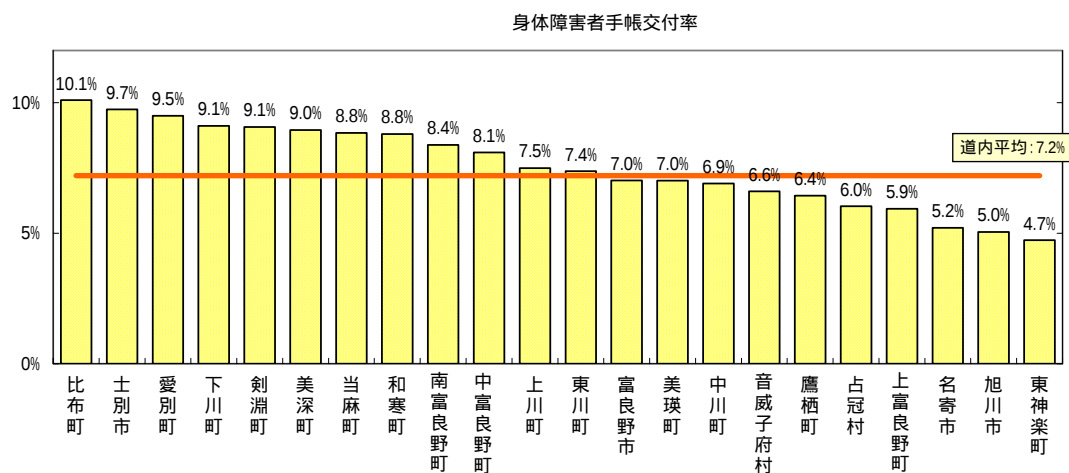
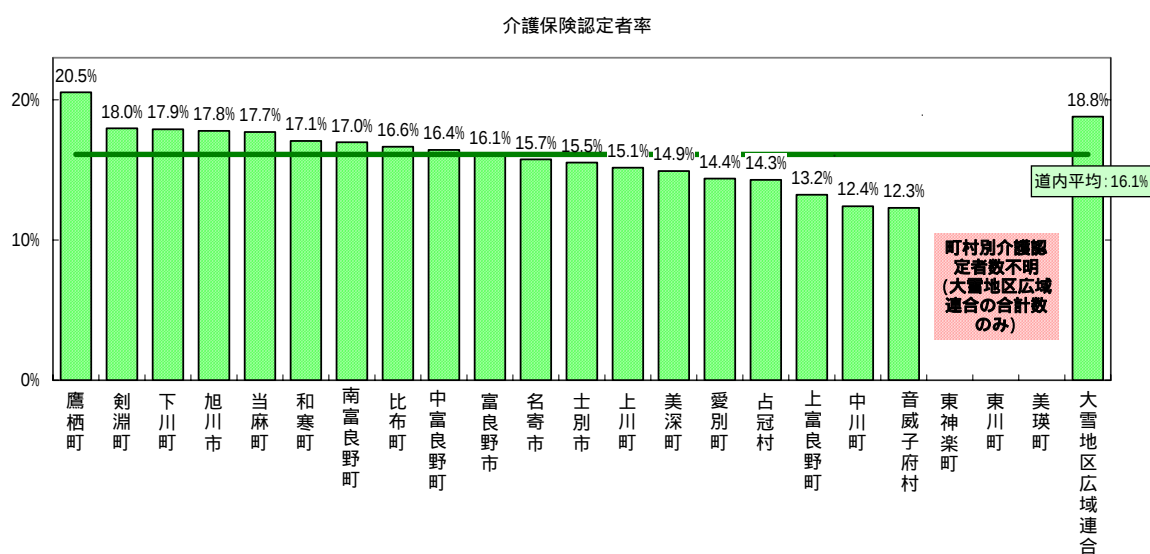
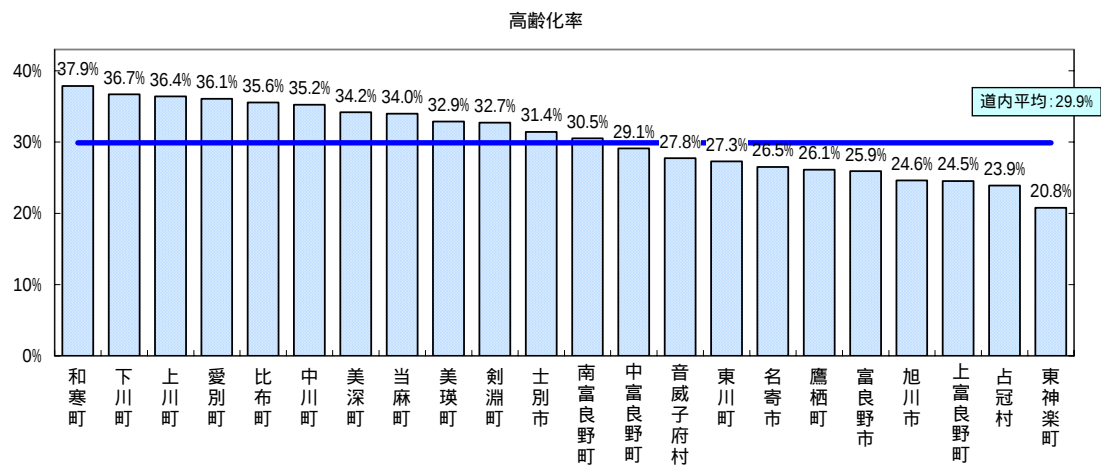
面積	9,852km ²	人口	535,456 人	世帯	221,563 世帯
概 要					
地 勢					
北海道のほぼ中央に位置し、地形は南北に細長く、東西 96.7km、南北 224.4km、面積は 9,852km ² で全道の 11.8%を占めています。これは、青森県(9,232km ²)、岐阜県(10,165km ²)、鹿児島県(9,128km ²)に匹敵します。					
気 候					
北海道のほぼ中央に位置し、四方が山に囲まれた内陸地帯の盆地であるため、冬季と夏季の寒暖の差が極めて大きく、冬季には最低気温零下 41.0 (明治 35 年 1 月 25 日)、夏季には最高気温 36.0 (平成元年 8 月 7 日)を記録するなど(いずれも旭川気象台観測)内陸性気候となっています。なお、「- 41.0 」は気象観測として全国 1 位の記録です。また南北に細長いため、中央部、富良野、北部の各地区により気象条件には相当の開きがあります。					
産 業					
農 業					
管内の耕地面積は、128,100ha で全道の 11%を占めており、十勝、網走に次いで全道 3 番目となっています。このうち田は 60,600ha で耕地面積の 47.3%を占めています。平成 17 年の水稲作付面積は、31,255ha であり、全道に占める割合は 26.3%と空知に次ぐ稲作中核地帯となっています。平成 17 年の農家 1 戸当たりの耕地面積は、12.1ha で、全道平均の 61%となっています。農家戸数は平成 17 年で 10,626 戸となっており、全道の 18%を占めていますが、減少が続いています。専業農家の割合は 41.8%と、全道平均の 52.2%を下回っています。また、専業農家と 1 種兼業農家を合わせた主業農家の割合は 84.0%で、全道平均の 87.7%を下回っています。平成 16 年の農業粗生産額は、1,280 億円で、全道シェアは 11.7%を占め、十勝、網走に次いで 3 位となっています。米は空知に次いで 2 位、野菜は全道 1 位となっています。作物別では、米、野菜がほぼ 3 分の 1 ずつを占めています。管内の農業生産所得は 573 億 3,000 万円、農家 1 戸当たりの農業生産所得は 450 万 6,000 円と昨年度とほぼ同額となりました。平成 17 年産の作付け面積は、米の生産目標数量配分及びガイドライン配分による良食品米産地などの評価が行われた結果、地方によって増加した地域もありますが、管内全体では昨年に比べ 165ha 減少し、31,255ha となりました。本道における管内の作付割合は 26%、特にもち米の作付面積は 5,101ha となっており、道内の 57%を占める団地が形成されています。平成 17 年産の作柄は、おおむね天候にも恵まれ、良好な生育となったことから収穫期も早く迎えられ、作況指数は平年を大きく上回る「107」(全道「109」)となりました。管内の野菜作付面積は、13,490ha と前年より微減し、道内の 24%を占めています。農業粗生産額は、約 442 億円と道内の約 25%を占め、野菜産地として確固たる地位を築いており、約 50 品目と多品目の生産が行われている産地です。中でもだいこん、にんじん、アスパラガスなどが平成 16 年度の作付面積全道 1 位となっています。小麦の作付面積は、昨年よりやや増の 12,760ha となり、内訳は秋まき小麦 10,400ha(前年比 3%増)、春まき小麦 2,360ha(前年比 6.4%減)となりました。融雪が遅れたため、春まき小麦では種遅れ、秋まき小麦では生育の停滞が見られましたが、6 月に入り好天に恵まれ、生育は急激に旺盛になりました。その後干ばつ気味に推移したこと、穂数が平年よりも多くなったことから、細麦傾向の地域もありましたが、全体としては穂発芽の発生もなく良好な作柄となりました。豆類の作付面積は、大豆は前年の 3,359ha に対し大幅に増加し 4,950ha、小豆は前年比 7.2%減の 4,230ha、いんげんは前年比 9.4%増の 488ha となりました。17 年産は大豆、小豆で融雪の遅れとその後の天候不順によりは種の遅れが見られましたが、5 月末からの好天で、は種後の生育は良好となりました。また 8 月も高温で経過したため、登熟も順調に進みました。作柄は大豆・いんげんの作況指数が 104、小豆が 110 と平年を上回る収量となりました。馬鈴しょの作付面積は、前年比 2.5%減の 3,390ha となりました。融雪の遅れと天候不順により植付が大幅に遅れ、その後も低温が続いたため萌芽の遅れが見られました。6 月に入ってから好天に恵まれ、生育はやや回復に向かいましたが、全般的に降水量が少なかったため、肥大に停滞が見られ、作柄は作況指数「96」の、10ha 当たり収量が 3,460kg となりました。てん菜の作付面積は、前年並の 4,553ha となりました。育苗作業は順調に進みましたが、融雪の遅れ、天候不順により定植作業に遅れが見られました。その後の好天により生育は回復したため、収量・根中糖分とも平年並みの作柄となりました。					
森林・林業					
管内の森林は、面積 74 万 5 千 ha、蓄積 8,709 万 m ³ となっており、全道の森林資源に占める割合は、面積が 13.5%、蓄積が 12.9%に当たります。所管別では、国有林が 43 万 5 千 ha で、管内全森林面積の 58.3%を占め、次いで私有林 15 万 9 千?、道有林 11 万 8 千 ha のほか、市町村有林、その他国有林の順となっています。特に、一般民有林(私有林と市町村有林を合わせたもの)を林種別・樹種別にみると、天然林は、ナラ、カンバ、イタヤなどの広葉樹が多く、人工林は、カラマツ、トマツなどの針葉樹が多くなっています。また、一般民有林においては、輸入材等との競合による木材価格と道産材需要の長期低迷などによって、森林所有者の経営意欲が減退し、間伐等の適切な森林施業が遅れている森林が増加しています。平成 16 年度における製材生産量は 24 万 m ³ 、集成材生産量 1 万 m ³ 、単板生産量は 611 万 m ³ 、合板生産量 65 万 m ³ 、チップ生産量 34 万 m ³ となっています。上川支庁管内の工場数、生産量ともに減少傾向ですが、一部集成材等で増加している製品もあります。カラマツについては、素材(丸太)生産、製材生産とも増加しています。また、特用林産物のきのこ類生産量は 5,421t で、全道の約 34%を占めており、えのきたけについては、全道の約 78%の生産量となっています。					

水産業 管内では、大雪山系から出る豊富な水資源を利用した養殖業が昭和初期から始まり、古くは農家の副業として、さらには、層雲峡や天人峡といった道内有数の温泉や観光地などの需要で、内水面養殖業が発展し、最近ではバイオテクノロジー等を取り入れた高品質なニジマスの生産も行われています。近年の生産量及び生産金額は、景気低迷の影響等を受け減少傾向にあります。平成 15 年度の管内の内水面養殖業の生産状況は、10 経営体により、生産量が 116t、生産金額が 1 億 299 万円となっています。												
工業 管内工業の概要を工業統計調査結果(確報)でみると、平成 16 年の従業者が 4 人以上の事業所は 829 ケ所、従業者数 1 万 6,494 人、出荷額 2,874 億円で、前年に比べて事業所数は-5.8%、従業者数は - 2.4%、出荷額は - 0.7%とそれぞれ減少しています。出荷額を業種別にみると、全体に占める割合が最も多いのは、食料品製造業の 27.6%で、次いでパルプ・紙・紙加工品製造業の 15.2%、木材・木製品製造業の 8.6%の順となり、地方資源型工業が全体の約半数を占める工業構造となっています。また、対前年比(出荷額)では、景気低迷の影響などにより、多くの業種で減少となりましたが、食料品製造業やプラスチック製品製造業等では増加しています。業種別の全道比(出荷額)では、家具・装備品製造業が「旭川家具」としての産地形成を反映し、29.1%と高い割合を占めています。												
商業 平成 16 年商業統計によると、事業所数は卸売業と小売業をあわせて 6,411 (全道の 9.9%)、従業者数は 4 万 8,426 人(同 9.6%)、年間販売額は 1 兆 6,470 億 100 万円(同 8.3%)で、支庁別順位はすべて 2 位となっています。平成 14 年の商業統計と比較すると、事業所数は - 4.7%、従業者数が - 3.3%、年間販売額が - 1.5%それぞれ減少しています。また、市部と町村部に分けると、町村部の従業者数が 3.7%増加している以外は、平成 14 年より減少しています。事業所の従業者規模別にみると、従業者数 5 人未満の事業所が全体の 58.9%と多くの割合を占めていますが、その割合は平成 14 年に比べて 7.8%減少しており、代わりに 5～19 人の事業所が 0.5%の増加、20 人以上が 1.3%の減少となっています。「まちなみ」ともいえる商店街については、近年のモータリゼーションの進展や、商業を取り巻く環境の変化から中心市街地の空洞化が進みつつあります。管内においては、旭川市、名寄市、富良野市、上川町及び当麻町が、平成 10 年に制定された「中心市街地活性化法」に基づく基本計画を策定した他、魅力ある商店街づくりを目指し、アーケードや路面の整備、空き店舗を活用したイベントの開催など、中心市街地の活性化に向けた取り組みが進められています。												
観光 上川管内は、「大雪山国立公園」「天塩岳道立自然公園」「富良野・芦別道立自然公園」を有し、山岳や湖沼、温泉など自然や観光資源に恵まれ、道内外の皆さんに親しまれています。最近では、アウトドアスポーツや農業体験など参加型観光も盛んとなっています。北部地域では、天塩川流域の豊かな自然や農村風景を背景に参加・体験型の観光開発が進められています。中部地域では、層雲峡や天人峡など歴史のある温泉観光地があり、また、道北の交通の拠点である旭川をはじめ、豊かな観光資源があります。南部地域では、ラベンダーと丘の風景で多くの観光客が訪れており、テレビや映画のロケなども行われています。また、アウトドアスポーツなど自然を生かした体験観光も盛んに行われています。												

(北海道ホームページの支庁紹介より)

■市町村基礎情報

市町村名	面積(Km ²)	人口	65歳以上人口						第1号被保険者 介護保険認定		手帳交付状況	
			人口	高齢化率	前期高齢者		後期高齢者		認定者数	認定率	身体障害者手帳	
					人口	高齢化率	人口	高齢化率			交付者数	交付率
旭川市	747.60	354,559	87,355	24.6%	46,626	13.2%	40,729	11.5%	15,537	17.8%	17,882	5.0%
士別市	1,119.29	22,666	7,120	31.4%	3,499	15.4%	3,621	16.0%	1,105	15.5%	2,208	9.7%
名寄市	535.23	30,919	8,197	26.5%	4,081	13.2%	4,116	13.3%	1,290	15.7%	1,607	5.2%
富良野市	600.97	24,488	6,346	25.9%	3,170	12.9%	3,176	13.0%	1,022	16.1%	1,720	7.0%
鷹栖町	139.44	7,600	1,987	26.1%	976	12.8%	1,011	13.3%	408	20.5%	489	6.4%
東神楽町	68.64	9,433	1,960	20.8%	1,042	11.0%	918	9.7%			446	4.7%
当麻町	204.95	7,396	2,514	34.0%	1,165	15.8%	1,349	18.2%	445	17.7%	654	8.8%
比布町	87.29	4,271	1,520	35.6%	752	17.6%	768	18.0%	253	16.6%	431	10.1%
愛別町	249.71	3,528	1,273	36.1%	598	17.0%	675	19.1%	183	14.4%	335	9.5%
上川町	1,049.24	4,403	1,604	36.4%	825	18.7%	779	17.7%	243	15.1%	330	7.5%
東川町	247.06	7,783	2,126	27.3%	1,047	13.5%	1,079	13.9%			574	7.4%
美瑛町	677.16	11,105	3,655	32.9%	1,765	15.9%	1,890	17.0%			779	7.0%
上富良野町	237.18	12,071	2,963	24.5%	1,529	12.7%	1,434	11.9%	392	13.2%	716	5.9%
中富良野町	108.70	5,648	1,645	29.1%	797	14.1%	848	15.0%	270	16.4%	457	8.1%
南富良野町	665.52	2,876	878	30.5%	374	13.0%	504	17.5%	149	17.0%	241	8.4%
占冠村	571.31	1,259	301	23.9%	147	11.7%	154	12.2%	43	14.3%	76	6.0%
和寒町	224.83	4,069	1,541	37.9%	694	17.1%	847	20.8%	263	17.1%	358	8.8%
剣淵町	131.20	3,741	1,225	32.7%	539	14.4%	686	18.3%	220	18.0%	339	9.1%
下川町	644.20	3,788	1,391	36.7%	631	16.7%	760	20.1%	249	17.9%	345	9.1%
美深町	672.14	5,158	1,763	34.2%	823	16.0%	940	18.2%	263	14.9%	462	9.0%
音威子府村	275.64	879	244	27.8%	112	12.7%	132	15.0%	30	12.3%	58	6.6%
中川町	594.87	1,898	669	35.2%	331	17.4%	338	17.8%	83	12.4%	131	6.9%
大雪地区広域連合									1,457	18.8%		



(2) 福祉輸送の実施状況

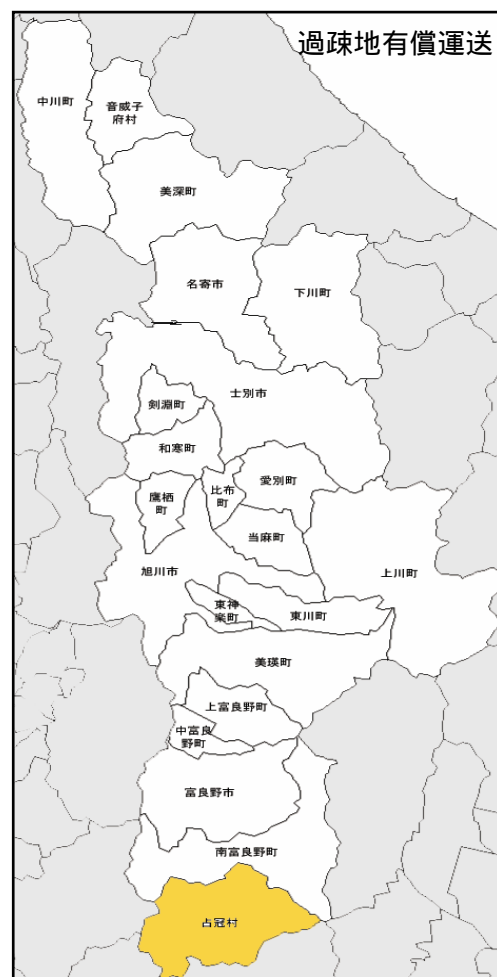
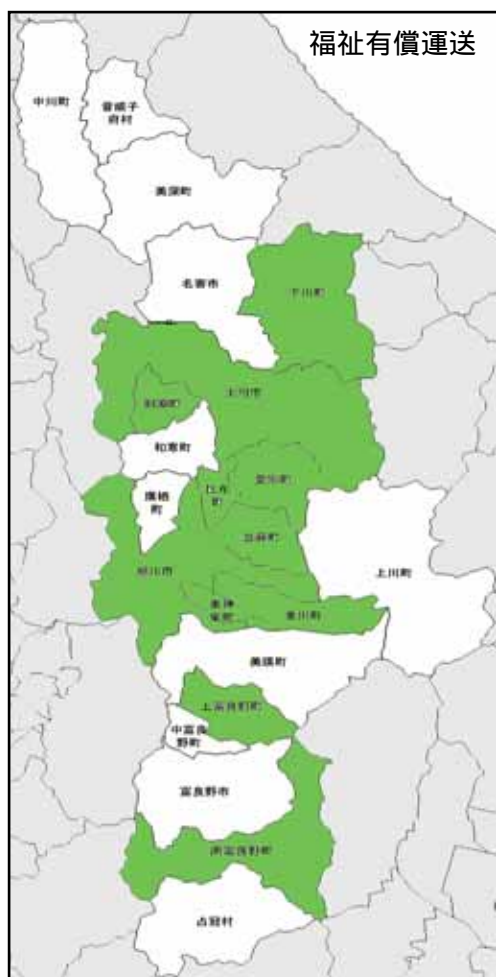
■市町村別福祉輸送サービス提供状況

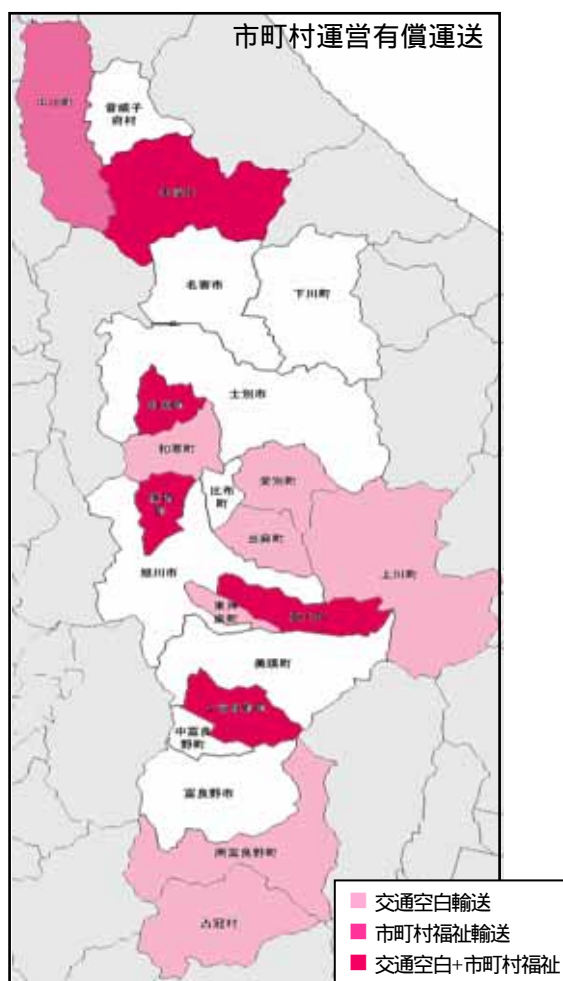
市町村名	自家用有償旅客運送事業						旅客自動車運送事業			
	福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送		一般乗用旅客		特定旅客	
	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	車両台数	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数
旭川市	3	19					19	64	3	13
士別市	2	21								
名寄市							2	2		
富良野市										
鷹栖町					2	1	2	13		
東神楽町	1	8			5					
当麻町	3	29			4					
比布町	1	3								
愛別町	1	3			1					
上川町					1					
東川町	1	5			5	1				
美瑛町										
上富良野町	2	5			5	2				
中富良野町										
南富良野町	2	14			3					
占冠村			1	4	7					
和寒町					5					
剣淵町	2	10			3	1				
下川町	1	6			3					
美深町					3	1				
音威子府村										
中川町						1				
上川支庁計	19	123	1	4	47	7	23	79	3	13

自家用有償旅客運送事業がない地域(圏域範囲は除く)

圏域範囲とは、事業所はないが近隣市町村で運行をまかっている地域

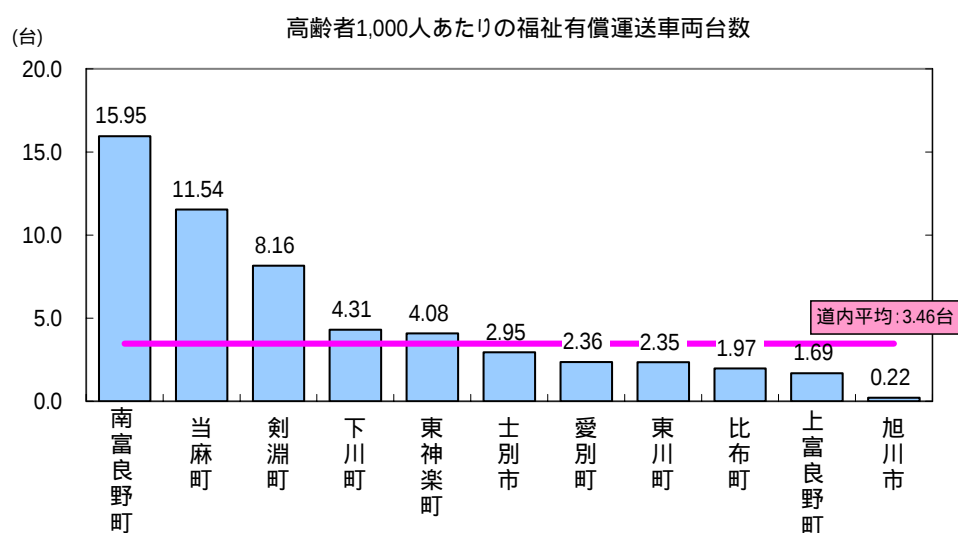
自家用有償旅客運送事業、旅客自動車運送事業ともない地域

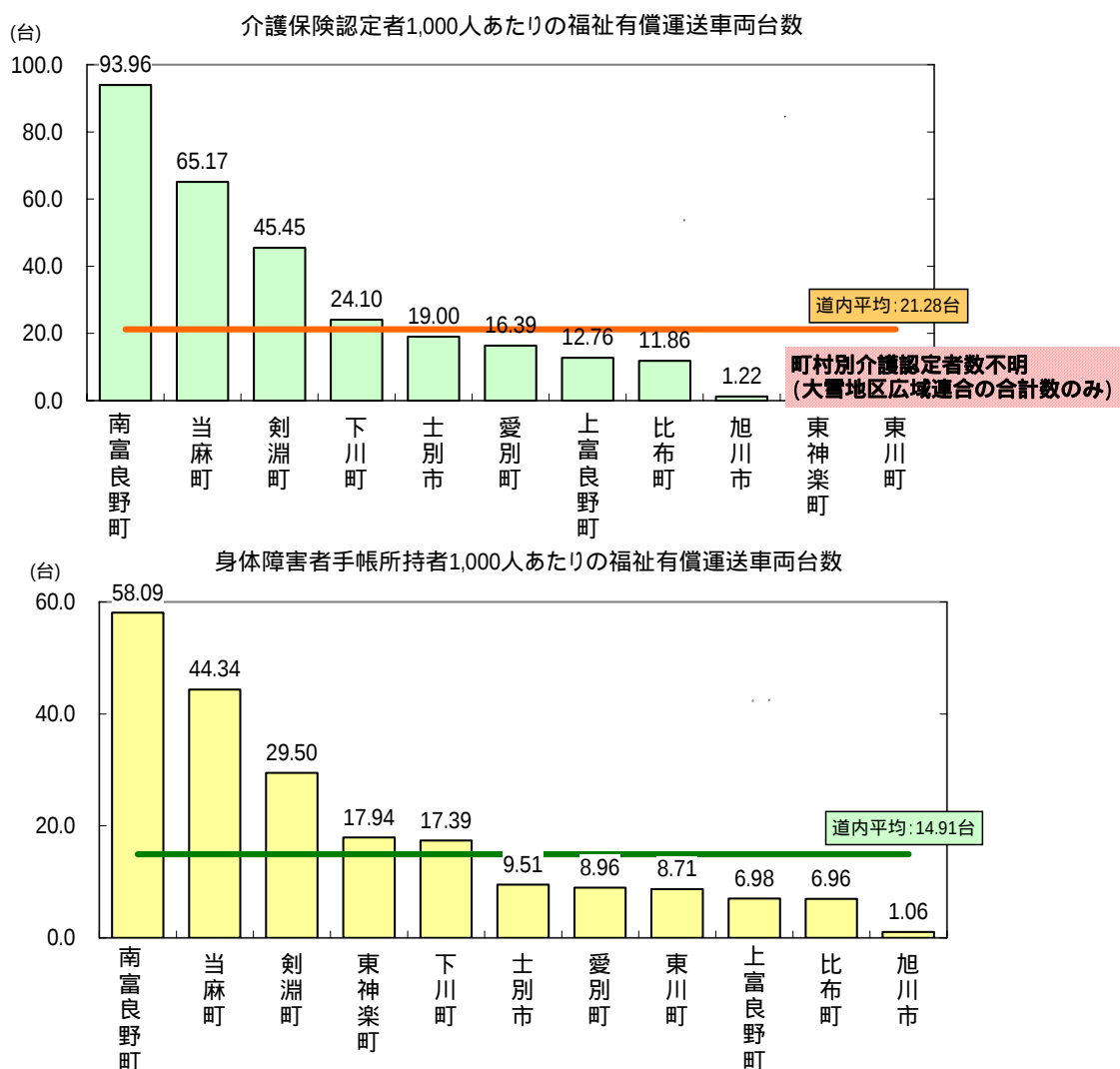




圏域範囲運行とは、事業所は存在しないが、他市町村の事業所で運行をまかっている地域

(3) 福祉有償運送の各種人数あたりの車両台数





(4) 上川支庁まとめ

- 北海道のほぼ中央に位置し、四方が山に囲まれた内陸地帯の盆地。面積は全道の1割超をしめ鹿児島県に匹敵する。
- 人口では旭川市が35万人有している一方、音威子府村で900人弱と小規模な自治体も存在する。高齢化率をみると和寒町が最も高いが、東神楽町、占冠村、上富良野町、旭川市などは全道平均よりも低い。
- 福祉輸送サービスの提供状況では、福祉有償運送では中央部の自治体は比較的实施事業所を有しているが、北部を中心に縁辺部では実施していない地域がある。名寄市は福祉有償運送事業を行っている事業所はないが、近隣自治体の事業所の営業区域に入っている。
- 福祉有償運送を実施していなくて、市町村運営運送を行っているのは鷹栖町、上川町、占冠村、美深町などである。
- 旅客自動車運送は旭川市と名寄市と鷹栖町で行われており、比較的都市部で展開されているといえる。ちなみに、鷹栖町は、道内で介護保険認定率が最も高い町である。
- 交通空白地帯と捕らえることができる地域としては、富良野市、美瑛町、中富良野市、音威子府村となっている。
- 福祉有償運送の高齢者等1,000人当たりの車両台数をみると、南富良野町、月形町、南幌町における台数が多い。岩見沢市のが突出して多くついで当麻町、剣淵町となっている。一方、旭川市についてはきわめて少ない。

7. 留萌支庁

(留萌市 / 増毛町 / 小平町 / 苫前町 / 羽幌町 / 初山別村 / 遠別町 / 天塩町 / 幌延町)

(1) 地域概要

面 積	4,019.91km ²	人 口	61,631 人	世 帯	28,071 世帯
概 要					
地 勢					
留萌管内は、北海道の北西部に位置しており、西部で日本海に面し、南北155km、東西67km の南北に長い地域です。北はサロベツ原野をはさんで宗谷支庁に、南は増毛山地をはさんで石狩支庁に、東は天塩山地をはさんで上川支庁、空知支庁に接しています。管内の総面積は、4,019.91km²で、北海道の総面積(83,456.20km²)の 4.8%を占めており、この面積は、長崎県の総面積(4,095.22km²)に匹敵する広さです。中南部では海岸近くまで丘陵が迫る地形が多く、河川沿いに平坦地が分布する地形で、北部には天塩川流域から宗谷支庁管内にかけて国立公園に指定されているサロベツ原野が広がっています。南北194km に及ぶ海岸線は「日本海オロロンライン」として親しまれ、暑寒別天売焼尻国定公園などの景勝地を有する自然に恵まれた地域です。					
気 候					
気候は、日本海式の気候であり、対馬海流の影響で緯度の割には比較的温暖ですが、南北に長い地形から北部と南部では平均気温で約2 程の差があります。4月上旬の雪解けとともに急速に暖くなり、8月にかけては風も弱く、海も穏やかな日が続きます。秋は短く、10月下旬には初雪が降ります。冬は、北西の季節風が強くなり、海上海岸で風速20m / s以上となる日や5mを超える波浪が発生する日も珍しくありません。1年の半分を占める冬期間は、日本海側特有の吹き上げる風が地吹雪を起こし、視界不良や吹溜りによる交通障害の原因になっています。					
産 業					
農 業					
日本海に沿って南北に細長く、櫛の歯状に農地が分布している留萌地域では、南部の果樹をはじめ中南部の稲作・畑作、北部では大規模な酪農が展開されています。 平成17年の農業産出額は約197億円と決して大きな生産額ではないものの、地域特性を生かしバラエティーに富んだ農業が営まれています。 特に、我が国の水稲生産の北限である留萌地域は、道内有数の良質米産地として高い評価を得ています。管内では平成7年より他の地域に先駆けて大きな粒を選りすぐる「ふるい目2mm」の励行など、地道な努力を重ねており、高品質な米の生産に取り組んでいます。					
森林・林業					
留萌管内の森林面積は約32万5千haで、管内総面積の80.8%を占めており、全道の70.6%を上回っています。1ha当たりの蓄積量は92.8 m³で、過去の大規模な伐採や山火事、海岸線の強風や潮害、北部の重粘土質土壌などの影響により、全道平均の123.6 m³を下回っています。国有林は、森林面積の60%を占め全市町村に分布しています。道有林は、森林面積の7%を占め増毛町、留萌市、小平町、苫前町、初山別村に分布しており、法令による制限林の指定率が高く、公益的な機能を重視した保全・管理がされています。民有林の造林事業は、トドマツとアカエゾマツを主体に行われていますが、樹齢30年未満の若齢級が多いため、除間伐の手入れや間伐材などの小径木の積極的な活用が課題となっています。なお、近年、環境重視型社会の中で、多様な機能を持つ森林に対する期待は高まっており、みどりの環境づくり関係者と地域住民が連携し、河川周辺の緑化事業や森林とのふれあいや理解を深めるための体験学習などの取り組みがされてきています。					
水産業					
管内は日本海北部に位置し、約200kmに及ぶ沿岸域ではホタテ稚貝養殖、刺し網、さけ定置、たこ、うになどの漁業が行われ、また、沖合では武蔵堆などの好漁場を擁し、エビ、タラ漁業などが行われています。しかし、近年、高齢化や後継者不足により漁業者は年々減少しており、このため、新規就業者を受け入れるなどの活動を行っています。また、水産基盤整備のため漁港整備や魚礁等の設置を行っており、併せて、ニシン・ヒラメ・サケ・アワビ・ウニなどの種苗を管内各地で放流し、「獲る漁業」から「つくり育てる漁業」への転換が図られています。					
工 業					
留萌支庁管内の工業は、平成16年工業統計調査でみると、事業所数で96ヵ所、製造品出荷額で588億円となっています。製造品出荷額の構成をみると、水産加工品を中心とした食料品製造業が全体の84%を占めており、管内の製造業の主要業種となっています。しかし、前年と比べると事業所数は4ヵ所増加したものの、製造品出荷額で2.0%の減少がみられることから、今後、食料品製造業の一層の発展を図るため、加工技術のさらなる向上と地場産品を生かした商品開発や市場開拓が課題となっています。					
商 業					
留萌支庁管内の商業は、平成16年商業統計調査でみると、商店数は922店、従業者数は4,577人となっており、1店当たりの従業者数は5.0人となっています。年間商品販売額は、1,210億円と全道の0.6%であり、1店当たりの販売額は1億3,129万円(全道平均3億600万円)、従業者1人当たりの販売額は2,645万円(全道平均3,926万円)と、全道平均を大きく下回っています。これは、管内の商店の大部分が経営規模の零細な事業者であることや管内人口の減少に加え、購買力が札幌、旭川などへ流出していることによるものです。このため、人材の確保・育成、情報化・システム化の促進などにより、経営の近代化・合理化を図るとともに、地域住民のニーズに的確に対応した魅力ある商店街づくりを進めることが課題となっています。					

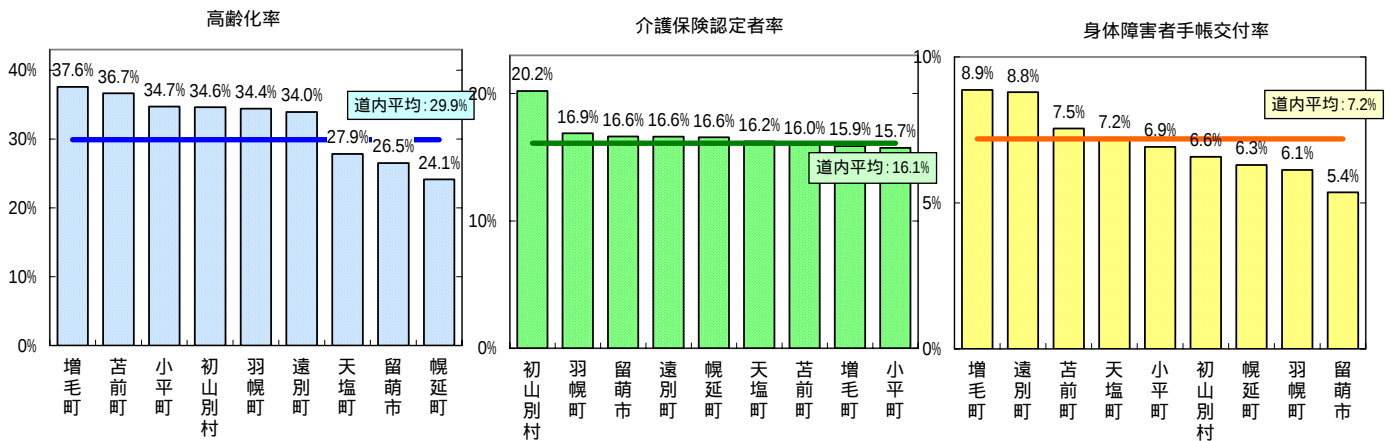
観 光

留萌管内には、南部・中部に「暑寒別天売焼尻国定公園」、北部に「利尻礼文サロベツ国立公園」があり、南北 194 キロに及ぶ海岸線は、「日本海オロロンライン」の愛称と呼ばれ、海水浴シーズンを中心に多くの観光客が訪れています。近年は、各地で温泉を利用した施設の整備が行われ、従来の通過型観光から通年・滞在型観光への取り組みが進められています。

(北海道ホームページの支庁紹介より)

■市町村基礎情報

市町村名	面積(Km ²)	人口	65歳以上人口						第1号被保険者 介護保険認定		手帳交付状況	
			人口	高齢化率	前期高齢者		後期高齢者		認定者数	認定率	身体障害者手帳	
					人口	高齢化率	人口	高齢化率			交付者数	交付率
留萌市	297.44	25,459	6,751	26.5%	3,667	14.4%	3,084	12.1%	1,123	16.6%	1,365	5.4%
増毛町	369.68	5,411	2,035	37.6%	850	15.7%	1,185	21.9%	323	15.9%	480	8.9%
小平町	627.29	3,843	1,335	34.7%	622	16.2%	713	18.6%	210	15.7%	266	6.9%
苫前町	454.53	3,776	1,384	36.7%	630	16.7%	754	20.0%	221	16.0%	285	7.5%
羽幌町	472.53	8,368	2,880	34.4%	1,371	16.4%	1,509	18.0%	486	16.9%	513	6.1%
初山別村	280.04	1,459	505	34.6%	233	16.0%	272	18.6%	102	20.2%	96	6.6%
遠別町	590.86	3,139	1,066	34.0%	500	15.9%	566	18.0%	177	16.6%	276	8.8%
天塩町	353.31	3,669	1,022	27.9%	456	12.4%	566	15.4%	166	16.2%	264	7.2%
幌延町	574.27	2,652	640	24.1%	310	11.7%	330	12.4%	106	16.6%	167	6.3%



(2) 福祉輸送の実施状況

■市町村別福祉輸送サービス提供状況

市町村名	自家用有償旅客運送事業						旅客自動車運送事業			
	福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送		一般乗用旅客		特定旅客	
	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	車両台数	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数
留萌市	1	3					6	43		
増毛町							1	6		
小平町										
苫前町						7				
羽幌町	1	3			3		4	7		
初山別村	1	4								
遠別町										
天塩町	1	1								
幌延町	2	7				3				
留萌支庁計	6	18	0	0	3	10	11	56	0	0

■ 自家用有償旅客運送事業がない地域(圏域範囲は除く)

■ 圏域範囲とは、事業所はないが近隣市町村で運行をまかっている地域

■ 自家用有償旅客運送事業、旅客自動車運送事業ともない地域

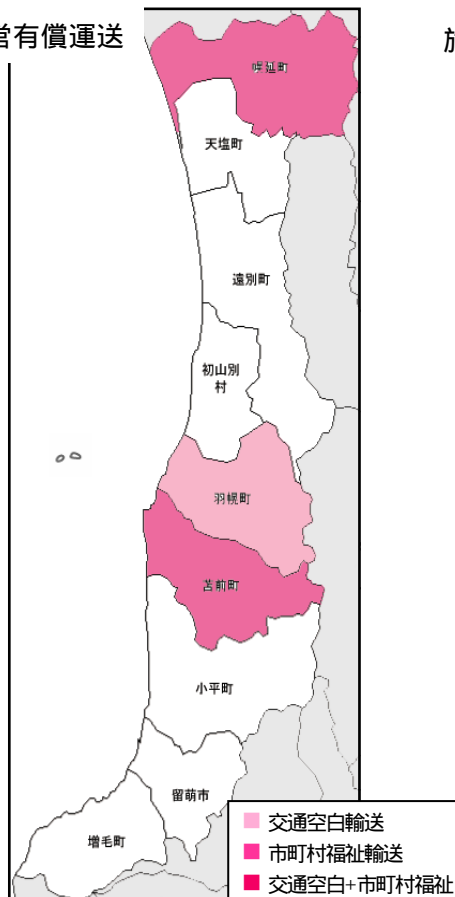
福祉有償運送



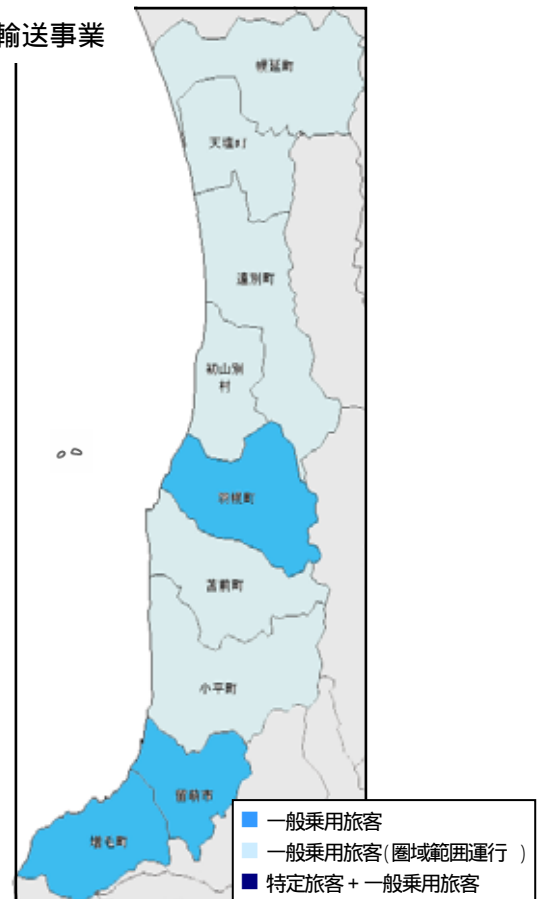
過疎地有償運送



市町村運営有償運送

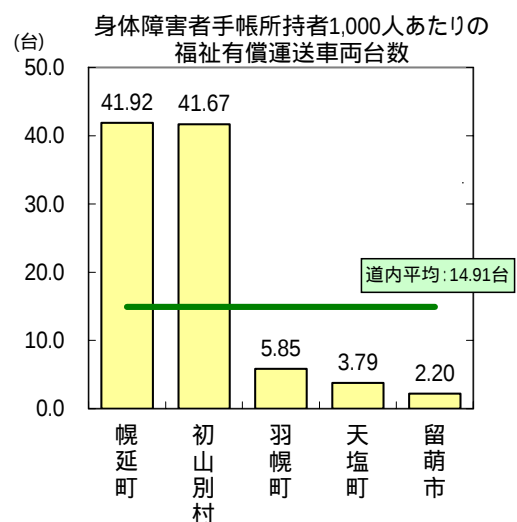
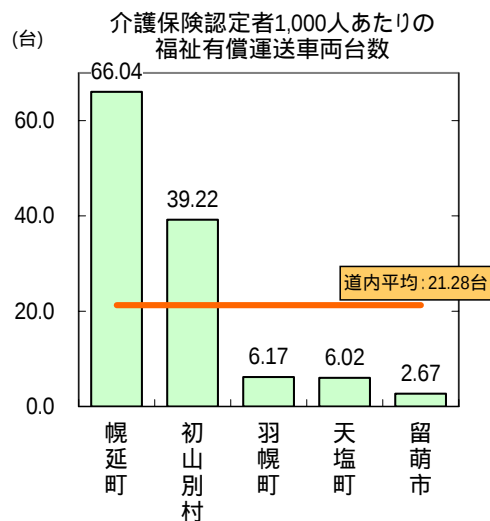
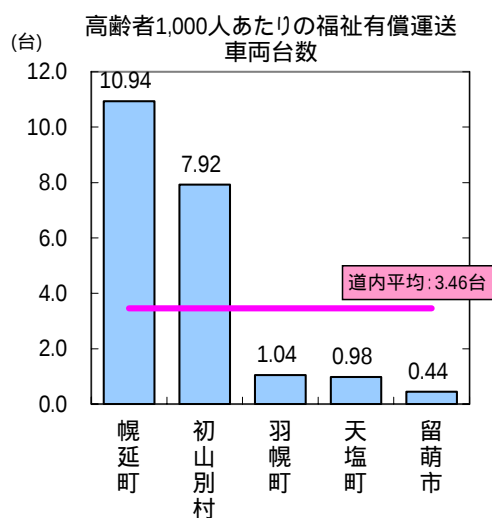


旅客自動車輸送事業



圏域範囲運行とは、事業所は存在しないが、他市町村の事業所で運行をまかなっている地域

(3) 福祉有償運送の各種人数あたりの車両台数



(4) 留萌支庁まとめ

- 北海道の西部の日本海沿いに縦長に位置し、東は天塩山地を有する。冬は北西の季節風が強くなり、日本海側特有の吹き上げる風が吹雪を起し、視界不良や吹き溜まりによる交通障害も頻発する。
- 最も人口が多い自治体としては留萌市の2.5万人であるが、次ぐ羽幌市が約8,300人、増毛町が5,000人程度と人口集積規模は小さい。
- 高齢化率をみると増毛が最も割合が高く、幌延町が最も低い。
- 福祉輸送の実施状況をみると、福祉有償運送の実施事業所が存在していないのが4つの自治体となっている。ただし、増毛町の場合は近隣の自治体の事業所が営業区域として含んでいる。
- 旅客自動車運送事業の「圏域」を除いて交通空白地域と認められるものとしては小平町、遠別町となっている。
- 福祉有償運送の高齢者等1,000人当たりの車両台数をみると、幌延町、初山別村における台数が多いが、それ以外の自治体は大きく道内平均を下回っている。(ちなみに初山別村はタクシー事業所がない。H20.12現在)

8．宗谷支庁

(稚内市 / 猿払村 / 浜頓別町 / 中頓別町 / 枝幸町 / 豊富町 / 礼文町 / 利尻町 / 利尻富士町)

(1) 地域概要

面 積	4,050.76km ²	人 口	75,665 人	世 帯	32,030 世帯
概 要					
地 勢					
宗谷支庁管内は、北海道の最北に位置し、東部はオホーツク海、西部は日本海、南部は上川・留萌及び網走地方に接し、北部は宗谷海峡を経てサハリン(旧樺太)を望み、さらに日本海には利尻・礼文島があります。総面積は、4,050.76km²で、全道総面積の約 4.9%を占め、ほぼ長崎県の面積に匹敵しており、東西 148.2km、南北 100km に及んでいます。管内は、南北にまたがる低山性の北見山地が支庁の境界となってオホーツク海にのび、東部は平坦な臨海地であり、西部は広大なサロベツ原野を経て日本海に接し、南部は徳志別・幌別・頓別の各河川の流域が平野を形成して、オホーツク海に続いています。また、利尻島は円形で中央に成層火山の利尻山(海拔 1,721m)があり、礼文島は南北に細長い丘陵地帯となっています。					
気 候					
気象は離島及び日本海とオホーツク海に面する海洋性気象地帯と、山岳地帯及びこれに展開する河川流域の内陸性気象地帯に大別することができます。海洋地帯の夏は概して涼しく、冬は内陸部に比べ比較的温暖です。また、同じ海洋性気象地帯に属する西部の日本海側と東部のオホーツク海側とでは、季節風、流氷などの影響もあって若干の差が生じ、オホーツク海側の枝幸に比べ、稚内の方が寒暖の差が小さく、日照時間については、夏は多く冬は少なく、また風が強いなどの違いがあります。					
産 業					
農 業					
管内の農業は、昭和 30 年代の冷害などを転機として、それまでの畑作中心から酪農中心へと地域の気候風土に合った形態に発展してきました。乳牛飼養頭数は約 6 万 3 千頭、生乳生産量は約 28 万 4 千トンで、ともに全道の約 7%を占めており、1 戸当たりの広大な耕地面積を背景とした大規模な草地型酪農が展開される道内有数の酪農地帯となっています。ただし、離島 3 町では野菜を中心とした自給的な農業が営まれています。耕地面積のうち、約 99%が牧草地であり、この比率は全道一高いものとなっています。農家戸数は年々減少していますが、一戸当たりの乳牛飼養頭数は着実に増加しています。農業の国際化が進む中で、管内の酪農経営も一層のコスト低減や、良質乳生産の拡大が求められています。このため、草地整備改良の推進や集約放牧の導入など自給飼料の有効活用を進めるとともに、家畜ふん尿の適正処理と有効活用による環境調和型農業の推進に努めています。また、分業システムの導入や酪農家の休日取得を目的とした酪農ヘルパー利用組合・農作業を支援するコントラクター(農作業受託組織)などの経営支援組織の育成についても積極的に推進し、ゆとりある酪農経営の実現を目指しています。					
森林・林業					
管内の森林蓄積は、ha 当たり 89m³で、全道平均 122m³を大きく下回っています。これは、過去の伐採や林野火災などにより多くの森林が失われ、加えて宗谷の厳しい気象条件が森林再生を困難にしていることに主な要因があります。このため、無立木地などへの造林、間伐など森林の整備を積極的に進めています。長期化している木材価格の低迷や林業労働者の減少・高齢化など林業を取り巻く環境は依然として厳しいものがありますが、林業と木材産業の連携強化や森林の整備、木材の生産活動に不可欠な林道網の整備などによりコスト低減に努めています。また、山地災害の予防・復旧や保安林の整備などを行い、私たちの貴重な財産である国土の保全や森林の持つ公益的機能の高度な発揮を図っています。森林とのふれあいにより、森林の持つさまざまな働きに対する理解を深める機会として、地域住民、みどりの少年団、ボランティア団体などへの育樹指導や植樹祭開催などを通じ、道民との協働によるみどりづくりを進めています。					
水産業					
宗谷管内の漁業生産高は数量で約 24 万トン、金額で約 286 億円となっています。沿海 12 支庁の中では生産量で 2 番目(全道の約 17%)、生産額で 4 番目(同約 12%)と上位にあります。管内においては、魚種別で、「ホタテ」が数量(約 51%)、金額(約 43%)ともに 1 位となっており、以下金額では「こんぶ」、「うに」、「さけ・ます」、「ほっけ」の順となっています。海域別では、オホーツク海側は「ほたて」、「さけ・ます」、「毛がに」が、日本海側は「うに」、「こんぶ」、「ほっけ」が主要魚種となっています。近年の漁業を取り巻く環境は、資源の減少や魚価の低迷、漁業者の減少・高齢化など厳しい状況にあります。管内では、毛がにの漁獲許容量の設定等の資源管理対策や、さけ、にしん等の種苗放流、こんぶ等の増殖場、ほっけ等の魚礁の整備といった資源増大対策を推進しています。また、漁業生産活動の拠点となる漁港(管内 39 港)については、防波堤や岸壁等の整備を行っています。このほかにも、漁協の合併等による漁協経営の基盤強化の促進など、管内の漁業が未来に向けて、足腰の強い産業になるように積極的に取り組んでいます。					
工 業					
平成 16 年工業統計調査における管内の事業所数は 187 事業所であり、また、製造品出荷額等の総額は約 876 億円と、全道の 1.7%を占めています。産業別では、食料品製造業の割合が 88.2 % と高く、全道平均の 33.7%と比較すると大きく上回っており、また、その内訳としては水産食料品製造業が大部分を占めています。また、市町村別では、稚内市が管内の製造品出荷額等の 63.0%を占めています。こうした中、産業クラスターによる地域資源の有効活用や建設業者などによる食料品製造業への進出等、地域における新産業の創造を推進しています。					

商 業

平成 16 年の商業統計調査における管内の卸売業及び小売業の年間商品販売額は 2,194 億円と、全道の 1.1%を占めています。平成 14 年と比較すると 233 億円減少しており、減少率は 9.6%と、全道の減少率 2.2%を上回っており、年々売り上げは減少している状況です。また、市町村別では、稚内市が管内の年間商品販売額の 74.0%を占めています。

一方、事業所数は 1,153 店と、全道の 1.8%を占めています。平成 14 年と比較すると 77 店減少しており、減少率は 6.3%と、こちらも全道の減少率 3.0%を上回っております。こうした中、中心市街地の活性化に向けた取組や地域の商工業者の連携による商品や役務の出前事業が行われるなど、商業の活性化が推進されています。

観 光

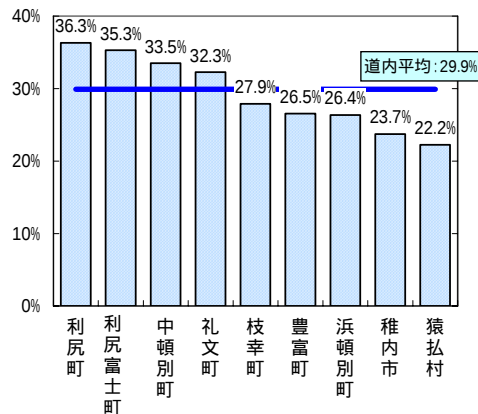
管内は、国立公園やラムサール条約登録湿地などを有する雄大な自然に恵まれた地域です。また、サロベツ原野をはじめとする多くの原生花園や宗谷丘陵、利尻富士など風光明媚な地を有しており、春から夏にかけて多くの観光客でにぎわいを見せます。平成 16 年度の観光入込客数は、約 270 万人ですが、平成 14 年度をピークに減少しており、平成 17 年度上期も減少傾向が続いています。管内の観光の特色としては、6 月から 9 月までの観光客数が年間の約 70% (全国約 50%) を占め、夏季集中型になっていること、道外からの観光客が多く、全 14 支庁の中で唯一道外客数が道内客数を上回っていること、外国人宿泊者数で、ロシア人宿泊者の割合が約 22% (全道約 1%) と高いことなどが挙げられます。こうした中、管内では、住民、事業者、行政などといった観光振興の担い手が、基幹産業である「観光」の振興に向けた取組を進めています。最近では、これまでの観光客誘致に加え、観光のブランドづくりや隣接地域との広域連携、体験型観光の推進、観光ホスピタリティの向上を図る取組とともに、シーニックバイウェイを軸とした地域づくりが進められています。

(北海道ホームページの支庁紹介より)

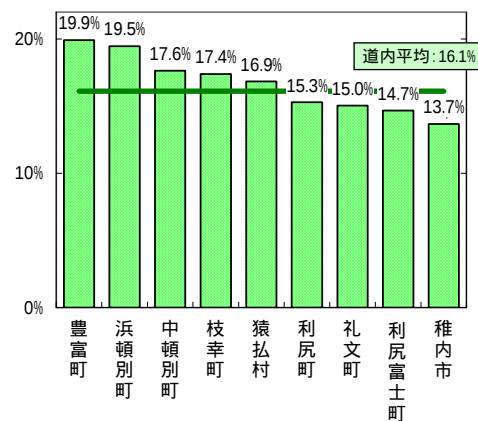
■市町村基礎情報

市町村名	面積(Km ²)	人口	65歳以上人口						第1号被保険者 介護保険認定		手帳交付状況	
			人口	高齢化率	前期高齢者		後期高齢者		認定者数	認定者率	身体障害者手帳	
					人口	高齢化率	人口	高齢化率			交付者数	交付率
稚内市	760.83	39,527	9,381	23.7%	5,228	13.2%	4,153	10.5%	1,282	13.7%	2,251	5.7%
猿払村	590.00	2,855	635	22.2%	266	9.3%	369	12.9%	107	16.9%	158	5.5%
浜頓別町	401.56	4,231	1,115	26.4%	559	13.2%	556	13.1%	217	19.5%	306	7.2%
中頓別町	398.55	2,081	697	33.5%	326	15.7%	371	17.8%	123	17.6%	182	8.7%
枝幸町	1,115.68	9,396	2,622	27.9%	1,305	13.9%	1,317	14.0%	456	17.4%	712	7.6%
豊富町	520.67	4,578	1,215	26.5%	543	11.9%	672	14.7%	242	19.9%	298	6.5%
礼文町	81.33	3,111	1,004	32.3%	440	14.1%	564	18.1%	151	15.0%	223	7.2%
利尻町	76.49	2,574	935	36.3%	403	15.7%	532	20.7%	143	15.3%	235	9.1%
利尻富士町	105.69	2,975	1,050	35.3%	439	14.8%	611	20.5%	154	14.7%	232	7.8%

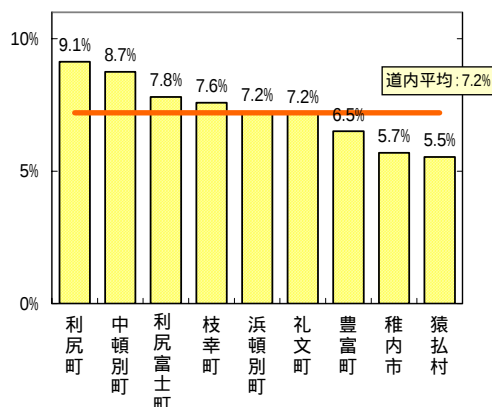
高齢化率



介護保険認定者率



身体障害者手帳交付率



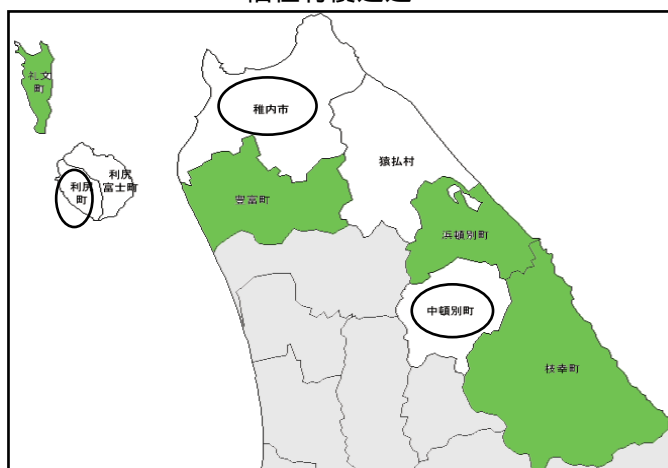
(2) 福祉輸送の実施状況

■市町村別福祉輸送サービス提供状況

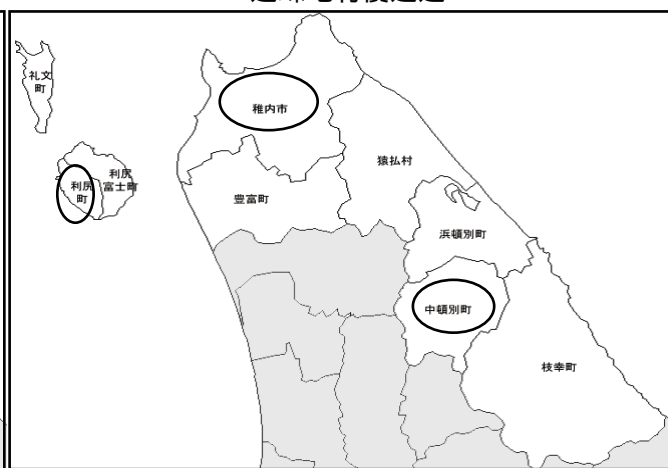
市町村名	自家用有償旅客運送事業						旅客自動車運送事業			
	福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送		一般乗用旅客		特定旅客	
	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	交通空白	市町村福祉	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数
稚内市										
猿払村					2					
浜頓別町	1	4								
中頓別町										
枝幸町	1	2								
豊富町	1	7								
礼文町	1	8								
利尻町										
利尻富士町						2				
宗谷支庁計	4	21	0	0	2	2	0	0	0	0

自家用有償旅客運送事業がない地域(圏域範囲は除く)
 圏域範囲とは、事業所はないが近隣市町村で運行をまかなっている地域
 自家用有償旅客運送事業、旅客自動車運送事業ともない地域

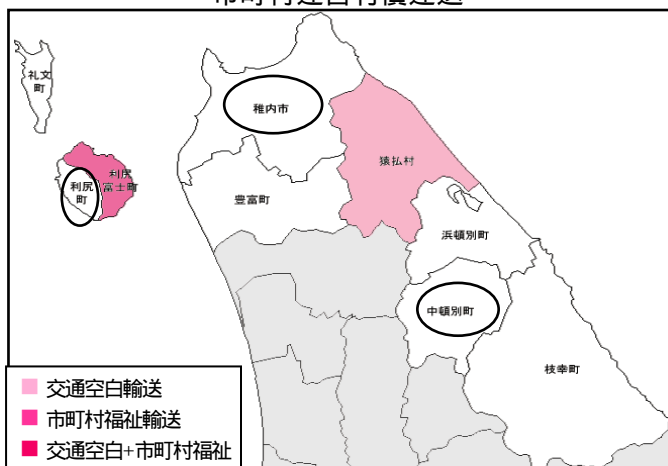
福祉有償運送



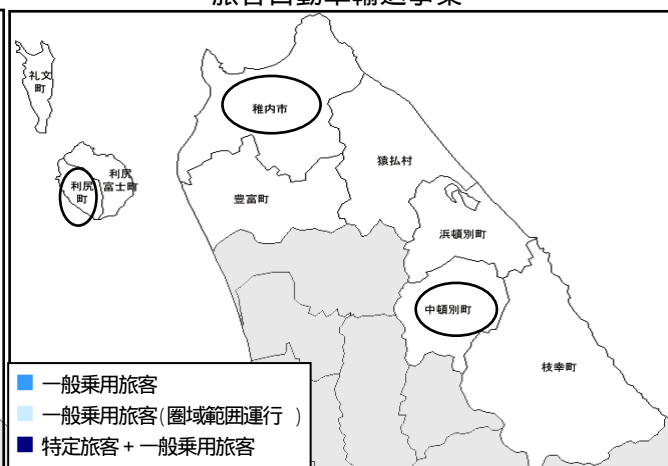
過疎地有償運送



市町村運営有償運送



旅客自動車輸送事業



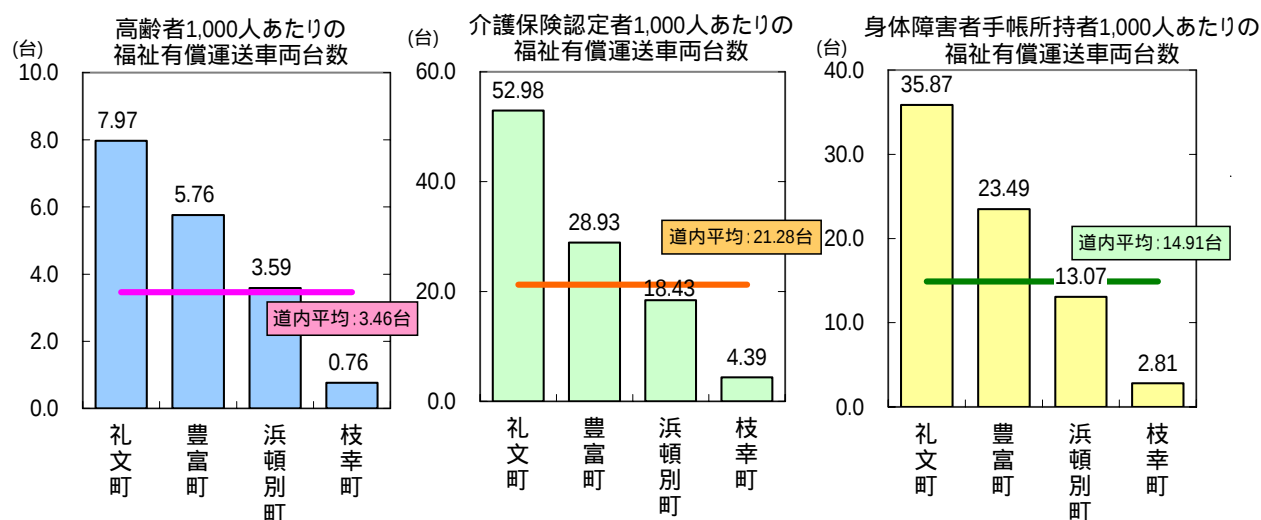
交通空白輸送
 市町村福祉輸送
 交通空白+市町村福祉

一般乗用旅客
 一般乗用旅客(圏域範囲運行)
 特定旅客+一般乗用旅客

圏域範囲運行とは、事業所は存在しないが、
 他市町村の事業所で運行をまかなっている地域

地図上の丸で囲まれた地域(稚内市、中頓別町、利尻町)は、一般乗用旅客自動車運送事業の圏域範囲運行も含めて、運行がないと思われる地域(空白地帯)。

(3) 福祉有償運送の各種人数あたりの車両台数



(4) 宗谷支庁まとめ

- 北海道の最北に位置し、オホーツク海、日本海に囲まれ、礼文島と利尻島の 2 つの島を有する。
- 高齢化率をみると、利尻町、利尻富士町、中頓別町、礼文町が道内平均を上回っており、離島での高齢化率が高い。
- 福祉輸送の実施状況をみると、他支庁と比べ、大幅に団体数、車両台数が少なく、特に福祉有償運送は合計でも 20 台程度、旅客自動車運送事業については「圏域」も含めて団体・車両数ともにゼロとなっている。旅客自動車運送事業の「圏域」範囲での運行も含めて福祉輸送がない地域は、稚内市、中頓別町、利尻町となっている。
- 限られた台数ではあるが、福祉有償運送を行っている自治体において各種人口当たりの台数をみると、礼文町、豊富町については道内平均を上回っている。

9. 網走支庁

(北見市 / 網走市 / 紋別市 / 美幌町 / 津別町 / 斜里町 / 清里町 / 小清水町 / 訓子府町 / 置戸町 / 佐呂間町 / 遠軽町 / 湧別町 / 滝上町 / 興部町 / 西興部村 / 雄武町 / 大空町 / (上湧別町))

合併前

(1) 地域概要

面積	10,690km ²	人口	324,849 人(H17 国勢調査)	世帯	135,437 世帯(H17 国勢調査)
概 要					
地 勢					
オホーツク地域は、北海道の北東部にあって、オホーツク海と 280km の海岸線で接しており、総面積は、10,690km²と全道面積の 12.8%を占め、新潟県に匹敵する広さに約32万人が暮らしています。気候は冬期間の寒さは厳しいものの、比較的穏やかで、年間平均降水量は 800 ミリ前後と少なく、日照時間にも恵まれています。また 1 月下旬から 3 月にかけて、オホーツク海特有の流氷により海面が覆われるという、他の地域には見られない特色を持っているほか、原始的な自然そのまま残されている知床国立公園をはじめ、網走国定公園など、豊かな自然景観に恵まれています。					
気 候					
気候は冬期間の寒さは厳しいものの、比較的穏やかで、年間平均降水量は 800 ミリ前後と少なく、日照時間にも恵まれています。					
産 業					
農 業					
オホーツク地域の農業は、耕地面積で全道の 14%を占め、この恵まれた土地資源を背景に、全道一の大規模なたまねぎ生産を始め、麦・てん菜・馬鈴しょなどの畑作と酪農を主体とする生産性の高い農業を展開し、食糧供給基地として重要な役割を担っています。オホーツク地域は、気象や土地条件などの違いにより、斜網・北見・東紋・西紋の4地域に大別され、それぞれの条件を活かして地域ごとに特色ある農業が営まれています。近年は、付加価値向上のため農業者自ら行う加工品の製造・販売や、野菜・花など収益性の高い作物の導入、さらにファームイン・直売所・農業体験などによる都市住民との交流といった取り組みが行われています。					
森林・林業					
管内の森林面積は、770 千 ha で土地総面積の 72%を占め、これは全道森林面積の 14%に当たります。総蓄積は、119,994 千 m³で全道森林蓄積の 18%を占め、道内の主要な木材生産地となっています。また、所管別森林面積では、国有林 56%、道有林 14%、一般民有林 30%となっています。国有林、道有林は天然林の割合が大きく、一般民有林は造林が進み、人口林率は 56%に達しています。特にカラマツ人工林は、一般民有林人工林面積の 49%を占め、管内の気候風土に適した良好な成長を示し、明日の資源として大きく期待されています。一方、森林のもつ公益的機能を活用して、学習、スポーツ、レクリエーション活動が盛んになりつつあり、このための施設整備も進められています。					
水産業					
管内の水産業は、オホーツク海沿岸を漁場とするホタテ貝桁網漁業、さけ定置網漁業並びに沖合海域を漁場とする沖合い底引き網漁業を中心に営まれており、平成17年の漁業生産高は27万トン、502億円にのぼり、漁獲量は、前年比約11%減、金額では前年比の約24%の増となりました。一方、水産加工業は、かつての主原料であったすけとうだらなどの多様な漁種の漁獲が減少したことから、地場資源の有効活用をはかりながら、高次加工や新分野への事業転換に取り組んでいます。					
工 業					
管内の工業は599事業所(全道の8.3%)、従業員数13,671人(全道の7.3%)で、製造品出荷額等は3,997億4,595万円(全道の7.3%)となっています。業種別構成を見ると、農林水産資源を活用した食料品や木材・木製品などの地場産業が主体ですが、携帯電話の発達・普及により電気機械器具等の占める割合も高くなっています。					
商 業					
管内の商店数は4,179店(全道の6.5%)、従業員数は28,208人(全道の5.6%)であり、一店当たり平均6.7人で全道平均7.8人に比較し、小規模店が多い状況にあります。年間販売額は、9,486億円となっていますが、全道シェア4.8%で商店数の全道シェア6.5%を下回っています。今後の商業活動の活性化のため、各地域で中心市街地の整備やイベントの実施など、魅力ある商店街づくりが進められています。					
観 光					
オホーツク地域は知床、阿寒の2つの国立公園、網走国定公園の他、斜里岳、天塩岳の2つの道立公園を有しており、森と湖と海が調和した四季折々の自然が豊かな圏域です。特に冬はわが国唯一の流氷地帯となるなど、ユニークな特徴を持っています。観光客の入込み数は、17年連続1,000万人を超え、最近では従来の夏型のイベントに加えて、流氷や冬のスポーツを利用した冬型のイベントも各地で行われるようになり、「オホーツクの冬」が観光資源として定着してきました。また、「花」をテーマとした新たな広域観光や豊富な農林資源等を活かした乳製品加工、木工クラフトづくりなど体験型観光への取組みも進められています。今後は、地域が一体となって「自然」、「食」及び「安心・快適」をテーマとした観光地づくりを進めるとともに、オホーツクの観光の魅力を広く道内外にPRしていきます。					

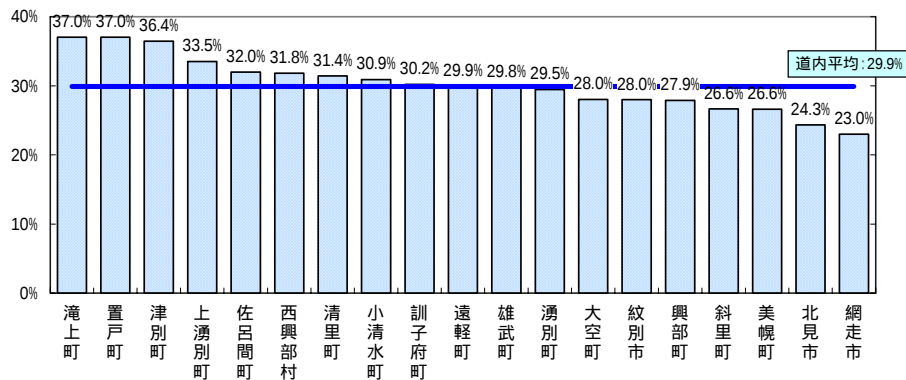
(北海道ホームページの支庁紹介より)

■市町村基礎情報

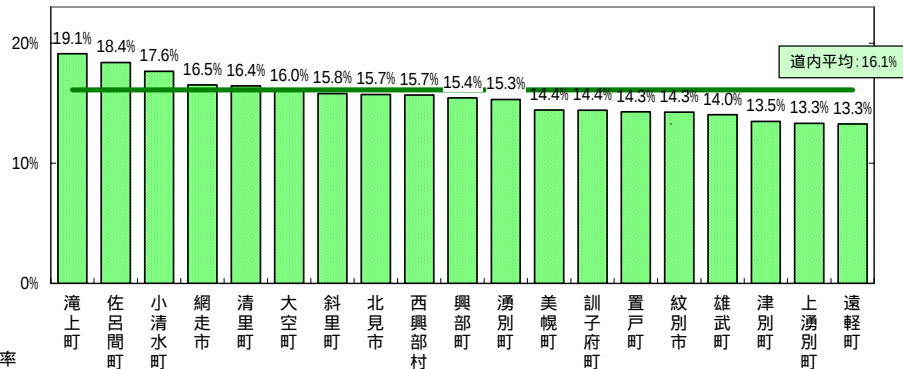
市町村名	面積(Km ²)	人口	65歳以上人口						第1号被保険者 介護保険認定		手帳交付状況	
			人口	高齢化率	前期高齢者		後期高齢者		認定者数	認定率	身体障害者手帳	
					人口	高齢化率	人口	高齢化率			交付者数	交付率
北見市	1,427.56	125,977	30,656	24.3%	16,169	12.8%	14,487	11.5%	4,816	15.7%	5,591	4.4%
網走市	471.00	39,420	9,070	23.0%	4,742	12.0%	4,328	11.0%	1,499	16.5%	1,675	4.2%
紋別市	830.70	25,248	7,067	28.0%	3,747	14.8%	3,320	13.1%	1,008	14.3%	1,456	5.8%
美幌町	438.36	22,193	5,907	26.6%	3,038	13.7%	2,869	12.9%	853	14.4%	1,043	4.7%
津別町	716.60	5,945	2,166	36.4%	1,014	17.1%	1,152	19.4%	292	13.5%	438	7.4%
斜里町	737.01	12,846	3,422	26.6%	1,709	13.3%	1,713	13.3%	541	15.8%	681	5.3%
清里町	402.73	4,708	1,479	31.4%	725	15.4%	754	16.0%	243	16.4%	246	5.2%
小清水町	287.04	5,557	1,718	30.9%	804	14.5%	914	16.4%	303	17.6%	362	6.5%
訓子府町	190.89	5,744	1,734	30.2%	804	14.0%	930	16.2%	250	14.4%	344	6.0%
置戸町	527.54	3,463	1,282	37.0%	579	16.7%	703	20.3%	183	14.3%	211	6.1%
佐呂間町	404.99	6,040	1,932	32.0%	888	14.7%	1,044	17.3%	355	18.4%	325	5.4%
遠軽町	1,332.32	22,840	6,829	29.9%	3,422	15.0%	3,407	14.9%	906	13.3%	1,235	5.4%
上湧別町	161.39	5,552	1,860	33.5%	893	16.1%	967	17.4%	248	13.3%	386	7.0%
湧別町	344.35	4,853	1,430	29.5%	624	12.9%	806	16.6%	219	15.3%	307	6.3%
滝上町	766.89	3,235	1,198	37.0%	534	16.5%	664	20.5%	229	19.1%	400	12.4%
興部町	362.45	4,393	1,225	27.9%	617	14.0%	608	13.8%	189	15.4%	278	6.3%
西興部村	308.12	1,163	370	31.8%	155	13.3%	215	18.5%	58	15.7%	105	9.0%
雄武町	637.06	5,021	1,495	29.8%	747	14.9%	748	14.9%	210	14.0%	286	5.7%
大空町	343.62	8,359	2,342	28.0%	1,041	12.5%	1,301	15.6%	375	16.0%	414	5.0%

湧別町（H21.10.5 合併）はデータが H21.10 以前のため、旧上湧別町と旧湧別町のデータとなっている

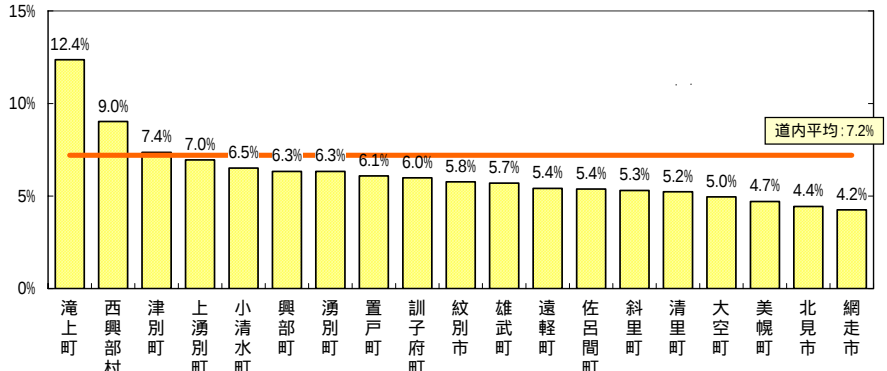
高齢化率



介護保険認定率



身体障害者手帳交付率

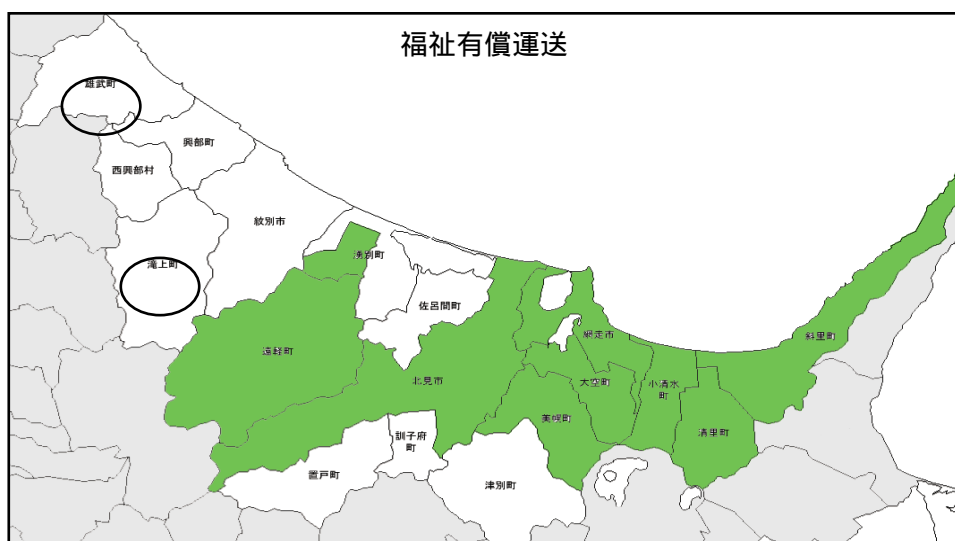


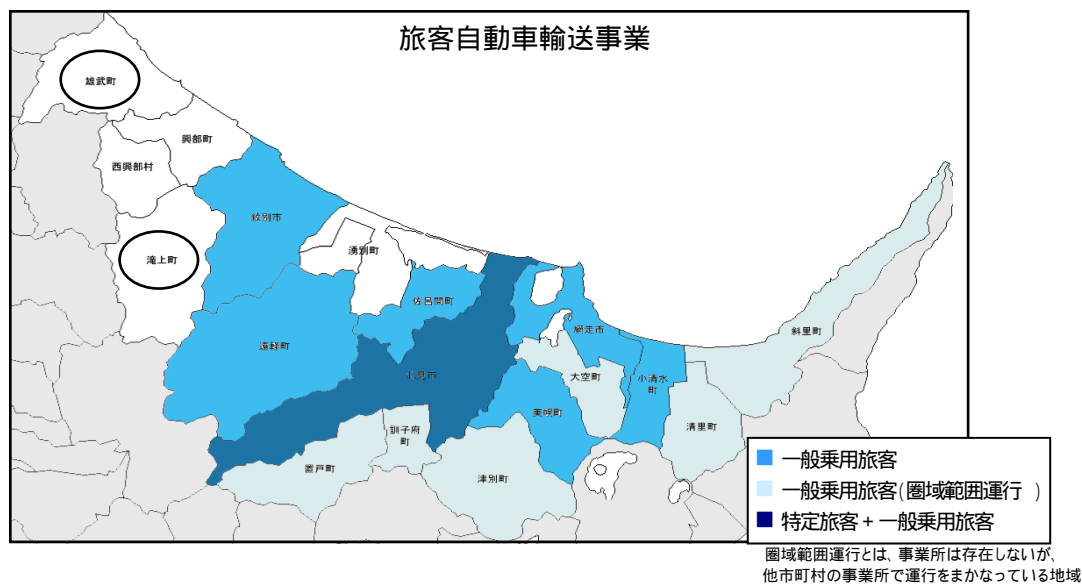
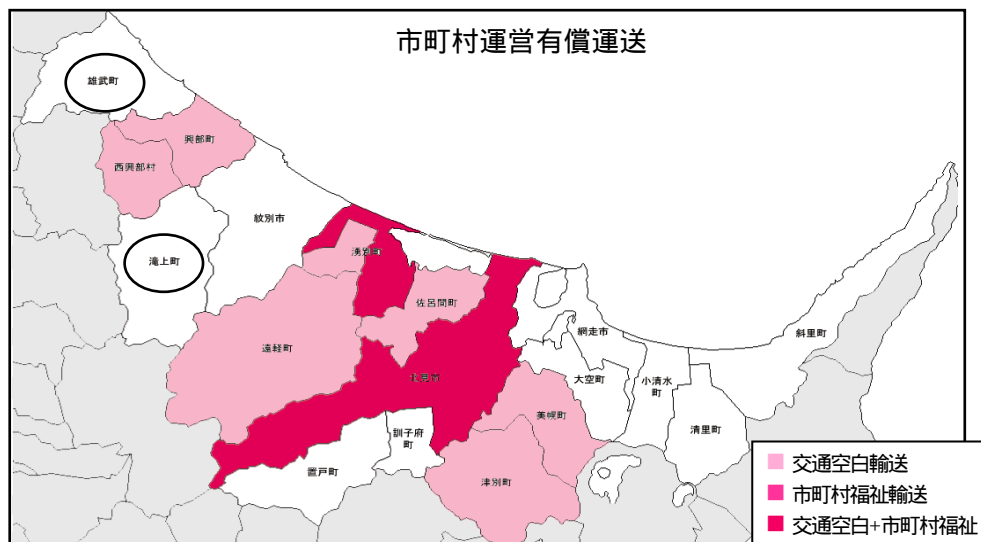
(2) 福祉輸送の実施状況

■市町村別福祉輸送サービス提供状況

市町村名	自家用有償旅客運送事業						旅客自動車運送事業			
	福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送		一般乗用旅客		特定旅客	
	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	車両台数	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数
北見市	6	37			1	1	13	60	1	5
網走市	4	22					3	2		
紋別市							7	35		
美幌町	1	1			3		3	4		
津別町					9					
斜里町	1	4								
清里町	2	6								
小清水町	1	4					1	1		
訓子府町										
置戸町										
佐呂間町							1	2		
遠軽町	1	27			3		1	4		
上湧別町	2	16			1					
湧別町					8	1				
滝上町										
興部町					2					
西興部村					1					
雄武町										
大空町	4	10								
網走支庁計	22	127	0	0	28	2	29	108	1	5

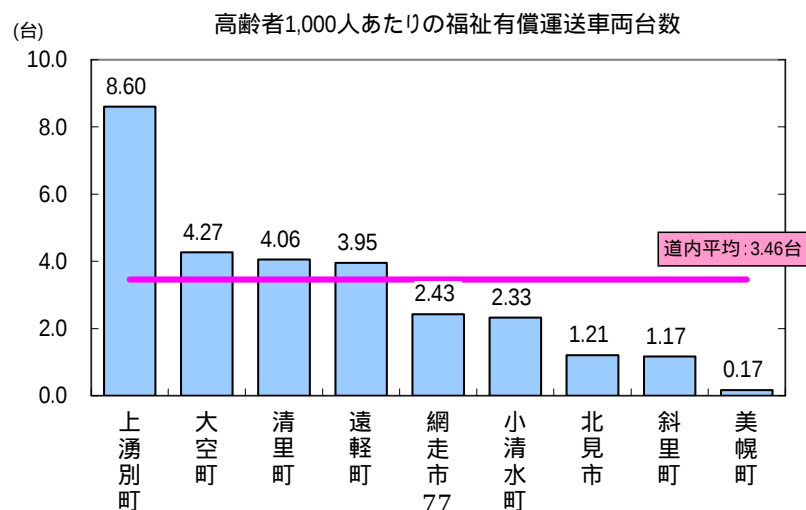
自家用有償旅客運送事業がない地域(圏域範囲は除く)
 圏域範囲とは、事業所はないが近隣市町村で運行をまかっている地域
 自家用有償旅客運送事業、旅客自動車運送事業ともない地域

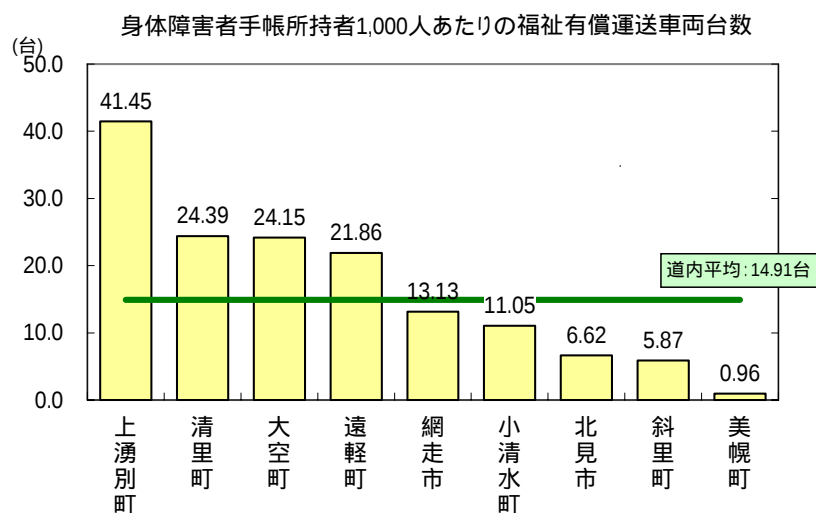
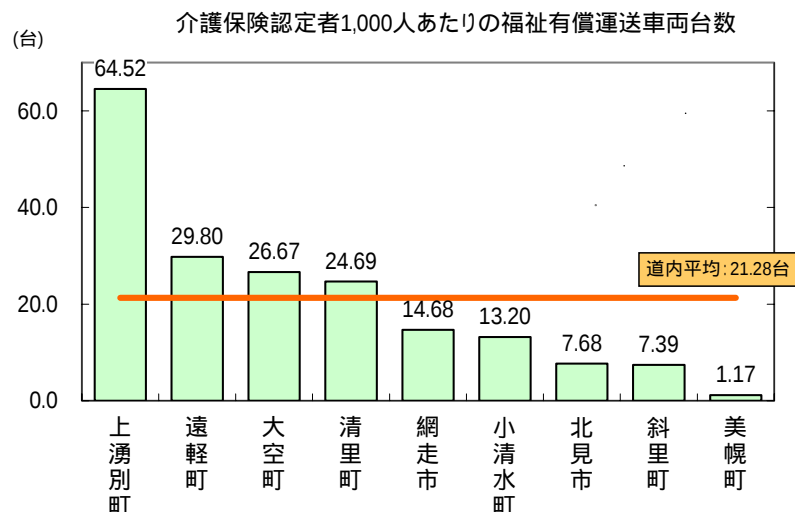




地図上の丸で囲まれた地域（雄武町、滝上町）は、一般乗用旅客自動車運送事業の圏域範囲運行も含めて、運行がないと思われる地域（空白地帯）。

（３）福祉有償運送の各種人数あたりの車両台数





(4) 網走支庁まとめ

- 北海道の北東部にあってオホーツク地域ではオホーツク海と 280km の海岸線で接している。面積は新潟県に匹敵する広さを持ち、冬季間の気候が厳しく 1 ～ 3 月にかけては流氷が海面を覆う。また、日照時間が長いことも特徴。
- 北見市が 12 万人を超える人口を有し、次いで網走市の 3.9 万人、紋別市の 2.5 万人と続く。高齢化率をみると、滝上町、置戸町、陸別町が高い割合を示している一方、網走市、北見市などは道内平均を下回っている。また、平成 18 年 3 月に北見市、端野町、常呂町、留辺蘂町が合併した北見市の面積は、北海道では第 1 位、全国でも第 4 の広さとなっている。
- 福祉輸送の実施状況を見ると、紋別市は福祉有償運送事業者が存在しない。しかし、一般乗用旅客は 7 団体存在している。
- 旅客自動車運送事業も含めての交通空白地帯としては訓子府町、置戸町、滝上町、雄武町となっており、「圏域」からも外れている地域としては雄武町、滝上町となっている。
- 福祉有償運送の高齢者等 1,000 人当たりの車両台数を見ると、上湧別町における台数が圧倒的に多い。ただし、これは湧別町と合併以前の数値である。また、その一方、美幌町に関しては 1 事業所 1 台ということもあり、非常に小さい値を示している。

10. 胆振支庁

(室蘭市 / 苫小牧市 / 登別市 / 伊達市 / 豊浦町 / 壮瞥町 / 白老町 / 厚真町 / 洞爺湖町 / 安平町 / むかわ町)

(1) 地域概要

面 積	3,698km ²	人 口	426,639 人 (H17 国勢調査)	世 帯	181,451 世帯 (H17 国勢調査)
概 要					
地 勢					
胆振支庁は、北海道の中央南部にあって、東西 152km、南北 98km の細長い地形をし、南部の約 218km は海岸線で太平洋に面しています。隣接する支庁は、東部が日高、西部が渡島、北部が後志、石狩、空知、上川の各支庁となっています。					
気 候					
管内の気候は、全般的に臨海性で、一部には海霧の発生や冷涼な地域を含みますが、積雪寒冷の厳しい本道にあっては、比較的温暖で暮らしやすい地域となっています。春のおとずれは早く、夏はむし暑さはなく、さわやかで安定した気候の長い秋が続いた後、冬は大陸からの寒気の影響が小さく、山間部の一部を除き、温暖で積雪量も少ないなど、恵まれた気象条件にあります。					
産 業					
農 業					
胆振は道央の農業地帯に位置していますが、東部の勇払平野、西部の河川流域台地を中心に、冬温暖、夏冷涼な気候を活かしたバラエティに富んだ農業が営まれています。東部地域の厚真町、むかわ町などでは「たんとう米」の主産地として水稻が中心作物となっているほか、野菜、畑作物、花き、肉用牛（黒毛和種など）が生産されています。安平町追分地域ではアサヒメロンが栽培され、都市近郊型農業が行われています。白老町は「白老牛ブランド」の肉用牛が多く生産されており、苫小牧市、安平町早来地域では、酪農、畜産を主体とした農業が行われています。このほか、むかわ町、安平町などで軽種馬の生産が行われています。西部地域の伊達市、壮瞥町、洞爺湖町は、温暖な気候を活かして、露地野菜、高級菜豆、果樹、稲作や施設園芸作物など多種多様な農産物を生産しています。室蘭市、登別市、豊浦町、伊達市の大滝区では、酪農、畜産が主体となっています。また、豊浦町は道内有数のいちご産地となっており、伊達市大滝区ではアロニアの栽培が行われています。平成17年度の農業産出額は約458億円で、前年に比べ約9億円減少しました。耕種部門では、米が作況指数109の豊作になり、他の耕種についても平年並みを確保しました。畜産部門は、肉用牛が輸入量の減少による価格の上昇と出荷頭数の増加により前年に比較して11%増加しており、鶏についても増加しています。農家戸数、農業就業人口は年々減少する傾向にあり、平成17年度はそれぞれ2,401戸、5,571人となっています。農家1戸当たりの経営規模をみると、平成17年の耕地面積は14.7haで全道平均の22.5haに比べて小さくなっています。農家1戸当たりの生産農業所得(平成16年)は、475万円で全道平均の660万円に比べて低くなっています。近年では、「食」に対する消費者ニーズに対応するため、農薬や化学肥料の使用量削減など、クリーン農業の取り組みが管内各地で定着化しています。食糧自給率の向上、環境と調和した持続的農業の推進と潤いのある農村をつくるため、農業・農村の整備を計画的に進めています。農地の生産力の維持向上のため、区画整理や暗きょ排水、土地改良を行っています。農産物流通の合理化や農村生活環境の改善を図るため、農道網の整備を行っています。農地や農業用施設を災害から守り、農業生産の維持と農業経営の安定を図るため、地滑り防止施設や海岸保全施設などの整備を行っています。家畜ふん尿の適正な管理と有効利用を図るため、計画的に家畜ふん尿処理施設の整備を行っています。					
森林・林業					
管内の森林面積は、253千haで、総土地面積の68.3%を占め、全道森林面積の4.6%、森林蓄積量は、26,332千立方メートルで全道の3.8%に当たります。道では、北海道にふさわしい豊かな生態系をはぐくむ森林づくりに向けて、「北海道森林づくり条例」を制定しました。また、それに基づき「北海道森林づくり基本計画」を策定し、百年先を見据えた森林づくりを進めています。この基本計画では、これまでの木材生産主体の政策から、森林の多面的機能を持続的に発揮させる政策への転換を図るとともに、道民との協働による森林づくりをすすめていくこととしています。また、みどりに対する道民の関心や期待が高まってきて、住民主体の緑化活動が活発化している中、地域住民、ボランティア、地元企業や自治体等が連携して活動するための「いどり・いぶりネットワーク」が発足して、情報交換等を通して地域でのみどりの環境づくりに向けた取り組みが進められています。一方、管内は道内の木材・木製品の輸入の拠点となっており、室蘭港、苫小牧港の2港で輸入丸太の36.2%、製材の94.5%、チップの71.5%、パルプの100%を取り扱っています。(平成18年度)					
水産業					
漁業生産額は137億円で全道の4.9%を占めています。(平成18年) すけとうだら、ほたて貝、ほっき貝、さけなどが中心で、これら4魚種で全体の漁獲高のうち金額で76.4%、数量で90.6%を占めています。(平成18年)噴火湾地域では、ほたて養殖、登別市以東の太平洋西部地域では、すけとうだらや刺網、さけ定置網、ほっき貝漁業などが盛んです。たらこやさけのくん製、ほたてのボイル・缶詰などの水産製品が加工され、出荷されています。えぞばふんに、まつかわなど中間育成・放流など栽培漁業の取り組みを進めているほか、サクラマスライセンス制の導入などにより資源管理や秩序ある水面利用への取り組みを進めています。平成18年度から、マツカワの資源増大を目指す「えりも以西海域栽培漁業拠点センター」(伊達市)、栽培漁業技術開発の拠点である「道立栽培水産試験場」(室蘭市)が稼働しています。					

工 業

平成17年工業統計調査によると、管内の製造品出荷額等は約1兆6,805億円で、全道の約30.8%を占めています。管内の工業構造は、製造品出荷額の約83%が石油精製、紙・パルプ、鉄鋼・自動車部品などの業種で占められており、かつ、大規模事業所のウエイトが高いという特徴を持っています。とりわけ、新日本製鐵(株)室蘭製鐵所、(株)日本製鋼所室蘭製作所、三菱製鋼室蘭特殊鋼(株)(いずれも室蘭市)の鉄鋼関連3社は、フル操業が続き、生産量、売上高とも高水準で推移しています。トヨタ自動車北海道(株)(苫小牧市)は、好調な輸出増に支えられ、自動変速機(AT)、アルミホイール、トランスファーの主力3製品に加え、平成18年から生産開始の無段変速機(CVT)もフル生産体制に入っており、平成18年の第4工場の完成に続いて第5工場の建設が進むなど大型設備投資が進んでいます。環境・リサイクル関連では、室蘭市のPCB廃棄物処理事業が、平成19年10月の本格稼働に向け建設が進められています。室蘭地域では、室蘭工業大学と企業との共同研究が活発化しており、平成16年度は101件、平成17年度は109件の実績があり、平成17年度の国立大学法人等の中で中小企業との共同研究・受託研究比率では、全国1位となっています。また、平成17年2月に室蘭工業大学地域共同研究開発(CRD)センターと(財)室蘭テクノセンターが業務提携し、同年4月からCRDセンター内に産学官連携支援室を設置し業務を開始、12月には室蘭地域の6金融機関を含めた「室蘭地域産業支援連携協定」を締結し、その後も2金融機関と「産学連携協定」を締結、平成18年12月には、室蘭、登別、伊達三市と包括連携協定を結び、産学官金の連携が進められています。苫小牧地域においては、苫小牧工業高等専門学校地域共同研究センターと(財)道央産業技術振興機構などが中核となり産学連携に取り組んでいるほか、苫小牧市テクノセンターでは、機械金属製造業及び関連する企業の技術向上や研究開発を支援しています。最近では、民間団体との共同(受託)研究や講習会、セミナーでの連携協力を図るため、地元金融機関と苫小牧駒澤大学、苫高専との間で産学連携基本協定を締結しました。また、苫小牧商工会議所を中心に、室蘭、千歳地域等の商工会議所による道央都市連携構想を推進しています。平成17年の工場立地動向調査によると、胆振管内では、3件の立地がありました。大手自動車部品メーカーのアイシン精機(株)が苫小牧進出発表後、平成18年にアイシン北海道(株)を設立し、苫東地域に新工場を建設するなど、管内においても製造業を中心とする大型設備投資が顕在化しています。

商 業

胆振の商業は、室蘭、苫小牧を中心に発展してきました。卸売業の中心は室蘭、苫小牧で管内の卸売商品販売額の約9割を占めています。小売業においても、苫小牧、室蘭、登別、伊達に大型店が集まっており、地域商業の中心的な役割を果たしています。平成14年と平成16年を比較すると、事業所、販売額とも減少しています。空洞化が進む中心市街地及び商店街の活性化を目的とする「中心市街地活性化基本計画」は平成18年3月現在、安平町(旧追分町)、洞爺湖町(旧洞爺村)、苫小牧市、伊達市、豊浦町が策定済みです。また、伊達市の「伊達物語回廊」のようにテーマを定めて景観に配慮した商店街づくりも進められています。

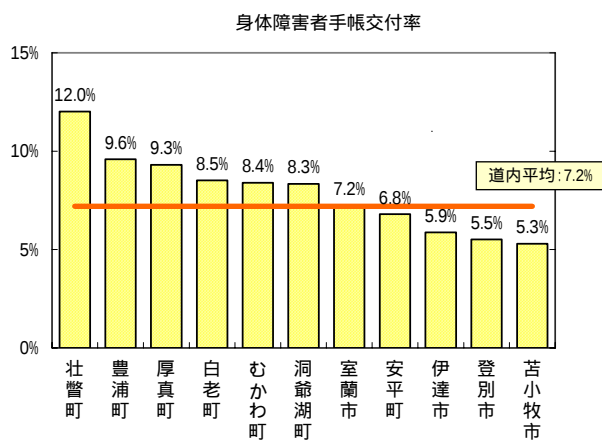
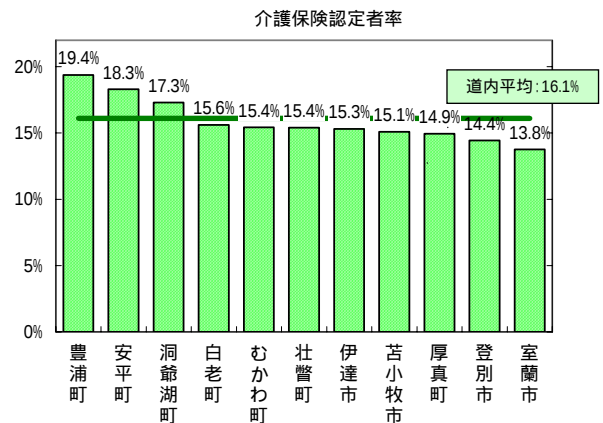
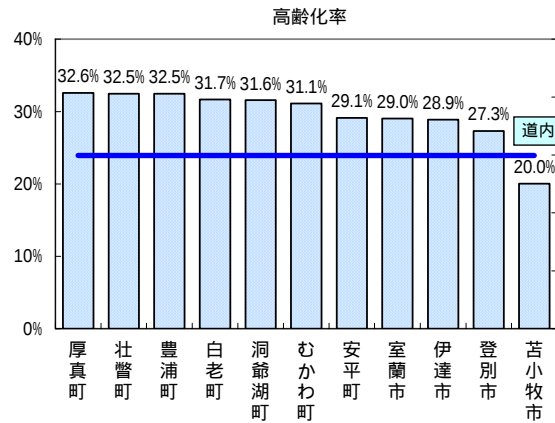
観 光

支笏洞爺国立公園を擁する胆振は、洞爺湖や登別などの温泉地、美しい海岸線や多くの湖沼など、優れた観光資源に恵まれ、全国的にも名の知れた温泉観光地となっています。平成17年度の観光入込客数は、入込客数1,660万人(全道1億3,903万人、全道の約12%、全道14支庁中第4位)、宿泊客延数は339万人(全道3,397万人、全道の約10%)となっています。近年、東アジアを中心とした海外からの観光客が増加傾向にあり、平成17年度の外国人観光客の宿泊者数は、約35万6千人で全道の約22%を占めています。管内の各観光地では、修学旅行客誘致や海外プロモーション活動の展開、特徴あるさまざまなイベントの開催などに積極的に取り組むとともに、幅広い滞在・体験型観光の推移や受入態勢整備、観光産業と地場産業との連携強化などによる観光地としての新たな魅力作りを目指しています。

(北海道ホームページの支庁紹介より)

■市町村基礎情報

市町村名	面積(Km ²)	人口	65歳以上人口						第1号被保険者 介護保険認定		手帳交付状況	
			人口	高齢化率	前期高齢者		後期高齢者		認定者数	認定者率	身体障害者手帳	
					人口	高齢化率	人口	高齢化率			交付者数	交付率
室蘭市	80.65	96,050	27,882	29.0%	15,126	15.7%	12,756	13.3%	3,838	13.8%	6,952	7.2%
苫小牧市	561.49	173,572	34,788	20.0%	19,329	11.1%	15,459	8.9%	5,249	15.1%	9,192	5.3%
登別市	212.11	52,572	14,354	27.3%	7,818	14.9%	6,536	12.4%	2,074	14.4%	2,896	5.5%
伊達市	444.28	37,058	10,704	28.9%	5,532	14.9%	5,172	14.0%	1,639	15.3%	2,178	5.9%
豊浦町	233.54	4,622	1,501	32.5%	680	14.7%	821	17.8%	291	19.4%	443	9.6%
壮瞥町	205.04	2,995	973	32.5%	469	15.7%	504	16.8%	150	15.4%	360	12.0%
白老町	425.75	20,148	6,382	31.7%	3,435	17.0%	2,947	14.6%	996	15.6%	1,716	8.5%
厚真町	404.56	4,890	1,592	32.6%	755	15.4%	837	17.1%	238	14.9%	455	9.3%
洞爺湖町	180.54	10,518	3,322	31.6%	1,652	15.7%	1,670	15.9%	575	17.3%	877	8.3%
安平町	237.13	9,116	2,657	29.1%	1,271	13.9%	1,386	15.2%	486	18.3%	620	6.8%
むかわ町	712.91	9,919	3,087	31.1%	1,480	14.9%	1,607	16.2%	476	15.4%	833	8.4%



(2) 福祉輸送の実施状況

■市町村別福祉輸送サービス提供状況

市町村名	自家用有償旅客運送事業						旅客自動車運送事業			
	福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送		一般乗用旅客		特定旅客	
	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	交通空白	市町村福祉	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数
室蘭市	3	33					6	19		
苫小牧市	8	31					12	55	1	
登別市	1	4					2	6	1	4
伊達市	3	7					3	17		
豊浦町					4	7	1	1		
壮瞥町										
白老町	4	58								
厚真町					1	1				
洞爺湖町	2	3	2	12						
安平町						2	1	3		
むかわ町	1	3			7	1				
胆振支庁計	22	139	2	12	12	11	25	101	2	4

自家用有償旅客運送事業がない地域(圏域範囲は除く)
 圏域範囲とは、事業所はないが近隣市町村で運行をまかっている地域
 自家用有償旅客運送事業、旅客自動車運送事業ともない地域

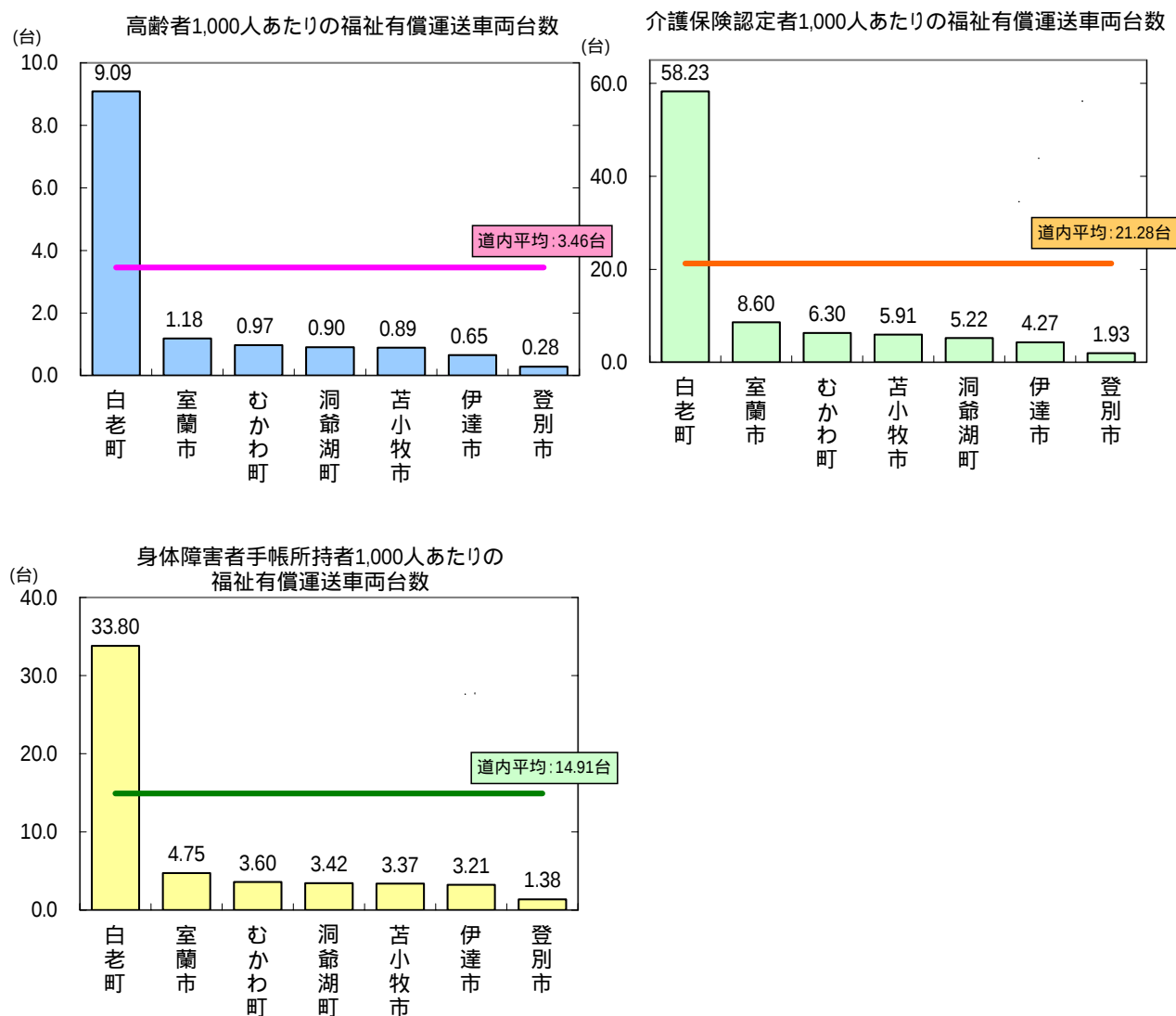
A map of the Kanto Plain showing the locations of the 10 cities and towns that merged to form Maebashi City. The map highlights the areas of Maebashi City (green), Maebashi City (white), and Maebashi City (grey).

[illegible]

交通空白輸送
 市町村福祉輸送
 交通空白+市町村福祉

■ 一般乗用旅客
 ■ 一般乗用旅客(圏域範囲運行)
 ■ 特定旅客 + 一般乗用旅客

(3) 福祉有償運送の各種人数あたりの車両台数



(4) 胆振支庁まとめ

- 北海道の中央南部に位置し、太平洋側の海岸線が 218km 続いており、北海道の中では温暖な地域のほうで積雪も少ない。
- 苫小牧の約 17 万人を筆頭に、室蘭市の 9.6 万人、登別市の 5.2 万人と続く。高齢化率は苫小牧を除いてすべて道内平均を上回っている。
- 福祉輸送の状況としては、福祉有償運送において、苫小牧市、室蘭市よりも白老町において台数が倍近く存在している。また、旅客乗用自動車運送事業では比較的都市部にあたる苫小牧市、室蘭市、登別市、伊達市などに集中している。
- 交通空白地にあたる地域としては壮瞥町となっている（圏域としてはフォローされている）。
- 福祉有償運送の高齢者等 1,000 人あたりの車両台数をみると、白老町が突出している。これは前述したとおり他市町村よりも台数が圧倒的に多いためである。逆に登別市、伊達市に関しては非常に比率が低い。

1 1 . 日高支庁

(日高町 / 平取町 / 新冠町 / 浦河町 / 様似町 / えりも町 / 新ひだか町)

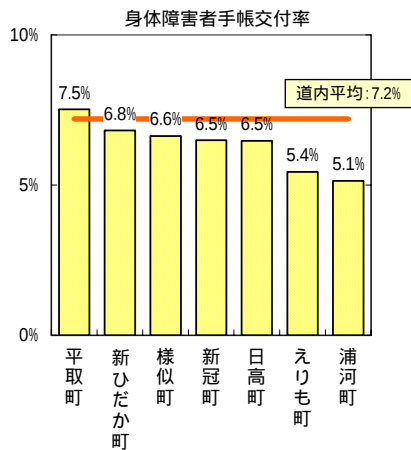
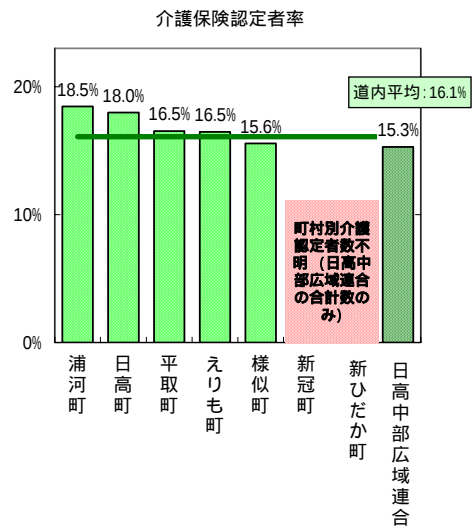
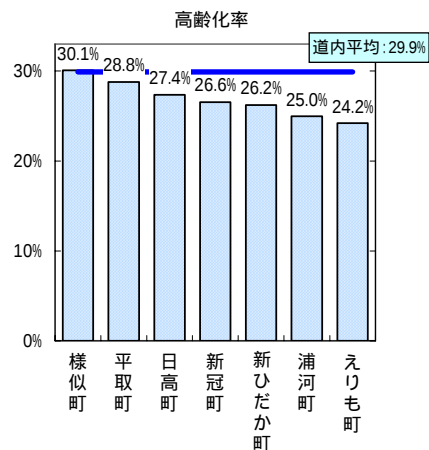
(1) 地域概要

面 積	4,811.96km ²	人 口	77,367 人	世 帯	35,735 世帯
概 要					
地 勢					
日高管内は、本道の中央南西部に位置し、南北に連なる日高山脈とほぼそれに並行して走る海岸線に挟まれた長方形上の地理的条件にあります。隣接する支庁は、北東は日高山脈を境に上川・十勝両支庁に、北西は胆振支庁にそれぞれ接しており、南は太平洋に面しています。面積は、4,811.96km²で、北海道の全面積の 5.8%を占めており、14 支庁中第 7 位の広さを有しています。これは、和歌山県や福岡県にほぼ匹敵する広さとなっています。面積の 8 割以上が山林で占められており、豊富な森林資源に恵まれています。平野部は少ないため、全道に比べ、宅地や耕地面積の割合は低くなっています。					
気 候					
日高管内の気候は、積雪寒冷地帯である本道にあって、比較的温暖で積雪量も少なくなっていますが、太平洋に面する沿岸地帯と内陸部では、差違がみられます。沿岸地域では海洋性気候を示し、四季及び昼夜の変化は比較的少なく、降雪量も少ないが降水量はやや多くなっています。一方内陸部では、大陸性気候の傾向を示し、気温の変化が大きく、降雪量も多くなっています。					
産 業					
農 業					
管内は、国内生産頭数の約 80% (H19 は 5,685 頭) を占める全国一を誇る軽種馬をはじめ、稲作、畑作や酪農、肉牛などが行われています。軽種馬の平成 18 年度農業産出額に占める割合は、全道で約 3% ですが、管内では、約 63% を占める基幹産業となっています。近年、国内景気の低迷や中央・地方競馬の減収、外国産馬の出走制限緩和などの影響により、生産頭数、飼養農家戸数は減少傾向にあり、また農産物価格の低迷や輸入農産物の増加、産地間競争の激化などが進展しています。このため、経営体質の強化、生産育成技術の向上などによる強い馬づくりや管内の気象・自然条件を活かした野菜・花きなどの導入や農業経営の複合化などを進めています。全道一の生産を誇るトマトは、平取町を中心に栽培され、平成 20 年の販売額は約 31 億円となっています。					
森林・林業					
管内は豊富な森林資源を有しており、森林面積は全道森林面積の約 7% を占めています。また、管内総面積に占める割合は約 84% (40.2 万 ha) であり、これは 14 支庁中最も高い比率となっています。広葉樹の森林蓄積量は 33,799 千 m³ で全道の約 10% を占め、ナラ、カンバ、アオダモなど優良広葉樹の主産地となっています。この豊富な森林資源を活かし、林産業は素材生産・合単板業を中心に生産額 70 億円の基幹産業となっています。集成材、カラマツ間伐材の防腐加工、アオダモバット材生産など特徴的な取組も多く見られます。しかし、近年の木材需要の低迷により、林業・木材産業は厳しい状況におかれています。このため、林業・木材産業の新たな振興策の検討が課題となっており、公共事業における人工林間伐材の利用促進や地域産業と連携した木材の利用拡大を図っています。					
水産業					
管内は、167km の海岸線を有し、親潮と黒潮のぶつかりあう好漁場に恵まれ、こんぶ、さけ定置、たこ及び各種刺し網などの沿岸漁業を主体に漁業が行われており、近年の生産額は概ね 160 億円程度で推移し、特に、こんぶ、たこ、つば類、ハタハタの生産額は、全道生産額のそれぞれ 17.4%、18.7%、40.5%、7.0% を占め (H19 数値)、管内の特産魚種として漁獲されています。平成 19 年の管内の魚種別生産額割合を見ると、こんぶが 24.5%、さけ 28.4%、たこ 12.7%、つば類 6.7%、かれい 4.2% となっており、こんぶ及びさけの二魚種で管内全体のおよそ半分を占め、この二魚種が主要魚種として重要な地位を占めています。					
工 業					
管内の工業は、食料品製造業、木材・木製品製造業、窯業、土石製品製造業(セメント製品、骨材製品等)など地場資源を活用した地方資源型企業が大きな割合を占めています。また、全道と比較すると、1 事業所当たりの従業者数や出荷額も低く、小規模な経営が多くなっています。今後、管内の工業は付加価値の高い製品づくりが課題となっており、企業立地は、長引く不況の影響もあり、大きな動きは見られません。					
商 業					
管内の卸売業・小売業は、1 店舗当たりの従業員数、販売額とも全道平均を下回っており、小規模な経営が多くなっています。近年、管内の中小業者を取り巻く環境は、過疎化に伴う商圏人口の減少や規制緩和等による大型店の進出などにより厳しい状況にあり、消費者ニーズにあった取り組みが課題となっています。こうした中で、国道拡幅による商店街整備や既存商店街の近代化事業の実施など、環境の変化に対応した新しい動きが見られます。					
観 光					
管内には、名馬鑑賞やホーストレッキング、温泉などを目的に、毎年道内外から多くの観光客が訪れ、平成 19 年度の観光客の入込数は、236 万人となっております。観光客の入込数を季節別にみますと、夏季(6月～9月)が全体の約 48% を占める夏季集中型の観光形態となっており、また、宿泊・日帰り客別にみますと、日帰り客が全体の約 90% を占める通過型の傾向にあると言えます。秋から春にかけての集客対策、宿泊客の誘致が重要な課題となっています。このような課題に対応するため、乗馬などの体験観光の推進や、地場食材を活用した食観光の振興による、観光客の誘致活動が行われています。					

(北海道ホームページの支庁紹介より)

■市町村基礎情報

市町村名	面積(Km ²)	人口	65歳以上人口						第1号被保険者 介護保険認定		手帳交付状況	
			人口	高齢化率	前期高齢者		後期高齢者		認定者数	認定者率	身体障害者手帳	
					人口	高齢化率	人口	高齢化率			交付者数	交付率
日高町	992.67	14,059	3,847	27.4%	1,897	13.5%	1,950	13.9%	692	18.0%	910	6.5%
平取町	743.16	5,757	1,657	28.8%	811	14.1%	846	14.7%	274	16.5%	433	7.5%
新冠町	585.88	5,901	1,567	26.6%	729	12.4%	838	14.2%			383	6.5%
浦河町	694.24	14,507	3,624	25.0%	1,812	12.5%	1,812	12.5%	669	18.5%	746	5.1%
様似町	364.33	5,380	1,619	30.1%	776	14.4%	843	15.7%	252	15.6%	357	6.6%
えりも町	283.93	5,624	1,361	24.2%	659	11.7%	702	12.5%	224	16.5%	306	5.4%
新ひだか町	1,147.75	26,139	6,852	26.2%	3,553	13.6%	3,299	12.6%			1,783	6.8%
							日高中部広域連合		1,287	15.3%		



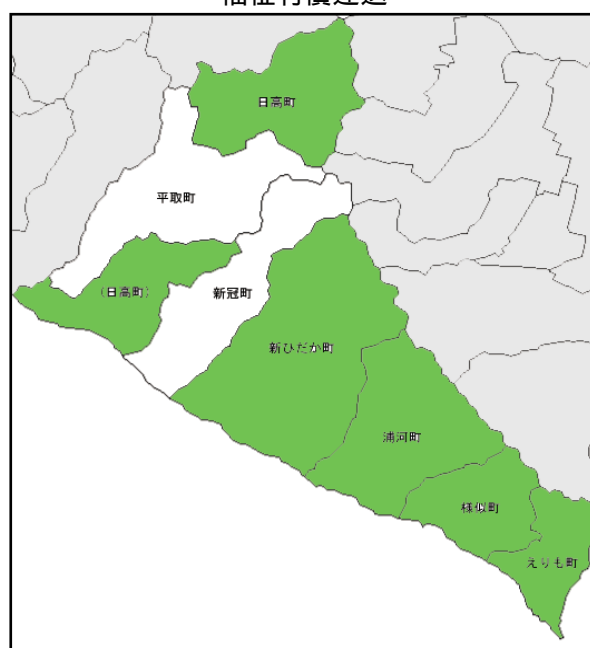
(2) 福祉輸送の実施状況

■市町村別福祉輸送サービス提供状況

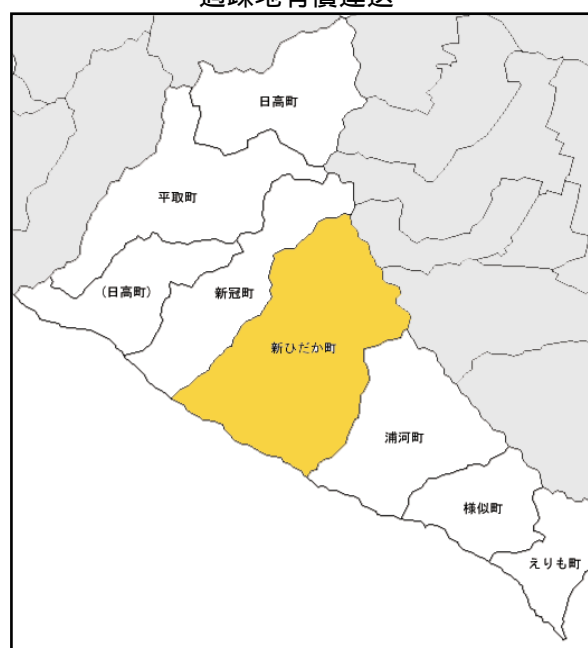
市町村名	自家用有償旅客運送事業						旅客自動車運送事業			
	福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送 交通空白		一般乗用旅客		特定旅客	
	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	車両台数	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数
日高町	2	10			4	2	2	3		
平取町					3		2	2		
新冠町										
浦河町	3	17					2	31		
様似町	1	3								
えりも町	1	3								
新ひだか町	2	4	1	2		7	2	15		
日高支庁計	9	37	1	2	7	9	8	51	0	0

■ 自家用有償旅客運送事業、旅客自動車運送事業ともない地域

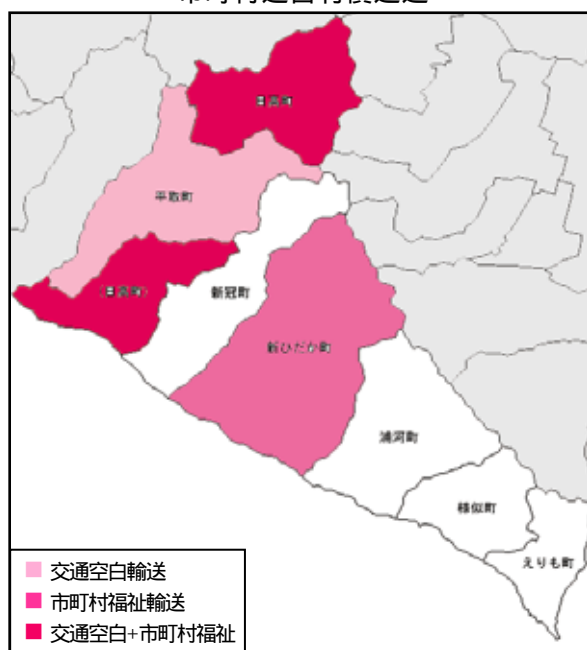
福祉有償運送



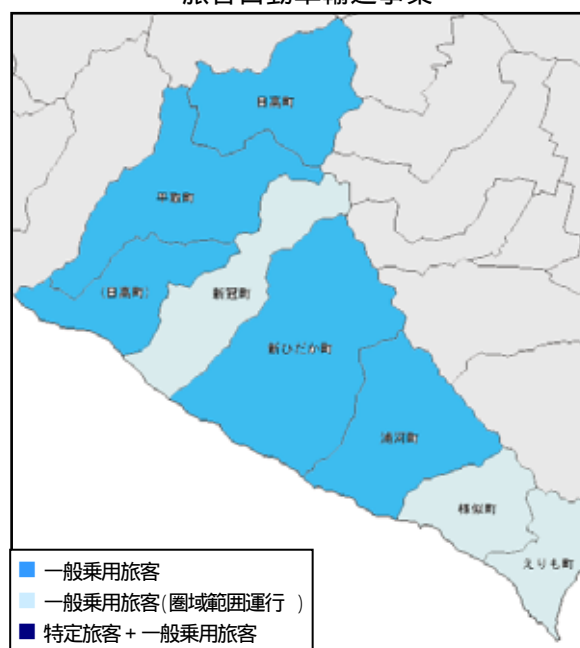
過疎地有償運送



市町村運営有償運送

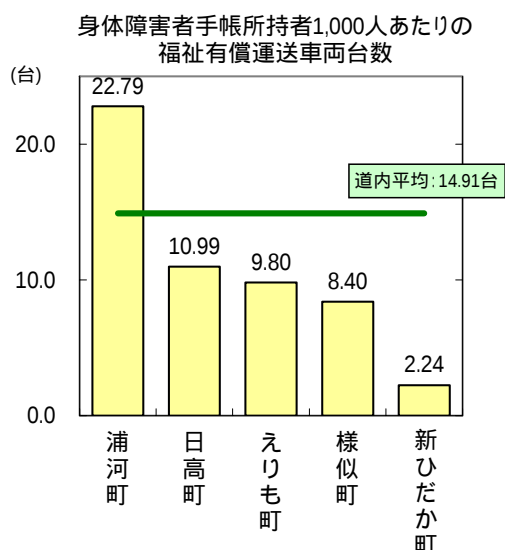
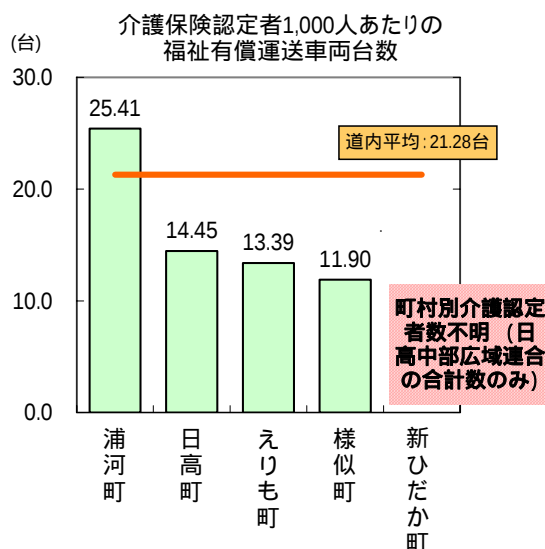
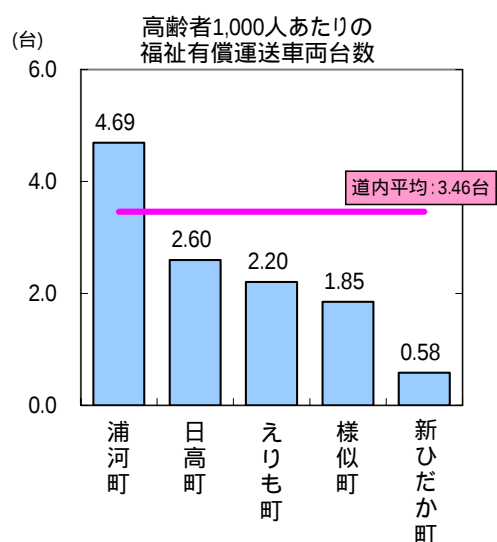


旅客自動車輸送事業



圏域範囲運行とは、事業所は存在しないが、他市町村の事業所で運行をまかなっている地域

(3) 福祉有償運送の各種人数あたりの車両台数



(4) 日高支庁まとめ

- 日高支庁は北西には胆振支庁、北東には上川・十勝両支庁と隣接しており、南は太平洋に面している。面積は福岡県や和歌山県に匹敵する大きさとなっている。また、日高山脈を有し、平野部が少ない。
- 太平洋側に面する地域は温暖であり積雪も少ないが、内陸部になると降雪量が多い。
- 全支庁の中で日高支庁と同じく市を持たず、最も人口の多い新ひだか町では約 2.6 万人の人口となっている。高齢化率は道内平均と比べて低いところがほとんどで特にえりも町が最も低い。
- 福祉輸送の台数をみると、日高町では交通空白に関する車両台数が 4 台と他地域よりも多いが、これは飛び地であることが予想される。また、浦河町では他地域よりも有償運送に関する台数や、一般乗用旅客の車両台数が多い。
- 交通空白地にあたる地域としては新冠町となっている。(圏域としてはフォローされている)
- 福祉有償運送の高齢者等 1,000 人あたりの車両台数をみると、浦河町が多く道内平均を上回っているが、新ひだか町をはじめ他は道内平均を下回っている。

1 2 . 十勝支庁

(帯広市 / 音更町 / 士幌町 / 上士幌町 / 鹿追町 / 新得町 / 清水町 / 芽室町 / 中札内村 / 更別村 / 大樹町 / 広尾町 / 幕別町 / 池田町 / 豊頃町 / 本別町 / 足寄町 / 陸別町 / 浦幌町)

(1) 地域概要

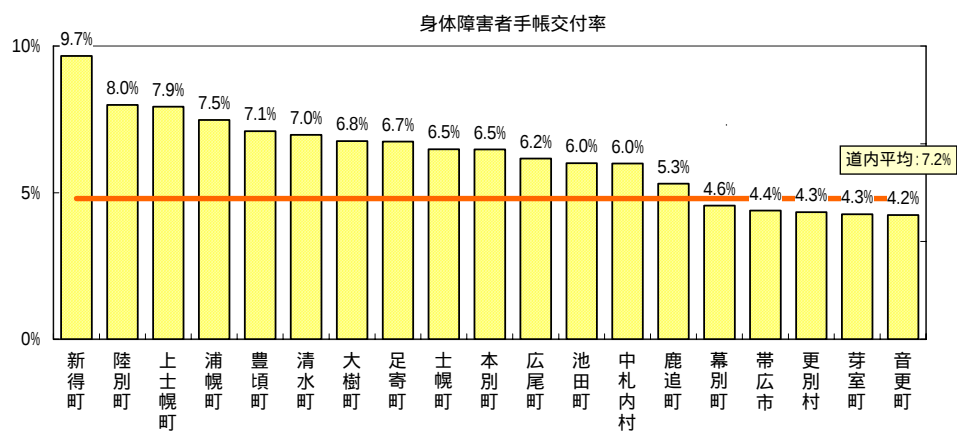
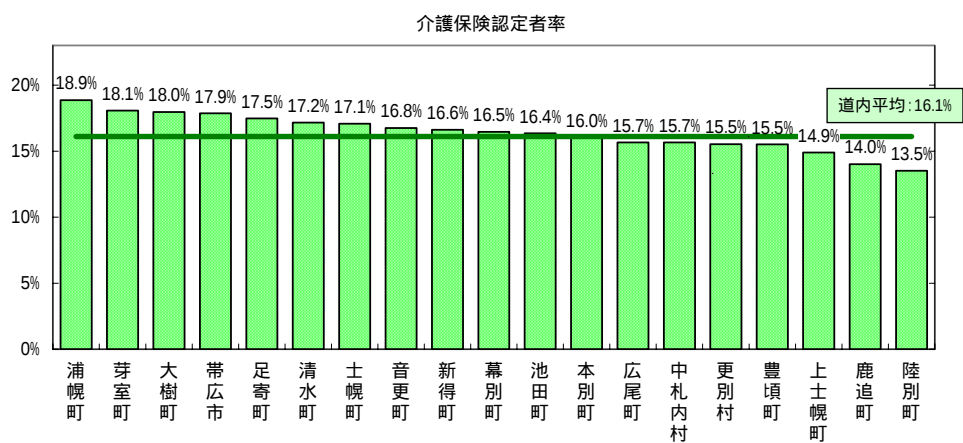
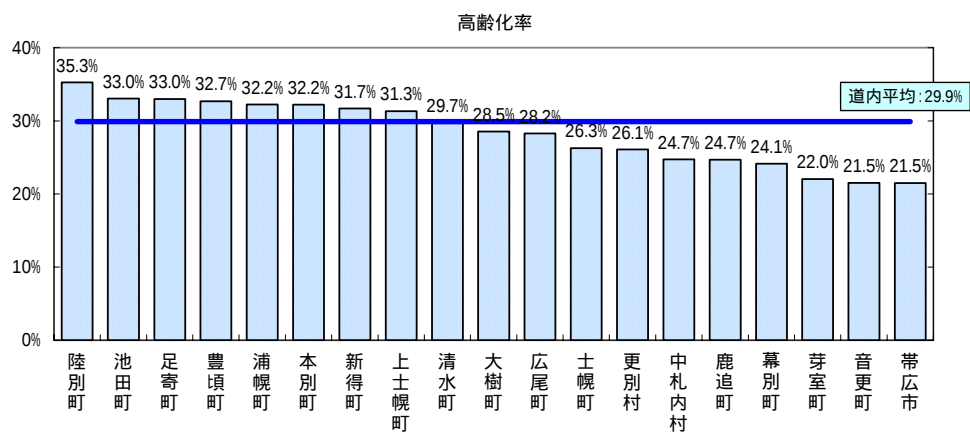
面 積	10,831.24km ² (H21.10.1 現在)	人 口	353,923 人(H21.12.31 現在)	世 帯	157,565 世帯(H21.3.31 現在)
概 要					
地 勢					
「十勝」という地名は、管内を流れる十勝川をさすアイヌ語「トカプチ」からといわれています。それは「乳」を意味し、川口が二つ乳房のように並んでいることに由来しています。十勝川が日高山脈を背景として悠々と流れる姿は十勝の象徴でもあり、延長 156km、北海道第 3 位の長さを誇り、十勝川水系には平野を潤す大小 200 あまりの河川が流れ込む、まさに十勝の母なる川です。北海道の開拓が、食料確保と北の守りという目的のもと官主導で進められる中で、十勝の開拓は、明治 16(1883)年に静岡県から入植した晩成社をはじめとして、富山、岐阜など本州からの民間の開拓移民により進められました。 先人たちは、山深い自然や大雨で氾濫する十勝川と立ち向かい、不屈のチャレンジ精神で幾多の困難を乗り越え、少しずつ畑を開いていったのです。以来 120 年余り、十勝は寒冷な気象条件にありながらも、恵まれた土地資源を活かし、近代技術の導入や土地基盤整備を進めながら、農業を主要産業として栄えてきました。十勝支庁管内は、1 市 16 町 2 村で構成され、日本最大の食料基地としての役割が期待されています。					
気 候					
十勝地方は、亜寒帯に属する北海道にあって、太平洋岸を除き大陸性気候であることが特徴です。春にはフェーン性の乾燥した季節風が日高山脈を越えて強風となることがあり、夏は海岸部で海霧が立ちこめ、日中の気温はあまり上がりませんが、内陸部では比較的高温が続きます。冬は大陸性寒冷高気圧により低温が続きますが、日高山脈で雪雲が遮られることから降雪量は少なく晴天の日が続きます。年間を通じて全国的にも有数の日照時間に恵まれ、年間降水量も少なくなっています。					
産 業					
農 業					
十勝は、豊富な土地資源とすばらしい自然環境に恵まれ、規模拡大や基盤整備を進めながら、畑作や酪農を中心とした大規模農業経営を展開し、我が国の食料供給を担う重要な役割を果たしています。管内の耕地面積は平成 19 年で 255,400ha と、全道の 22.0% を占めています。1 戸あたりの耕地面積は平成 19 年で 37.9ha と全道平均の約 2 倍、全国平均の約 22 倍と大規模な畑作経営となっています。農業従事者数は年々減少しており、平成 17 年で 20,762 人、そのうち約 37% を 60 歳以上が占めており、高齢化が進んでいます。畑作は、麦類、豆類、馬鈴しょ、てん菜の畑作 4 品目を主体とした輪作体系が確立され、多くの品目で全道一の生産量となっています。野菜は、長いもやだいこんなどの根菜類をはじめ、スイートコーンや葉物など多種多様な品目が生産されています。特に、長いもは国内のみならず台湾などの海外へも輸出されています。酪農では、1 戸当たりの乳牛の飼養頭数がここ数年増加しており、平成 19 年で 118 頭と、EU 諸国の水準に匹敵する大規模経営となっており、生乳生産量も 100 万 505 トン(平成 18 年)と全道最大の生産規模を誇ります。肉用牛の飼養頭数も、平成 19 年で 196,300 頭と全道の 41.4% を占め、全道一となっています。飼養頭数のほとんどを乳用種が占めていますが、最近では肉専用種(特に黒毛和種)の飼育も盛んです。農業産出額は、平成 18 年で 2,402 億円、近年は 2,500 億円前後で推移しており、全道の産出額の約 4 分の 1、全国 13 位の静岡県に匹敵するものとなっております。北のクリーン農産物表示制度(通称 YES! Clean)による産地認証(管内 31 産地)や、エコファーマーの認定(同 1,218 戸)など、クリーン農業の取組が広がっています。(産地数、戸数は平成 21 年 2 月現在)					
森林・林業					
十勝管内の森林面積は、管内の総土地面積の 63.9% に当たり、全道の森林面積の 12.5% を、総蓄積では 15.3% を占め、北海道の主要な木材生産地帯となっています。所管別の森林面積は、国有林が全体の 60.0%、道有林が 6.5%、一般民有林が 33.5% を占めています。林相別では、天然林が 68.1%、人工林が 26.0% を占めています。十勝管内のカラマツ人工林資源は、主伐対象となる 7 令級以上の面積が資源全体の 7 割を占めています。近年、台風による風倒木被害に見舞われ、被害木整理に併せた主伐やカラマツ需要の高まりなどから、伐採が急速に進み伐採跡地が増加しています。このため、伐採跡地の解消や人工林資源の保続を目的として資源管理対策を進めるとともに、建築材等への更なる利用も検討されています。地域の木を地域で利用し消費する「地材地消」の取組みを進め、地域の森林整備と木材の有効利用を一体的に行い、森林資源の循環利用を促進しています。木に触れ、親しみ、木材について学ぶ「木育」活動を推進するため、帯広歩行者天国や管内の小学校等で出前講座や木工教室を実施しています。木質バイオマスの取組については、足寄町に続き、管内 2 番目となるペレット製造工場が帯広市に誕生し、供給体制がさらに拡充されました。また、利用面では、市町村での補助制度創設により家庭用ペレットストーブの普及が一段と進んでおり、今後は産業用のペレットボイラーやチップボイラーなどの普及も期待されています。					

水産業
管内には、広尾町、大樹町、豊頃町、浦幌町の沿海4町があり、海岸線の総延長100kmのうち、南部地域の一部に岩礁地帯があるほか、ほとんどが砂浜です。沖合は、寒暖2海流が交錯する好漁場の道東太平洋に臨み、サケ・マス、スケトウダラ、シシャモ、タコ、ツブ等を対象とした漁業が行われています。秋サケ、ウニ、マツカワカレイの種苗放流など栽培漁業の積極的な展開を図るとともに、ケガニ、シシャモなど資源の合理的利用を目指した資源管理型漁業の定着の促進、さらには、漁業資源の維持増大を図るため、魚礁や産卵礁の設置事業を進めています。また、十勝管内が全道有数のシシャモの産地であることはあまり知られていないため、水産関係者が連携し、十勝産シシャモのブランド化に取り組んでおり、北の屋台及びホテルレストランでのししゃもフェアや支庁前庭での「十勝海鮮市」の開催などPRイベントを実施しています。
工業
十勝管内の工業は、農林水産業の地場産業を背景とした地方資源型の製造業が中心となっています。製造品出荷総額39,918千万円のうち81.7%を、従業員総数12,757人のうち69.6%を地方資源型工業が占めています。平成19年の事業所数と従業者数は年々減少傾向にあり、事業所規模では、従業者数4～29人の事業所が全体の82.1%を占めています。地方資源型工業とは～食料品製造業、木材木製品製造業、窯業・土石製品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業
商業
十勝管内の平成19年の商店数は4,041軒で全道の6.9%を占め、構成比は卸売業22.0%、小売業78.0%となっています。従業者数は29,608人で全道の6.4%を占め、構成比は卸売業25.5%、小売業74.5%となっています。
観光
広大な十勝平野の田園風景と日高山脈や大雪山国立公園、阿寒国立公園などの雄大な山岳景観、さらに視界一杯の青空とのコントラストは十勝観光のイメージとなっており、十勝は、最も北海道らしい地域といわれています。観光客の入込数は、近年、年間約900万人で横ばい傾向にあり、14支庁中8位となっています。観光客の主流は、道内客(72.3%)、日帰り客(82.2%)で、季節的には6月から10月の観光客が65%を占めています。観光資源が点在していることなどから、通過型の観光地となっています。主な観光資源は、十勝川温泉(音更町)、然別湖(鹿追町)、十勝ワイン城(池田町)、サホロリゾート(新得町)、然別湖(鹿追町)やばんえい競馬(帯広市)などがあります。また、管内を代表する観光イベントとして、花火大会(8月、帯広市)、ワイン祭り(10月、池田町)、然別コタン村(1月～3月、鹿追町)、彩凜詩(1月～2月、音更町)、しばれフェスティバル(2月、陸別町)などが開催されています。また、十勝の自然環境や主要産業である農林水産業を活かし、ホ－ストレッキングなどのアウトドア体験や農作業体験などのグリーンツーリズムも展開されているほか、恵まれた農畜産物を活かした地場食材を提供する飲食店や直売所も多くあり、注目されています。平成23年度には道東道が全面開通するため、車による道央圏からの誘客が期待されます。今後も、地域の多様な主体が連携し、観光資源を磨きあげ、情報発信していくことが求められています。

(北海道ホームページの支庁紹介より)

■市町村基礎情報

市町村名	面積(K㎡)	人口	65歳以上人口						第1号被保険者 介護保険認定		手帳交付状況	
			人口	高齢化率	前期高齢者		後期高齢者		認定者数	認定者率	身体障害者手帳	
					人口	高齢化率	人口	高齢化率			交付者数	交付率
帯広市	618.94	168,532	36,206	21.5%	19,917	11.8%	16,289	9.7%	6,467	17.9%	7,391	4.4%
音更町	466.09	45,005	9,675	21.5%	5,068	11.3%	4,607	10.2%	1,621	16.8%	1,905	4.2%
士幌町	259.13	6,624	1,739	26.3%	770	11.6%	969	14.6%	297	17.1%	429	6.5%
上士幌町	694.09	5,233	1,638	31.3%	796	15.2%	842	16.1%	244	14.9%	415	7.9%
鹿追町	402.86	5,694	1,406	24.7%	665	11.7%	741	13.0%	197	14.0%	302	5.3%
新得町	1,063.79	6,822	2,161	31.7%	1,075	15.8%	1,086	15.9%	359	16.6%	659	9.7%
清水町	402.18	10,366	3,077	29.7%	1,471	14.2%	1,606	15.5%	528	17.2%	723	7.0%
芽室町	513.91	19,392	4,272	22.0%	2,156	11.1%	2,116	10.9%	772	18.1%	827	4.3%
中札内村	292.69	4,004	990	24.7%	496	12.4%	494	12.3%	155	15.7%	240	6.0%
更別村	176.45	3,459	902	26.1%	428	12.4%	474	13.7%	140	15.5%	150	4.3%
大樹町	816.38	6,185	1,765	28.5%	825	13.3%	940	15.2%	317	18.0%	418	6.8%
広尾町	596.16	8,161	2,305	28.2%	1,178	14.4%	1,127	13.8%	361	15.7%	503	6.2%
幕別町	478.00	27,364	6,605	24.1%	3,450	12.6%	3,155	11.5%	1,088	16.5%	1,248	4.6%
池田町	371.91	7,995	2,642	33.0%	1,243	15.5%	1,399	17.5%	432	16.4%	480	6.0%
豊頃町	536.52	3,709	1,212	32.7%	544	14.7%	668	18.0%	188	15.5%	263	7.1%
本別町	391.99	8,564	2,759	32.2%	1,342	15.7%	1,417	16.5%	442	16.0%	554	6.5%
足寄町	1,408.09	7,969	2,628	33.0%	1,237	15.5%	1,391	17.5%	459	17.5%	537	6.7%
陸別町	608.81	2,790	984	35.3%	432	15.5%	552	19.8%	133	13.5%	223	8.0%
浦幌町	729.64	5,858	1,888	32.2%	876	15.0%	1,012	17.3%	356	18.9%	438	7.5%



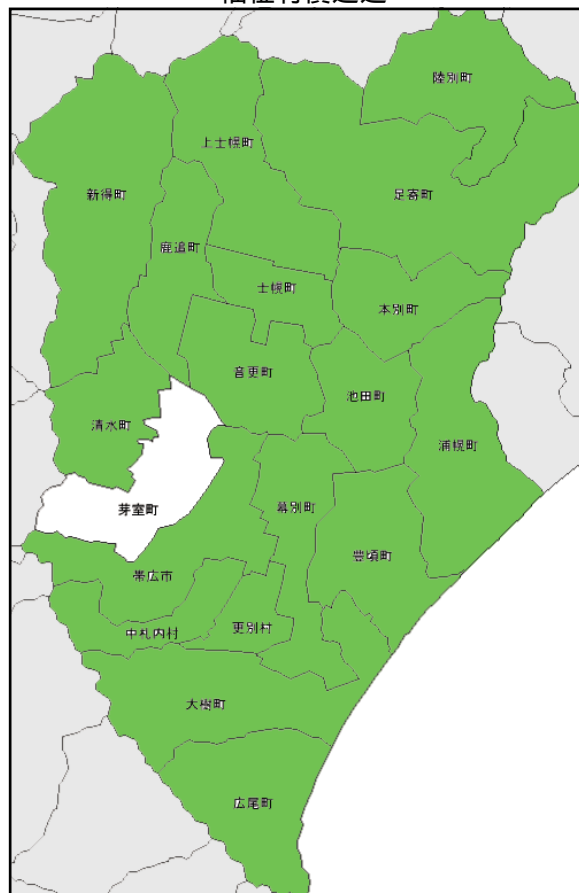
(2) 福祉輸送の実施状況

■市町村別福祉輸送サービス提供状況

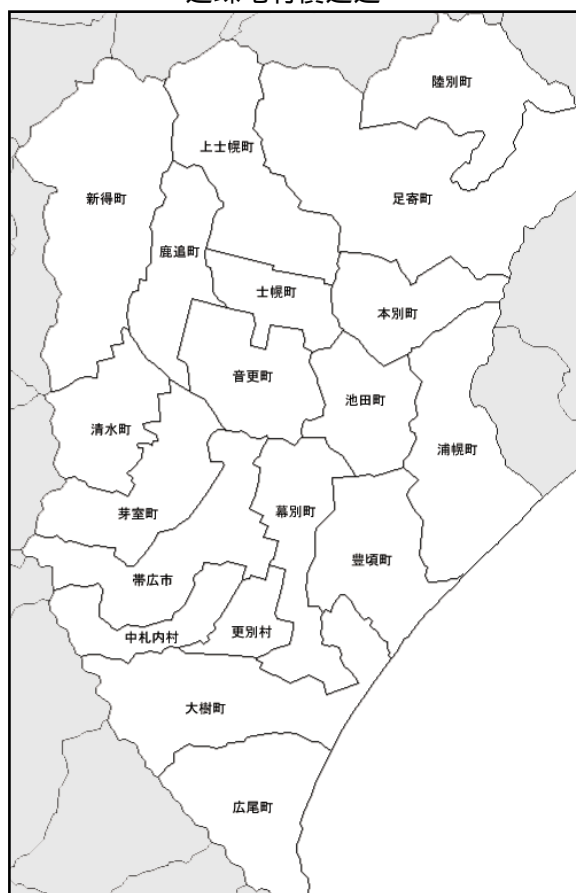
市町村名	自家用有償旅客運送事業						旅客自動車運送事業			
	福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送		一般乗用旅客		特定旅客	
	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	車両台数	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数
帯広市	6	36					5	34	4	18
音更町	3	22					3	6		
士幌町	1	3								
上士幌町	1	1			3		1	1		
鹿追町	2	5					1	2		
新得町	2	5								
清水町	2	3								
芽室町							2	1		
中札内村	1	1								
更別村	1	4								
大樹町	1	3							1	12
広尾町	1	4								
幕別町	1	3					1	1		
池田町					7					
豊頃町	2	5								
本別町	2	13			10					
足寄町	2	4								
陸別町	2	7								
浦幌町	2	7			4					
十勝支庁計	32	126	0	0	24	0	13	45	5	30

自家用有償旅客運送事業がない地域(圏域範囲は除く)
 圏域範囲とは、事業所はないが近隣市町村で運行をまかなっている地域

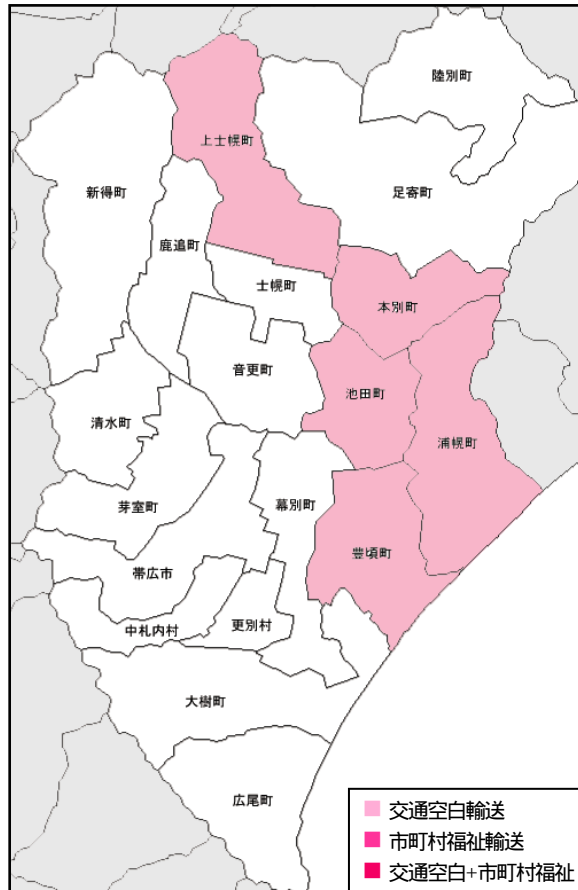
福祉有償運送



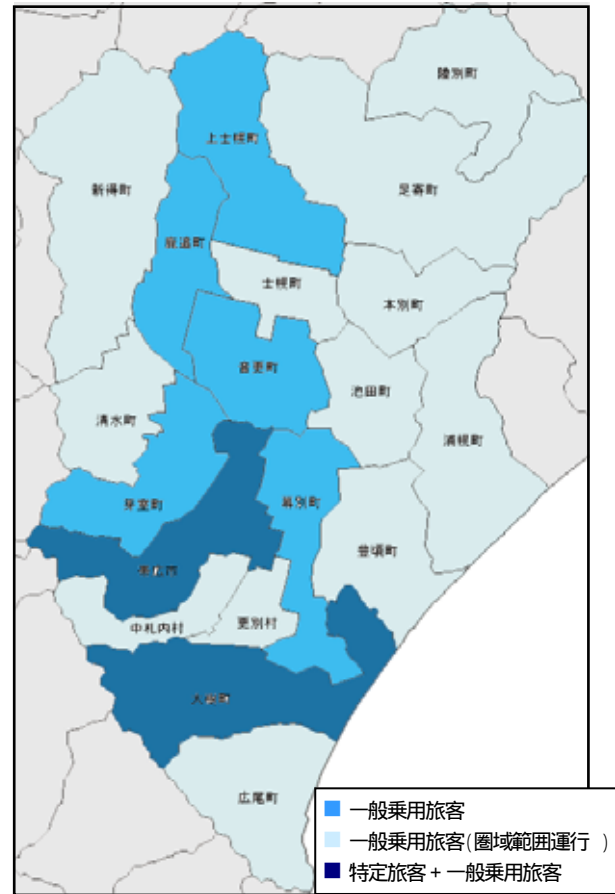
過疎地有償運送



市町村運営有償運送

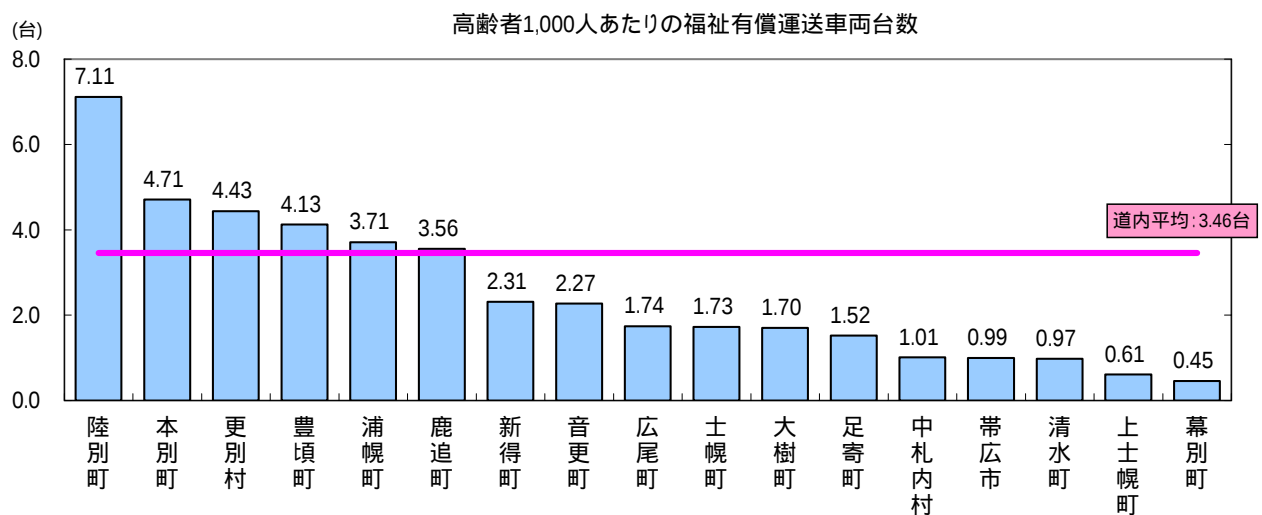


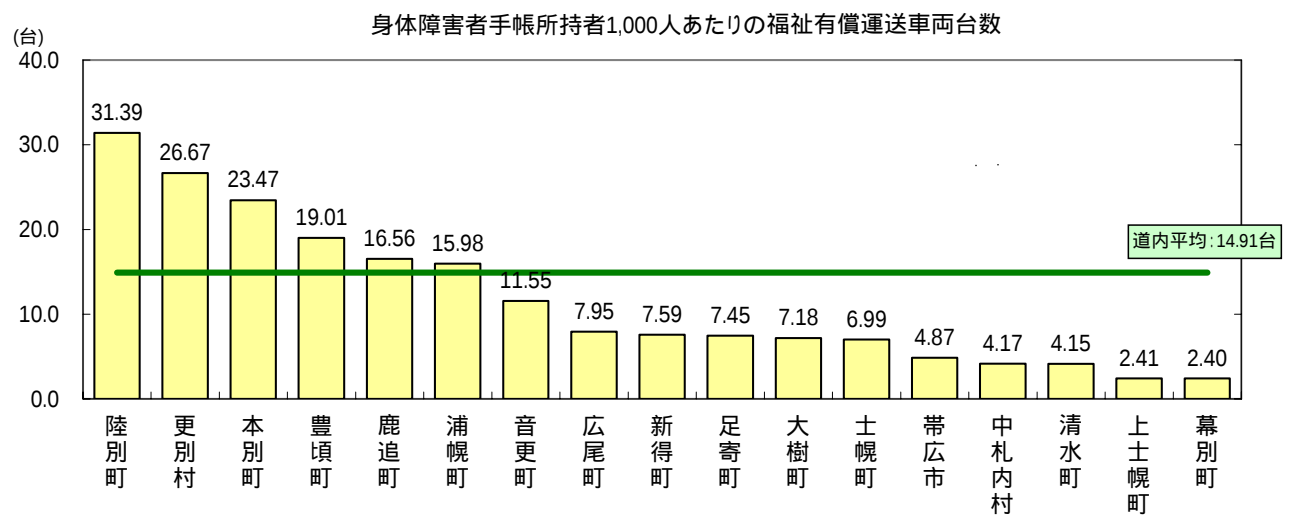
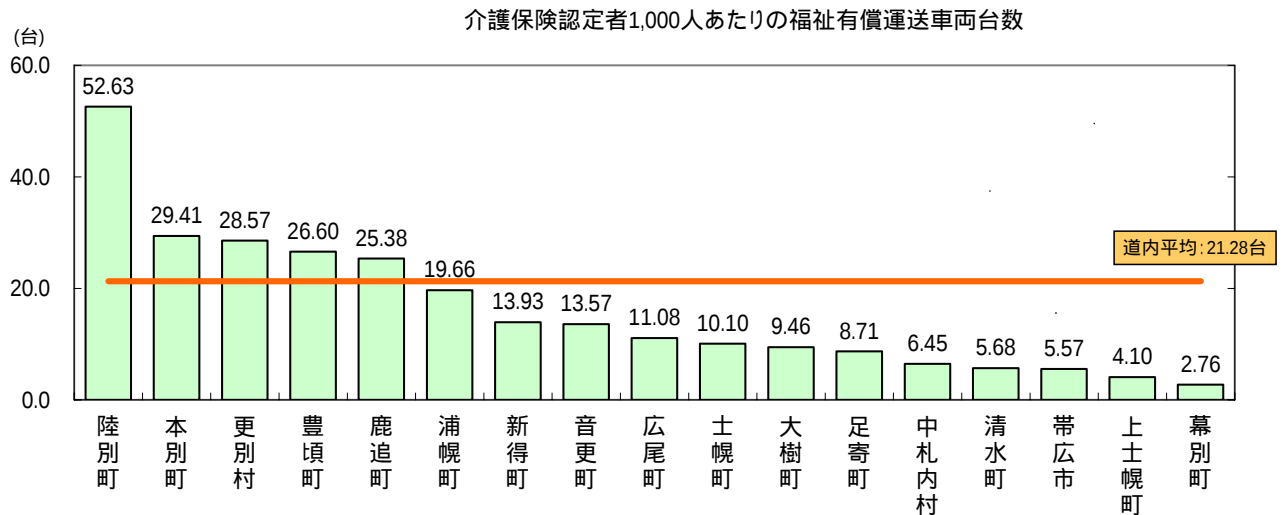
旅客自動車輸送事業



圏域範囲運行とは、事業所は存在しないが、他市町村の事業所で運行をまかなっている地域

(3) 福祉有償運送の各種人数あたりの車両台数





(4) 十勝支庁まとめ

- 1市16町2村で構成され、広大な大地に肥沃な土壌に恵まれている農業の盛んな地域となっている。
- 人口は帯広市の16.8万人を筆頭に、次いで音更町の4.5万人、幕別町の2.7万人と続く。高齢化率は突出して高いところは見られないが、帯広市、音更、芽室町などは道内平均よりも大きく下回っている。
- 福祉輸送の内訳をみると、比較的多くの自治体において福祉有償運送を行っており、福祉有償運送が行われていない自治体でも交通空白輸送や一般乗用旅客輸送が行われているため、他のエリアに見られるような交通空白地帯は見られない。
- 有償運送の高齢者等1,000人当たりの車両台数をみると、日本一寒いまちで知られる陸別町が突出している一方、幕別町、上士幌町、清水町などは道内平均を大きく下回っている。

1 3 . 釧路支庁

(釧路市 / 釧路町 / 厚岸町 / 浜中町 / 標茶町 / 弟子屈町 / 鶴居村 / 白糠町)

(1) 地域概要

面 積	5,997.37km ²	人 口	259,286 人 (H20.3.現在)	世 帯	121,430 世帯 (H20.3.現)
概 要					
地 勢					
管内は、北海道の東部に位置し、1市6町1村で構成されています。東部は丘陵地が多く、根釧原野のなかで根室管内に、西部は直別川で十勝管内に、北部は千島火山帯の阿寒山系を境にして網走管内に接し、南部は 235km にも及ぶ海岸線を有し、北太平洋シーサイドラインとして太平洋に臨んでいます。東西 132km、南北 100km の扇状形で、面積は約 6,000 平方 km と北海道全体の 7.2% を占め、ほぼ茨城県に匹敵する広さを有し、2 つの国立公園と1つの道立自然公園を中心に、森林、湖沼、海岸と豊かな自然に恵まれた地域となっています。釧路川をはじめ、阿寒川、庶路川など沢山の河川によって細分化され、その土壌の大部分は、摩周系火山灰と泥炭などの特殊土壌で構成されています。					
気 候					
春から夏にかけて「じり」と呼ばれる霧が発生し、「湿潤冷涼な夏」は天然の避暑地となると同時に、湿原の乾燥化も防いでいます。また、秋冬には晴天の日が続き、「乾燥寒冷な冬」となり、年間日照時間は国内有数の地域となっています。					
産 業					
農 業					
管内の農業は、恵まれた草地基盤を生かした酪農が主体で、釧路農業全体の農業産出額のうち畜産部門が 9 割以上を占めています。乳用牛は、約 12 万 1,000 頭が飼育され、年間約 53.7 万トンの生乳が生産されており、肉用牛はホルスタイン種を中心に約 3 万 7,000 頭が飼育されています。近年では、全道でもトップクラスの乳質を生かし、管内の出荷量の 2 割程度を高速貨物船「ほくれん丸」などにより毎日関東方面移出しています。また、地元向けの牛乳の生産や、アイスクリーム・チーズなどの乳製品加工・販売も盛んに行われています。耕種部門では内陸部で畑作（ばれいしょ、てんさい、そばなど）が行われているが、野菜は冷涼な気候を生かして、大根やほうれん草、キャベツなどが栽培され、地場野菜として販売し好評を博しています。さらに、最近では都市と農村の交流を目指して、ファームインや農家レストランなどを営む農家も増えてきており、消費者にも直接、農業を体験し、理解してもらう場をつくりながら、魅力ある農業・農村づくりに取り組んでいます。					
森林・林業					
管内の森林は、阿寒山系を中心に分布しており、森林面積は約 39 万 ha です。戦後荒廃した森林に積極的な造林を進めてきたことにより、管内森林面積の約 30% を占めるトマツやカラマツを主体とした人工林が今後の資源として大いに期待されています。また、林業の効率的な経営の展開や森林の適正な維持管理を行うため、林道網の整備も計画的に進められています。一方、林産業を見ると、製材・チップ・集成材工場などが操業しており、農業・土木・教育分野等での木材利用が進められています。近年、森林への期待が多様化する中、災害に強い国土づくりや、湿原や河川、湖沼等水辺空間の保全等、多面的機能を高める森林整備が行われています。今後も、「緑の少年団の育成」、「木育の推進」及び「森林セラピーの推進」を図るとともに、緑化思想の普及啓発、道民との協働の森林づくりを進めていきます。					
水産業					
管内の水産業の平成 19 年の水揚げは、数量で 16 万 4 千トン（全道比 12.2%）、金額で 295 億円（全道比 10.2%）で、ピーク時と比較して、数量で約 10%、金額で約 35% にまで減少しています。このため、サンマ・スケトウダラ・ケガニ・シシャモなどで資源管理に取り組み、資源の持続的な利用を図るとともに、漁場や産卵礁の造成、ウニ・カキなど海域特性に応じた栽培漁業の展開による資源増大を図っています。さらには、サンマ・シシャモ・カキ・コンブなど地域特産魚種のブランド化や直売・直販事業などに積極的な取り組み、「新鮮・安全でおいしい釧路の魚」を全国へ発信するとともに、小中学校への出前授業や料理教室など、地産地消に根ざした「食育・愛食」活動などへも積極的に取り組んでいます。					
鉱工業					
釧路市では、「釧路コールマイン(株)」の「釧路炭鉱」が国内唯一の坑内掘炭鉱として、今も石炭を生産しています。また、海外から安定的に石炭の供給を受けることができるよう、世界的に優れた日本の炭鉱技術を海外の産炭国に移転するため、国の「産炭国石炭産業高度化事業」に基づき、ベトナムや中国の研修生を受け入れ、経営や採掘、保安などの研修事業を行っています。管内の工業は、平成 19 年の工業統計調査結果（H19.12.31 現在）によると、事業所数 397、従業者数 10,857 人、製造品出荷額等が約 4,148 億円であり、平成 3 年をピークにいずれも減少となったものが下げ止まり傾向となっています。また、業種的には、地域の農林水産業と関わりのある食料品と紙・紙加工品が出荷額の約 73.1% を占めており、医薬品関連の化学工業が約 7.5%、牛の餌等の飲料・飼料が約 5.8% という状況となっています。このような状況の中、製薬メーカーによる新工場や生産ラインの増設、医薬品や機能性食品など多方面での活用が期待される新素材「プロテオグリカン」の製造工場などの企業立地が見られるほか、地域の資源を活用した新たな産業への取り組みも進められています。また、地場産業の高度化と新産業の創出の地域拠点として活動している「釧路工業技術センター」は、釧路根室圏における中小企業等の技術力の向上、新製品・新技術の開発、販路開拓、事業化等に対する支援、人材育成、産業間・産学官の連携の推進などに努めています。					
特産品（商 業）					
管内は、暖流と寒流が交わる豊富な漁場と屈斜路湖や阿寒湖などの美しい湖を起源とする河川の両岸の草地を利用した広大な酪農地帯など、魅力たっぷりの「自然食材」が満載な地域です。近年は、タコやコンブなどの水産加工品、チーズやアイスクリームなどの農業加工品の製品開発のほか、エゾシカの資源活用が民間を中心に積極的に進められています。					

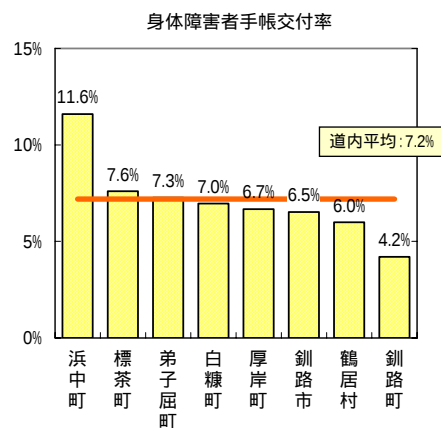
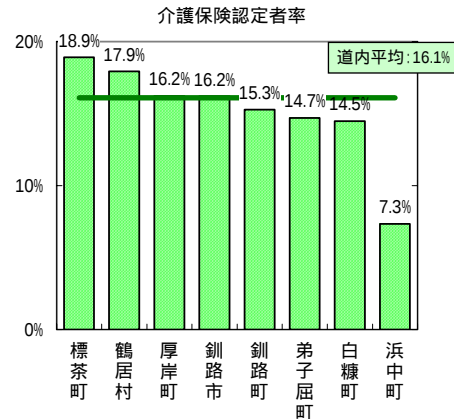
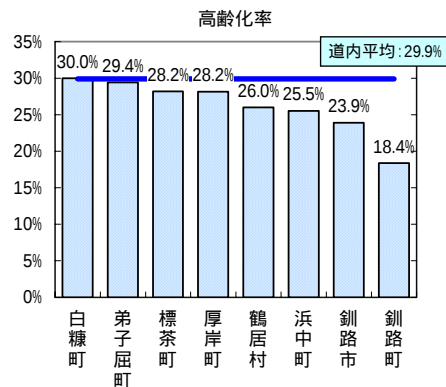
観 光

管内は、阿寒国立公園、釧路湿原国立公園岸道立自然公園、更には4つのラムサール条約指定湿地など、素晴らしい自然の宝庫であり、泉質の優れた温泉や、安心・安全で良質な食の魅力に加え、豊かな自然を背景に「カヌー」「乗馬」「自然散策」などの体験観光が盛んで、毎年、道内外をはじめ海外からも数多くの観光客が訪れています。また、管内にはかつて地域産業を支えてきた多くの「産業遺産」があり、釧路市阿寒町の雄別炭坑・雄別炭坑鉄道、関連施設、弟子屈町の「硫黄山」や標茶町の「釧路集治監・塘路駅跡」が経済産業省の「近代化産業遺産」に認定されています。釧路支庁では、平成20年7月に開催された「北海道・洞爺湖サミット」を契機に気運が高まりつつある「環境との共生」を目指し、豊かな森・湖・湿地といった自然環境を活かした「エコツーリズム」を推進していくこととしております。

(北海道ホームページの支庁紹介より)

■市町村基礎情報

市町村名	面積(Km ²)	人口	65歳以上人口						第1号被保険者 介護保険認定		手帳交付状況	
			人口	高齢化率	前期高齢者		後期高齢者		認定者数	認定者率	身体障害者手帳	
					人口	高齢化率	人口	高齢化率			交付者数	交付率
釧路市	1,362.75	187,569	44,823	23.9%	25,014	13.3%	19,809	10.6%	7,264	16.2%	12,245	6.5%
釧路町	252.60	21,323	3,916	18.4%	2,263	10.6%	1,653	7.8%	598	15.3%	897	4.2%
厚岸町	739.07	11,014	3,102	28.2%	1,596	14.5%	1,506	13.7%	503	16.2%	735	6.7%
浜中町	423.43	6,735	1,718	25.5%	819	12.2%	899	13.3%	126	7.3%	781	11.6%
標茶町	1,099.41	8,502	2,396	28.2%	1,164	13.7%	1,232	14.5%	453	18.9%	647	7.6%
弟子屈町	774.53	8,535	2,511	29.4%	1,332	15.6%	1,179	13.8%	369	14.7%	620	7.3%
鶴居村	571.84	2,573	669	26.0%	340	13.2%	329	12.8%	120	17.9%	154	6.0%
白糠町	773.75	9,934	2,979	30.0%	1,546	15.6%	1,433	14.4%	431	14.5%	692	7.0%



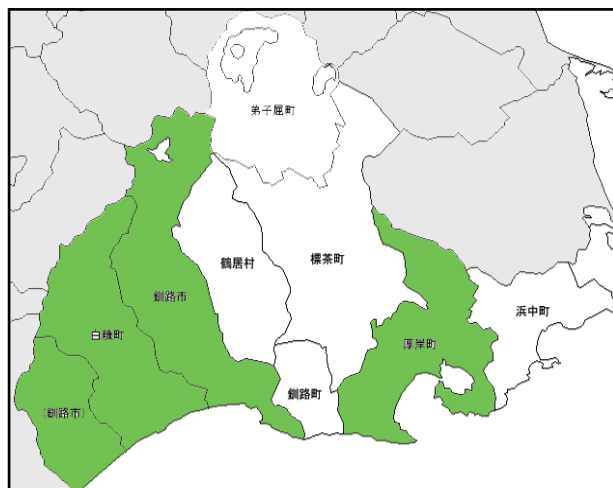
(2) 福祉輸送の実施状況

■市町村別福祉輸送サービス提供状況

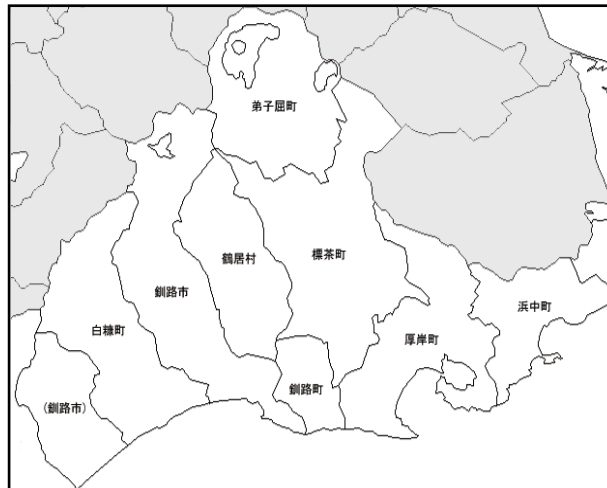
市町村名	自家用有償旅客運送事業						旅客自動車運送事業			
	福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送		一般乗用旅客		特定旅客	
	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	交通空白	市町村福祉	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数
釧路市	2	57				5	4	18	1	
釧路町										
厚岸町	1	9					1	2		
浜中町						11	1	1		
標茶町					9		2	5		
弟子屈町										
鶴居村						3				
白糠町	1	32			2					
釧路支庁計	4	98	0	0	11	19	8	26	1	0

■ 自家用有償旅客運送事業、旅客自動車運送事業ともない地域

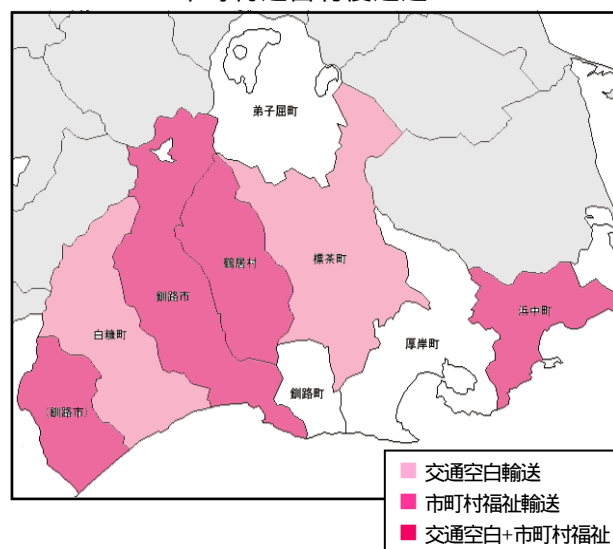
福祉有償運送



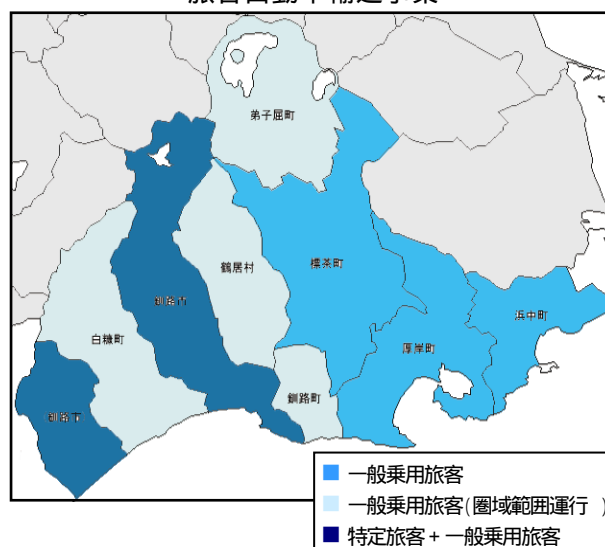
過疎地有償運送



市町村運営有償運送

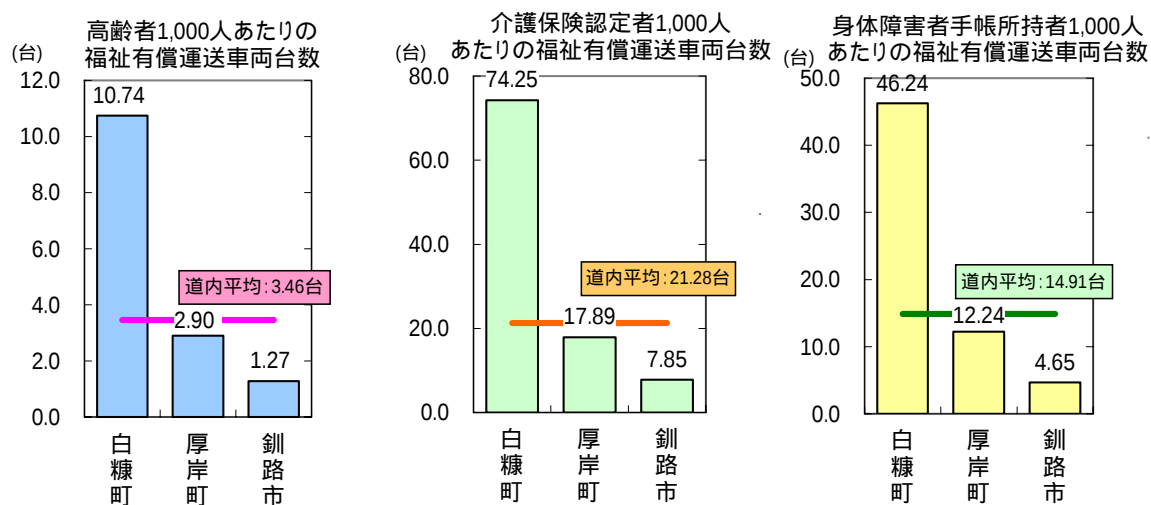


旅客自動車輸送事業



圏域範囲運行とは、事業所は存在しないが、他市町村の事業所で運行をまかなっている地域

(3) 福祉有償運送の各種人数あたりの車両台数



(4) 釧路支庁まとめ

- 北海道の東部に位置し、1市6町1村で構成、茨城県に匹敵する面積を有する。湿潤冷涼な夏と乾燥寒冷な冬が気候特性。
- 人口は釧路市の18.7万人を筆頭に、釧路町2.1万人、厚岸町1.1万人となっている。高齢化率は釧路町を除いてすべてが道内平均を上回っている。
- 福祉輸送では、福祉有償運送が釧路市、白糠町、厚岸町の3自治体のみとなっており、また、圏域を除いた交通空白地帯としては釧路町、弟子屈町となっている。
- 有償運送の高齢者等1,000人当たりの車両台数をみると、白糠町が大きく道内平均を上回っている。

1 4 . 根室支庁

(根室市 / 別海町 / 中標津町 / 標津町 / 羅臼町)

(1) 地域概要

面 積	8,534km ²	人 口	84,057 人	世 帯	32,226 世帯
概 要					
地 勢					
根室支庁管内は、北海道の最東端に位置し、北東部はオホーツク海に、南部は太平洋に面しています。北方領土を除いた海岸線の長さは、約 479 キロメートルと全道の約 16% を占めています。(北方四島の海岸線は、約 1,348 キロメートルになります。) 面積は、約 8,534 平方キロメートル(北方四島を含む)で、全道の 10.2% を占めています。北方四島を除いたときの面積は約 3,498 平方キロメートルと、鳥取県(約 3,507 平方キロメートル)の広さとほぼ同じです。また、有数な地震、津波多発地帯であり、津波の危険性が高い地域です。管内の人口は、平成 17 年国勢調査によると総人口 84,057 人となっており、平成 12 年と比較すると、総人口では 2,436 人の減少、市町別にみても、中標津町がわずかに増加しているほかは減少しています。人口密度は 24.0 人 / 平方キロメートルで、全道平均 71.8 人 / 平方キロメートルに比べて半分以下となっています。					
気 候					
根室半島及び沿岸部では、海洋性気候、内陸部では、大陸性気候を示し、年平均気温は、5 度～7 度と冷涼であり、オホーツク海域は、冬期間流氷に閉ざされ、厳しい寒気に見舞われます。また、春から夏にかけて海霧におおわれることが多く、霧日数は例年 100 日前後にも達します。(平成 18 年の年間霧日数 107 日)					
産 業					
農 業					
管内の農業は、厳しい気候条件を克服しながら、恵まれた土地資源を背景として 1 戸当たり耕地面積では全道平均の約 3 倍の 69.0 ヘクタール、1 戸当たり飼養頭数は 119 頭に及び大規模な草地型酪農が展開され、生乳生産量で全道の約 2 割の 77 万 5 千トンとなっています。しかし、近年、国際化の進展や飲用牛乳の消費の落ち込みなど厳しい生産情勢に加え、担い手の確保や環境問題への適切な対応が求められています。このため、生産性の高い草地基盤整備や農道や営農用水の整備などにより、自給飼料を活用した低コストな生乳生産を基本に、乳質の改善など安全・安心な生乳生産に取り組まれています。また、酪農ヘルパー制度や農作業を外部化するコントラクターなどの農業支援システムの構築や新規参入者も含めた意欲ある担い手を育成・確保するための研修環境等が整備されています。さらに、「家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律」に基づく適切な管理と利用や、環境を重視した林帯の整備などによる環境と調和のとれた農業生産への取り組みも始まっています。					
森林・林業					
管内の総森林面積は国有林、道有林、一般民有林を含め約 17 万ヘクタールとなっており、総土地面積に対する森林の割合(森林率)は全道の 71% に対し 47% と低位な状況となっています。また、森林の蓄積量も厳しい気象環境や過去の開発などにより全道の 1 ヘクタールあたり 124 立米に対して 1 ヘクタールあたり 89 立米と木材資源としては豊かな状況ではありませんが、近年、地球温暖化防止対策での森林の役割が大きクローズアップされる中で、森林機能を重視しながら人工林の間伐や天然林の改良などの森林整備が進められています。さらに、河川等の水環境保全を目的とした河畔林の造成や、「木育(もいく)」といった新たな取り組みも行われています。管内の民有林(道有林も含む)は知床半島沿岸部や風蓮湖周辺を中心にした区域に魚つき保安林、内陸部及び海岸線に防風、防霧保安林が指定されており、保安林の指定率は全道の 34% に対して 42% と高いことが特徴となっており、地域環境の保全や基幹産業である漁業や酪農業等の発展に重要な役割を果たしています。また、山崩れや土石流・雪崩等による山地災害を未然に防ぐため積極的に治山事業を行い森林の機能強化を図っています。					
水産業					
管内の水産業は、北洋サケ・マス、サンマ、スケトウダラ、ホタテガイ等を主体とする漁船漁業、秋サケを主体とする定置網漁業及びコンブ、ウニ、アサリ等を主体とする採介藻漁業からなっており、道内漁業生産の約 2 割程度を占める一大生産地域となっています。根室はかつて、北洋漁業の基地として栄えてきましたが、国際的な漁業規制の強化によって、沖合漁業の縮小を余儀なくされ、現在は、ロシアとの政府間・民間交渉等において、ロシア 200 海里内での、「さけ・マス流し網漁業」や「底はえなわ漁業」が行われております。また、北方四島周辺海域では、貝殻島こんぶ漁のほか平成 10 年から「安全操業」が開始され、ホッケやスケトウダラなどを漁獲しており、ロシアとの関わりが深い地域となっています。このような状況の中、沿岸資源の増大を図るため、増殖場や魚礁漁場の整備を図ってきており、サケ・マスを始めとして、ホタテガイ、ウニ、ニシン等の種苗放流が行われ、マツカワ等新たな栽培漁業対象種の試験事業も進められています。一方、国民の健康と豊かで安全な食生活の指向が強まる中、今後とも水産業が、安全で良質な水産物を安定的に供給する役割を担っていくために、衛生管理型漁港の整備や地域ハサップの推進、また、水産物の高付加価値化、加工・流通対策などの展開が求められています。					
工 業					
管内の工業生産は食料品製造業が主体で、製造品出荷額の約 90% 以上を占めています。なかでも、水産食料品製造業はウエイトが高く、その経営形態はほとんどが小規模です。加工業種も塩蔵、冷凍等が主体ですが、HACCP(ハサップ、危害分析重要管理点)への取り組みなど、商品の付加価値向上に努めています。また、内陸の酪農地帯には、大手企業による大規模な乳製品製造施設が立地しており、管内の生乳消費拡大に向けて、製造施設の増設が行われています。					

商 業

管内の商業は、根室市と中標津町を中心とする2つの商圈に大別されています。管内の商店は大部分が小規模形態で、経営効率が低いなどの問題点が指摘されているほか、相次ぐ大型店の出店によって影響を受けています。こうした中、商工団体を中心に商店街の活性化を図ろうとする取り組みが行われています。

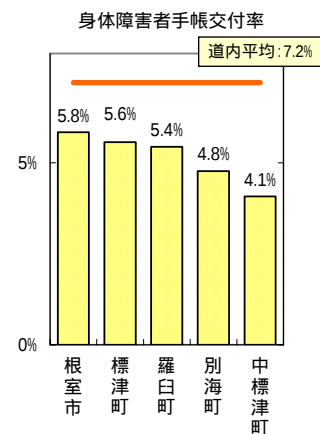
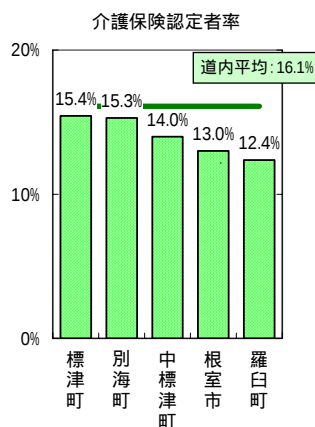
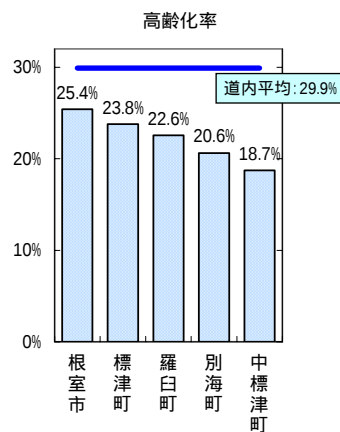
観 光

管内には、知床国立公園や野付風蓮道立自然公園など雄大で神秘的な4ヶ所の自然公園があり、平成17年7月に知床が世界自然遺産に、11月には野付半島・野付湾、風蓮・春国岱地域がラムサール条約登録湿地に登録されました。また、タンチョウ、シマフクロウ、クマゲラ、オジロワシなど数多くの天然記念物の格好の生息地となっています。さらに、本道を代表する大酪農郷、冬期に到来する流氷など、管内は貴重で豊富な観光資源に恵まれています。観光客の入込みは、長引く景気の低迷などにより、4年度の329万人をピークに減少傾向にあり、12年度には有珠山噴火による北海道旅行の回避、航空運賃の値上げなどの要因から、過去10年間で最低となりました。その後、JRのダイヤ改正による札幌等からの時間短縮、野付半島ネイチャーセンターの新設による野付半島の入り込み増加などにより回復の兆しが見えたものの、依然として夏季集中型で通過型観光の比重が高い状況が続いていることから、根室支庁では、16年度に地域全体で観光振興に取り組むための基本的な推進方向を取りまとめた指針「観光振興ビジョン」を策定しました。各市町でも滞在型観光への転換を目指し、根室市では乗馬・カヌー等の体験型メニューのネットワークづくりの推進、別海町ではラムサール条約や北海道遺産に登録された「野付半島(と打瀬舟)」での散策や観光船に乗っての潮干狩、中標津町では開陽台等から「根釧台地の格子状防風林(北海道遺産)」を眺めながらの乗馬、標津町では鮭の網起こし見学やイクラの加工体験等修学旅行の受入れを中心としたエコ・ツーリズム型体験観光の推進、羅臼町では世界自然遺産に登録された知床の自然散策、観光船での流氷ウォッチングなど、管内の自然を大いに活かした体験型メニューの開発、推進に向けて、官民一体となって取り組んでいるところです。

(北海道ホームページの支庁紹介より)

■市町村基礎情報

市町村名	面積(Km ²)	人口	65歳以上人口						第1号被保険者 介護保険認定		手帳交付状況	
			人口	高齢化率	前期高齢者		後期高齢者		認定者数	認定者率	身体障害者手帳	
					人口	高齢化率	人口	高齢化率			交付者数	交付率
根室市	512.71	30,209	7,677	25.4%	4,340	14.4%	3,337	11.0%	998	13.0%	1,763	5.8%
別海町	1,320.22	16,207	3,341	20.6%	1,614	10.0%	1,727	10.7%	511	15.3%	773	4.8%
中標津町	684.98	24,040	4,502	18.7%	2,502	10.4%	2,000	8.3%	630	14.0%	979	4.1%
標津町	624.49	5,858	1,393	23.8%	745	12.7%	648	11.1%	215	15.4%	326	5.6%
羅臼町	397.88	6,130	1,383	22.6%	770	12.6%	613	10.0%	171	12.4%	333	5.4%

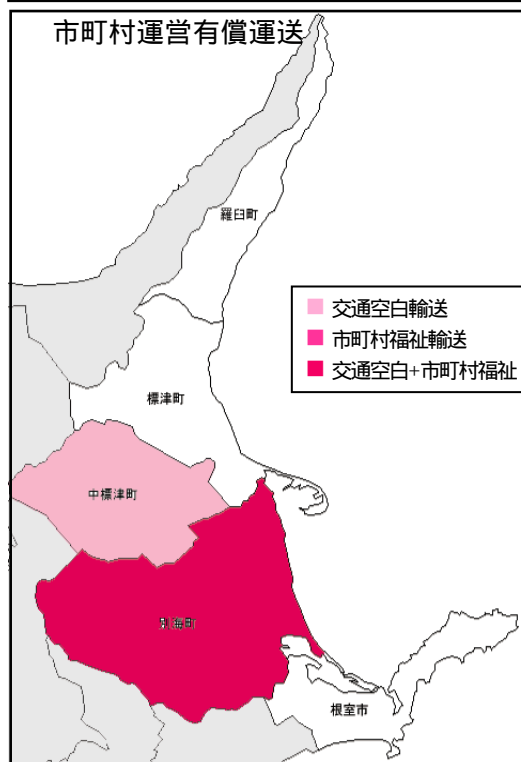
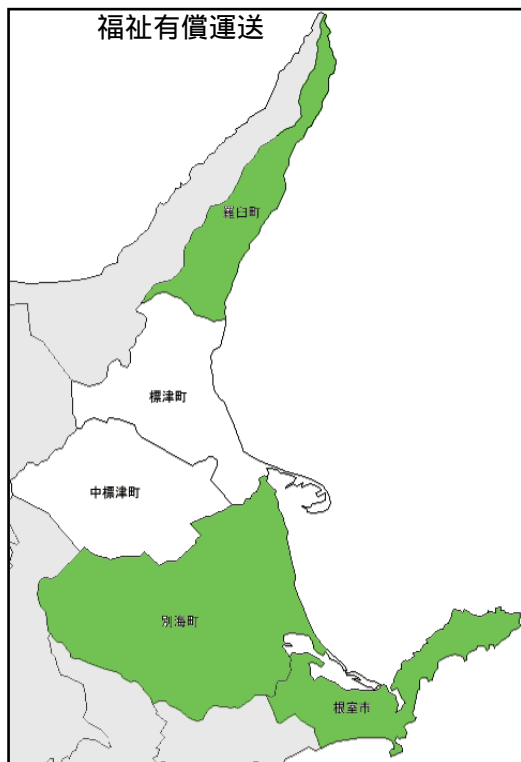


(2) 福祉輸送の実施状況

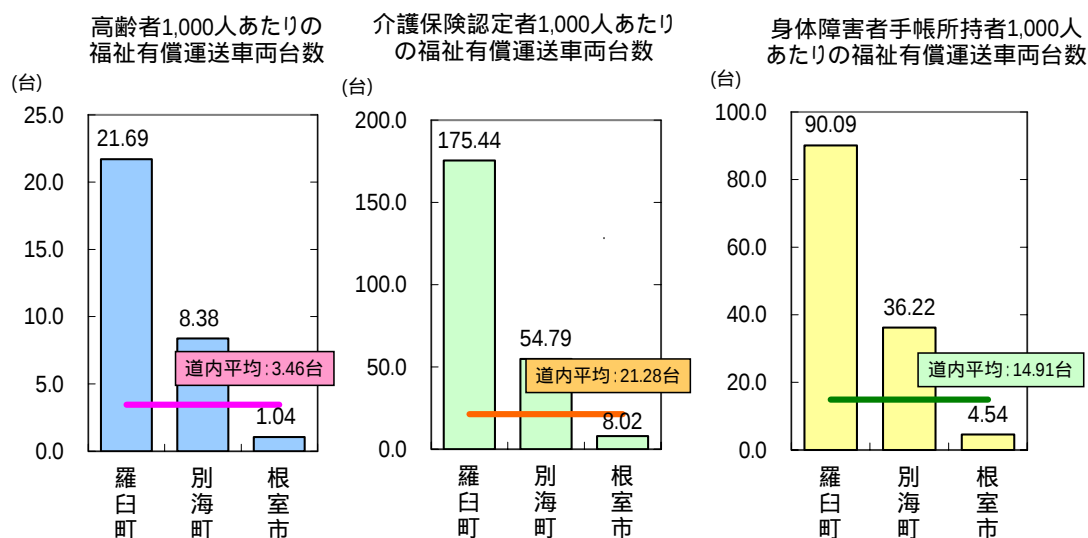
■ 市町村別福祉輸送サービス提供状況

市町村名	自家用有償旅客運送事業						旅客自動車運送事業			
	福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送		一般乗用旅客		特定旅客	
	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	交通空白	市町村福祉	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数
根室市	2	8					1	1		
別海町	5	28			6	1	1	51		
中標津町					4		3	10		
標津町										
羅臼町	2	30								
根室支庁計	9	66	0	0	10	1	5	62	0	0

自家用有償旅客運送事業、旅客自動車運送事業とにもない地域



(3) 福祉有償運送の各種人数あたりの車両台数



(4) 根室支庁まとめ

- 北海道の最東端に位置し、北東部はオホーツク海、南部は太平洋に面している。北方領土を除いた面積は鳥取県に匹敵する。
- 人口は根室市の3万人に次いで中標津の2.4万人、別海の1.6人と続く。高齢化率としてはすべての自治体において、道内平均を下回っており、特に中標津は10%程度低い。
- 福祉輸送の中で、福祉有償運送については別海や羅臼町では30台近くある一方、根室市は人口規模の割には8台と少ない。中標津、別海については交通空白輸送も行われている。
- 圏域を除いた交通空白地域としては標津町となっている。
- 有償運送の高齢者等1,000人あたりの車両台数をみると、羅臼町が大きく道内平均を上回っており、高齢者、介護保険認定者、障害者手帳所持者1,000人あたりの台数は、ともに道内で最も多い(資料編参照)。

．アンケート調査結果

１．利用者アンケート

（１）調査概要

調査対象	ＳＴネット北海道の会員団体
調査方法	郵送で調査票を配布し、回収。
回 答 数	316 （配布数：705、回収率 44.8％）
調査期間	2010 年 1 月 15 日～2010 年 2 月 5 日

（２）調査結果

回答者属性

■居住地

回答者の居住地は、札幌市が全体の 33.2%の 105 人と最も多く、次いで北見市、白老町等となっている。

	件数	割合(%)
合計	316	100
札幌市	105	33.2
北見市	19	6.0
白老市	14	4.4
苫小牧市	9	2.8
夕張市	9	2.8
函館市	7	2.2
その他市町村()	153	48.4

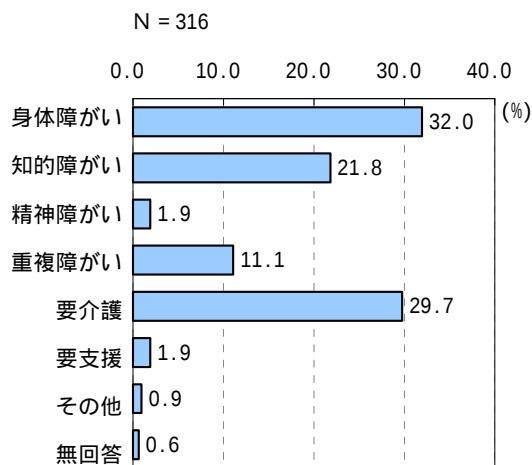
5件以下、50市町村

■障がいの状況

障がいの状況は、「身体障がい」が 32.0%の 101 人と最も多く、そのうち 29 人が要介護となっている。次いで、要介護 29.7%（94 人）「知的障がい」21.8%（69 人）「重複障がい」11.1%（35 人）などとなっている。

障がいの状況

	件数	割合(%)
合計	316	100
身体障がい	101(29)	32.0
知的障がい	69(1)	21.8
精神障がい	6(1)	1.9
重複障がい	35(6)	11.1
要介護	94	29.7
要支援	6	1.9
その他	3	0.9
無回答	2	0.6



注 1：() 内は、うち要介護認定者。「要介護」には「身体」「知的」「精神」「重複」は含まない。

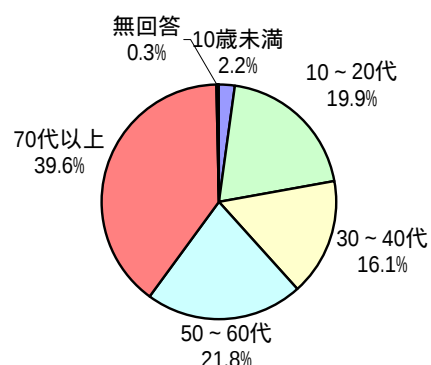
注 2：「重複障がい」は、身体、知的、精神やその他（自閉症等）が重複している利用者

■ 年齢

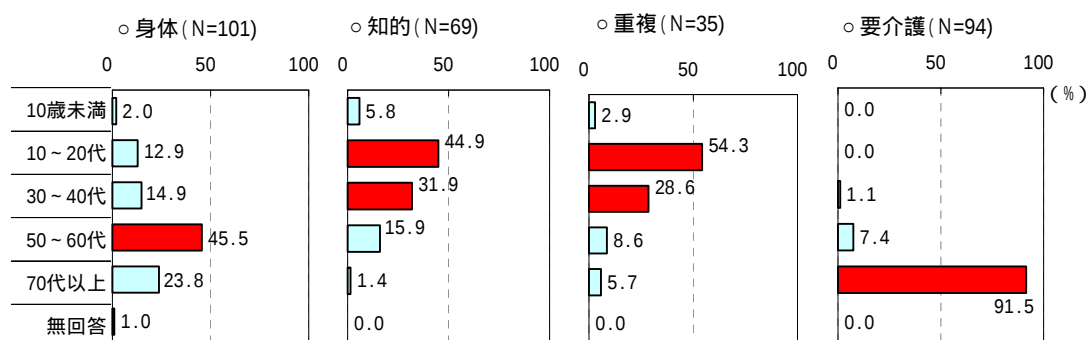
回答者全体の年齢は、70代以上が39.6%と最も多く、次いで50～60代（21.8%）、10～20代（19.9%）、30～40代（16.1%）となっている。

回答者の障がいの状況として件数の多い「身体」「知的」「重複」「要介護」について年齢構成をみると、次のようになる。

「身体」では、中高年～高齢者層が多いほか10代～40代くらいまでの若年層も含まれる。また、「知的」「重複」では10～20代を中心に若年層が多い構成となっており、「要介護」では、70代以上の高齢者層が大半を占める構成となっている。



年齢構成 (障がいごと)

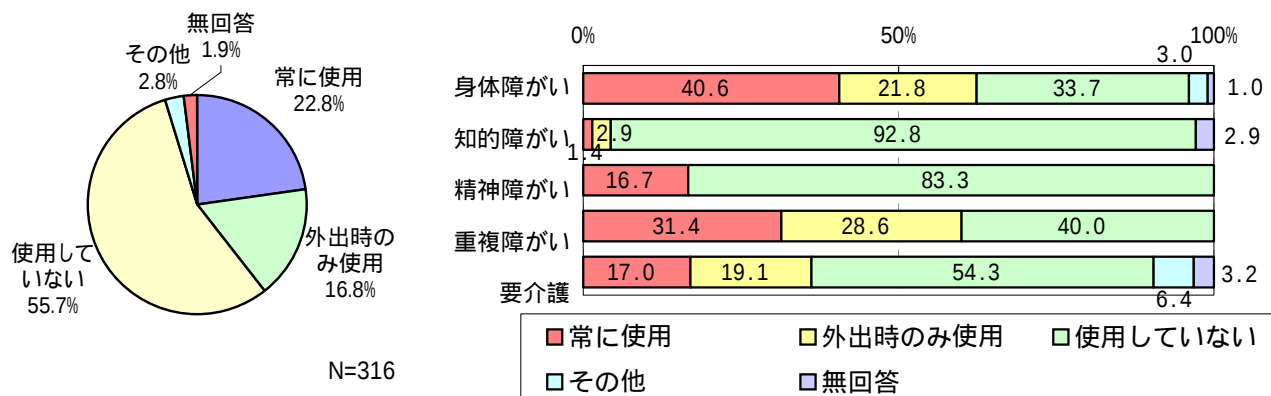


車いすの使用状況

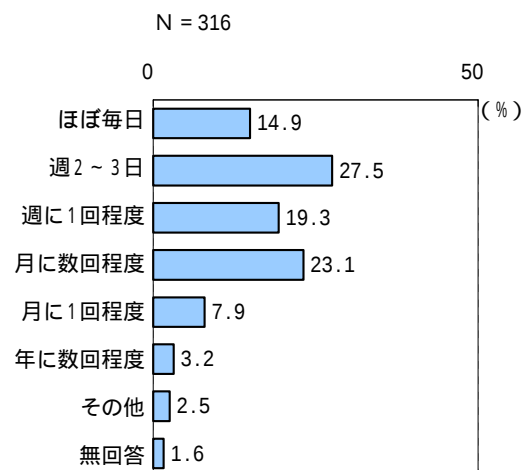
回答者のうち、車いすの使用について、「常に使用」している人は22.8%、「外出時のみ使用」は16.8%となっており、全体の半数が車いすを使用している。

また、障がいごとにみると、車いすを「常に使用」または「外出時のみ使用」している割合は「身体」「重複」で約60%、「要介護」では約35%となっており、「知的」や「精神」では利用している人は少ない。

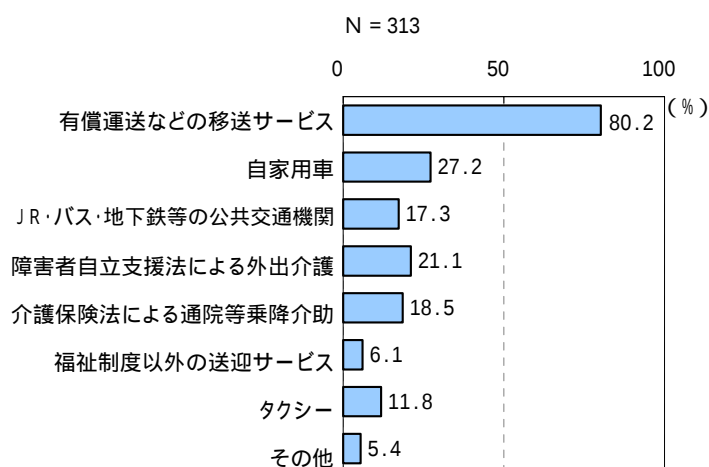
車いすの使用状況



外出の状況
 外出の状況としては、「週2～3日」が27.5%と最も多く、次いで「月に数回程度」(23.1%)、「週に1回程度」(19.3%)となっており、「ほぼ毎日」外出する人も14.9%となっている。

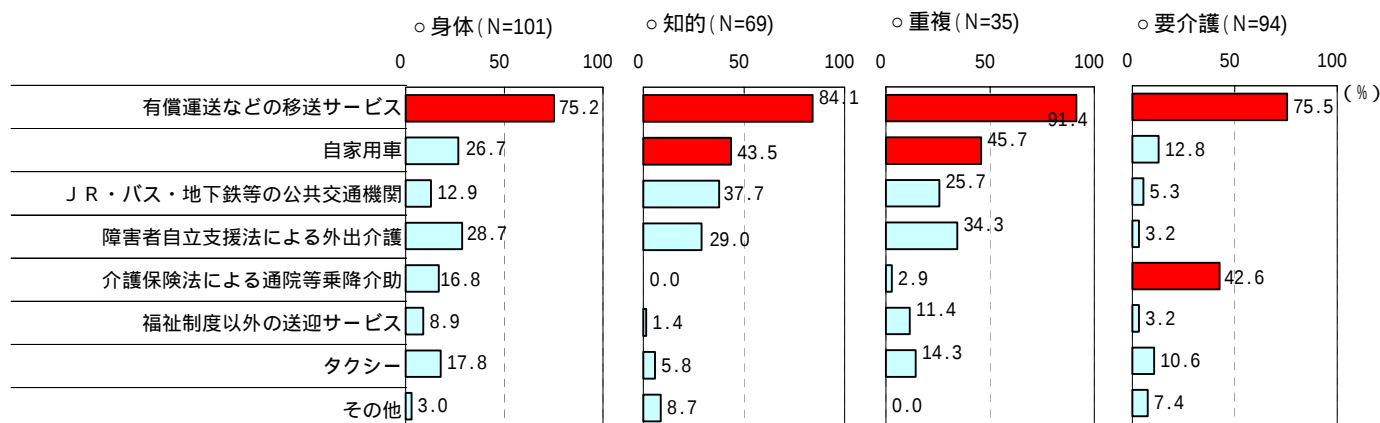


外出する際の移動手段
 外出する際の手段としては、「有償運送などの移送サービス」が80.2%と最も多く、次いで「自家用車」(27.2%)となっている。



障がいごとにみると、どの障がいにおいても「有償運送などの移送サービス」が最も多い。次いで、「知的」「重複」では、「自家用車」や「JR・バス・地下鉄等の公共交通機関」、「障害者自立支援法による外出介護」などとなっており、「要介護」では、「介護保険法による通院等乗降介助」が多い。

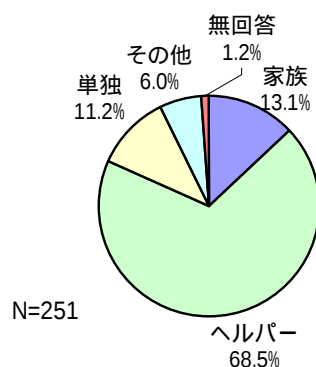
移動手段（障がいごと）



有償運送などの移送サービス利用者の実態【 で「有償運送などの移送サービス」を選んだ方】

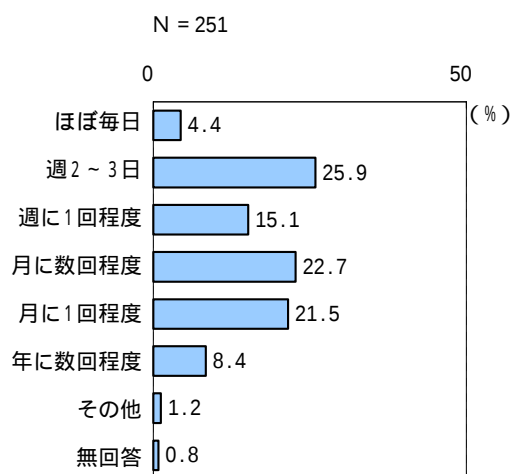
■外出する際の同行者

同行者は、「ヘルパー」が 68.5%と最も多く、次いで「家族」(13.1%)、「単独」(11.2%)となっている。



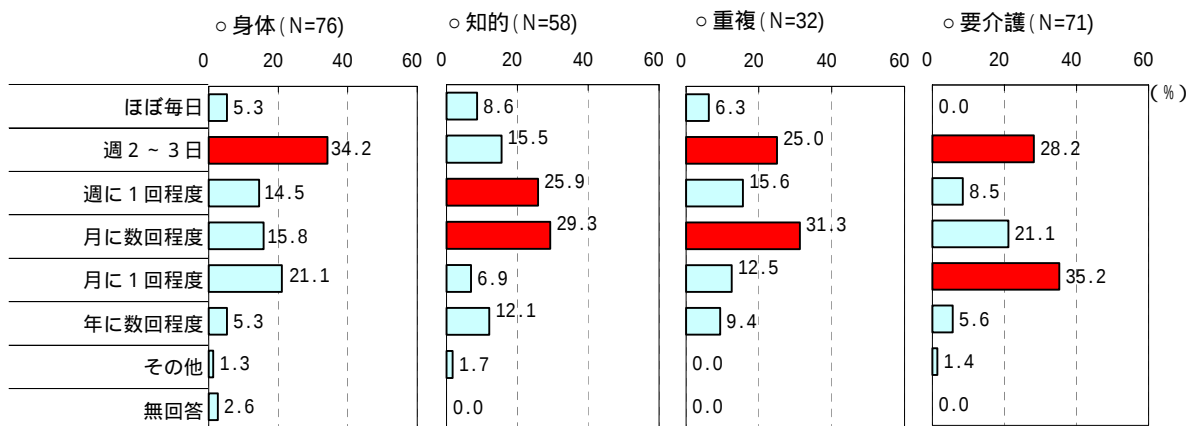
■有償運送サービスを利用する頻度

外出の状況としては、「週 2～3 日」が 25.9%と最も多く、次いで「月に数回程度」(22.7%)、「月に 1 回程度」(21.5%)となっており、「ほぼ毎日」外出する人は 4.4%となっている。



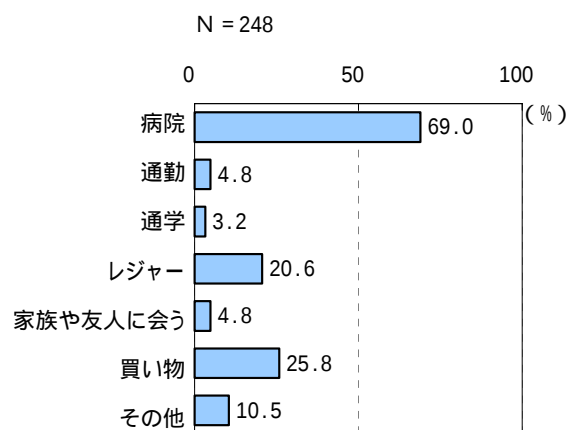
障がいごとにみると、「身体」では「週 2～3 日」が 34.2%と最も多くなっている。また、「知的」では「週に 1 回程度」(25.9%)から「月に数回程度」(29.3%)が多く、「重複」は、「月に数回程度」(31.3%)、「週 2～3 日」(25.0%)が多くなっている。「要介護」においては、「月に 1 回程度」が 35.2%、「週 2～3 日」が 28.2%となっている。

利用頻度 (障がいごと)



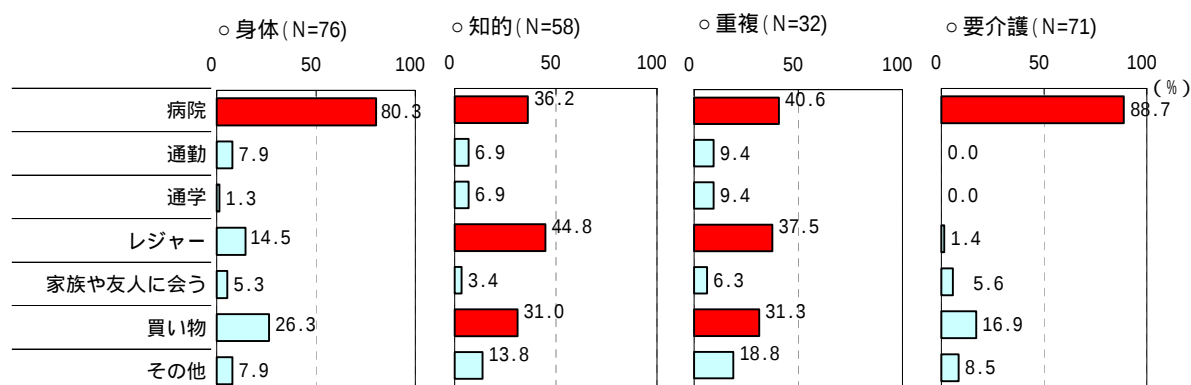
■ 外出する主な用事

有償運送サービスを利用して外出する主な用事としては、「病院」が69.0%と最も多く、次いで「買い物」(25.8%)、「レジャー」(20.6%)となっている。



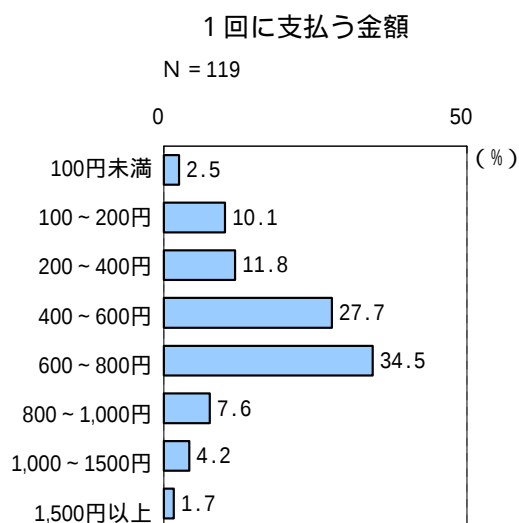
障がいごとにみると、「身体」や「要介護」では病院が80%以上と大半を占め、「知的」や「重複」では、病院のほか、レジャー、買物の割合も比較的高くなっている。

外出する主な用事（障がいごと）



■ 有償運送サービスに1回に支払う金額（平均）

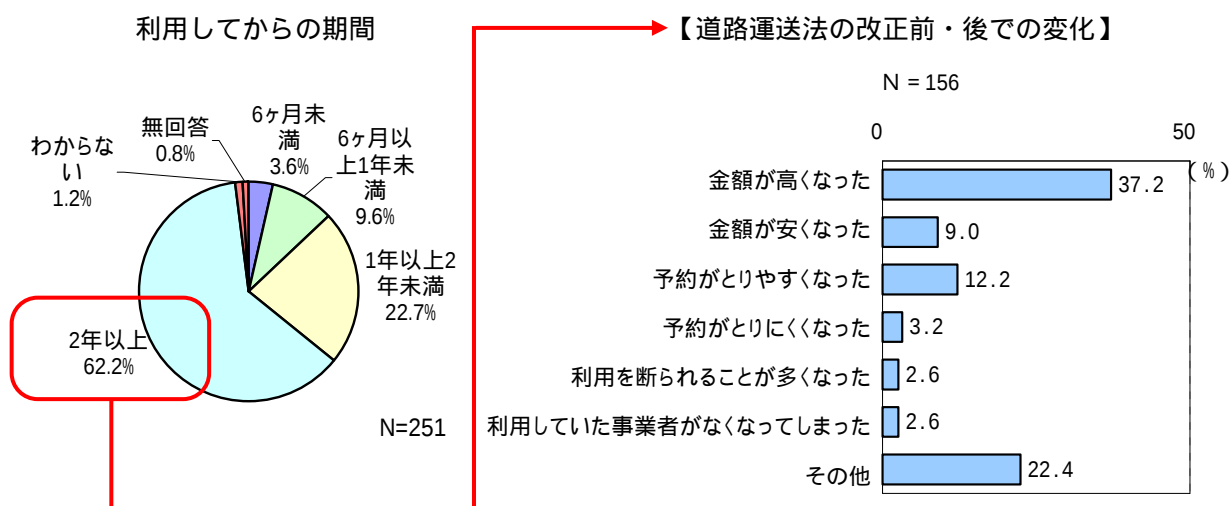
1回に支払う金額は、「600～800円」が34.5%と最も多く、次いで「400～600円」(27.7%)となっている。また、800円～1,500円があわせて11.8%、それ以上の場合もみられる。



■ 有償運送サービスを使い始めてからの期間及び法律改正後の変化

約6割が有償運送サービスを「2年以上」利用している方となっている。

これら「2年以上」利用されている方に、約2年前に道路運送法が改正されたことについて、改正前と後での変化について尋ねた。結果としては、「金額が高くなった」というマイナス面の変化を感じている方が37.2%と最も多い一方、「金額が安くなった」(9.0%)、「予約がとりやすくなった」(12.2%)というプラス面の変化を感じている方もみられた。

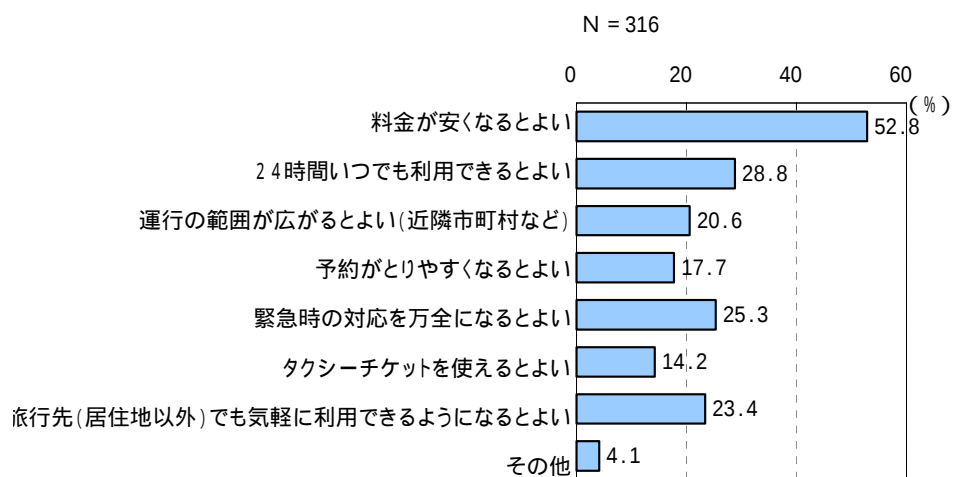


有償運送サービスについて望むこと

「料金が安くなるとよい」が52.8%と最も多く、次いで「24時間いつでも利用できるとよい」(28.8%)、「緊急時の対応を万全になるとよい」(25.3%)となっている。

また、「旅行先(居住地以外)でも気軽に利用できるようになるとよい」(23.4%)、「運行の範囲が広がるとよい」(20.6%)など、どこでも自由に移動することへのサポートを求める意見も多くみられた。

有償運送サービスについて望むこと

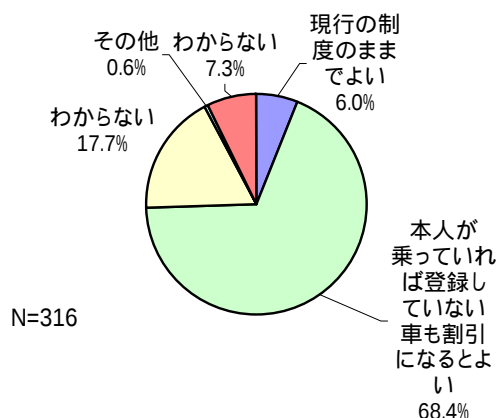


「高速道路割引」について

障がいを持っている人が高速道路を利用する際の「高速道路割引」について下記のように尋ねたところ、「本人が乗っていれば登録していない車も割引になるとよい」が 68.4%となっている。

「高速道路割引」についてお聞きます。障がいを持っている人が高速道路を利用する際には、車両 1 台分のナンバーを事前に登録すれば、その車で高速道路を利用した際に料金の割引を受けることができます。ただし、登録した車以外の車（例えばタクシーや家族以外の車）で高速道路を利用する場合は、割引が適用されません。この制度についてどのようにお考えですか。ひとつだけ選んで○をつけてください。

高速道路割引について

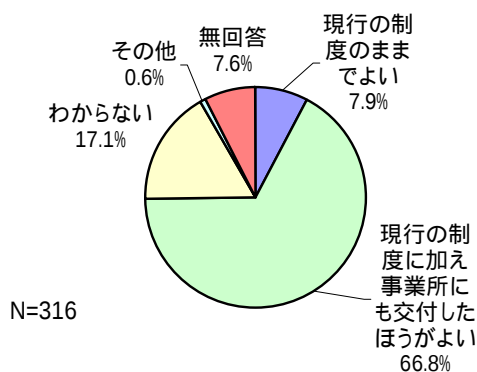


「駐車禁止除外指定」について

「高速道路割引」について、下記のように尋ねたところ、「現行の制度に加え事業所にも交付した方がよい」が 66.8%となっている。

「駐車禁止除外指定」についてお聞きます。「駐車禁止除外指定」を受ければ、駐車禁止の場所にも車を駐車できる制度があります。この制度では、利用したい本人に対して駐車許可証が交付され、車両に関係なく使用することが出来ます。しかし高齢者や障害者のデイスサービスの車、訪問リハビリ・移送サービスの車には、交付されません。そのため駐車禁止の場所での乗降を急いでもらったり、違う場所で乗降してもらっています。このことについてどのようにお考えですか。ひとつだけ選んで○をつけてください。

駐車禁止除外指定について



自由記入（ 33 件の回答から主な意見を抜粋）

○利用料金について

- ・料金が安くなれば、本人の希望に沿って更に行動範囲が広がり、助かります。しかし、どんな場合も事故などの不安があるため、安全のため対策がどう考えられているか利用者への詳しい説明が一度あると安心かと思います。
- ・遠距離の場合燃料費がかかるのはわかりますが時短その他で車両を使う事も出てくると思いますので交通費をもう少し安くしてもいいのではないかと思います。
- ・障害が重い人が使用します。それに料金が高いと増々利用回数が少なくなります。重度障害者の外出が出来なくなります。
- ・たのんでいる事業所が住んでいる所ではなく、息子が通っている施設でやっている事業所なので、金額が少し高くなるような…。息子が重度の自閉症でこだわりも強く、人に対してもなかなか、スムーズに受け入れる事が困難なので、地元の事業所等を使うのは、とても大変です。地元の事業所を使っていないので金額や、サービス内容にも規制があるようで、もっとスムーズに、サービスを気軽に使いたいです。
- ・公共の交通手段など少ない場所に居住している為に、負担額が大きい有償運送サービスを利用するしかありません。負担額が大きすぎて通院の回数を減らすしかありません。

○利用範囲・サービス内容について

- ・介護保険を利用した安い運賃で利用させて頂いて助かっています。病院などの以外の利用範囲が広がればもっと外出の機会がふえて楽しめるのではないのでしょうか。
- ・通学バス（スクールバス）を利用できない送迎を（障がい特性のため）おねがいしています。とても助けられています。経済負担が大きい。通学の送迎を福祉サービスで利用できるとありがたいです。
- ・病院受診だけでなく、買物等にも、介護保険を使い送迎してほしい、自費だと、高い。
- ・通院送迎時予約以外の病院又買物等出来る事（通院時途中）幅広く利用が出来ますよう希望と共に高齢者で又身体不自由な方に身体介護（身の回り）ヘルパーさん又家族同伴が可能になる事を希望します。タクシーも介護ヘルパーさんのみではなく付添い家族同伴乗降を望みます。
- ・大変ありがたく利用頂いております。しかし、重度の障害利用者だけが優遇されるのではなく、程度に関わらず状況に応じた利用方法やサービスが受けられることを望みます。

○事業者への要望について

- ・以前に比べると予約がとり易くなり、安心できますが、車種がまちまちで頭がつかれて乗れないことがあります。冬道は上下にゆれるので、車高を考えてほしいです。いつも同じ車に乗れるといいです。
- ・車や人がなかなかいないので月1回くらいしか、サービスを受けられないので、もっと人手を増やすとか、なっていければ、良いと思います。
- ・今朝（2/2火）の読売新聞に、細かなサービスをするタクシー会社に記事が載っていました。子育てサポート、福祉タクシー、おつかい便タクシーなどなど、安心できる運転手さんがいたら、家族がおくりむかえをする負担が減ると思います。
- ・緊急の場合すばやく対応してもらいたい。
- ・事業所が増える体制（単価設定、マンパワーの確保）にして欲しい。→利用者がもっと使いやすくなる為に。

○高速道路割引、駐車禁止除外指定について

- ・いつでもどこでも障害のない人と同じように利用できるシステムを望む。ヘルパーが車輪をあたり、利用者宅の周囲で駐車ができなくなり（駐車許可所が交付されない）それはひいては利用者にはね返る車になり、これも全く同じにしないでほしい。事業所が負担することは気の毒。
- ・高速道路、割引、駐車禁止除外指定、が、利用者ばかりではなく、移送サービスの車にも、交付される事が、利用されている私共にも、大変に良い事だと思います。制度の改善を望みます。
- ・高速道路（問7）は、 本人が乗っていれば…ぜひお願いしたいです。

○その他

- ・利用者にとって移動手段がない事は切実です。病院・日々の買出し等、生活をする上で欠く事の出来ないものであり安く利用したいし、行きたい場所に地域の元気な人と同じように行きたいという願いはかなえられるべき物です。
- ・有償運送をはじめたばかりです本人にとっても家族にとってもとてもプラスになっています。満足しています。
- ・いつも親切に対応していただき感謝しております。職員の方の労働条件が厳しい報酬に見合った賃金が支払えてないように少しでも改善されるといいですね。

2. 事業者アンケート

(1) 調査概要

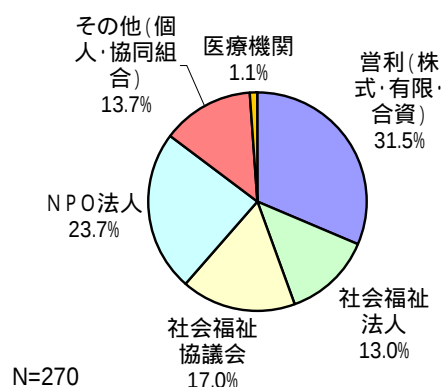
調査対象	STネット北海道の会員団体
調査方法	郵送で調査票を配布し、回収。
回答数	270 団体（配布数：1,137、回収率 23.7%）
調査期間	2009 年 8 月 4 日～9 月 10 日

(2) 調査結果

回答団体属性

回答を得た 270 団体のうち、営利（株式・有限・合資）が 85 団体（31.5%）、NPO 法人が 64 団体（23.7%）、次いで社会福祉協議会、その他（個人や協同組合等）、社会福祉法人となっている。

団体種別	件数	割合(%)
営利(株式・有限・合資)	85	31.5
社会福祉法人	35	13.0
社会福祉協議会	46	17.0
NPO法人	64	23.7
その他(個人・協同組合)	37	13.7
医療機関	3	1.1
計	270	100.0



職員数

回答団体全体でみると、1 団体あたりの平均職員数は 22.0 名となっており、団体種別でみると、社会福祉法人が 39.7 人、社会福祉協議会が 27.5 人と比較的職員数が多い。NPO 法人については、平均職員数が 19.1 名、職員のうち正職員が 37.4%、パートが 62.6%となっている。

団体種別	回答数	総職員数	正職・パート比(%)		1団体あたり 平均職員
			正職員	パート	
営利(株式・有限・合資)	83	1,650	657	993	19.9
社会福祉法人	31	1,230	736	494	39.7
社会福祉協議会	40	1,098	357	741	27.5
NPO法人	61	1,164	435	729	19.1
その他(個人・協同組合)	29	265	97	168	9.1
医療機関	3	15	10	5	5.0
計	247	5,422	2,292	3,130	22.0

運転者数

回答団体全体でみると、1 団体あたりの平均運転者数は 7.5 名となっており、団体種別でみると、社会福祉法人が 9.9 名、社会福祉協議会が 9.7 名、次いで N P O 法人が 8.2 名となっており、営利やその他団体においては全体平均よりも少ない 4～6 名程度となっている。

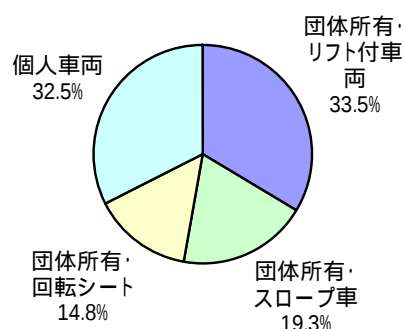
職員のうち正職員とパートの比率をみると、全体としては正職員の割合がやや高いが、社会福祉協議会や N P O 法人などではパート職員の比率がやや高くなっている。

団体種別	回答数	総職員数	正職員・パート比(%)		1団体あたり 平均 運転者数
			正職員	パート	
営利(株式・有限・合資)	85	506	310	196	6.0
社会福祉法人	35	346	255	91	9.9
社会福祉協議会	45	437	190	247	9.7
N P O 法人	63	515	235	280	8.2
その他(個人・協同組合)	31	139	55	84	4.5
医療機関	2	15	10	5	7.5
計	261	1958	1055	903	7.5

車両数

車両数を集計すると、回答団体全体では、団体所有車両が 67.6%、個人車両が 32.5%となっており、団体所有車両のうち、リフト付車両が 33.5%、スロープ車が 19.3%、回転シートが 14.8%となっている。

1 団体あたり平均車両数は、N P O 法人が 5.4 台と最も多く、次いで営利が 4.7 台となっており、その他団体においては全体平均の 4.5 台よりも少ない。



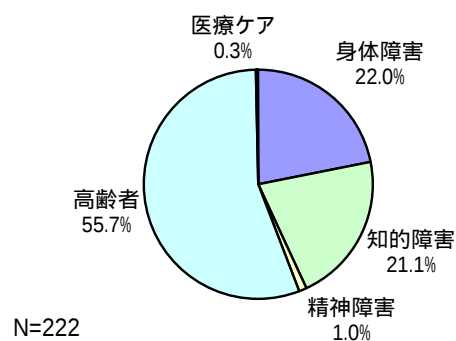
N=262

団体種別	回答数 (全車両)	全車両	1団体あたり 平均車両数	割合(%)			
				リフト付車両	スロープ車	回転シート	個人車両
営利(株式・有限・合資)	85	401	4.7	30.9	26.4	15.7	26.9
社会福祉法人	29	102	3.5	45.1	10.8	14.7	29.4
社会福祉協議会	46	195	4.2	54.9	14.9	19.5	10.8
N P O 法人	62	336	5.4	21.1	16.1	14.3	48.5
その他(個人・協同組合)	37	128	3.5	33.6	18.8	6.3	41.4
医療機関	3	15	5.0	20.0	20.0	13.3	46.7
計	262	1,177	4.5	33.5	19.3	14.8	32.5

利用者数

回答団体全体をみると、利用者数の内訳は高齢者が55.7%と最も多く、次いで身体障害者が22.0%、知的障害者が21.1%などとなっている。

1団体あたり平均会員数は60.5人となっており、団体種別に利用者数の内訳をみると、営利や社会福祉協議会では高齢者の割合が7割以上を占め、社会福祉法人では知的障害者が約6割、NPO法人では高齢者(52.7%)と身体障害者(21.5%)・知的障害者(23.9%)が半数ずつとなっている。

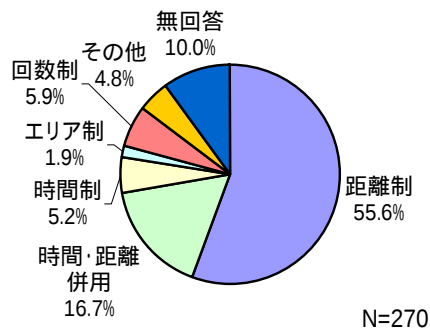


団体種別	回答数 (会員総数)	会員総数	1団体あたり 平均会員数	割合(%)				
				身体障害	知的障害	精神障害	高齢者	医療ケア
営利(株式・有限・合資)	63	3,462	55.0	24.4	4.3	0.6	70.2	0.5
社会福祉法人	35	2,720	77.7	9.0	65.6	0.6	24.8	0.0
社会福祉協議会	43	2,539	59.0	22.8	1.1	0.4	75.7	0.0
NPO法人	62	3,582	57.8	21.5	23.9	1.5	52.7	0.4
その他(個人・協同組合)	16	1,010	63.1	50.2	1.9	2.6	44.9	0.5
医療機関	3	116	38.7	5.2	0.0	0.0	94.8	0.0
計	222	13,429	60.5	22.0	21.1	1.0	55.7	0.3

運送の対価

回答団体全体における利用料金の設定をみると、運送の対価としては、「距離制」が55.6%と最も多く、次いで「時間・距離併用」が16.7%となっており、その他、「時間制」(5.2%)、「エリア制」(1.9%)、回数制(5.9%)、その他(4.8%)となっている。

運送以外の対価としては、待機料や回送料、介助料などのほか、車いすやストレッチャー、医療器具等の持ち出しについての料金設定がみられた。



運送以外の対価

運送の対価以外の対価	回答数	割合(%)
回送料のみ	9	3.3
待機料のみ	31	11.5
介助料のみ	2	0.7
回送料 + 待機料	2	0.7
回数料 + 待機料 + その他	1	0.4
待機料 + その他	12	4.4
待機料 + 介助料	3	1.1
その他	15	5.6
なし、無回答	195	72.2
計	270	100.0

■（運送の対価）平均利用料金について

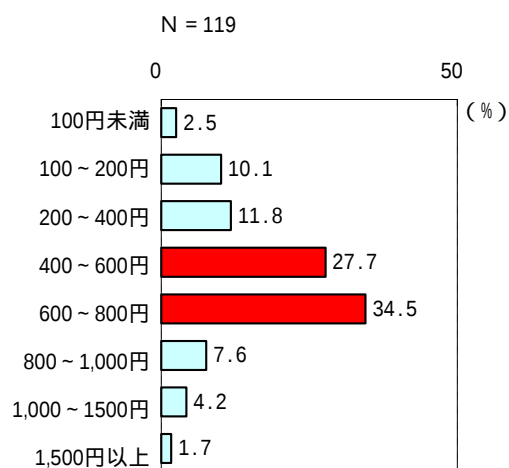
平均の利用料金を算出するため、運送の対価として最も多い「距離制」に関して、5km の移動を仮定した場合の利用料金を算出した。

1 事業者につき複数パターン記入されているものについては 1 パターンのみ採用した。

また、料金算出に際して記載が不十分なものについては除外した。

この場合の平均料金は、600～800 円（34.5%）\ 400～600 円（27.7%）程度となった。

5km の移動を仮定した際の平均料金（「距離制」の場合）



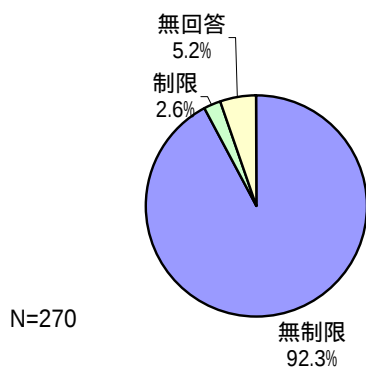
保険の加入状況

対人は92.3%、対物は78.8%が「無制限」の保険に加入している。

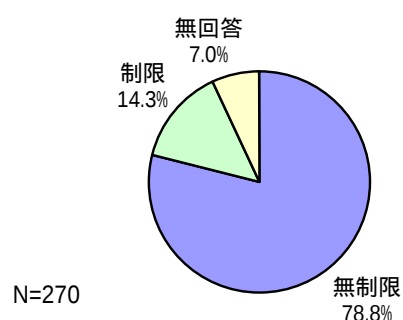
人身障害については、無制限は14.2%であり、3,000万円（37.4%）5,000万円（21.0%）が多くなっている。また、搭乗障害では、1,000万円（33.9%）500万円（33.2%）の保険への加入が多いが、加入していない可能性がある無回答も25.5%みられた。

賠償責任保険は、74.4%が加入している。

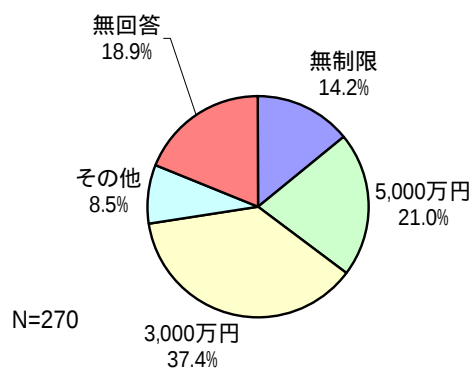
■ 対人



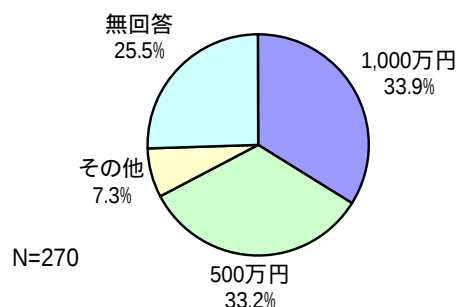
■ 対物



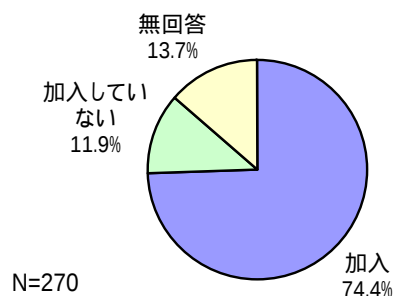
■ 人身障害



■ 搭乗障害

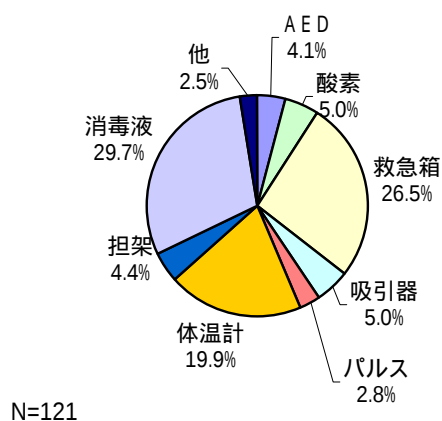
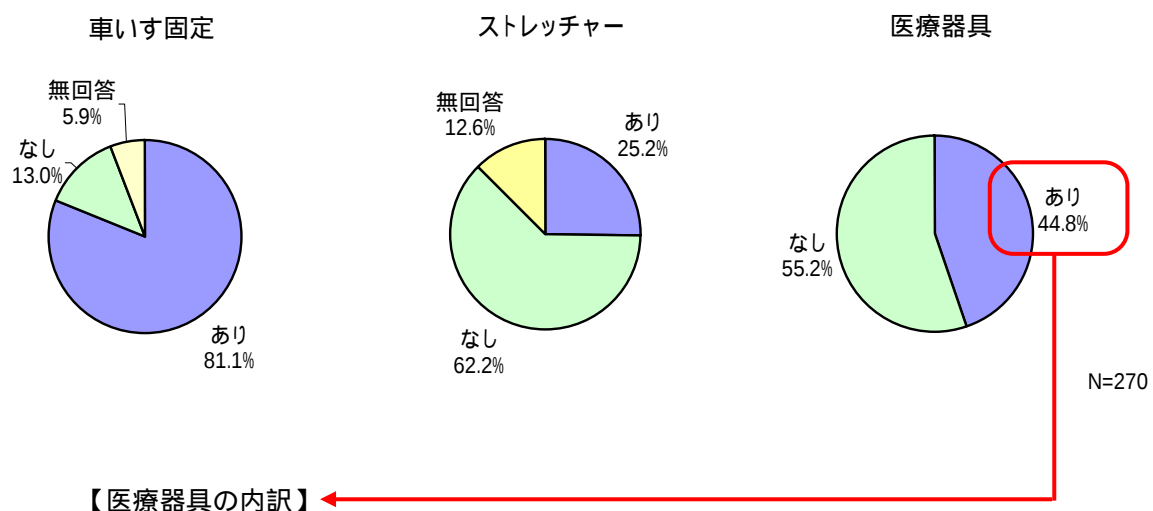


■ 賠償責任保険



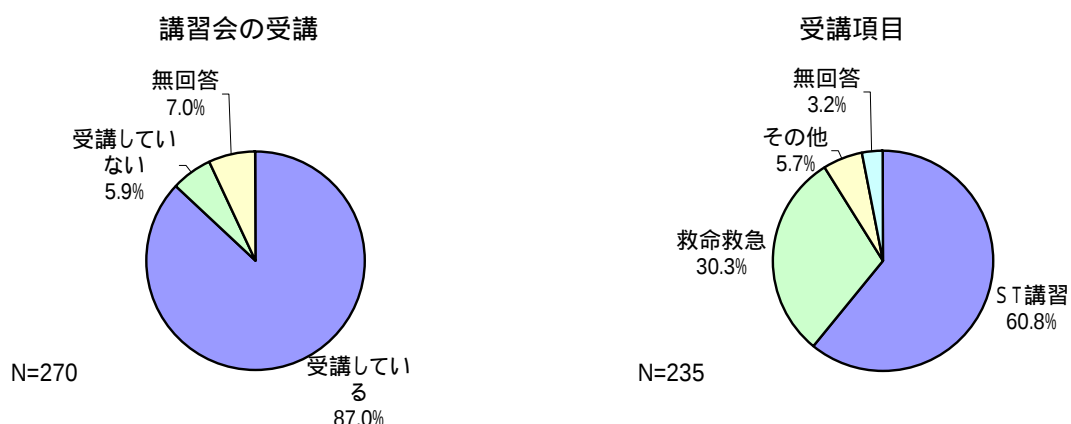
車両設備

車両設備についてみると、車いす固定は 81.1%が「あり」と回答しており、ストレッチャーについては「あり」が 25.2%と少なくなっている。また、医療器具に関しては「あり」が 44.8%となっており、その内訳をみると救急箱（26.5%）や体温計（19.9%）、消毒液（29.7%）などの基本的器具が多くを占めている。



講習会

講習会の受講について尋ねたところ、「受講している」が 87.0%となっており、受講項目をみると、「ST講習」が 60.8%、「救命救急」が 30.3%、「その他」が 5.7%となっている。



民間患者等搬送事業を想定した車両設備を有する事業者について

民間患者等搬送事業は、一般に「民間救急サービス」「民間搬送サービス」と呼ばれ、運行に当たっては、消防機関との連携体制を整え、搬送業務従事者の資格や患者等搬送用車両の構造や設備等について定められた基準を満たす必要がある。このような民間患者等搬送事業を担うことができる車両等の設備、従事者を有する事業者がどの程度存在するかを本アンケート回答事業者の中から抽出した。

抽出する際の条件設定は下記のとおり。

患者等搬送用事業の要件と本アンケートにおける対応表

患者等搬送用事業の要件		本アンケートにおける設問の対応
車両	ストレッチャー及び車いす等を固定できること	車いす固定装置、ストレッチャーの有無
積載する資器材	○呼吸管理用資器材 ・ポケットマスク ・バッグバルブマスク	- (該当設問なし)
	○保温用資器材 ・敷物 ・毛布	- (該当設問なし)
	○搬送用資器材 ・担架 ・枕	担架の有無(ア)
	○創傷等保護用資器材 ・三角巾、タオル、ガーゼ、絆創膏、包帯	救急箱の有無(イ)
	○消毒用資器材 ・噴霧消毒器 ・消毒液	消毒液の有無(ウ)
	○その他 ・はさみ、膿盆・汚物入れ、マスク、体温計 ピンセット、手袋 AED(任意)	体温計の有無(エ)
講習	資格講習の受講	救急救命講習の受講の有無

(「患者等搬送用事業の要件」は、札幌市消防本部 HP を参照)

回答事業者のうち ～ 全てを満たすのは、次ページの 3 事業者となっている。

については、一部対応する設問がないため、右欄(ア)～(エ)を満たすもので抽出した。

患者等搬送用事業の要件を満たす事業者

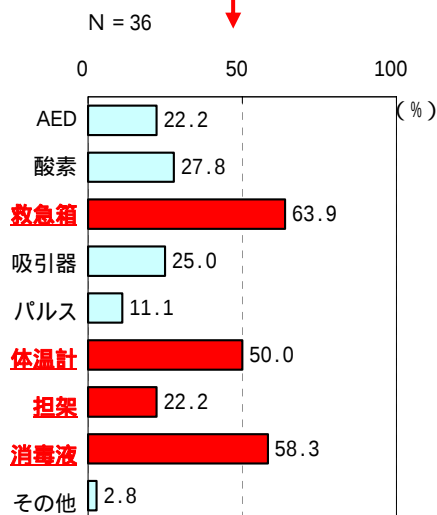
該当市町村	事業者数
札幌市	1
網走市	1
北見市	1

また、・の要件を満たし、の資器材いずれかを積載している事業者は36あり、うち札幌市が10、旭川市、北見市がそれぞれ2、その他市町村は1事業者ずつとなっている。

患者等搬送用事業の要件を満たす事業者

該当市町村	事業者数
合計	36
札幌市	10
旭川市	2
網走市	2
石狩支庁	江別市 1
	千歳市 1
渡島支庁	函館市 1
	北斗市 1
	福島町 1
檜山支庁	江差町 1
後志支庁	京極町 1
	共和町 1
空知支庁	新十津川町 1
	月形町 1
宗谷支庁	江幸町 1
網走支庁	北見市 1
	遠軽町 1
	大空町 1
胆振支庁	室蘭市 1
	登別市 1
	白老町 1
十勝支庁	上士幌町 1
	広尾町 1
	更別村 1
釧路支庁	釧路市 1
根室支庁	根室市 1

整備している医療機器（複数回答）



(注) 赤は、患者等搬送用事業の要件

３．運営協議会アンケート

（１）調査概要

調査対象	運営協議会設置市町村
調査方法	郵送で調査票を配布し、回収。
回 答 数	71 （配布数：110、回収率 64.5％）
調査期間	2010 年 1 月 12 日～2010 年 1 月 28 日

（２）調査結果

ローカルルールを設けている市町村及びその内容

ローカルルールを「設けている」と回答したのは 11 市町村となっており、その具体的内容及びローカルルールを設けた理由は下図のとおり。

ローカルルールを設けている市町村

	件数	割合(%)
合計	111	100.0
ローカルルールあり	11	9.9
ローカルルールなし	100	90.1

ローカルルールとしては、安全な運送サービスを実施することを理由とした運転者の要件に関するもの、地域内の運送業者との棲み分けを理由とした利用対象者や使用車両の制限に関するものなどがあげられている。

ローカルルールの具体的内容及びルールを設けた理由

	ローカルルール 具体的内容	そのローカルルールを設けた理由
札幌市	運転者の要件を20歳以上で過去3年間に免許停止の措置を受けていない者としている。20歳未満、過去2～3年の間に免許停止の措置を受けている者については、事故対策機構が実施する適性診断の受講が必要で、申請書類に診断書を添付。	運送サービスの利用者が障がい者等のため、より安全な運送サービスを実施してもらうために設けている。
南幌町	セダン車を増やす場合には、協議会を開催して協議を行う。	営業車との兼ね合い、セダン車を増やす必要性があるかどうか。
真狩村	利用にあたっては、通院、転院のみ対象とする。	民業の圧迫が懸念されたため。介護輸送の解消のため。
石狩市	運転者は運転免許取得後2年以上の者を要件とする。	乗客を乗せて運行する業務として、ある程度の運転技量が必要である。
江別市	運転者の条件について「普通第一種免許を有し、効力が過去2年以内に停止されていない」「2年以内」を「3年以内」とする。	安全な運行体制の確保のため。
旭川市	実施団体は福祉車両を1台以上所有すること。実施団体において1台でも増車を行う際には、協議会に諮り、協議が調わないと増車できないこと。	福祉車両の所有についてはタクシー事業者との棲み分けの方法の一つとして設けられた。増車についてもその必要性を明確にした上で、白タク行為ではないことの確認及び抑制するために設けられた。
苫小牧市	福祉車両の他に「セダン型」を認める	国の方改正により「セダン型」を認めるにあたり、運送の対象、使用車両、運転者の条件など、該当運営協議会で協議し、「苫小牧市福祉有償運送ガイドライン要綱」を定めた。
釧路市	参考資料あり。利用者の限定。事故の対応。その他。	利用者の限定により、バス・タクシー等の交通機関とのすみ分けをはかる。事故対応や安全運行による、利用者の安全の確保をする等、取り決め事項を設けた。
新得町	運送の対象は居宅者にあつては「寝たきり度判定基準ランクB」以上の者、又は「認知症老人の日常生活自立度判定基準ランク b」以上の者、及びその状態と同等と認められた者。	町内にハイヤー業者が2社あり、セダン型車両に乗れない者等を具体的に基準を設けて配慮した。
土幌町	対象者を「介護度3以上、身体障害者手帳1、2級の下肢障害、視覚障害を有するもの他、地域ケア会議で認めたもの。	運営協議会において、道路運送法施行規則第49条第1項第3号に規定する「他人の介助によらず移動することが困難であると認められ、かつ、単独でタクシーその他公共交通機関を利用することが困難な者」についてを厳格に適用するため。
広尾町	対象者は要介護3以上	町内 運送業者とのすみ分けを図るため。

運営協議会での協議の過程において特に問題となった事項

問題となった事項としては、「２．旅客から収受する対価」が８件、次いで「３．旅客の範囲」が７件、「１．運送の区域」、「４．使用する車両の種類」、「７．運行管理の体制」がそれぞれ３件となっている。

具体的な問題点を次ページに示す。

運営協議会での協議の過程において特に問題となった事項

	件数	割合(%)
合計	111	100
1.運送の区域	3	2.7
2.旅客から収受する対価	8	7.2
3.旅客の範囲	7	6.3
4.使用する車両の種類	3	2.7
5.運転手の要件	1	0.9
6.損害賠償措置	1	0.9
7.運行管理の体制	3	2.7
8.整備管理の体制	1	0.9
9.事故時の連絡体制	1	0.9
10.苦情処理体制	1	0.9
11.その他	5	4.5

運営協議会の協議の過程において特に問題となった事項（具体内容）

1. 運送の区域	他市町村の施設等の利用者が他市町村の有償運送を利用する場合、協議会の合意は本当に必要か。
	健康者を移動制約者などのように区別（判断）するか？ タクシー利用者の減につながるのではないか？
	要介護3未満の方で援助が必要な方を対象にしたい。
2. 旅客から収受する対価	現状では、介護とセットで行っているため、低価格で行えるが、単独の利用の場合は、赤字となることが考えられる。
	距離や時間に関係なく100円のみを徴収しているが、タクシー料金の半分までとはいわないが、バス料金くらいを徴収してはどうか。
	H20年の協議会において、あるNPOから複数乗車での利用料金の設定があり、初めてのケースのため決定まで運輸支局とも相当数協議を重ねました。
	旅客に同伴の家族がいて、目的地に旅客本人のみ降車し、家族の復路分の対価も収受していた。
	複数乗車の場合の対価の設定について。
	地域内で、運送団体によって、料金が違うこと。 ガソリンの単価を基準にした積算の場合、変動が大きくても、随時改定するわけにはいかないこと。 2団体しかない為、比較しやすいにもあり、上記のような点で議論となります。
3. 旅客の範囲	料金体系について定額制は福祉有償運送の料金体系としてなじまない、短距離、短時間の運送時、基準をこえる。
	複数乗車運賃の設定の考え方について。
	要介護・要支援状態になる恐れのある者（要介護状態に準じる者）を対象者とするかを過去に検討した。（現在で言うところの「特定高齢者」。）現在は該当者なし。
	身体等に特に大きな障害は無いものの、高齢により、特定高齢者となった者が、特に冬に移動が困難となり、運送の対象とするか、今後検討の必要が生じてくる。
	福祉施設内の利用者といえども、自力歩行が可能で且つ元気な人まで対象となるのか。
	旅客の範囲が問題となる。公共交通機関での移動可能な人も利用者名簿に載ってくる場合があり、協議会で判断に苦慮する。
4. 使用する車両の種類	要支援者の扱い、客観的な理由が必要となるが、協議会にかけの事務量の簡素化。
	介助がなくてもハイヤーの利用が可能な方を利用登録していないか、利用登録者の見直しを定期的に行っているのか。民業の圧迫につながっていないか。
	対象者の基準を設けるに当たり、経済的な問題（ハイヤー等利用すると負担が大きい）が出されていた。
	モラルの問題であるが、登録番号を掲示しなかったり、登録者（利用者）以外にも乗せており、地元ハイヤー業者等から問題視されてる。
5. 運転者の要件	福祉車両を所有しない事業者の申請について。 7、 少人数事業所における代務者の選任のあり方について。 始業前点検時のアルコール検知器の導入について。
	セダン型車両登録の可否について。セダンを使用するのであればタクシーを利用してもらえばよいという意見があったが、その一方で対象者の
6. 損害賠償措置	運転者の要件について、講習を受けなければならないが、受講費用、開催地への旅費など、費用面での負担が大きいことが、事業者の苦情として挙げられた。
7. 運行管理の体制	福祉部門において、協議会事務を行っていないため、事業者の損保の保障内容がわからない。
	対応スタッフが少なく（運転者と兼任）、事務所に職員が不在という状況になるのはよくない。安全運行のためには、責任者等を事務所に常駐させるべき。万が一事故等がおきた時すばやい対応がとれない。
7～10	少人数事業所における代務者の選任のあり方について。 始業前点検時のアルコール検知器の導入について。
11. その他	どのような体制が望ましいかわからない。
	特にタクシー業界の抵抗が大きく、委員の委嘱にも応じて頂けなかった。
	運転者の違反行為（業務外のプライベート）で、信号違反行為は、集中力を欠いた行為であるのか、そうとなれば、勤務（乗務）時間・組織体制に問題はないのか。 勤務時間が適正か。 遠方からの通勤か。 乗務員数が適正か。 プライベート運転で法規違反者（何回も）は、福祉有償運送で乗務させることは、いかがなものか？～重大違反行為者は制度上で認められないことから、制度外の違反をやみくもに対象とする方向で検討すると、乗務員が集まらなくなる。この点は事業者の責任能力として、また、常識ある善良な組織であることが大切な判断と考える。 プライベート＝業務とは必ずしもならない。
	複数乗車の具体的なケースについて。
	介護輸送する事によって、ハイヤー業界からの反発がある。

・総括

本調査では、各種資料を踏まえて、北海道内の福祉輸送の実態・運送範囲等について詳細に把握し、北海道内において福祉輸送が整備されていない「移動空白地帯」を明らかにし、それを解消するための必要なデータを整理することを目的とした。

そのため、福祉輸送に関する資料を収集し、「市町村ごと」「サービスごと」「事業所ごと」に整理した。それらを整理した上で、人口（高齢者、介護認定者、障がい者）と車両台数の比率を算出するなど加工を行った。章では北海道全体、章では各支庁の状況を整理し、章ではそれらサービスを支える事業所や運営協議会、または実際の利用者に対してアンケート調査を行った。以上のことから次のようなことが言える。

■北海道各地に散在する空白地帯

本調査の一番の目的である交通空白地帯を明示するため、北海道の福祉輸送について、サービスごと、市町村ごと、事業所ごとに整理し、それらをレイヤーにしたものをオーバービューした（P.34）。なお、交通空白地帯と定義した際には、一般乗用旅客自動車運送事業の事業所が登録している「圏域」については除くものとした。

ここでの交通空白地帯をみると、十勝支庁、石狩支庁、檜山支庁を除いた支庁において交通空白地帯が存在している。これらの地域は一般乗用旅客自動車運送事業の「圏域」として指定されているところもあるが、それでも一般乗用旅客自動車運送事業自体の提供車両は複数の自治体に渡っていることから、これらの交通空白地帯においては、福祉輸送によるサービスが極めて希薄であると言える。なお、一般乗用旅客自動車運送事業の圏域についてみても、道北オホーツクエリアでは圏域に指定されていない地域が目立つ。

■身体障がい者以外によるニーズの可能性

今回の調査では、身体障害者1名あたりの台数比率は分析したが、それ以外の障がい（知的・精神）についての台数比率は分析しなかったが、利用者アンケートによると、現在有償運送サービスを受けている人のニーズとして、知的障がい者は月数回外出しているとの回答もあるため、身体障がい者や要介護者以外の福祉輸送のニーズも高いと予想することができる。

■都市部及びその周辺に福祉車両がいきわたっていない

本調査結果から、人口が多い自治体であれば、それだけ福祉車両が多いことがわかったが、逆に高齢者や障がい者人口の比率に対してみると、都市部やその周辺について車両台数の比率が低いことがわかった。福祉有償運送サービスはおおむね人口の多い都市部では提供されているが、必ずしも人口が多いところに豊富な車両台数があるとは言えない。例えば、福祉有償運送の車両台数についていえば、白老町が札幌市に次いで2位になっていた。また、人口当たりの車両台数をみても上位20位には市が入っていないということもわかった。そして、特に函館市及びその周辺部や、旭川市、石狩支庁の北広島市を除いた市については道内平均よりも大幅に下回っている。また、小樽市や江別市などは福祉有償運送サービスの提供する事業所自体が存在していないという状況であった。

■自治体ごとの取り組みの偏り

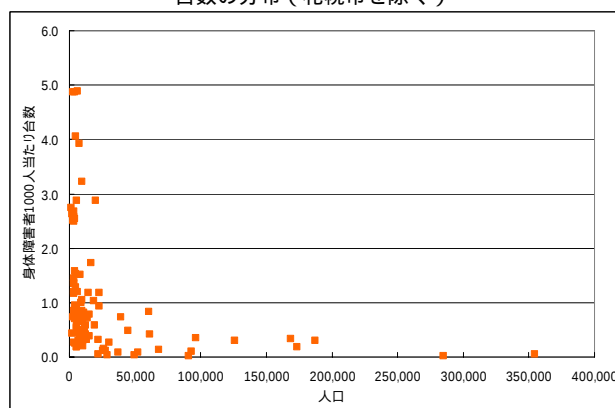
高齢者人口など、各種人口に対しての台数比率を支庁、市町村ごとにみていくと、道内平均を突出している自治体もいくつかみられ、福祉輸送の取り組みに積極的な自治体もあることが

わかった。とくに、羅臼町、南富良野町、厚沢部町、白糠町、当麻町などについては、身体障害者 1,000 人当たりの台数をみると、道内平均の 20 倍以上の福祉有償運送にかかる台数がある。また、前述したように十勝支庁では空白地帯は存在せず、福祉輸送の内訳をみると、大部分の自治体で福祉有償運送を行っており、福祉有償運送が行われていない自治体でも交通空白輸送や一般乗用旅客輸送が行われている。

しかし、その一方、人口 5 万人以上の自治体に関しては人口 1,000 人当たりの台数が 1 台未満となっており、大きな自治体ほど、福祉有償運送にかかる取り組みがなされていないことがわかる（上図）。

また、離島については奥尻町や礼文町などは比較的台数の比率が他自治体よりも多くなっている一方、利尻島に関して利尻富士町が市町村福祉輸送で 2 台所有しているのみとなっており、同じ島内であっても町が異なるため取り組みが分かれている。

図 人口と 1000 人当たりの福祉有償運送台数の分布（札幌市を除く）



■ 利用金額と利用距離は 1,000 円未満で 5 km 程度が多い

利用者アンケート結果をみると、有償運送サービスに関する支払いとして、「600～800 円」が 34.5%と最も多く、次いで「400～600 円」(27.7%)となっており、概ね 1 回あたり 1,000 円以下が一般的であるといえる。また、約 2 年前に道路運送法が改正されたことについて、改正前と後での変化では、「金額が高くなった」が 37.2%と最も多く、今後望むこととして「料金が安くなるとよい」が 52.8%と最も多くなっているなど、利用者として「金額」が最も大きい関心事であるといえる。

その一方、事業所アンケート結果から、5km の移動を仮定した場合の利用料金を算出したところ、平均料金は、600～800 円 (34.5%)、400～600 円 (27.7%) なり、利用者アンケートと照らし合わせて考えると、有償運送サービスとして 5 km 程度を 1,000 円未満で運行することが多くの事例であることがわかる。

なお、運営協議会のアンケート結果から問題となった事項としては、「2. 旅客から収受する対価」が 8 件ともっとも多くなってきており、利用金額については、利用者が安価を望むとともに、サービス提供側である事業者間でも調整の難しい項目となっている。

以上、各種データやアンケート調査結果を踏まえて考察を行った。今回は様々なデータを事業所ごとにとりまとめるということで、これまで一部分しか分析することができなかった北海道の全市町村の福祉輸送のサービス提供の全体像を把握することができた。また、福祉輸送についての利用者の意見や事業所の意見、また、それを支える運営協議会の意見についても、多くの回収数を持ったアンケート調査結果にて整理することができた。

本調査結果の主な成果としては、北海道の移動空白地帯を明らかにし、また、都市部においても台数が不足していることや、逆に取り組みが進んでいる自治体等を俯瞰したことを挙げることができる。加えて、資料編として、「サービスごと」「市町村ごと」「事業所ごと」にデータを取りまとめ、今後の新たな分析にも活用できる基礎資料を作成することができた。

その一方、移動空白地帯がなぜ存在しているのか、また、それを解消する方法は何か、逆に取

り組みが進んでいる自治体はどのような要因か、といった移動空白地帯の生成及び改善要因に関する情報・分析が不足している。また、移動空白地帯における自治体について、交通弱者に対して具体的にどのような施策を取っているかなど、移動空白地帯に焦点を当てた分析を行わなければ、移動空白地帯の解消に向けての方策の検討も出来ないだろう。さらに、空白地帯でなくても台数が非常に少ない地域も多数あり、移動空白地帯の解消に向けて、かつ、福祉輸送の充実を検討すべき事項は未だ数多いと思われる。そのため、今回取り上げた視点（「サービスごと」「市町村ごと」「事業所ごと」に整理する）が今後有益に取り扱われることであろう。

なお、今回はあくまでも北海道内市町村の分析にとどまっており、例えば、道内平均と比べての分析が主であったが、そもそも北海道という特殊性を考慮すべきであろう。各支庁の面積の多くは本州の県レベルに匹敵する規模を持っており、全国レベルと比べてどのような位置にあるのかを把握するとともに、全国の福祉輸送の施策が今後どのようにあるべきなのかを踏まえた上で、全国のほか地域と連携した調査、福祉輸送のあり方の議論を行っていくべきであろう。また、自治体による大きな格差があることも深刻な問題であるといえる。それら問題を抱えている地域が将来的にどの程度の整備水準（台数、サービス体制、料金等）を目指すべきか、そして優先的にどの課題に取り組んでいくべきかということを検討していくことも、福祉輸送の充実を図っていく上で重要な視点と思われる。

資 料 編

平成 22 年 3 月
北海道移送・移動サービス連絡会

目 次

道内の自家用有償旅客運送と旅客自動車運送事業の実施件数	資-1
運送の種類別 実施団体・法人数	資-4
車両台数	資-6
人口（10万人あたり）に対する車両台数	資-11
高齢者（65歳以上）人口（1,000人あたり）に対する車両台数	資-17
前期高齢者（65歳以上75歳未満） 人口(1,000人あたり)に対する車両台数	資-23
後期高齢者（75歳以上）人口（1,000人あたり）に対する車両台数	資-29
介護保険認定者（1,000人あたり）に対する車両台数	資-35
身体障害者手帳取得者（1,000人あたり）に対する車両台数	資-42
面積（100k㎡あたり）に対する車両台数	資-48
市町村別 人口と福祉運送	資-54
面積と福祉運送	資-57
高齢化率（65歳以上）と福祉運送	資-60
前期高齢化率（65歳以上75歳未満）と福祉運送	資-63
後期高齢化率（75歳以上）と福祉運送	資-66
介護保険認定者率と福祉運送	資-69
身体障害者手帳交付率と福祉運送	資-72

道内の自家用有償旅客運送と旅客自動車運送事業の実施件数

支庁名	市町村名	自家用有償旅客運送							旅客自動車運送事業						
		運営協議会			運送事業者(法人)数										
		福祉	過疎	福祉・過疎いずれもなし	福祉有償運送	地域にはないが複数地域にまたがる運行をしている事業所	過疎地有償運送	市町村運営有償運送		一般乗用旅客自動車運送事業				特定旅客自動車運送	
		109協議会	9協議会	63市町村				交通空白地運送	市町村福祉運送		ぶら下がり車両あり	地域にはないが、圏域内で運行しているであろう地域		ぶら下がり車両あり	
石狩支庁	札幌市	○			59	6				173	62		17	10	
	江別市	○				4				6					
	千歳市	○			4	2				4	3				
	恵庭市	○			2	2		1	1	3	2		1	1	
	北広島市	○			6	3				3	0		3	2	
	石狩市	○			5	4		1		5					
	当別町	○			4	2				2	1				
	新篠津村	○			1			1							
渡島支庁	函館市	○			1					18	6		5		
	北斗市	○			1	1				2	0		1	1	
	松前町	○			1										
	福島町	○			1					1	1				
	知内町		○				1								
	木古内町	○			1										
	七飯町	○			1					4	1				
	鹿部町		○				1								
	森町	○			2	1									
	八雲町			■				1							
長万部町			■												
檜山支庁	江差町	○			2	1			1						
	上ノ国町	○			1										
	厚沢部町	○			1				1	2	1				
	乙部町			■						1	1				
	奥尻町	○			1			1							
	今金町	○			1										
	せたな町	○			1					1					
	小樽市	○				1				17	10		13	12	
後志支庁	島牧村			■											
	寿都町			■											
	黒松内町			■	1				1						
	蘭越町			■				1							
	ニセコ町	○				1									
	真狩村	○			1										
	留寿都村		○				1								
	喜茂別町			■											
	京極町	○			1	1									
	倶知安町	○			2	1									
	共和町	○			1	1				1	1				
	岩内町	○			1										
	泊村		○				1								
	神恵内村			■											
	積丹町	○			1										
	古平町	○			2	1				1					
	仁木町	○			1					1					
	余市町	○			2	1				4	4				
	赤井川村			■					1						
	空知支庁	夕張市	○			3	1								
岩見沢市		○			1	1				5					
美唄市				■				1		2					
芦別市				■											
赤平市				■											
三笠市				■				1	1	1					
滝川市				■						3					
砂川市				■						1					
歌志内市				■											
深川市				■						2					
南幌町		○			3	1			1						
奈井江町		○			1			1		1					
上砂川町				■											
由仁町		○			1										
長沼町		○			1			1							
栗山町		○						1	1	3					
月形町		○			3										
浦臼町			○				1	1							
新十津川町		○			1	1				1					
妹背牛町				■				1							
秩父別町				■											
雨竜町				■											
北竜町		○			1			1							
沼田町				■				1							
幌加内町			○				1								

支庁名	市町村名	自家用有償旅客運送								旅客自動車運送事業					
		運営協議会			運送事業者(法人)数										
		福祉	過疎	福祉・過疎いずれもなし	福祉有償運送	地域にはないが複数地域にまたがる運行をしている事業所	過疎地有償運送	市町村運営有償運送		一般乗用	旅客自動車運送事業	特定旅客自動車運送事業			
109協議会	9協議会	63市町村	交通空白地運送	市町村福祉運送					ぶら下がり車両あり	地域にはないが、区域内で運行しているであろう地域		ぶら下がり車両あり			
上川支庁	旭川市	○			3	1				19	8		3	1	
	士別市	○			2										
	名寄市			■						2					
	富良野市			■											
	鷹栖町			■					1	1	2	1			
	東神楽町	○			1			1							
	当麻町	○			3			1							
	比布町	○			1										
	愛別町	○			1			1							
	上川町			■				1							
	東川町	○			1			1	1						
	美瑛町			■											
	上富良野町	○			2			1	1						
	中富良野町			■											
	南富良野町	○			2			1							
	占冠村		○				1	1							
	和寒町			■				1							
	剣淵町	○			2			1	1						
	下川町	○			1			1							
	美深町			■				1	1						
	音威子府村			■											
	中川町			■					1						
留萌支庁	留萌市	○			1					6	5				
	増毛町			■						1	1				
	小平町			■											
	古前町			■					1						
	羽幌町	○			1			1		4	1				
	初山別村	○			1										
	遠別町			■											
	大塩町	○			1										
	幌延町	○			2				1						
宗谷支庁	稚内市			■											
	猿払村			■				1							
	浜頓別町	○			1										
	中頓別町			■											
	枝幸町	○			1										
	豊富町	○			1										
	礼文町	○			1										
	利尻町			■											
	利尻富士町			■					1						
網走支庁	北見市	○			6	1		1	1	13	6		1	1	
	網走市	○			4					3					
	紋別市			■						7	5				
	美幌町	○			1	1		1		3					
	津別町	○				2		1							
	斜里町	○			1										
	清里町	○			2										
	小清水町	○			1					1					
	訓子府町			■											
	置戸町			■											
	佐呂間町			■				1		1					
	遠軽町	○			1	1		1		1	1				
	上湧別町	○			2			1							
	湧別町			■				1	1						
	滝上町			■											
	興部町			■				1							
	西興部村			■				1							
	雄武町			■											
	大空町	○			4	2									
	胆振支庁	室蘭市	○ 室蘭市・登別市合同			3	2				6	3			
		苫小牧市	○			8	1				12	8		1	
		登別市	○ 室蘭市・登別市合同			1	1				2	1		1	1
伊達市		○			3	2				3	2				
豊浦町				■				1	1	1					
壮瞥町				■											
白老町		○			4										
厚真町				■				1	1						
洞爺湖町		○	○		2		2								
安平町				■					1	1	1	1			
むかわ町		○			1			1	1						

支庁名	市町村名	自家用有償旅客運送								旅客自動車運送事業				
		運営協議会			運送事業者(法人)数									
		福祉	過疎	福祉・過疎いずれもなし	福祉有償運送	地域にはないが複数地域にまたがる運行をしている事業所	過疎地有償運送	市町村運営有償運送						
		109協議会	9協議会	63市町村				交通空白地運送	市町村福祉運送	一般乗用旅客自動車運送事業	特定旅客自動車運送事業			
										ぶら下がり車両あり	地域にはないが、圏域内で運行しているであろう地域		ぶら下がり車両あり	
日高支庁	日高町	○			2			1	1	2	1			
	平取町			■				1		2				
	新冠町	○												
	浦河町	○			3	1				2	2			
	様似町	○			1									
	えりも町	○			1									
	新ひだか町	○	○		2		1		1	2	2			
十勝支庁	帯広市	○			6	1				5	3		4	4
	音更町	○			3	1				3	1			
	士幌町	○			1	1								
	上士幌町	○			1			1		1				
	鹿追町	○			2					1	1			
	新得町	○			2	1								
	清水町	○			2	1								
	芽室町	○								2				
	中札内村	○			1									
	更別村	○			1	1								
	大樹町	○			1						0		1	1
	広尾町	○			1									
	幕別町	○			1					1				
	池田町			■				1						
	豊頃町	○			2									
	本別町	○			2			1						
	足寄町	○			2									
	陸別町	○			2	1								
浦幌町	○			2	1		1							
釧路支庁	釧路市	○			2	1			1	4	1		1	
	釧路町	○												
	厚岸町	○			1					1	1			
	浜中町			■					1	1				
	標茶町			■				1		2	1			
	弟子屈町			■										
	鶴居村			■					1					
	白糠町	○			1			1						
根室支庁	根室市	○			2					1				
	別海町	○			5			1	1	1	1			
	中標津町			■				1		3	1			
	標津町			■										
	羅臼町	○			2									

運送の種類別 実施団体・法人数

福祉有償運送 実施市町村(103市町村)					
順位	市町村	事業所 件数	順位	市町村	事業所 件数
	全道	251			
1	札幌市	59	49	北斗市	1
2	苫小牧市	8	49	新篠津村	1
3	帯広市	6	49	松前町	1
3	北見市	6	49	福島町	1
3	北広島市	6	49	木古内町	1
6	別海町	5	49	七飯町	1
6	石狩市	5	49	上ノ国町	1
8	網走市	4	49	厚沢部町	1
8	当別町	4	49	奥尻町	1
8	白老町	4	49	今金町	1
8	千歳市	4	49	せたな町	1
8	大空町	4	49	黒松内町	1
13	旭川市	3	49	真狩村	1
13	室蘭市	3	49	京極町	1
13	南幌町	3	49	共和町	1
13	月形町	3	49	岩内町	1
13	当麻町	3	49	積丹町	1
13	浦河町	3	49	仁木町	1
13	音更町	3	49	奈井江町	1
13	夕張市	3	49	由仁町	1
13	伊達市	3	49	長沼町	1
22	釧路市	2	49	新十津川町	1
22	士別市	2	49	北竜町	1
22	根室市	2	49	東神楽町	1
22	恵庭市	2	49	比布町	1
22	森町	2	49	愛別町	1
22	江差町	2	49	東川町	1
22	倶知安町	2	49	下川町	1
22	古平町	2	49	羽幌町	1
22	余市町	2	49	初山別村	1
22	上富良野町	2	49	天塩町	1
22	南富良野町	2	49	浜頓別町	1
22	剣淵町	2	49	枝幸町	1
22	幌延町	2	49	豊富町	1
22	清里町	2	49	礼文町	1
22	上湧別町	2	49	美幌町	1
22	洞爺湖町	2	49	斜里町	1
22	日高町	2	49	小清水町	1
22	新ひだか町	2	49	遠軽町	1
22	鹿追町	2	49	むかわ町	1
22	新得町	2	49	様似町	1
22	豊頃町	2	49	えりも町	1
22	本別町	2	49	士幌町	1
22	足寄町	2	49	上士幌町	1
22	陸別町	2	49	中札内村	1
22	浦幌町	2	49	更別村	1
22	羅臼町	2	49	大樹町	1
22	清水町	2	49	広尾町	1
49	函館市	1	49	幕別町	1
49	岩見沢市	1	49	厚岸町	1
49	留萌市	1	49	白糠町	1
49	登別市	1			

過疎地有償運送 実施市町村(9市町村)		
順位	市町村	事業所 件数
	全道	10
1	洞爺湖町	2
2	新ひだか町	1
2	知内町	1
2	鹿部町	1
2	留寿都村	1
2	泊村	1
2	浦臼町	1
2	幌加内町	1
2	占冠村	1
10	-	-

一般乗用旅客自動車運送事業 実施市町村(64市町村)					
順位	市町村	事業所 件数	順位	市町村	事業所 件数
	全道	390			
1	札幌市	173	42	小清水町	1
2	旭川市	19	42	佐呂間町	1
3	函館市	18	42	遠軽町	1
4	小樽市	17	42	豊浦町	1
5	北見市	13	42	安平町	1
6	苫小牧市	12	42	上士幌町	1
7	紋別市	7	42	鹿追町	1
8	室蘭市	6	42	幕別町	1
8	留萌市	6	42	厚岸町	1
8	江別市	6	42	浜中町	1
11	帯広市	5	42	別海町	1
11	岩見沢市	5	42	三笠市	1
11	石狩市	5	42	根室市	1
14	釧路市	4	42	砂川市	1
14	千歳市	4	42	福島町	1
14	七飯町	4	42	乙部町	1
14	余市町	4	42	せたな町	1
14	羽幌町	4	42	共和町	1
19	網走市	3	42	古平町	1
19	滝川市	3	42	仁木町	1
19	恵庭市	3	42	奈井江町	1
19	伊達市	3	42	新十津川町	1
19	北広島市	3	42	増毛町	1
19	栗山町	3	42	小清水町	1
19	美幌町	3	42	佐呂間町	1
19	音更町	3	42	遠軽町	1
19	中標津町	3	42	豊浦町	1
28	美唄市	2	42	安平町	1
28	名寄市	2	42	上士幌町	1
28	深川市	2	42	鹿追町	1
28	登別市	2	42	幕別町	1
28	北斗市	2	42	厚岸町	1
28	当別町	2	42	浜中町	1
28	厚沢部町	2	42	別海町	1
28	鷹栖町	2			
28	日高町	2			
28	平取町	2			
28	浦河町	2			
28	新ひだか町	2			
28	芽室町	2			
28	標茶町	2			
42	三笠市	1			
42	根室市	1			
42	砂川市	1			
42	福島町	1			
42	乙部町	1			
42	せたな町	1			
42	共和町	1			
42	古平町	1			
42	仁木町	1			
42	奈井江町	1			
42	新十津川町	1			
42	増毛町	1			

特定旅客自動車運送事業 実施市町村(13市町村)		
順位	市町村	事業所 件数
	全道	52
1	札幌市	17
2	小樽市	13
3	函館市	5
4	帯広市	4
5	旭川市	3
5	北広島市	3
7	北見市	1
8	苫小牧市	1
9	釧路市	1
10	恵庭市	1
11	登別市	1
12	北斗市	1
13	大樹町	1

運送の種類別 車両台数

福祉有償運送 実施市町村(103市町村)												
順位	市町村名	団体数 等	車両台数									
			寝台車 (うち軽自動車)	車いす車 (うち軽自動車)	兼用車 (うち軽自動車)	回転シート車 (うち軽自動車)	セダン車 (うち軽自動車)	バス (うち軽自動車)	車両台数計 (うち軽自動車)			
	全道	251	0	312 (130)	63 (1)	194 (88)	748 (288)	0 (0)	1,309	(499)		
1	札幌市	59	0	83 (30)	5	46 (13)	99 (31)	0	233	(74)		
2	白老町	4	0	13 (1)	0	1	44 (17)	0	58	(18)		
3	釧路市	2	0	7	0	0	50 (21)	0	57	(21)		
4	北広島市	6	0	14 (3)	0	3	34 (6)	0	51	(9)		
5	北見市	6	0	5 (3)	2	7 (6)	23 (8)	0	37	(17)		
6	帯広市	6	0	8 (2)	0	3 (3)	25 (9)	0	36	(14)		
7	室蘭市	3	0	3 (1)	0	6 (3)	24 (5)	0	33	(9)		
8	白糠町	1	0	4 (4)	1	1	26 (9)	0	32	(13)		
9	苫小牧市	8	0	11 (5)	0	8 (6)	12 (3)	0	31	(14)		
10	羅臼町	2	0	3 (1)	1	6 (1)	20 (8)	0	30	(10)		
11	当麻町	3	0	8 (5)	0	1 (1)	20 (5)	0	29	(11)		
12	石狩市	5	0	2 (1)	2	0	24 (14)	0	28	(15)		
12	別海町	5	0	3 (1)	0	2 (1)	23 (8)	0	28	(10)		
14	遠軽町	1	0	9 (5)	0	2 (2)	16 (12)	0	27	(19)		
15	音更町	3	0	3	0	0	19 (12)	0	22	(12)		
15	網走市	4	0	3 (1)	0	3 (1)	16 (6)	0	22	(8)		
17	士別市	2	0	3 (2)	2	1 (1)	15 (14)	0	21	(17)		
18	森町	2	0	1 (1)	2	2	14 (10)	0	19	(11)		
18	厚沢部町	1	0	2 (1)	0	0	17 (10)	0	19	(11)		
18	旭川市	3	0	3 (2)	0	10 (1)	6 (1)	0	19	(4)		
18	古平町	2	0	3 (1)	0	3 (3)	13	0	19	(4)		
22	浦河町	3	0	2	3	1 (1)	11 (7)	0	17	(8)		
23	上湧別町	2	0	1	1	0	14 (9)	0	16	(9)		
24	南富良野町	2	0	2	1	2 (1)	9 (1)	0	14	(2)		
24	恵庭市	2	0	7	0	3	4 (1)	0	14	(1)		
26	本別町	2	0	4 (2)	1	5 (5)	3	0	13	(7)		
26	千歳市	4	0	5 (1)	0	4 (2)	4 (1)	0	13	(4)		
28	倶知安町	2	0	2 (2)	1	2	7 (3)	0	12	(5)		
28	月形町	3	0	3 (1)	2	2 (1)	5 (2)	0	12	(4)		
30	当別町	4	0	2	0	3	6	0	11	(0)		
31	松前町	1	0	3 (3)	0	3 (3)	4 (2)	0	10	(8)		
31	日高町	2	0	3 (2)	0	0	7 (5)	0	10	(7)		
31	剣淵町	2	0	2 (2)	0	0	8 (1)	0	10	(3)		
31	大空町	4	0	5 (2)	0	2 (1)	3	0	10	(3)		
35	厚岸町	1	0	0	2	0	7 (4)	0	9	(4)		
35	南幌町	3	0	1 (1)	0	1	7	0	9	(1)		
35	夕張市	3	0	5 (1)	2	0	2	0	9	(1)		
38	黒松内町	1	0	1 (1)	0	2 (2)	5 (3)	0	8	(6)		
38	東神楽町	1	0	2 (2)	2	1 (1)	3	0	8	(3)		
38	礼文町	1	0	2 (1)	0	2 (2)	4	0	8	(3)		
38	根室市	2	0	2 (1)	1	0	5	0	8	(1)		
42	幌延町	2	0	1	2	1 (1)	3 (3)	0	7	(4)		
42	豊富町	1	0	2 (1)	1	1	3 (3)	0	7	(4)		
42	伊達市	3	0	6 (4)	1	0	0	0	7	(4)		
42	江差町	2	0	1 (1)	3	3 (1)	0	0	7	(2)		
42	長沼町	1	0	2 (2)	0	0	5	0	7	(2)		
42	余市町	2	0	1	0	6 (1)	0	0	7	(1)		
42	浦幌町	2	0	3 (0)	1	1 (1)	2	0	7	(1)		
42	陸別町	2	0	1	4	2	0	0	7	(0)		
50	岩内町	1	0	2 (2)	0	2 (2)	2 (1)	0	6	(5)		
50	下川町	1	0	2 (2)	0	2 (2)	2	0	6	(4)		
50	真狩村	1	0	1	2	0	3 (3)	0	6	(3)		
50	清里町	2	0	5	0	0	1	0	6	(0)		
54	新篠津村	1	0	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	0	5	(5)		
54	東川町	1	0	1 (1)	0	1 (1)	3 (3)	0	5	(5)		
54	豊頃町	2	0	3 (2)	1	1 (1)	0	0	5	(3)		
54	上富良野町	2	0	2 (1)	2	1 (1)	0	0	5	(2)		

福祉有償運送 実施市町村(103市町村)										
順位	市町村名	団体数等	車両台数							
			寝台車 (うち軽自動車)	車いす車 (うち軽自動車)	兼用車 (うち軽自動車)	回転シート車 (うち軽自動車)	セダン車 (うち軽自動車)	バス (うち軽自動車)	車両台数計 (うち軽自動車)	
54	新得町	2	0	1 (2)	0	4	0	0	5	(2)
54	京極町	1	0	0	1	1	3 (1)	0	5	(1)
54	鹿追町	2	0	1	1	3	0	0	5	(0)
61	登別市	1	0	3 (3)	0	0	1	0	4	(3)
61	木古内町	1	0	2 (1)	0	2 (2)	0	0	4	(3)
61	奥尻町	1	0	0	0	4 (3)	0	0	4	(3)
61	由仁町	1	0	2 (1)	0	0	2 (2)	0	4	(3)
61	新ひだか町	2	0	1 (1)	0	0	3 (1)	0	4	(2)
61	上ノ国町	1	0	2 (1)	1	1 (1)	0	0	4	(2)
61	小清水町	1	0	1	0	1	2 (2)	0	4	(2)
61	広尾町	1	0	1 (1)	2	1 (1)	0	0	4	(2)
61	足寄町	2	0	1 (1)	0	1	2	0	4	(1)
61	初山別村	1	0	1	0	1	2 (1)	0	4	(1)
61	斜里町	1	0	0	0	1 (1)	3	0	4	(1)
61	浜頓別町	1	0	1	1	0	2	0	4	(0)
61	更別村	1	0	4	0	0	0	0	4	(0)
74	比布町	1	0	1 (1)	0	2 (2)	0	0	3	(3)
74	大樹町	1	0	1 (1)	0	2 (2)	0	0	3	(3)
74	留萌市	1	0	1 (1)	0	1	1 (1)	0	3	(2)
74	今金町	1	0	3 (2)	0	0	0	0	3	(2)
74	せたな町	1	0	2 (2)	0	1	0	0	3	(2)
74	仁木町	1	0	1 (1)	0	0	2 (1)	0	3	(2)
74	えりも町	1	0	0	0	1 (1)	2 (1)	0	3	(2)
74	士幌町	1	0	1 (1)	0	2 (1)	0	0	3	(2)
74	洞爺湖町	2	0	1		2 (1)	0	0	3	(1)
74	奈井江町	1	0	0	0	0	3 (1)	0	3	(1)
74	愛別町	1	0	2 (1)	1	0	0	0	3	(1)
74	幕別町	1	0	0	0	0	3 (1)	0	3	(1)
74	函館市	1	0	2	0	1	0	0	3	(0)
74	新十津川町	1	0	0	0	2	1	0	3	(0)
74	羽幌町	1	0	0	0	0	3	0	3	(0)
74	むかわ町	1	0	1	0	0	2	0	3	(0)
74	様似町	1	0	2	0	0	1	0	3	(0)
74	清水町	2	0	0	1	1	1	0	3	(0)
92	北斗市	1	0	0	1	0	1 (1)	0	2	(1)
92	共和町	1	0	0	0	2 (1)	0	0	2	(1)
92	積丹町	1	0	0	0	1 (1)	1	0	2	(1)
92	枝幸町	1	0	0	2	0	0	0	2	(0)
96	美幌町	1	0	0	0	0 (0)	1 (1)	0	1	(1)
96	中札内村	1	0	1 (1)	0	0	0	0	1	(1)
96	岩見沢市	1	0	1	0	0	0	0	1	(0)
96	福島町	1	0	0	1	0	0	0	1	(0)
96	七飯町	1	0	1	0	0	0	0	1	(0)
96	北竜町	1	0	0	1	0	0	0	1	(0)
96	天塩町	1	0	0	1	0	0	0	1	(0)
96	上士幌町	1	0	1	0	0	0	0	1	(0)

過疎地有償運送 実施市町村(9市町村)										
順位	市町村名	団体数等	車両台数							
			寝台車 (うち軽自動車)	車いす車 (うち軽自動車)	兼用車 (うち軽自動車)	回転シート車 (うち軽自動車)	セダン車 (うち軽自動車)	バス (うち軽自動車)	車両台数計 (うち軽自動車)	
	全道	10	0	11	2	4 (2)	41 (18)	0	58	(20)
1	知内町	1	0	1	0	1 (1)	18 (11)	0	20	(12)
2	洞爺湖町	2	0	3	0	0	9 (1)	0	12	(1)
3	鹿部町	1	0	1	1	0	3	0	5	(0)
4	留寿都村	1	0	1	0	0	3 (2)	0	4	(2)
4	泊村	1	0	2	0	0	2 (2)	0	4	(2)
4	浦臼町	1	0	1	0	1 (1)	2 (1)	0	4	(2)
4	占冠村	1	0	1	1	1	1	0	4	(0)
8	幌加内町	1	0	1	0	1	1	0	3	(0)
9	新ひだか町	1	0	0	0	0	2 (1)	0	2	(1)

交通空白輸送 実施市町村(51市町村)								
順位	市町村名	車両台数						
		寝台車 (うち軽自動車)	車いす車 (うち軽自動車)	兼用車 (うち軽自動車)	回転シート車 (うち軽自動車)	セダン車 (うち軽自動車)	バス (うち軽自動車)	車両台数計 (うち軽自動車)
	全道	0	0	0	0	9	192 (7)	201 (7)
1	美唄市	0	0	0	0	0	15	15 (0)
2	本別町	0	0	0	0	0	10	10 (0)
3	津別町	0	0	0	0	2	7	9 (0)
3	標茶町	0	0	0	0	1	8	9 (0)
5	湧別町	0	0	0	0	0	8	8 (0)
6	占冠村	0	0	0	0	0	7	7 (0)
6	長沼町	0	0	0	0	0	7	7 (0)
6	奥尻町	0	0	0	0	0	7 (7)	7 (7)
6	むかわ町	0	0	0	0	0	7	7 (0)
6	栗山町	0	0	0	0	0	7	7 (0)
6	池田町	0	0	0	0	0	7	7 (0)
12	別海町	0	0	0	0	0	6	6 (0)
13	東神楽町	0	0	0	0	0	5	5 (0)
13	東川町	0	0	0	0	0	5	5 (0)
13	上富良野町	0	0	0	0	0	5	5 (0)
13	沼田町	0	0	0	0	0	5	5 (0)
13	和寒町	0	0	0	0	0	5	5 (0)
18	浦臼町	0	0	0	0	0	4	4 (0)
18	当麻町	0	0	0	0	1	3	4 (0)
18	石狩市	0	0	0	0	0	4	4 (0)
18	日高町	0	0	0	0	1	3	4 (0)
18	浦幌町	0	0	0	0	1	3	4 (0)
18	蘭越町	0	0	0	0	1	3 (2)	4 (2)
18	豊浦町	0	0	0	0	0	4	4 (0)
18	中標津町	0	0	0	0	0	4	4 (0)
26	遠軽町	0	0	0	0	0	3	3 (0)
26	南富良野町	0	0	0	0	1	2	3 (0)
26	剣淵町	0	0	0	0	0	3	3 (0)
26	下川町	0	0	0	0	0	3	3 (0)
26	羽幌町	0	0	0	0	0	3	3 (0)
26	美幌町	0	0	0	0	0	3	3 (0)
26	上土幌町	0	0	0	0	0	3	3 (0)
26	美深町	0	0	0	0	0	3	3 (0)
26	平取町	0	0	0	0	0	3	3 (0)
35	白糠町	0	0	0	0	0	2	2 (0)
35	恵庭市	0	0	0	0	0	2	2 (0)
35	新篠津村	0	0	0	0	0	2	2 (0)
35	奈井江町	0	0	0	0	0	2	2 (0)
35	北竜町	0	0	0	0	0	2	2 (0)
35	三笠市	0	0	0	0	0	2 (2)	2 (2)
35	八雲町	0	0	0	0	0	2 (2)	2 (2)
35	鷹栖町	0	0	0	0	0	2	2 (0)
35	猿払村	0	0	0	0	0	2	2 (0)
35	興部町	0	0	0	0	0	2	2 (0)
45	北見市	0	0	0	0	0	1	1 (0)
45	上湧別町	0	0	0	0	0	1	1 (0)
45	愛別町	0	0	0	0	0	1	1 (0)
45	妹背牛町	0	0	0	0	0	1	1 (0)
45	上川町	0	0	0	0	1	0	1 (0)
45	西興部村	0	0	0	0	0	1	1 (0)
45	厚真町	0	0	0	0	0	1	1 (0)

市町村福祉輸送 実施市町村(29市町村)								
順位	市町村名	車両台数						
		寝台車 (うち軽自動車)	車いす車 (うち軽自動車)	兼用車 (うち軽自動車)	回転シート車 (うち軽自動車)	セダン車 (うち軽自動車)	バス (うち軽自動車)	車両台数計 (うち軽自動車)
	全道	3	21	9	4	53	2	92
1	厚沢部町	0	2 (1)	0	0	16 (9)	0	18 (10)
2	浜中町	1	0	0	1	9	0	11 (0)
3	豊浦町	0	1	0	0	6 (4)	0	7 (4)
3	新ひだか町	0	1	1	0	5 (4)	0	7 (4)
3	苫前町	0	1	0	0	6 (5)	0	7 (5)
6	釧路市	0	0	2	3 (1)	0	0	5 (1)
7	赤井川村	0	0	1	0	3	0	4 (0)
8	黒松内町	0	1	0	0	0	2	3 (0)
8	幌延町	0	1	0	0	2	0	3 (0)
8	鶴居村	0	0	0	0	3	0	3 (0)
11	上富良野町	0	2 (1)	0	0	0	0	2 (1)
11	日高町	0	1	0	0	1	0	2 (0)
11	恵庭市	0	2 (1)	0	0	0	0	2 (1)
11	利尻富士町	0	0	0	0	2	0	2 (0)
11	安平町	0	2	0	0	0	0	2 (0)
16	湧別町	0	1	0	0	0	0	1 (0)
16	むかわ町	0	1	0	0	0	0	1 (0)
16	栗山町	0	1	0	0	0	0	1 (0)
16	別海町	1	0	0	0	0	0	1 (0)
16	東川町	0	0	1	0	0	0	1 (0)
16	剣淵町	1	0	0	0	0	0	1 (0)
16	美深町	0	1	0	0	0	0	1 (0)
16	三笠市	0	0	1	0	0	0	1 (0)
16	鷹栖町	0	0	1	0	0	0	1 (0)
16	北見市	0	1	0	0	0	0	1 (0)
16	厚真町	0	1	0	0	0	0	1 (0)
16	南幌町	0	0	1	0	0	0	1 (0)
16	江差町	0	0	1	0	0	0	1 (0)
16	中川町	0	1	0	0	0	0	1 (0)

一般乗用旅客自動車運送事業 実施市町村(64市町村)											
順位	市町村名	団体数等	車両台数			順位	市町村名	団体数等	車両台数		
			事業用車 両数	ぶら下がり (自家用車)	計				事業用車 両数	ぶら下がり (自家用車)	計
	全道	390	531	917	1,448						
1	札幌市	173	230	405	635	51	新十津川町	1	1	0	1
2	小樽市	17	19	55	74	51	小清水町	1	1	0	1
3	旭川市	19	36	28	64	51	豊浦町	1	1	0	1
4	北見市	13	23	37	60	51	上士幌町	1	1	0	1
5	苫小牧市	12	12	43	55	51	芽室町	2	1	0	1
6	別海町	1	1	50	51	51	幕別町	1	1	0	1
7	余市町	4	9	36	45	51	浜中町	1	1	0	1
8	留萌市	6	6	37	43						
9	函館市	18	21	20	41						
10	紋別市	7	8	27	35						
11	帯広市	5	12	22	34						
12	千歳市	4	12	20	32						
13	浦河町	2	9	22	31						
14	室蘭市	6	6	13	19						
15	釧路市	4	17	1	18						
16	伊達市	3	3	14	17						
17	新ひだか町	2	2	13	15						
18	鷹栖町	2	2	11	13						
19	共和町	1	1	9	10						
19	中標津町	3	3	7	10						
21	岩見沢市	5	8	0	8						
21	恵庭市	3	4	4	8						
21	厚沢部町	2	2	6	8						
21	乙部町	1	4	4	8						
25	江別市	6	7	0	7						
25	羽幌町	4	4	3	7						
27	登別市	2	2	4	6						
27	石狩市	5	6	0	6						
27	七飯町	4	4	2	6						
27	増毛町	1	3	3	6						
27	音更町	3	3	3	6						
32	当別町	2	2	3	5						
32	標茶町	2	2	3	5						
34	滝川市	3	4	0	4						
34	福島町	1	1	3	4						
34	美幌町	3	4	0	4						
34	遠軽町	1	1	3	4						
38	北広島市	3	3	0	3						
38	栗山町	3	3	0	3						
38	安平町	1	1	2	3						
38	日高町	2	1	2	3						
42	網走市	3	2	0	2						
42	美唄市	2	2	0	2						
42	名寄市	2	2	0	2						
42	深川市	2	2	0	2						
42	北斗市	2	2	0	2						
42	佐呂間町	1	2	0	2						
42	平取町	2	2	0	2						
42	鹿追町	1	1	1	2						
42	厚岸町	1	1	1	2						
51	三笠市	1	1	0	1						
51	根室市	1	1	0	1						
51	砂川市	1	1	0	1						
51	せたな町	1	1	0	1						
51	古平町	1	1	0	1						
51	仁木町	1	1	0	1						
51	奈井江町	1	1	0	1						

特定旅客自動車運送事業 実施市町村(13市町村)					
順位	市町村名	団体数等	車両台数		
			事業用車 両数	ぶら下がり (自家用車)	計
	全道	52	36	194	230
100	札幌市	17	10	68	78
203	小樽市	13	12	50	62
234	北広島市	3	2	23	25
207	帯広市	4	4	14	18
204	旭川市	3	1	12	13
641	大樹町	1	1	11	12
231	恵庭市	1	1	8	9
208	北見市	1	3	2	5
230	登別市	1	1	3	4
236	北斗市	1	1	3	4
202	函館市	5	台数不明		0
206	釧路市	1	台数不明		0
213	苫小牧市	1	台数不明		0

運送の種類別 人口（10万人あたり）に対する車両台数

福祉有償運送 実施市町村(103市町村)													
順位	市町村名	人口 (H21.3末住 民基本台 帳)	団体 数等	車両台数								人口10万 人あたり に対する 車両台数	
				寝台車 (うち軽自動車)	車いす車 (うち軽自動車)	兼用車 (うち軽自動車)	回転シート車 (うち軽自動車)	セダン車 (うち軽自動車)	バス (うち軽自動車)	車両台数計 (うち軽自動車)			
	全道	5,543,556	251	0	312 (130)	63 (1)	194 (88)	748 (288)	0 (0)	1,309 (499)	23.61		
1	羅臼町	6,130	2	0	3 (1)	1	6 (1)	20 (8)	0	30 (10)	489.4		
2	古平町	3,896	2	0	3 (1)	0	3 (3)	13	0	19 (4)	487.7		
3	南富良野町	2,876	2	0	2	1	2 (1)	9 (1)	0	14 (2)	486.8		
4	厚沢部町	4,680	1	0	2 (1)	0	0	17 (10)	0	19 (11)	406.0		
5	当麻町	7,396	3	0	8 (5)	0	1 (1)	20 (5)	0	29 (11)	392.1		
6	白糠町	9,934	1	0	4 (4)	1	1	26 (9)	0	32 (13)	322.1		
7	月形町	3,933	3	0	3 (1)	2	2 (1)	5 (2)	0	12 (4)	305.1		
8	上湧別町	5,552	2	0	1	1	0	14 (9)	0	16 (9)	288.2		
9	白老町	20,148	4	0	13 (1)	0	1	44 (17)	0	58 (18)	287.9		
10	初山別村	1,459	1	0	1	0	1	2 (1)	0	4 (1)	274.2		
11	剣淵町	3,741	2	0	2 (2)	0	0	8 (1)	0	10 (3)	267.3		
12	幌延町	2,652	2	0	1	2	1 (1)	3 (3)	0	7 (4)	264.0		
13	真狩村	2,283	1	0	1	2	0	3 (3)	0	6 (3)	262.8		
14	礼文町	3,111	1	0	2 (1)	0	2 (2)	4	0	8 (3)	257.2		
15	陸別町	2,790	2	0	1	4	2	0	0	7 (0)	250.9		
16	黒松内町	3,219	1	0	1 (1)	0	2 (2)	5 (3)	0	8 (6)	248.5		
17	別海町	16,207	5	0	3 (1)	0	2 (1)	23 (8)	0	28 (10)	172.8		
18	下川町	3,788	1	0	2 (2)	0	2 (2)	2	0	6 (4)	158.4		
19	豊富町	4,578	1	0	2 (1)	1	1	3 (3)	0	7 (4)	152.9		
20	本別町	8,564	2	0	4 (2)	1	5 (5)	3	0	13 (7)	151.8		
21	京極町	3,444	1	0	0	1	1	3 (1)	0	5 (1)	145.2		
22	新篠津村	3,681	1	0	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	0	5 (5)	135.8		
23	豊頃町	3,709	2	0	3 (2)	1	1 (1)	0	0	5 (3)	134.8		
24	清里町	4,708	2	0	5	0	0	1	0	6 (0)	127.4		
25	奥尻町	3,343	1	0	0	0	4 (3)	0	0	4 (3)	119.7		
26	大空町	8,359	4	0	5 (2)	0	2 (1)	3	0	10 (3)	119.6		
27	浦幌町	5,858	2	0	3 (0)	1	1 (1)	2	0	7 (1)	119.5		
28	遠軽町	22,840	1	0	9 (5)	0	2 (2)	16 (12)	0	27 (19)	118.2		
29	浦河町	14,507	3	0	2	3	1 (1)	11 (7)	0	17 (8)	117.2		
30	更別村	3,459	1	0	4	0	0	0	0	4 (0)	115.6		
31	松前町	9,568	1	0	3 (3)	0	3 (3)	4 (2)	0	10 (8)	104.5		
32	森町	18,433	2	0	1 (1)	2	2	14 (10)	0	19 (11)	103.1		
33	南幌町	9,028	3	0	1 (1)	0	1	7	0	9 (1)	99.7		
34	浜頓別町	4,231	1	0	1	1	0	2	0	4 (0)	94.5		
35	士別市	22,666	2	0	3 (2)	2	1 (1)	15 (14)	0	21 (17)	92.6		
36	鹿追町	5,694	2	0	1	1	3	0	0	5 (0)	87.8		
37	愛別町	3,528	1	0	2 (1)	1	0	0	0	3 (1)	85.0		
38	東神楽町	9,433	1	0	2 (2)	2	1 (1)	3	0	8 (3)	84.8		
39	北広島市	60,802	6	0	14 (3)	0	3	34 (6)	0	51 (9)	83.9		
40	厚岸町	11,014	1	0	0	2	0	7 (4)	0	9 (4)	81.7		
41	倶知安町	15,393	2	0	2 (2)	1	2	7 (3)	0	12 (5)	78.0		
42	仁木町	3,874	1	0	1 (1)	0	0	2 (1)	0	3 (2)	77.4		
43	夕張市	11,633	3	0	5 (1)	2	0	2	0	9 (1)	77.4		
44	江差町	9,412	2	0	1 (1)	3	3 (1)	0	0	7 (2)	74.4		
45	新得町	6,822	2	0	1 (2)	0	4	0	0	5 (2)	73.3		
46	積丹町	2,729	1	0	0	0	1 (1)	1	0	2 (1)	73.3		
47	木古内町	5,531	1	0	2 (1)	0	2 (2)	0	0	4 (3)	72.3		
48	小清水町	5,557	1	0	1	0	1	2 (2)	0	4 (2)	72.0		
49	日高町	14,059	2	0	3 (2)	0	0	7 (5)	0	10 (7)	71.1		
50	比布町	4,271	1	0	1 (1)	0	2 (2)	0	0	3 (3)	70.2		
51	上ノ国町	6,172	1	0	2 (1)	1	1 (1)	0	0	4 (2)	64.8		
52	東川町	7,783	1	0	1 (1)	0	1 (1)	3 (3)	0	5 (5)	64.2		
53	由仁町	6,242	1	0	2 (1)	0	0	2 (2)	0	4 (3)	64.1		
54	当別町	18,958	4	0	2	0	3	6	0	11 (0)	58.0		
55	長沼町	12,168	1	0	2 (2)	0	0	5	0	7 (2)	57.5		
56	網走市	39,420	4	0	3 (1)	0	3 (1)	16 (6)	0	22 (8)	55.8		
57	様似町	5,380	1	0	2	0	0	1	0	3 (0)	55.8		

福祉有償運送 実施市町村(103市町村)											
順位	市町村名	人口 (H21.3末住 民基本台 帳)	団体 数等	車両台数							人口10万 人あたり に対する 車両台数
				寝台車 (うち軽自動車)	車いす車 (うち軽自動車)	兼用車 (うち軽自動車)	回転シート車 (うち軽自動車)	セダン車 (うち軽自動車)	バス (うち軽自動車)	車両台数計 (うち軽自動車)	
58	えりも町	5,624	1	0	0	0	1 (1)	2 (1)	0	3 (2)	53.3
59	足寄町	7,969	2	0	1 (1)	0	1	2	0	4 (1)	50.2
60	広尾町	8,161	1	0	1 (1)	2	1 (1)	0	0	4 (2)	49.0
61	音更町	45,005	3	0	3	0	0	19 (12)	0	22 (12)	48.9
62	大樹町	6,185	1	0	1 (1)	0	2 (2)	0	0	3 (3)	48.5
63	今金町	6,190	1	0	3 (2)	0	0	0	0	3 (2)	48.5
64	奈井江町	6,500	1	0	0	0	0	3 (1)	0	3 (1)	46.2
65	石狩市	61,191	5	0	2 (1)	2	0	24 (14)	0	28 (15)	45.8
66	士幌町	6,624	1	0	1 (1)	0	2 (1)	0	0	3 (2)	45.3
67	北竜町	2,288	1	0	0	1	0	0	0	1 (0)	43.7
68	上富良野町	12,071	2	0	2 (1)	2	1 (1)	0	0	5 (2)	41.4
69	新十津川町	7,397	1	0	0	0	2	1	0	3 (0)	40.6
70	岩内町	15,437	1	0	2 (2)	0	2 (2)	2 (1)	0	6 (5)	38.9
71	羽幌町	8,368	1	0	0	0	0	3	0	3 (0)	35.9
72	室蘭市	96,050	3	0	3 (1)	0	6 (3)	24 (5)	0	33 (9)	34.4
73	余市町	21,702	2	0	1	0	6 (1)	0	0	7 (1)	32.3
74	斜里町	12,846	1	0	0	0	1 (1)	3	0	4 (1)	31.1
75	釧路市	187,569	2	0	7	0	0	50 (21)	0	57 (21)	30.4
76	むかわ町	9,919	1	0	1	0	0	2	0	3 (0)	30.2
77	せたな町	10,107	1	0	2 (2)	0	1	0	0	3 (2)	29.7
78	共和町	6,755	1	0	0	0	2 (1)	0	0	2 (1)	29.6
79	北見市	125,977	6	0	5 (3)	2	7 (6)	23 (8)	0	37 (17)	29.4
80	清水町	10,366	2	0	0	1	1	1	0	3 (0)	28.9
81	洞爺湖町	10,518	2	0	1	0	2 (1)	0	0	3 (1)	28.5
82	天塩町	3,669	1	0	0	1	0	0	0	1 (0)	27.3
83	根室市	30,209	2	0	2 (1)	1	0	5	0	8 (1)	26.5
84	中札内村	4,004	1	0	1 (1)	0	0	0	0	1 (1)	25.0
85	帯広市	168,532	6	0	8 (2)	0	3 (3)	25 (9)	0	36 (14)	21.4
86	枝幸町	9,396	1	0	0	2	0	0	0	2 (0)	21.3
87	恵庭市	68,483	2	0	7	0	3	4 (1)	0	14 (1)	20.4
88	上士幌町	5,233	1	0	1	0	0	0	0	1 (0)	19.1
89	伊達市	37,058	3	0	6 (4)	1	0	0	0	7 (4)	18.9
90	福島町	5,398	1	0	0	1	0	0	0	1 (0)	18.5
91	苫小牧市	173,572	8	0	11 (5)	0	8 (6)	12 (3)	0	31 (14)	17.9
92	新ひだか町	26,139	2	0	1 (1)	0	0	3 (1)	0	4 (2)	15.3
93	千歳市	92,732	4	0	5 (1)	0	4 (2)	4 (1)	0	13 (4)	14.0
94	札幌市	1,884,939	59	0	83 (30)	5	46 (13)	99 (31)	0	233 (74)	12.4
95	留萌市	25,459	1	0	1 (1)	0	1	1 (1)	0	3 (2)	11.8
96	幕別町	27,364	1	0	0	0	0	3 (1)	0	3 (1)	11.0
97	登別市	52,572	1	0	3 (3)	0	0	1	0	4 (3)	7.6
98	旭川市	354,559	3	0	3 (2)	0	10 (1)	6 (1)	0	19 (4)	5.4
99	美幌町	22,193	1	0	0	0	0 (0)	1 (1)	0	1 (1)	4.5
100	北斗市	49,371	1	0	0	1	0	1 (1)	0	2 (1)	4.1
101	七飯町	28,930	1	0	1	0	0	0	0	1 (0)	3.5
102	岩見沢市	91,191	1	0	1	0	0	0	0	1 (0)	1.1
103	函館市	284,910	1	0	2	0	1	0	0	3 (0)	1.1

過疎地有償運送 実施市町村(9市町村)											
順位	市町村名	人口	団体 数等	車両台数							人口10万 人あたり に対する 車両台数
				寝台車 (うち軽自動車)	車いす車 (うち軽自動車)	兼用車 (うち軽自動車)	回転シート車 (うち軽自動車)	セダン車 (うち軽自動車)	バス (うち軽自動車)	車両台数計 (うち軽自動車)	
	全道	5,543,556	10	0	11	2	4 (2)	41 (18)	0	58 (20)	1.05
1	知内町	5,296	1	0	1	0	1 (1)	18 (11)	0	20 (12)	377.64
2	占冠村	1,259	1	0	1	1	1	1	0	4 (0)	317.71
3	泊村	1,983	1	0	2	0	0	2 (2)	0	4 (2)	201.71
4	留寿都村	2,025	1	0	1	0	0	3 (2)	0	4 (2)	197.53
5	浦臼町	2,348	1	0	1	0	1 (1)	2 (1)	0	4 (2)	170.36
6	幌加内町	1,790	1	0	1	0	1	1	0	3 (0)	167.60
7	洞爺湖町	10,518	2	0	3	0	0	9 (1)	0	12 (1)	114.09
8	鹿部町	4,674	1	0	1	1	0	3	0	5 (0)	106.97
9	新ひだか町	26,139	1	0	0	0	0	2 (1)	0	2 (1)	7.65

市町村福祉輸送 実施市町村(29市町村)										
順位	市町村名	65歳以上 人口	車両台数							高齢者 1,000人あ たり台数
			寝台車 (うち軽自動車)	車いす車 (うち軽自動車)	兼用車 (うち軽自動車)	回転シート車 (うち軽自動車)	セダン車 (うち軽自動車)	バス (うち軽自動車)	車両台数計 (うち軽自動車)	
	北海道	1,315,443	3	21	9	4	53	2	92	0.07
1	赤井川村	347	0	0	1	0	3	0	4 (0)	11.53
2	厚沢部町	1,575	0	2 (1)	0	0	16 (9)	0	18 (10)	11.43
3	浜中町	1,718	1	0	0	1	9	0	11 (0)	6.40
4	苫前町	1,384	0	1	0	0	6 (5)	0	7 (5)	5.06
5	幌延町	640	0	1	0	0	2	0	3 (0)	4.69
6	豊浦町	1,501	0	1	0	0	6 (4)	0	7 (4)	4.66
7	鶴居村	669	0	0	0	0	3	0	3 (0)	4.48
8	黒松内町	1,074	0	1	0	0	0	2	3 (0)	2.79
9	利尻富士町	1,050	0	0	0	0	2	0	2 (0)	1.90
10	中川町	669	0	1	0	0	0	0	1 (0)	1.49
11	新ひだか町	6,852	0	1	1	0	5 (4)	0	7 (4)	1.02
12	剣淵町	1,225	1	0	0	0	0	0	1 (0)	0.82
13	安平町	2,657	0	2	0	0	0	0	2 (0)	0.75
14	湧別町	1,430	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.70
15	上富良野町	2,963	0	2 (1)	0	0	0	0	2 (1)	0.67
16	厚真町	1,592	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.63
17	美深町	1,763	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.57
18	日高町	3,847	0	1	0	0	1	0	2 (0)	0.52
19	鷹栖町	1,987	0	0	1	0	0	0	1 (0)	0.50
19	南幌町	1,987	0	0	1	0	0	0	1 (0)	0.50
21	東川町	2,126	0	0	1	0	0	0	1 (0)	0.47
22	江差町	2,688	0	0	1	0	0	0	1 (0)	0.37
23	むかわ町	3,087	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.32
24	別海町	3,341	1	0	0	0	0	0	1 (0)	0.30
25	栗山町	4,364	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.23
26	三笠市	4,603	0	0	1	0	0	0	1 (0)	0.22
27	恵庭市	13,531	0	2 (1)	0	0	0	0	2 (1)	0.15
28	釧路市	44,823	0	0	2	3 (1)	0	0	5 (1)	0.11
29	北見市	30,656	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.03

市町村福祉輸送 実施市町村(29市町村)										
順位	市町村名	65歳以上人口	車両台数							高齢者 1,000人あたり台数
			寝台車 (うち軽自動車)	車いす車 (うち軽自動車)	兼用車 (うち軽自動車)	回転シート車 (うち軽自動車)	セダン車 (うち軽自動車)	バス (うち軽自動車)	車両台数計 (うち軽自動車)	
	北海道	1,315,443	3	21	9	4	53	2	92	0.07
1	赤井川村	347	0	0	1	0	3	0	4 (0)	11.53
2	厚沢部町	1,575	0	2 (1)	0	0	16 (9)	0	18 (10)	11.43
3	浜中町	1,718	1	0	0	1	9	0	11 (0)	6.40
4	苫前町	1,384	0	1	0	0	6 (5)	0	7 (5)	5.06
5	幌延町	640	0	1	0	0	2	0	3 (0)	4.69
6	豊浦町	1,501	0	1	0	0	6 (4)	0	7 (4)	4.66
7	鶴居村	669	0	0	0	0	3	0	3 (0)	4.48
8	黒松内町	1,074	0	1	0	0	0	2	3 (0)	2.79
9	利尻富士町	1,050	0	0	0	0	2	0	2 (0)	1.90
10	中川町	669	0	1	0	0	0	0	1 (0)	1.49
11	新ひだか町	6,852	0	1	1	0	5 (4)	0	7 (4)	1.02
12	剣淵町	1,225	1	0	0	0	0	0	1 (0)	0.82
13	安平町	2,657	0	2	0	0	0	0	2 (0)	0.75
14	湧別町	1,430	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.70
15	上富良野町	2,963	0	2 (1)	0	0	0	0	2 (1)	0.67
16	厚真町	1,592	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.63
17	美深町	1,763	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.57
18	日高町	3,847	0	1	0	0	1	0	2 (0)	0.52
19	鷹栖町	1,987	0	0	1	0	0	0	1 (0)	0.50
19	南幌町	1,987	0	0	1	0	0	0	1 (0)	0.50
21	東川町	2,126	0	0	1	0	0	0	1 (0)	0.47
22	江差町	2,688	0	0	1	0	0	0	1 (0)	0.37
23	むかわ町	3,087	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.32
24	別海町	3,341	1	0	0	0	0	0	1 (0)	0.30
25	栗山町	4,364	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.23
26	三笠市	4,603	0	0	1	0	0	0	1 (0)	0.22
27	恵庭市	13,531	0	2 (1)	0	0	0	0	2 (1)	0.15
28	釧路市	44,823	0	0	2	3 (1)	0	0	5 (1)	0.11
29	北見市	30,656	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.03

一般乗用旅客自動車運送事業 実施市町村(64市町村)							
順位	市町村名	人口	団体数等	車両台数			人口10万人あたり に対する 車両台数
				事業用車 両数	ぶら下が り(自家用 車)	計	
	全道	5,543,556	390	531	917	1,448	26.12
1	別海町	16,207	1	1	50	51	314.68
2	浦河町	14,507	2	9	22	31	213.69
3	余市町	21,702	4	9	36	45	207.35
4	乙部町	4,586	1	4	4	8	174.44
5	鷹栖町	7,600	2	2	11	13	171.05
6	厚沢部町	4,680	2	2	6	8	170.94
7	留萌市	25,459	6	6	37	43	168.90
8	共和町	6,755	1	1	9	10	148.04
9	紋別市	25,248	7	8	27	35	138.62
10	増毛町	5,411	1	3	3	6	110.89
11	羽幌町	8,368	4	4	3	7	83.65
12	福島町	5,398	1	1	3	4	74.10
13	標茶町	8,502	2	2	3	5	58.81
14	新ひだか町	26,139	2	2	13	15	57.39
15	小樽市	135,500	17	19	55	74	54.61
16	北見市	125,977	13	23	37	60	47.63
17	伊達市	37,058	3	3	14	17	45.87
18	中標津町	24,040	3	3	7	10	41.60
19	鹿追町	5,694	1	1	1	2	35.12
20	平取町	5,757	2	2	0	2	34.74
21	千歳市	92,732	4	12	20	32	34.51
22	札幌市	1,884,939	173	230	405	635	33.69
23	佐呂間町	6,040	1	2	0	2	33.11
24	安平町	9,116	1	1	2	3	32.91
25	苫小牧市	173,572	12	12	43	55	31.69
26	当別町	18,958	2	2	3	5	26.37
27	仁木町	3,874	1	1	0	1	25.81
28	古平町	3,896	1	1	0	1	25.67
29	栗山町	13,739	3	3	0	3	21.84
30	豊浦町	4,622	1	1	0	1	21.64
31	日高町	14,059	2	1	2	3	21.34
32	七飯町	28,930	4	4	2	6	20.74
33	帯広市	168,532	5	12	22	34	20.17
34	室蘭市	96,050	6	6	13	19	19.78
35	上士幌町	5,233	1	1	0	1	19.11
36	厚岸町	11,014	1	1	1	2	18.16
37	旭川市	354,559	19	36	28	64	18.05
38	美幌町	22,193	3	4	0	4	18.02
39	小清水町	5,557	1	1	0	1	18.00
40	遠軽町	22,840	1	1	3	4	17.51
41	奈井江町	6,500	1	1	0	1	15.38
42	浜中町	6,735	1	1	0	1	14.85
43	函館市	284,910	18	21	20	41	14.39
44	新十津川町	7,397	1	1	0	1	13.52
45	音更町	45,005	3	3	3	6	13.33
46	恵庭市	68,483	3	4	4	8	11.68
47	登別市	52,572	2	2	4	6	11.41
48	せたな町	10,107	1	1	0	1	9.89
49	石狩市	61,191	5	6	0	6	9.81
50	釧路市	187,569	4	17	1	18	9.60
51	滝川市	44,005	3	4	0	4	9.09
52	三笠市	11,015	1	1	0	1	9.08
53	岩見沢市	91,191	5	8	0	8	8.77
54	深川市	24,220	2	2	0	2	8.26
55	美唄市	26,938	2	2	0	2	7.42
56	名寄市	30,919	2	2	0	2	6.47
57	江別市	122,344	6	7	0	7	5.72
58	砂川市	19,349	1	1	0	1	5.17
59	芽室町	19,392	2	1	0	1	5.16
60	網走市	39,420	3	2	0	2	5.07
61	北広島市	60,802	3	3	0	3	4.93
62	北斗市	49,371	2	2	0	2	4.05
63	幕別町	27,364	1	1	0	1	3.65
64	根室市	30,209	1	1	0	1	3.31

特定旅客自動車運送事業 実施市町村(13市町村)							
順位	市町村名	人口	団体数等	車両台数			人口10万人あたり に対する 車両台数
				事業用車 両数	ぶら下が り(自家用 車)	計	
	全道	5,543,556	52	36	194	230	4.15
1	大樹町	6,185	1	1	11	12	194.02
2	小樽市	135,500	13	12	50	62	45.76
3	北広島市	60,802	3	2	23	25	41.12
4	恵庭市	68,483	1	1	8	9	13.14
5	帯広市	168,532	4	4	14	18	10.68
6	北斗市	49,371	1	1	3	4	8.10
7	登別市	52,572	1	1	3	4	7.61
8	札幌市	1,884,939	17	10	68	78	4.14
9	北見市	125,977	1	3	2	5	3.97
10	旭川市	354,559	3	1	12	13	3.67
11	函館市	284,910	5	台数不明			
11	釧路市	187,569	1	台数不明			
11	苫小牧市	173,572	1	台数不明			

運送の種類別 高齢者（65歳以上）人口（1,000人あたり）に対する車両台数

福祉有償運送 実施市町村（103市町村）												
順位	市町村名	65歳以上人口	団体数等	車両台数								高齢者 1,000人あたり台数
				寝台車 (うち軽自動車)	車いす車 (うち軽自動車)	兼用車 (うち軽自動車)	回転シート車 (うち軽自動車)	セダン車 (うち軽自動車)	バス (うち軽自動車)	車両台数計 (うち軽自動車)		
	北海道	1,315,443	251	0	312 (130)	63 (1)	194 (88)	748 (288)	0 (0)	1,309 (499)	1.00	
1	羅臼町	1,383	2	0	3 (1)	1	6 (1)	20 (8)	0	30 (10)	21.69	
2	南富良野町	878	2	0	2	1	2 (1)	9 (1)	0	14 (2)	15.95	
3	古平町	1,433	2	0	3 (1)	0	3 (3)	13	0	19 (4)	13.26	
4	厚沢部町	1,575	1	0	2 (1)	0	0	17 (10)	0	19 (11)	12.06	
5	当麻町	2,514	3	0	8 (5)	0	1 (1)	20 (5)	0	29 (11)	11.54	
6	幌延町	640	2	0	1	2	1 (1)	3 (3)	0	7 (4)	10.94	
7	白糠町	2,979	1	0	4 (4)	1	1	26 (9)	0	32 (13)	10.74	
8	月形町	1,297	3	0	3 (1)	2	2 (1)	5 (2)	0	12 (4)	9.25	
9	白老町	6,382	4	0	13 (1)	0	1	44 (17)	0	58 (18)	9.09	
10	真狩村	671	1	0	1	2	0	3 (3)	0	6 (3)	8.94	
11	上湧別町	1,860	2	0	1	1	0	14 (9)	0	16 (9)	8.60	
12	別海町	3,341	5	0	3 (1)	0	2 (1)	23 (8)	0	28 (10)	8.38	
13	剣淵町	1,225	2	0	2 (2)	0	0	8 (1)	0	10 (3)	8.16	
14	礼文町	1,004	1	0	2 (1)	0	2 (2)	4	0	8 (3)	7.97	
15	初山別村	505	1	0	1	0	1	2 (1)	0	4 (1)	7.92	
16	黒松内町	1,074	1	0	1 (1)	0	2 (2)	5 (3)	0	8 (6)	7.45	
17	陸別町	984	2	0	1	4	2	0	0	7 (0)	7.11	
18	豊富町	1,215	1	0	2 (1)	1	1	3 (3)	0	7 (4)	5.76	
19	京極町	1,020	1	0	0	1	1	3 (1)	0	5 (1)	4.90	
20	本別町	2,759	2	0	4 (2)	1	5 (5)	3	0	13 (7)	4.71	
21	浦河町	3,624	3	0	2	3	1 (1)	11 (7)	0	17 (8)	4.69	
22	新篠津村	1,079	1	0	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	0	5 (5)	4.63	
23	南幌町	1,987	3	0	1 (1)	0	1	7	0	9 (1)	4.53	
24	更別村	902	1	0	4	0	0	0	0	4 (0)	4.43	
25	下川町	1,391	1	0	2 (2)	0	2 (2)	2	0	6 (4)	4.31	
26	大空町	2,342	4	0	5 (2)	0	2 (1)	3	0	10 (3)	4.27	
27	豊頃町	1,212	2	0	3 (2)	1	1 (1)	0	0	5 (3)	4.13	
28	東神楽町	1,960	1	0	2 (2)	2	1 (1)	3	0	8 (3)	4.08	
29	北広島市	12,550	6	0	14 (3)	0	3	34 (6)	0	51 (9)	4.06	
30	清里町	1,479	2	0	5	0	0	1	0	6 (0)	4.06	
31	遠軽町	6,829	1	0	9 (5)	0	2 (2)	16 (12)	0	27 (19)	3.95	
32	奥尻町	1,045	1	0	0	0	4 (3)	0	0	4 (3)	3.83	
33	浦幌町	1,888	2	0	3 (0)	1	1 (1)	2	0	7 (1)	3.71	
34	倶知安町	3,259	2	0	2 (2)	1	2	7 (3)	0	12 (5)	3.68	
35	森町	5,210	2	0	1 (1)	2	2	14 (10)	0	19 (11)	3.65	
36	浜頓別町	1,115	1	0	1	1	0	2	0	4 (0)	3.59	
37	鹿追町	1,406	2	0	1	1	3	0	0	5 (0)	3.56	
38	士別市	7,120	2	0	3 (2)	2	1 (1)	15 (14)	0	21 (17)	2.95	
39	松前町	3,411	1	0	3 (3)	0	3 (3)	4 (2)	0	10 (8)	2.93	
40	厚岸町	3,102	1	0	0	2	0	7 (4)	0	9 (4)	2.90	
41	江差町	2,688	2	0	1 (1)	3	3 (1)	0	0	7 (2)	2.60	
42	日高町	3,847	2	0	3 (2)	0	0	7 (5)	0	10 (7)	2.60	
43	当別町	4,428	4	0	2	0	3	6	0	11 (0)	2.48	
44	網走市	9,070	4	0	3 (1)	0	3 (1)	16 (6)	0	22 (8)	2.43	
45	愛別町	1,273	1	0	2 (1)	1	0	0	0	3 (1)	2.36	
46	東川町	2,126	1	0	1 (1)	0	1 (1)	3 (3)	0	5 (5)	2.35	
47	小清水町	1,718	1	0	1	0	1	2 (2)	0	4 (2)	2.33	
48	仁木町	1,294	1	0	1 (1)	0	0	2 (1)	0	3 (2)	2.32	
49	新得町	2,161	2	0	1 (2)	0	4	0	0	5 (2)	2.31	
50	音更町	9,675	3	0	3	0	0	19 (12)	0	22 (12)	2.27	
51	えりも町	1,361	1	0	0	0	1 (1)	2 (1)	0	3 (2)	2.20	
52	石狩市	13,235	5	0	2 (1)	2	0	24 (14)	0	28 (15)	2.12	
53	上ノ国町	1,950	1	0	2 (1)	1	1 (1)	0	0	4 (2)	2.05	
54	長沼町	3,423	1	0	2 (2)	0	0	5	0	7 (2)	2.04	
55	比布町	1,520	1	0	1 (1)	0	2 (2)	0	0	3 (3)	1.97	
56	由仁町	2,062	1	0	2 (1)	0	0	2 (2)	0	4 (3)	1.94	
57	木古内町	2,088	1	0	2 (1)	0	2 (2)	0	0	4 (3)	1.92	

福祉有償運送 実施市町村(103市町村)											
順位	市町村名	65歳以上人口	団体数等	車両台数							高齢者 1,000人あたり台数
				寝台車 (うち軽自動車)	車いす車 (うち軽自動車)	兼用車 (うち軽自動車)	回転シート車 (うち軽自動車)	セダン車 (うち軽自動車)	バス (うち軽自動車)	車両台数計 (うち軽自動車)	
58	様似町	1,619	1	0	2	0	0	1	0	3 (0)	1.85
59	積丹町	1,104	1	0	0	0	1 (1)	1	0	2 (1)	1.81
60	夕張市	5,084	3	0	5 (1)	2	0	2	0	9 (1)	1.77
61	広尾町	2,305	1	0	1 (1)	2	1 (1)	0	0	4 (2)	1.74
62	土幌町	1,739	1	0	1 (1)	0	2 (1)	0	0	3 (2)	1.73
63	大樹町	1,765	1	0	1 (1)	0	2 (2)	0	0	3 (3)	1.70
64	上富良野町	2,963	2	0	2 (1)	2	1 (1)	0	0	5 (2)	1.69
65	足寄町	2,628	2	0	1 (1)	0	1	2	0	4 (1)	1.52
66	今金町	2,018	1	0	3 (2)	0	0	0	0	3 (2)	1.49
67	奈井江町	2,173	1	0	0	0	0	3 (1)	0	3 (1)	1.38
68	岩内町	4,505	1	0	2 (2)	0	2 (2)	2 (1)	0	6 (5)	1.33
69	新十津川町	2,302	1	0	0	0	2	1	0	3 (0)	1.30
70	釧路市	44,823	2	0	7	0	0	50 (21)	0	57 (21)	1.27
71	北見市	30,656	6	0	5 (3)	2	7 (6)	23 (8)	0	37 (17)	1.21
72	室蘭市	27,882	3	0	3 (1)	0	6 (3)	24 (5)	0	33 (9)	1.18
73	北竜町	846	1	0	0	1	0	0	0	1 (0)	1.18
74	斜里町	3,422	1	0	0	0	1 (1)	3	0	4 (1)	1.17
75	余市町	6,631	2	0	1	0	6 (1)	0	0	7 (1)	1.06
76	共和町	1,899	1	0	0	0	2 (1)	0	0	2 (1)	1.05
77	根室市	7,677	2	0	2 (1)	1	0	5	0	8 (1)	1.04
78	羽幌町	2,880	1	0	0	0	0	3	0	3 (0)	1.04
79	恵庭市	13,531	2	0	7	0	3	4 (1)	0	14 (1)	1.03
80	中札内村	990	1	0	1 (1)	0	0	0	0	1 (1)	1.01
81	帯広市	36,206	6	0	8 (2)	0	3 (3)	25 (9)	0	36 (14)	0.99
82	天塩町	1,022	1	0	0	1	0	0	0	1 (0)	0.98
83	清水町	3,077	2	0	0	1	1	1	0	3 (0)	0.97
84	むかわ町	3,087	1	0	1	0	0	2	0	3 (0)	0.97
85	洞爺湖町	3,322	2	0	1	0	2 (1)	0	0	3 (1)	0.90
86	苫小牧市	34,788	8	0	11 (5)	0	8 (6)	12 (3)	0	31 (14)	0.89
87	千歳市	15,424	4	0	5 (1)	0	4 (2)	4 (1)	0	13 (4)	0.84
88	せたな町	3,645	1	0	2 (2)	0	1	0	0	3 (2)	0.82
89	枝幸町	2,622	1	0	0	2	0	0	0	2 (0)	0.76
90	伊達市	10,704	3	0	6 (4)	1	0	0	0	7 (4)	0.65
91	札幌市	368,001	59	0	83 (30)	5	46 (13)	99 (31)	0	233 (74)	0.63
92	上士幌町	1,638	1	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.61
93	新ひだか町	6,852	2	0	1 (1)	0	0	3 (1)	0	4 (2)	0.58
94	福島町	1,927	1	0	0	1	0	0	0	1 (0)	0.52
95	幕別町	6,605	1	0	0	0	0	3 (1)	0	3 (1)	0.45
96	留萌市	6,751	1	0	1 (1)	0	1	1 (1)	0	3 (2)	0.44
97	登別市	14,354	1	0	3 (3)	0	0	1	0	4 (3)	0.28
98	旭川市	87,355	3	0	3 (2)	0	10 (1)	6 (1)	0	19 (4)	0.22
99	北斗市	10,641	1	0	0	1	0	1 (1)	0	2 (1)	0.19
100	美幌町	5,907	1	0	0	0	0 (0)	1 (1)	0	1 (1)	0.17
101	七飯町	7,475	1	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.13
102	岩見沢市	24,339	1	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.04
103	函館市	75,276	1	0	2	0	1	0	0	3 (0)	0.04

過疎地有償運送 実施市町村(9市町村)											
順位	市町村名	65歳以上人口	団体数等	車両台数							高齢者 1,000人あたり台数
				寝台車 (うち軽自動車)	車いす車 (うち軽自動車)	兼用車 (うち軽自動車)	回転シート車 (うち軽自動車)	セダン車 (うち軽自動車)	バス (うち軽自動車)	車両台数計 (うち軽自動車)	
	北海道	1,315,443	10	0	11	2	4 (2)	41 (18)	0	58 (20)	0.04
1	占冠村	301	1	0	1	1	1	1	0	4 (0)	13.29
2	知内町	1,525	1	0	1	0	1 (1)	18 (11)	0	20 (12)	13.11
3	留寿都村	529	1	0	1	0	0	3 (2)	0	4 (2)	7.56
4	泊村	680	1	0	2	0	0	2 (2)	0	4 (2)	5.88
5	浦臼町	832	1	0	1	0	1 (1)	2 (1)	0	4 (2)	4.81
6	幌加内町	651	1	0	1	0	1	1	0	3 (0)	4.61
7	鹿部町	1,231	1	0	1	1	0	3	0	5 (0)	4.06
8	洞爺湖町	3,322	2	0	3	0	0	9 (1)	0	12 (1)	3.61
9	新ひだか町	6,852	1	0	0	0	0	2 (1)	0	2 (1)	0.29

交通空白輸送 実施市町村(51市町村)										
順位	市町村名	65歳以上 人口	車両台数							高齢者 1,000人 あたり台 数
			寝台車 (うち軽自動車)	車いす車 (うち軽自動車)	兼用車 (うち軽自動車)	回転シート車 (うち軽自動車)	セダン車 (うち軽自動車)	バス (うち軽自動車)	車両台数計 (うち軽自動車)	
	北海道	1,315,443	0	0	0	0	9	192 (7)	201 (7)	0.15
1	占冠村	301	0	0	0	0	0	7	7 (0)	23.26
2	奥尻町	1,045	0	0	0	0	0	7 (7)	7 (7)	6.70
3	湧別町	1,430	0	0	0	0	0	8	8 (0)	5.59
4	浦臼町	832	0	0	0	0	0	4	4 (0)	4.81
5	津別町	2,166	0	0	0	0	2	7	9 (0)	4.16
6	沼田町	1,298	0	0	0	0	0	5	5 (0)	3.85
7	標茶町	2,396	0	0	0	0	1	8	9 (0)	3.76
8	本別町	2,759	0	0	0	0	0	10	10 (0)	3.62
9	南富良野町	878	0	0	0	0	1	2	3 (0)	3.42
10	和寒町	1,541	0	0	0	0	0	5	5 (0)	3.24
11	猿払村	635	0	0	0	0	0	2	2 (0)	3.15
12	西興部村	370	0	0	0	0	0	1	1 (0)	2.70
13	豊浦町	1,501	0	0	0	0	0	4	4 (0)	2.66
14	池田町	2,642	0	0	0	0	0	7	7 (0)	2.65
15	東神楽町	1,960	0	0	0	0	0	5	5 (0)	2.55
16	剣淵町	1,225	0	0	0	0	0	3	3 (0)	2.45
17	北竜町	846	0	0	0	0	0	2	2 (0)	2.36
18	東川町	2,126	0	0	0	0	0	5	5 (0)	2.35
19	むかわ町	3,087	0	0	0	0	0	7	7 (0)	2.27
20	蘭越町	1,783	0	0	0	0	1	3 (2)	4 (2)	2.24
21	下川町	1,391	0	0	0	0	0	3	3 (0)	2.16
22	浦幌町	1,888	0	0	0	0	1	3	4 (0)	2.12
23	長沼町	3,423	0	0	0	0	0	7	7 (0)	2.04
24	新篠津村	1,079	0	0	0	0	0	2	2 (0)	1.85
25	上士幌町	1,638	0	0	0	0	0	3	3 (0)	1.83
26	平取町	1,657	0	0	0	0	0	3	3 (0)	1.81
27	別海町	3,341	0	0	0	0	0	6	6 (0)	1.80
28	美瑛市	8,603	0	0	0	0	0	15	15 (0)	1.74
29	美深町	1,763	0	0	0	0	0	3	3 (0)	1.70
30	上富良野町	2,963	0	0	0	0	0	5	5 (0)	1.69
31	興部町	1,225	0	0	0	0	0	2	2 (0)	1.63
32	栗山町	4,364	0	0	0	0	0	7	7 (0)	1.60
33	当麻町	2,514	0	0	0	0	1	3	4 (0)	1.59
34	羽幌町	2,880	0	0	0	0	0	3	3 (0)	1.04
35	日高町	3,847	0	0	0	0	1	3	4 (0)	1.04
36	鷹栖町	1,987	0	0	0	0	0	2	2 (0)	1.01
37	奈井江町	2,173	0	0	0	0	0	2	2 (0)	0.92
38	中標津町	4,502	0	0	0	0	0	4	4 (0)	0.89
39	愛別町	1,273	0	0	0	0	0	1	1 (0)	0.79
40	妹背牛町	1,314	0	0	0	0	0	1	1 (0)	0.76
41	白糠町	2,979	0	0	0	0	0	2	2 (0)	0.67
42	厚真町	1,592	0	0	0	0	0	1	1 (0)	0.63
43	上川町	1,604	0	0	0	0	1	0	1 (0)	0.62
44	上湧別町	1,860	0	0	0	0	0	1	1 (0)	0.54
45	美幌町	5,907	0	0	0	0	0	3	3 (0)	0.51
46	遠軽町	6,829	0	0	0	0	0	3	3 (0)	0.44
47	三笠市	4,603	0	0	0	0	0	2 (2)	2 (2)	0.43
48	八雲町	5,040	0	0	0	0	0	2 (2)	2 (2)	0.40
49	石狩市	13,235	0	0	0	0	0	4	4 (0)	0.30
50	恵庭市	13,531	0	0	0	0	0	2	2 (0)	0.15
51	北見市	30,656	0	0	0	0	0	1	1 (0)	0.03

市町村福祉輸送 実施市町村(29市町村)										
順位	市町村名	65歳以上人口	車両台数							高齢者 1,000人あたり台数
			寝台車 (うち軽自動車)	車いす車 (うち軽自動車)	兼用車 (うち軽自動車)	回転シート車 (うち軽自動車)	セダン車 (うち軽自動車)	バス (うち軽自動車)	車両台数計 (うち軽自動車)	
	北海道	1,315,443	3	21	9	4	53	2	92	0.07
1	赤井川村	347	0	0	1	0	3	0	4 (0)	11.53
2	厚沢部町	1,575	0	2 (1)	0	0	16 (9)	0	18 (10)	11.43
3	浜中町	1,718	1	0	0	1	9	0	11 (0)	6.40
4	苫前町	1,384	0	1	0	0	6 (5)	0	7 (5)	5.06
5	幌延町	640	0	1	0	0	2	0	3 (0)	4.69
6	豊浦町	1,501	0	1	0	0	6 (4)	0	7 (4)	4.66
7	鶴居村	669	0	0	0	0	3	0	3 (0)	4.48
8	黒松内町	1,074	0	1	0	0	0	2	3 (0)	2.79
9	利尻富士町	1,050	0	0	0	0	2	0	2 (0)	1.90
10	中川町	669	0	1	0	0	0	0	1 (0)	1.49
11	新ひだか町	6,852	0	1	1	0	5 (4)	0	7 (4)	1.02
12	剣淵町	1,225	1	0	0	0	0	0	1 (0)	0.82
13	安平町	2,657	0	2	0	0	0	0	2 (0)	0.75
14	湧別町	1,430	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.70
15	上富良野町	2,963	0	2 (1)	0	0	0	0	2 (1)	0.67
16	厚真町	1,592	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.63
17	美深町	1,763	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.57
18	日高町	3,847	0	1	0	0	1	0	2 (0)	0.52
19	鷹栖町	1,987	0	0	1	0	0	0	1 (0)	0.50
19	南幌町	1,987	0	0	1	0	0	0	1 (0)	0.50
21	東川町	2,126	0	0	1	0	0	0	1 (0)	0.47
22	江差町	2,688	0	0	1	0	0	0	1 (0)	0.37
23	むかわ町	3,087	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.32
24	別海町	3,341	1	0	0	0	0	0	1 (0)	0.30
25	栗山町	4,364	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.23
26	三笠市	4,603	0	0	1	0	0	0	1 (0)	0.22
27	恵庭市	13,531	0	2 (1)	0	0	0	0	2 (1)	0.15
28	釧路市	44,823	0	0	2	3 (1)	0	0	5 (1)	0.11
29	北見市	30,656	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.03

一般乗用旅客自動車運送事業 実施市町村(64市町村)							
順位	市町村名	65歳以上 人口	団体数等	車両台数			高齢者 1,000人あ り台数
				事業用車 両数	ぶら下がり (自家用車)	計	
	北海道	1,315,443	390	531	917	1,448	1.10
1	別海町	3,341	1	1	50	51	15.26
2	浦河町	3,624	2	9	22	31	8.55
3	余市町	6,631	4	9	36	45	6.79
4	鷹栖町	1,987	2	2	11	13	6.54
5	留萌市	6,751	6	6	37	43	6.37
6	共和町	1,899	1	1	9	10	5.27
7	乙部町	1,542	1	4	4	8	5.19
8	厚沢部町	1,575	2	2	6	8	5.08
9	紋別市	7,067	7	8	27	35	4.95
10	増毛町	2,035	1	3	3	6	2.95
11	羽幌町	2,880	4	4	3	7	2.43
12	中標津町	4,502	3	3	7	10	2.22
13	新ひだか町	6,852	2	2	13	15	2.19
14	標茶町	2,396	2	2	3	5	2.09
15	福島町	1,927	1	1	3	4	2.08
16	千歳市	15,424	4	12	20	32	2.07
17	北見市	30,656	13	23	37	60	1.96
18	小樽市	41,164	17	19	55	74	1.80
19	札幌市	368,001	173	230	405	635	1.73
20	伊達市	10,704	3	3	14	17	1.59
21	苫小牧市	34,788	12	12	43	55	1.58
22	鹿追町	1,406	1	1	1	2	1.42
23	平取町	1,657	2	2	0	2	1.21
24	当別町	4,428	2	2	3	5	1.13
25	安平町	2,657	1	1	2	3	1.13
26	佐呂間町	1,932	1	2	0	2	1.04
27	帯広市	36,206	5	12	22	34	0.94
28	七飯町	7,475	4	4	2	6	0.80
29	日高町	3,847	2	1	2	3	0.78
30	仁木町	1,294	1	1	0	1	0.77
31	旭川市	87,355	19	36	28	64	0.73
32	古平町	1,433	1	1	0	1	0.70
33	栗山町	4,364	3	3	0	3	0.69
34	室蘭市	27,882	6	6	13	19	0.68
35	美幌町	5,907	3	4	0	4	0.68
36	豊浦町	1,501	1	1	0	1	0.67
37	厚岸町	3,102	1	1	1	2	0.64
38	音更町	9,675	3	3	3	6	0.62
39	上士幌町	1,638	1	1	0	1	0.61
40	恵庭市	13,531	3	4	4	8	0.59
41	遠軽町	6,829	1	1	3	4	0.59
42	小清水町	1,718	1	1	0	1	0.58
42	浜中町	1,718	1	1	0	1	0.58
44	函館市	75,276	18	21	20	41	0.54
45	奈井江町	2,173	1	1	0	1	0.46
46	石狩市	13,235	5	6	0	6	0.45
47	新十津川町	2,302	1	1	0	1	0.43
48	登別市	14,354	2	2	4	6	0.42
49	釧路市	44,823	4	17	1	18	0.40
50	滝川市	11,667	3	4	0	4	0.34
51	岩見沢市	24,339	5	8	0	8	0.33
52	せたな町	3,645	1	1	0	1	0.27
53	江別市	26,052	6	7	0	7	0.27
54	深川市	8,011	2	2	0	2	0.25
55	名寄市	8,197	2	2	0	2	0.24
56	北広島市	12,550	3	3	0	3	0.24
57	芽室町	4,272	2	1	0	1	0.23
58	美唄市	8,603	2	2	0	2	0.23
59	網走市	9,070	3	2	0	2	0.22
60	三笠市	4,603	1	1	0	1	0.22
61	北斗市	10,641	2	2	0	2	0.19
62	砂川市	5,917	1	1	0	1	0.17
63	幕別町	6,605	1	1	0	1	0.15
64	根室市	7,677	1	1	0	1	0.13

特定旅客自動車運送事業 実施市町村(13市町村)							
順位	市町村名	65歳以上 人口	団体数等	車両台数			高齢者 1,000人あ たり台数
				事業用車 両数	ぶら下がり (自家用車)	計	
	北海道	1,315,443	52	36	194	230	0.17
1	大樹町	1,765	1	1	11	12	6.80
2	北広島市	12,550	3	2	23	25	1.99
3	小樽市	41,164	13	12	50	62	1.51
4	恵庭市	13,531	1	1	8	9	0.67
5	帯広市	36,206	4	4	14	18	0.50
6	北斗市	10,641	1	1	3	4	0.38
7	登別市	14,354	1	1	3	4	0.28
8	札幌市	368,001	17	10	68	78	0.21
9	北見市	30,656	1	3	2	5	0.16
10	旭川市	87,355	3	1	12	13	0.15
11	函館市	75,276	5	台数不明			
11	釧路市	44,823	1	台数不明			
11	苫小牧市	34,788	1	台数不明			

運送の種類別 前期高齢者（65 歳以上 75 歳未満）人口（1,000 人あたり）に対する車両台数

福祉有償運送 実施市町村（103市町村）												
順位	市町村名	前期高齢 者人口	団体 数等	車両台数								前期高齢 者1,000人 あたり台数
				寝台車 (うち軽自動車)	車いす車 (うち軽自動車)	兼用車 (うち軽自動車)	回転シート車 (うち軽自動車)	セダン車 (うち軽自動車)	バス (うち軽自動車)	車両台数計 (うち軽自動車)		
	北海道	692,359	251	0	312 (130)	63 (1)	194 (88)	748 (288)	0 (0)	1,309 (499)	1.89	
1	羅臼町	770	2	0	3 (1)	1	6 (1)	20 (8)	0	30 (10)	38.96	
2	南富良野町	374	2	0	2	1	2 (1)	9 (1)	0	14 (2)	37.43	
3	古平町	701	2	0	3 (1)	0	3 (3)	13	0	19 (4)	27.10	
4	厚沢部町	725	1	0	2 (1)	0	0	17 (10)	0	19 (11)	26.21	
5	当麻町	1,165	3	0	8 (5)	0	1 (1)	20 (5)	0	29 (11)	24.89	
6	幌延町	310	2	0	1	2	1 (1)	3 (3)	0	7 (4)	22.58	
7	月形町	562	3	0	3 (1)	2	2 (1)	5 (2)	0	12 (4)	21.35	
8	真狩村	282	1	0	1	2	0	3 (3)	0	6 (3)	21.28	
9	白糠町	1,546	1	0	4 (4)	1	1	26 (9)	0	32 (13)	20.70	
10	剣淵町	539	2	0	2 (2)	0	0	8 (1)	0	10 (3)	18.55	
11	礼文町	440	1	0	2 (1)	0	2 (2)	4	0	8 (3)	18.18	
12	黒松内町	446	1	0	1 (1)	0	2 (2)	5 (3)	0	8 (6)	17.94	
13	上湧別町	893	2	0	1	1	0	14 (9)	0	16 (9)	17.92	
14	別海町	1,614	5	0	3 (1)	0	2 (1)	23 (8)	0	28 (10)	17.35	
15	初山別村	233	1	0	1	0	1	2 (1)	0	4 (1)	17.17	
16	白老町	3,435	4	0	13 (1)	0	1	44 (17)	0	58 (18)	16.89	
17	陸別町	432	2	0	1	4	2	0	0	7 (0)	16.20	
18	豊富町	543	1	0	2 (1)	1	1	3 (3)	0	7 (4)	12.89	
19	京極町	450	1	0	0	1	1	3 (1)	0	5 (1)	11.11	
20	本別町	1,342	2	0	4 (2)	1	5 (5)	3	0	13 (7)	9.69	
21	新篠津村	520	1	0	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	0	5 (5)	9.62	
22	大空町	1,041	4	0	5 (2)	0	2 (1)	3	0	10 (3)	9.61	
23	下川町	631	1	0	2 (2)	0	2 (2)	2	0	6 (4)	9.51	
24	浦河町	1,812	3	0	2	3	1 (1)	11 (7)	0	17 (8)	9.38	
25	更別村	428	1	0	4	0	0	0	0	4 (0)	9.35	
26	豊頃町	544	2	0	3 (2)	1	1 (1)	0	0	5 (3)	9.19	
27	南幌町	1,042	3	0	1 (1)	0	1	7	0	9 (1)	8.64	
28	清里町	725	2	0	5	0	0	1	0	6 (0)	8.28	
29	浦幌町	876	2	0	3 (0)	1	1 (1)	2	0	7 (1)	7.99	
30	奥尻町	504	1	0	0	0	4 (3)	0	0	4 (3)	7.94	
31	遠軽町	3,422	1	0	9 (5)	0	2 (2)	16 (12)	0	27 (19)	7.89	
32	東神楽町	1,042	1	0	2 (2)	2	1 (1)	3	0	8 (3)	7.68	
33	鹿追町	665	2	0	1	1	3	0	0	5 (0)	7.52	
34	森町	2,566	2	0	1 (1)	2	2	14 (10)	0	19 (11)	7.40	
35	浜頓別町	559	1	0	1	1	0	2	0	4 (0)	7.16	
36	北広島市	7,231	6	0	14 (3)	0	3	34 (6)	0	51 (9)	7.05	
37	倶知安町	1,702	2	0	2 (2)	1	2	7 (3)	0	12 (5)	7.05	
38	士別市	3,499	2	0	3 (2)	2	1 (1)	15 (14)	0	21 (17)	6.00	
39	松前町	1,732	1	0	3 (3)	0	3 (3)	4 (2)	0	10 (8)	5.77	
40	厚岸町	1,596	1	0	0	2	0	7 (4)	0	9 (4)	5.64	
41	日高町	1,897	2	0	3 (2)	0	0	7 (5)	0	10 (7)	5.27	
42	江差町	1,340	2	0	1 (1)	3	3 (1)	0	0	7 (2)	5.22	
43	愛別町	598	1	0	2 (1)	1	0	0	0	3 (1)	5.02	
44	小清水町	804	1	0	1	0	1	2 (2)	0	4 (2)	4.98	
45	仁木町	610	1	0	1 (1)	0	0	2 (1)	0	3 (2)	4.92	
46	東川町	1,047	1	0	1 (1)	0	1 (1)	3 (3)	0	5 (5)	4.78	
47	当別町	2,306	4	0	2	0	3	6	0	11 (0)	4.77	
48	新得町	1,075	2	0	1 (2)	0	4	0	0	5 (2)	4.65	
49	網走市	4,742	4	0	3 (1)	0	3 (1)	16 (6)	0	22 (8)	4.64	
50	えりも町	659	1	0	0	0	1 (1)	2 (1)	0	3 (2)	4.55	
51	音更町	5,068	3	0	3	0	0	19 (12)	0	22 (12)	4.34	
52	上ノ国町	950	1	0	2 (1)	1	1 (1)	0	0	4 (2)	4.21	
53	長沼町	1,670	1	0	2 (2)	0	0	5	0	7 (2)	4.19	
54	積丹町	482	1	0	0	0	1 (1)	1	0	2 (1)	4.15	
55	由仁町	1,002	1	0	2 (1)	0	0	2 (2)	0	4 (3)	3.99	
56	比布町	752	1	0	1 (1)	0	2 (2)	0	0	3 (3)	3.99	
57	木古内町	1,022	1	0	2 (1)	0	2 (2)	0	0	4 (3)	3.91	

福祉有償運送 実施市町村(103市町村)											
順位	市町村名	前期高齢 者人口	団体 数等	車両台数							前期高齢 者1,000人 あたり台数
				寝台車	車いす車	兼用車	回転シート車	セダン車	バス	車両台数計	
				(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	
58	士幌町	770	1	0	1 (1)	0	2 (1)	0	0	3 (2)	3.90
59	石狩市	7,187	5	0	2 (1)	2	0	24 (14)	0	28 (15)	3.90
60	様似町	776	1	0	2	0	0	1	0	3 (0)	3.87
61	夕張市	2,453	3	0	5 (1)	2	0	2	0	9 (1)	3.67
62	大樹町	825	1	0	1 (1)	0	2 (2)	0	0	3 (3)	3.64
63	広尾町	1,178	1	0	1 (1)	2	1 (1)	0	0	4 (2)	3.40
64	今金町	914	1	0	3 (2)	0	0	0	0	3 (2)	3.28
65	上富良野町	1,529	2	0	2 (1)	2	1 (1)	0	0	5 (2)	3.27
66	足寄町	1,237	2	0	1 (1)	0	1	2	0	4 (1)	3.23
67	奈井江町	1,043	1	0	0	0	0	3 (1)	0	3 (1)	2.88
68	新十津川町	1,168	1	0	0	0	2	1	0	3 (0)	2.57
69	北竜町	391	1	0	0	1	0	0	0	1 (0)	2.56
70	岩内町	2,387	1	0	2 (2)	0	2 (2)	2 (1)	0	6 (5)	2.51
71	斜里町	1,709	1	0	0	0	1 (1)	3	0	4 (1)	2.34
72	北見市	16,169	6	0	5 (3)	2	7 (6)	23 (8)	0	37 (17)	2.29
73	釧路市	25,014	2	0	7	0	0	50 (21)	0	57 (21)	2.28
74	共和町	908	1	0	0	0	2 (1)	0	0	2 (1)	2.20
75	天塩町	456	1	0	0	1	0	0	0	1 (0)	2.19
76	羽幌町	1,371	1	0	0	0	0	3	0	3 (0)	2.19
77	室蘭市	15,126	3	0	3 (1)	0	6 (3)	24 (5)	0	33 (9)	2.18
78	余市町	3,280	2	0	1	0	6 (1)	0	0	7 (1)	2.13
79	清水町	1,471	2	0	0	1	1	1	0	3 (0)	2.04
80	むかわ町	1,480	1	0	1	0	0	2	0	3 (0)	2.03
81	中札内村	496	1	0	1 (1)	0	0	0	0	1 (1)	2.02
82	根室市	4,340	2	0	2 (1)	1	0	5	0	8 (1)	1.84
83	恵庭市	7,643	2	0	7	0	3	4 (1)	0	14 (1)	1.83
84	洞爺湖町	1,652	2	0	1	0	2 (1)	0	0	3 (1)	1.82
85	帯広市	19,917	6	0	8 (2)	0	3 (3)	25 (9)	0	36 (14)	1.81
86	せたな町	1,668	1	0	2 (2)	0	1	0	0	3 (2)	1.80
87	苫小牧市	19,329	8	0	11 (5)	0	8 (6)	12 (3)	0	31 (14)	1.60
88	枝幸町	1,305	1	0	0	2	0	0	0	2 (0)	1.53
89	千歳市	8,834	4	0	5 (1)	0	4 (2)	4 (1)	0	13 (4)	1.47
90	伊達市	5,532	3	0	6 (4)	1	0	0	0	7 (4)	1.27
91	上士幌町	796	1	0	1	0	0	0	0	1 (0)	1.26
92	札幌市	201,038	59	0	83 (30)	5	46 (13)	99 (31)	0	233 (74)	1.16
93	新ひだか町	3,553	2	0	1 (1)	0	0	3 (1)	0	4 (2)	1.13
94	福島町	950	1	0	0	1	0	0	0	1 (0)	1.05
95	幕別町	3,450	1	0	0	0	0	3 (1)	0	3 (1)	0.87
96	留萌市	3,667	1	0	1 (1)	0	1	1 (1)	0	3 (2)	0.82
97	登別市	7,818	1	0	3 (3)	0	0	1	0	4 (3)	0.51
98	旭川市	46,626	3	0	3 (2)	0	10 (1)	6 (1)	0	19 (4)	0.41
99	北斗市	5,582	1	0	0	1	0	1 (1)	0	2 (1)	0.36
100	美幌町	3,038	1	0	0	0	0 (0)	1 (1)	0	1 (1)	0.33
101	七飯町	3,780	1	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.26
102	岩見沢市	12,505	1	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.08
103	函館市	39,194	1	0	2	0	1	0	0	3 (0)	0.08

過疎地有償運送 実施市町村(9市町村)											
順位	市町村名	前期高齢 者人口	団体 数等	車両台数							前期高齢 者1,000人 あたり台数
				寝台車	車いす車	兼用車	回転シート車	セダン車	バス	車両台数計	
				(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	
	北海道	692,359	10	0	11	2	4 (2)	41 (18)	0	58 (20)	0.08
1	占冠村	147	1	0	1	1	1	1	0	4 (0)	27.21
2	知内町	753	1	0	1	0	1 (1)	18 (11)	0	20 (12)	26.56
3	留寿都村	225	1	0	1	0	0	3 (2)	0	4 (2)	17.78
4	泊村	281	1	0	2	0	0	2 (2)	0	4 (2)	14.23
5	浦臼町	357	1	0	1	0	1 (1)	2 (1)	0	4 (2)	11.20
6	幌加内町	309	1	0	1	0	1	1	0	3 (0)	9.71
7	洞爺湖町	1,652	2	0	3	0	0	9 (1)	0	12 (1)	7.26
8	鹿部町	747	1	0	1	1	0	3	0	5 (0)	6.69
9	新ひだか町	3,553	1	0	0	0	0	2 (1)	0	2 (1)	0.56

交通空白輸送 実施市町村(51市町村)										
順位	市町村名	前期高齢 者人口	車両台数							前期高齢 者1,000人 あたり台数
			寝台車	車いす車	兼用車	回転シート車	セダン車	バス	車両台数計	
			(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	
	北海道	692,359	0	0	0	0	9	192 (7)	201 (7)	0.29
1	占冠村	147	0	0	0	0	0	7	7 (0)	47.62
2	奥尻町	504	0	0	0	0	0	7 (7)	7 (7)	13.89
3	湧別町	624	0	0	0	0	0	8	8 (0)	12.82
4	浦臼町	357	0	0	0	0	0	4	4 (0)	11.20
5	津別町	1,014	0	0	0	0	2	7	9 (0)	8.88
6	沼田町	584	0	0	0	0	0	5	5 (0)	8.56
7	南富良野町	374	0	0	0	0	1	2	3 (0)	8.02
8	標茶町	1,164	0	0	0	0	1	8	9 (0)	7.73
9	猿払村	266	0	0	0	0	0	2	2 (0)	7.52
10	本別町	1,342	0	0	0	0	0	10	10 (0)	7.45
11	和寒町	694	0	0	0	0	0	5	5 (0)	7.20
12	西興部村	155	0	0	0	0	0	1	1 (0)	6.45
13	豊浦町	680	0	0	0	0	0	4	4 (0)	5.88
14	池田町	1,243	0	0	0	0	0	7	7 (0)	5.63
15	剣淵町	539	0	0	0	0	0	3	3 (0)	5.57
16	北竜町	391	0	0	0	0	0	2	2 (0)	5.12
17	蘭越町	796	0	0	0	0	1	3 (2)	4 (2)	5.03
18	東神楽町	1,042	0	0	0	0	0	5	5 (0)	4.80
19	東川町	1,047	0	0	0	0	0	5	5 (0)	4.78
20	下川町	631	0	0	0	0	0	3	3 (0)	4.75
21	むかわ町	1,480	0	0	0	0	0	7	7 (0)	4.73
22	浦幌町	876	0	0	0	0	1	3	4 (0)	4.57
23	長沼町	1,670	0	0	0	0	0	7	7 (0)	4.19
24	新篠津村	520	0	0	0	0	0	2	2 (0)	3.85
25	上士幌町	796	0	0	0	0	0	3	3 (0)	3.77
26	別海町	1,614	0	0	0	0	0	6	6 (0)	3.72
27	平取町	811	0	0	0	0	0	3	3 (0)	3.70
28	美深町	823	0	0	0	0	0	3	3 (0)	3.65
29	美瑛市	4,139	0	0	0	0	0	15	15 (0)	3.62
30	当麻町	1,165	0	0	0	0	1	3	4 (0)	3.43
31	上富良野町	1,529	0	0	0	0	0	5	5 (0)	3.27
32	栗山町	2,144	0	0	0	0	0	7	7 (0)	3.26
33	興部町	617	0	0	0	0	0	2	2 (0)	3.24
34	羽幌町	1,371	0	0	0	0	0	3	3 (0)	2.19
35	日高町	1,897	0	0	0	0	1	3	4 (0)	2.11
36	鷹栖町	976	0	0	0	0	0	2	2 (0)	2.05
37	奈井江町	1,043	0	0	0	0	0	2	2 (0)	1.92
38	愛別町	598	0	0	0	0	0	1	1 (0)	1.67
39	中標津町	2,502	0	0	0	0	0	4	4 (0)	1.60
40	妹背牛町	628	0	0	0	0	0	1	1 (0)	1.59
41	厚真町	755	0	0	0	0	0	1	1 (0)	1.32
42	白糠町	1,546	0	0	0	0	0	2	2 (0)	1.29
43	上川町	825	0	0	0	0	1	0	1 (0)	1.21
44	上湧別町	893	0	0	0	0	0	1	1 (0)	1.12
45	美幌町	3,038	0	0	0	0	0	3	3 (0)	0.99
46	三笠市	2,179	0	0	0	0	0	2 (2)	2 (2)	0.92
47	遠軽町	3,422	0	0	0	0	0	3	3 (0)	0.88
48	八雲町	2,347	0	0	0	0	0	2 (2)	2 (2)	0.85
49	石狩市	7,187	0	0	0	0	0	4	4 (0)	0.56
50	恵庭市	7,643	0	0	0	0	0	2	2 (0)	0.26
51	北見市	16,169	0	0	0	0	0	1	1 (0)	0.06

市町村福祉輸送 実施市町村(29市町村)										
順位	市町村名	前期高齢者人口	車両台数							前期高齢者1,000人あたり台数
			寝台車 (うち軽自動車)	車いす車 (うち軽自動車)	兼用車 (うち軽自動車)	回転シート車 (うち軽自動車)	セダン車 (うち軽自動車)	バス (うち軽自動車)	車両台数計 (うち軽自動車)	
	北海道	692,359	3	21	9	4	53	2	92	0.13
1	厚沢部町	725	0	2 (1)	0	0	16 (9)	0	18 (10)	24.83
2	赤井川村	162	0	0	1	0	3	0	4 (0)	24.69
3	浜中町	819	1	0	0	1	9	0	11 (0)	13.43
4	苫前町	630	0	1	0	0	6 (5)	0	7 (5)	11.11
5	豊浦町	680	0	1	0	0	6 (4)	0	7 (4)	10.29
6	幌延町	310	0	1	0	0	2	0	3 (0)	9.68
7	鶴居村	340	0	0	0	0	3	0	3 (0)	8.82
8	黒松内町	446	0	1	0	0	0	2	3 (0)	6.73
9	利尻富士町	439	0	0	0	0	2	0	2 (0)	4.56
10	中川町	331	0	1	0	0	0	0	1 (0)	3.02
11	新ひだか町	3,553	0	1	1	0	5 (4)	0	7 (4)	1.97
12	剣淵町	539	1	0	0	0	0	0	1 (0)	1.86
13	湧別町	624	0	1	0	0	0	0	1 (0)	1.60
14	安平町	1,271	0	2	0	0	0	0	2 (0)	1.57
15	厚真町	755	0	1	0	0	0	0	1 (0)	1.32
16	上富良野町	1,529	0	2 (1)	0	0	0	0	2 (1)	1.31
17	美深町	823	0	1	0	0	0	0	1 (0)	1.22
18	日高町	1,897	0	1	0	0	1	0	2 (0)	1.05
19	鷹栖町	976	0	0	1	0	0	0	1 (0)	1.02
20	南幌町	1,042	0	0	1	0	0	0	1 (0)	0.96
21	東川町	1,047	0	0	1	0	0	0	1 (0)	0.96
22	江差町	1,340	0	0	1	0	0	0	1 (0)	0.75
23	むかわ町	1,480	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.68
24	別海町	1,614	1	0	0	0	0	0	1 (0)	0.62
25	栗山町	2,144	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.47
26	三笠市	2,179	0	0	1	0	0	0	1 (0)	0.46
27	恵庭市	7,643	0	2 (1)	0	0	0	0	2 (1)	0.26
28	釧路市	25,014	0	0	2	3 (1)	0	0	5 (1)	0.20
29	北見市	16,169	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.06

一般乗用旅客自動車運送事業 実施市町村(64市町村)							
順位	市町村名	前期高齢 者人口	団体数等	車両台数			前期高齢 者1,000人 あたり台数
				事業用車 両数	ぶら下がり (自家用車)	計	
	北海道	692,359	390	531	917	1,448	2.09
1	別海町	1,614	1	1	50	51	31.60
2	浦河町	1,812	2	9	22	31	17.11
3	余市町	3,280	4	9	36	45	13.72
4	鷹栖町	976	2	2	11	13	13.32
5	留萌市	3,667	6	6	37	43	11.73
6	厚沢部町	725	2	2	6	8	11.03
7	共和町	908	1	1	9	10	11.01
8	乙部町	792	1	4	4	8	10.10
9	紋別市	3,747	7	8	27	35	9.34
10	増毛町	850	1	3	3	6	7.06
11	羽幌町	1,371	4	4	3	7	5.11
12	標茶町	1,164	2	2	3	5	4.30
13	新ひだか町	3,553	2	2	13	15	4.22
14	福島町	950	1	1	3	4	4.21
15	中標津町	2,502	3	3	7	10	4.00
16	北見市	16,169	13	23	37	60	3.71
17	千歳市	8,834	4	12	20	32	3.62
18	小樽市	20,753	17	19	55	74	3.57
19	札幌市	201,038	173	230	405	635	3.16
20	伊達市	5,532	3	3	14	17	3.07
21	鹿追町	665	1	1	1	2	3.01
22	苫小牧市	19,329	12	12	43	55	2.85
23	平取町	811	2	2	0	2	2.47
24	安平町	1,271	1	1	2	3	2.36
25	佐呂間町	888	1	2	0	2	2.25
26	当別町	2,306	2	2	3	5	2.17
27	帯広市	19,917	5	12	22	34	1.71
28	仁木町	610	1	1	0	1	1.64
29	七飯町	3,780	4	4	2	6	1.59
30	日高町	1,897	2	1	2	3	1.58
31	豊浦町	680	1	1	0	1	1.47
32	古平町	701	1	1	0	1	1.43
33	栗山町	2,144	3	3	0	3	1.40
34	旭川市	46,626	19	36	28	64	1.37
35	美幌町	3,038	3	4	0	4	1.32
36	上士幌町	796	1	1	0	1	1.26
37	室蘭市	15,126	6	6	13	19	1.26
38	厚岸町	1,596	1	1	1	2	1.25
39	小清水町	804	1	1	0	1	1.24
40	浜中町	819	1	1	0	1	1.22
41	音更町	5,068	3	3	3	6	1.18
42	遠軽町	3,422	1	1	3	4	1.17
43	恵庭市	7,643	3	4	4	8	1.05
44	函館市	39,194	18	21	20	41	1.05
45	奈井江町	1,043	1	1	0	1	0.96
46	新十津川町	1,168	1	1	0	1	0.86
47	石狩市	7,187	5	6	0	6	0.83
48	登別市	7,818	2	2	4	6	0.77
49	釧路市	25,014	4	17	1	18	0.72
50	岩見沢市	12,505	5	8	0	8	0.64
51	滝川市	6,265	3	4	0	4	0.64
52	せたな町	1,668	1	1	0	1	0.60
53	深川市	3,992	2	2	0	2	0.50
54	江別市	14,067	6	7	0	7	0.50
55	名寄市	4,081	2	2	0	2	0.49
56	美唄市	4,139	2	2	0	2	0.48
57	芽室町	2,156	2	1	0	1	0.46
58	三笠市	2,179	1	1	0	1	0.46
59	網走市	4,742	3	2	0	2	0.42
60	北広島市	7,231	3	3	0	3	0.41
61	北斗市	5,582	2	2	0	2	0.36
62	砂川市	2,999	1	1	0	1	0.33
63	幕別町	3,450	1	1	0	1	0.29
64	根室市	4,340	1	1	0	1	0.23

特定旅客自動車運送事業 実施市町村(13市町村)							
順位	市町村名	前期高齢 者人口	団体数等	車両台数			前期高齢 者1,000人 あたり台数
				事業用車 両数	ぶら下がり (自家用車)	計	
	北海道	692,359	52	36	194	230	0.33
1	大樹町	825	1	1	11	12	14.55
2	北広島市	7,231	3	2	23	25	3.46
3	小樽市	20,753	13	12	50	62	2.99
4	恵庭市	7,643	1	1	8	9	1.18
5	帯広市	19,917	4	4	14	18	0.90
6	北斗市	5,582	1	1	3	4	0.72
7	登別市	7,818	1	1	3	4	0.51
8	札幌市	201,038	17	10	68	78	0.39
9	北見市	16,169	1	3	2	5	0.31
10	旭川市	46,626	3	1	12	13	0.28
11	函館市	39,194	5			0	0.00
11	釧路市	25,014	1			0	0.00
11	苫小牧市	19,329	1			0	0.00

運送の種類別 後期高齢者（75 歳以上）人口（1,000 人あたり）に対する車両台数

福祉有償運送 実施市町村(103市町村)												
順位	市町村名	後期高齢 者人口	団体 数等	車両台数								後期高齢 者1,000人 あたり台数
				寝台車	車いす車	兼用車	回転シート車	セダン車	バス	車両台数計		
				(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)		
	北海道	623,084	251	0	312 (130)	63 (1)	194 (88)	748 (288)	0 (0)	1,309 (499)	2.10	
1	羅臼町	613	2	0	3 (1)	1	6 (1)	20 (8)	0	30 (10)	48.94	
2	南富良野町	504	2	0	2	1	2 (1)	9 (1)	0	14 (2)	27.78	
3	古平町	732	2	0	3 (1)	0	3 (3)	13	0	19 (4)	25.96	
4	厚沢部町	850	1	0	2 (1)	0	0	17 (10)	0	19 (11)	22.35	
5	白糠町	1,433	1	0	4 (4)	1	1	26 (9)	0	32 (13)	22.33	
6	当麻町	1,349	3	0	8 (5)	0	1 (1)	20 (5)	0	29 (11)	21.50	
7	幌延町	330	2	0	1	2	1 (1)	3 (3)	0	7 (4)	21.21	
8	白老町	2,947	4	0	13 (1)	0	1	44 (17)	0	58 (18)	19.68	
9	上湧別町	967	2	0	1	1	0	14 (9)	0	16 (9)	16.55	
10	月形町	735	3	0	3 (1)	2	2 (1)	5 (2)	0	12 (4)	16.33	
11	別海町	1,727	5	0	3 (1)	0	2 (1)	23 (8)	0	28 (10)	16.21	
12	真狩村	389	1	0	1	2	0	3 (3)	0	6 (3)	15.42	
13	初山別村	272	1	0	1	0	1	2 (1)	0	4 (1)	14.71	
14	剣淵町	686	2	0	2 (2)	0	0	8 (1)	0	10 (3)	14.58	
15	礼文町	564	1	0	2 (1)	0	2 (2)	4	0	8 (3)	14.18	
16	黒松内町	628	1	0	1 (1)	0	2 (2)	5 (3)	0	8 (6)	12.74	
17	陸別町	552	2	0	1	4	2	0	0	7 (0)	12.68	
18	豊富町	672	1	0	2 (1)	1	1	3 (3)	0	7 (4)	10.42	
19	北広島市	5,319	6	0	14 (3)	0	3	34 (6)	0	51 (9)	9.59	
20	南幌町	945	3	0	1 (1)	0	1	7	0	9 (1)	9.52	
21	浦河町	1,812	3	0	2	3	1 (1)	11 (7)	0	17 (8)	9.38	
22	本別町	1,417	2	0	4 (2)	1	5 (5)	3	0	13 (7)	9.17	
23	新篠津村	559	1	0	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	0	5 (5)	8.94	
24	京極町	570	1	0	0	1	1	3 (1)	0	5 (1)	8.77	
25	東神楽町	918	1	0	2 (2)	2	1 (1)	3	0	8 (3)	8.71	
26	更別村	474	1	0	4	0	0	0	0	4 (0)	8.44	
27	清里町	754	2	0	5	0	0	1	0	6 (0)	7.96	
28	遠軽町	3,407	1	0	9 (5)	0	2 (2)	16 (12)	0	27 (19)	7.92	
29	下川町	760	1	0	2 (2)	0	2 (2)	2	0	6 (4)	7.89	
30	倶知安町	1,557	2	0	2 (2)	1	2	7 (3)	0	12 (5)	7.71	
31	大空町	1,301	4	0	5 (2)	0	2 (1)	3	0	10 (3)	7.69	
32	豊頃町	668	2	0	3 (2)	1	1 (1)	0	0	5 (3)	7.49	
33	奥尻町	541	1	0	0	0	4 (3)	0	0	4 (3)	7.39	
34	浜頓別町	556	1	0	1	1	0	2	0	4 (0)	7.19	
35	森町	2,644	2	0	1 (1)	2	2	14 (10)	0	19 (11)	7.19	
36	浦幌町	1,012	2	0	3 (0)	1	1 (1)	2	0	7 (1)	6.92	
37	鹿追町	741	2	0	1	1	3	0	0	5 (0)	6.75	
38	厚岸町	1,506	1	0	0	2	0	7 (4)	0	9 (4)	5.98	
39	松前町	1,679	1	0	3 (3)	0	3 (3)	4 (2)	0	10 (8)	5.96	
40	土別市	3,621	2	0	3 (2)	2	1 (1)	15 (14)	0	21 (17)	5.80	
41	江差町	1,348	2	0	1 (1)	3	3 (1)	0	0	7 (2)	5.19	
42	当別町	2,122	4	0	2	0	3	6	0	11 (0)	5.18	
43	日高町	1,950	2	0	3 (2)	0	0	7 (5)	0	10 (7)	5.13	
44	網走市	4,328	4	0	3 (1)	0	3 (1)	16 (6)	0	22 (8)	5.08	
45	音更町	4,607	3	0	3	0	0	19 (12)	0	22 (12)	4.78	
46	東川町	1,079	1	0	1 (1)	0	1 (1)	3 (3)	0	5 (5)	4.63	
47	石狩市	6,048	5	0	2 (1)	2	0	24 (14)	0	28 (15)	4.63	
48	新得町	1,086	2	0	1 (2)	0	4	0	0	5 (2)	4.60	
49	愛別町	675	1	0	2 (1)	1	0	0	0	3 (1)	4.44	
50	仁木町	684	1	0	1 (1)	0	0	2 (1)	0	3 (2)	4.39	
51	小清水町	914	1	0	1	0	1	2 (2)	0	4 (2)	4.38	
52	えりも町	702	1	0	0	0	1 (1)	2 (1)	0	3 (2)	4.27	
53	上ノ国町	1,000	1	0	2 (1)	1	1 (1)	0	0	4 (2)	4.00	
54	長沼町	1,753	1	0	2 (2)	0	0	5	0	7 (2)	3.99	
55	比布町	768	1	0	1 (1)	0	2 (2)	0	0	3 (3)	3.91	
56	由仁町	1,060	1	0	2 (1)	0	0	2 (2)	0	4 (3)	3.77	
57	木古内町	1,066	1	0	2 (1)	0	2 (2)	0	0	4 (3)	3.75	

福祉有償運送 実施市町村(103市町村)											
順位	市町村名	後期高齢 者人口	団体 数等	車両台数							後期高齢 者1,000人 あたり台数
				寝台車	車いす車	兼用車	回転シート車	セダン車	バス	車両台数計	
				(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	
58	様似町	843	1	0	2	0	0	1	0	3 (0)	3.56
59	広尾町	1,127	1	0	1 (1)	2	1 (1)	0	0	4 (2)	3.55
60	上富良野町	1,434	2	0	2 (1)	2	1 (1)	0	0	5 (2)	3.49
61	夕張市	2,631	3	0	5 (1)	2	0	2	0	9 (1)	3.42
62	積丹町	622	1	0	0	0	1 (1)	1	0	2 (1)	3.22
63	大樹町	940	1	0	1 (1)	0	2 (2)	0	0	3 (3)	3.19
64	土幌町	969	1	0	1 (1)	0	2 (1)	0	0	3 (2)	3.10
65	釧路市	19,809	2	0	7	0	0	50 (21)	0	57 (21)	2.88
66	足寄町	1,391	2	0	1 (1)	0	1	2	0	4 (1)	2.88
67	岩内町	2,118	1	0	2 (2)	0	2 (2)	2 (1)	0	6 (5)	2.83
68	今金町	1,104	1	0	3 (2)	0	0	0	0	3 (2)	2.72
69	奈井江町	1,130	1	0	0	0	0	3 (1)	0	3 (1)	2.65
70	新十津川町	1,134	1	0	0	0	2	1	0	3 (0)	2.65
71	室蘭市	12,756	3	0	3 (1)	0	6 (3)	24 (5)	0	33 (9)	2.59
72	北見市	14,487	6	0	5 (3)	2	7 (6)	23 (8)	0	37 (17)	2.55
73	根室市	3,337	2	0	2 (1)	1	0	5	0	8 (1)	2.40
74	恵庭市	5,888	2	0	7	0	3	4 (1)	0	14 (1)	2.38
75	斜里町	1,713	1	0	0	0	1 (1)	3	0	4 (1)	2.34
76	帯広市	16,289	6	0	8 (2)	0	3 (3)	25 (9)	0	36 (14)	2.21
77	北竜町	455	1	0	0	1	0	0	0	1 (0)	2.20
78	余市町	3,351	2	0	1	0	6 (1)	0	0	7 (1)	2.09
79	中札内村	494	1	0	1 (1)	0	0	0	0	1 (1)	2.02
80	共和町	991	1	0	0	0	2 (1)	0	0	2 (1)	2.02
81	苫小牧市	15,459	8	0	11 (5)	0	8 (6)	12 (3)	0	31 (14)	2.01
82	羽幌町	1,509	1	0	0	0	0	3	0	3 (0)	1.99
83	千歳市	6,590	4	0	5 (1)	0	4 (2)	4 (1)	0	13 (4)	1.97
84	清水町	1,606	2	0	0	1	1	1	0	3 (0)	1.87
85	むかわ町	1,607	1	0	1	0	0	2	0	3 (0)	1.87
86	洞爺湖町	1,670	2	0	1	0	2 (1)	0	0	3 (1)	1.80
87	天塩町	566	1	0	0	1	0	0	0	1 (0)	1.77
88	枝幸町	1,317	1	0	0	2	0	0	0	2 (0)	1.52
89	せたな町	1,977	1	0	2 (2)	0	1	0	0	3 (2)	1.52
90	札幌市	166,963	59	0	83 (30)	5	46 (13)	99 (31)	0	233 (74)	1.40
91	伊達市	5,172	3	0	6 (4)	1	0	0	0	7 (4)	1.35
92	新ひだか町	3,299	2	0	1 (1)	0	0	3 (1)	0	4 (2)	1.21
93	上士幌町	842	1	0	1	0	0	0	0	1 (0)	1.19
94	福島町	977	1	0	0	1	0	0	0	1 (0)	1.02
95	留萌市	3,084	1	0	1 (1)	0	1	1 (1)	0	3 (2)	0.97
96	幕別町	3,155	1	0	0	0	0	3 (1)	0	3 (1)	0.95
97	登別市	6,536	1	0	3 (3)	0	0	1	0	4 (3)	0.61
98	旭川市	40,729	3	0	3 (2)	0	10 (1)	6 (1)	0	19 (4)	0.47
99	北斗市	5,059	1	0	0	1	0	1 (1)	0	2 (1)	0.40
100	美幌町	2,869	1	0	0	0	0 (0)	1 (1)	0	1 (1)	0.35
101	七飯町	3,695	1	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.27
102	岩見沢市	11,834	1	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.08
103	函館市	36,082	1	0	2	0	1	0	0	3 (0)	0.08

過疎地有償運送 実施市町村(9市町村)											
順位	市町村名	後期高齢 者人口	団体 数等	車両台数							後期高齢 者1,000人 あたり台数
				寝台車	車いす車	兼用車	回転シート車	セダン車	バス	車両台数計	
				(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	
	北海道	623,084	10	0	11	2	4 (2)	41 (18)	0	58 (20)	0.09
1	占冠村	154	1	0	1	1	1	1	0	4 (0)	25.97
2	知内町	772	1	0	1	0	1 (1)	18 (11)	0	20 (12)	25.91
3	留寿都村	304	1	0	1	0	0	3 (2)	0	4 (2)	13.16
4	鹿部町	484	1	0	1	1	0	3	0	5 (0)	10.33
5	泊村	399	1	0	2	0	0	2 (2)	0	4 (2)	10.03
6	幌加内町	342	1	0	1	0	1	1	0	3 (0)	8.77
7	浦臼町	475	1	0	1	0	1 (1)	2 (1)	0	4 (2)	8.42
8	洞爺湖町	1,670	2	0	3	0	0	9 (1)	0	12 (1)	7.19
9	新ひだか町	3,299	1	0	0	0	0	2 (1)	0	2 (1)	0.61

交通空白輸送 実施市町村(51市町村)										
順位	市町村名	後期高齢 者人口	車両台数							後期高齢 者1,000人 あたり台数
			寝台車	車いす車	兼用車	回転シート車	セダン車	バス	車両台数計	
			(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	
	北海道	623,084	0	0	0	0	9	192 (7)	201 (7)	0.32
1	占冠村	154	0	0	0	0	0	7	7 (0)	45.45
2	奥尻町	541	0	0	0	0	0	7 (7)	7 (7)	12.94
3	湧別町	806	0	0	0	0	0	8	8 (0)	9.93
4	浦臼町	475	0	0	0	0	0	4	4 (0)	8.42
5	津別町	1,152	0	0	0	0	2	7	9 (0)	7.81
6	標茶町	1,232	0	0	0	0	1	8	9 (0)	7.31
7	本別町	1,417	0	0	0	0	0	10	10 (0)	7.06
8	沼田町	714	0	0	0	0	0	5	5 (0)	7.00
9	南富良野町	504	0	0	0	0	1	2	3 (0)	5.95
10	和寒町	847	0	0	0	0	0	5	5 (0)	5.90
11	東神楽町	918	0	0	0	0	0	5	5 (0)	5.45
12	猿払村	369	0	0	0	0	0	2	2 (0)	5.42
13	池田町	1,399	0	0	0	0	0	7	7 (0)	5.00
14	豊浦町	821	0	0	0	0	0	4	4 (0)	4.87
15	西興部村	215	0	0	0	0	0	1	1 (0)	4.65
16	東川町	1,079	0	0	0	0	0	5	5 (0)	4.63
17	北竜町	455	0	0	0	0	0	2	2 (0)	4.40
18	剣淵町	686	0	0	0	0	0	3	3 (0)	4.37
19	むかわ町	1,607	0	0	0	0	0	7	7 (0)	4.36
20	蘭越町	987	0	0	0	0	1	3 (2)	4 (2)	4.05
21	長沼町	1,753	0	0	0	0	0	7	7 (0)	3.99
22	浦幌町	1,012	0	0	0	0	1	3	4 (0)	3.95
23	下川町	760	0	0	0	0	0	3	3 (0)	3.95
24	新篠津村	559	0	0	0	0	0	2	2 (0)	3.58
25	上士幌町	842	0	0	0	0	0	3	3 (0)	3.56
26	平取町	846	0	0	0	0	0	3	3 (0)	3.55
27	上富良野町	1,434	0	0	0	0	0	5	5 (0)	3.49
28	別海町	1,727	0	0	0	0	0	6	6 (0)	3.47
29	美唄市	4,464	0	0	0	0	0	15	15 (0)	3.36
30	興部町	608	0	0	0	0	0	2	2 (0)	3.29
31	美深町	940	0	0	0	0	0	3	3 (0)	3.19
32	栗山町	2,220	0	0	0	0	0	7	7 (0)	3.15
33	当麻町	1,349	0	0	0	0	1	3	4 (0)	2.97
34	日高町	1,950	0	0	0	0	1	3	4 (0)	2.05
35	中標津町	2,000	0	0	0	0	0	4	4 (0)	2.00
36	羽幌町	1,509	0	0	0	0	0	3	3 (0)	1.99
37	鷹栖町	1,011	0	0	0	0	0	2	2 (0)	1.98
38	奈井江町	1,130	0	0	0	0	0	2	2 (0)	1.77
39	愛別町	675	0	0	0	0	0	1	1 (0)	1.48
40	妹背牛町	686	0	0	0	0	0	1	1 (0)	1.46
41	白糠町	1,433	0	0	0	0	0	2	2 (0)	1.40
42	上川町	779	0	0	0	0	1	0	1 (0)	1.28
43	厚真町	837	0	0	0	0	0	1	1 (0)	1.19
44	美幌町	2,869	0	0	0	0	0	3	3 (0)	1.05
45	上湧別町	967	0	0	0	0	0	1	1 (0)	1.03
46	遠軽町	3,407	0	0	0	0	0	3	3 (0)	0.88
47	三笠市	2,424	0	0	0	0	0	2 (2)	2 (2)	0.83
48	八雲町	2,693	0	0	0	0	0	2 (2)	2 (2)	0.74
49	石狩市	6,048	0	0	0	0	0	4	4 (0)	0.66
50	恵庭市	5,888	0	0	0	0	0	2	2 (0)	0.34
51	北見市	14,487	0	0	0	0	0	1	1 (0)	0.07

市町村福祉輸送 実施市町村(29市町村)										
順位	市町村名	後期高齢 者人口	車両台数							後期高齢 者1,000人 あたり台数
			寝台車	車いす車	兼用車	回転シート車	セダン車	バス	車両台数計	
			(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	
	北海道	623,084	3	21	9	4	53	2	92	0.15
1	赤井川村	185	0	0	1	0	3	0	4 (0)	21.62
2	厚沢部町	850	0	2 (1)	0	0	16 (9)	0	18 (10)	21.18
3	浜中町	899	1	0	0	1	9	0	11 (0)	12.24
4	苫前町	754	0	1	0	0	6 (5)	0	7 (5)	9.28
5	鶴居村	329	0	0	0	0	3	0	3 (0)	9.12
6	幌延町	330	0	1	0	0	2	0	3 (0)	9.09
7	豊浦町	821	0	1	0	0	6 (4)	0	7 (4)	8.53
8	黒松内町	628	0	1	0	0	0	2	3 (0)	4.78
9	利尻富士町	611	0	0	0	0	2	0	2 (0)	3.27
10	中川町	338	0	1	0	0	0	0	1 (0)	2.96
11	新ひだか町	3,299	0	1	1	0	5 (4)	0	7 (4)	2.12
12	剣淵町	686	1	0	0	0	0	0	1 (0)	1.46
13	安平町	1,386	0	2	0	0	0	0	2 (0)	1.44
14	上富良野町	1,434	0	2 (1)	0	0	0	0	2 (1)	1.39
15	湧別町	806	0	1	0	0	0	0	1 (0)	1.24
16	厚真町	837	0	1	0	0	0	0	1 (0)	1.19
17	美深町	940	0	1	0	0	0	0	1 (0)	1.06
18	南幌町	945	0	0	1	0	0	0	1 (0)	1.06
19	日高町	1,950	0	1	0	0	1	0	2 (0)	1.03
20	鷹栖町	1,011	0	0	1	0	0	0	1 (0)	0.99
21	東川町	1,079	0	0	1	0	0	0	1 (0)	0.93
22	江差町	1,348	0	0	1	0	0	0	1 (0)	0.74
23	むかわ町	1,607	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.62
24	別海町	1,727	1	0	0	0	0	0	1 (0)	0.58
25	栗山町	2,220	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.45
26	三笠市	2,424	0	0	1	0	0	0	1 (0)	0.41
27	恵庭市	5,888	0	2 (1)	0	0	0	0	2 (1)	0.34
28	釧路市	19,809	0	0	2	3 (1)	0	0	5 (1)	0.25
29	北見市	14,487	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.07

一般乗用旅客自動車運送事業 実施市町村(64市町村)							
順位	市町村名	後期高齢 者人口	団体数等	車両台数			後期高齢 者1,000人 あたり台数
				事業用車 両数	ぶら下がり (自家用車)	計	
	北海道	623,084	390	531	917	1,448	2.32
1	別海町	1,727	1	1	50	51	29.53
2	浦河町	1,812	2	9	22	31	17.11
3	留萌市	3,084	6	6	37	43	13.94
4	余市町	3,351	4	9	36	45	13.43
5	鷹栖町	1,011	2	2	11	13	12.86
6	乙部町	750	1	4	4	8	10.67
7	紋別市	3,320	7	8	27	35	10.54
8	共和町	991	1	1	9	10	10.09
9	厚沢部町	850	2	2	6	8	9.41
10	増毛町	1,185	1	3	3	6	5.06
11	中標津町	2,000	3	3	7	10	5.00
12	千歳市	6,590	4	12	20	32	4.86
13	羽幌町	1,509	4	4	3	7	4.64
14	新ひだか町	3,299	2	2	13	15	4.55
15	北見市	14,487	13	23	37	60	4.14
16	福島町	977	1	1	3	4	4.09
17	標茶町	1,232	2	2	3	5	4.06
18	札幌市	166,963	173	230	405	635	3.80
19	小樽市	20,411	17	19	55	74	3.63
20	苫小牧市	15,459	12	12	43	55	3.56
21	伊達市	5,172	3	3	14	17	3.29
22	鹿追町	741	1	1	1	2	2.70
23	平取町	846	2	2	0	2	2.36
24	当別町	2,122	2	2	3	5	2.36
25	安平町	1,386	1	1	2	3	2.16
26	帯広市	16,289	5	12	22	34	2.09
27	佐呂間町	1,044	1	2	0	2	1.92
28	七飯町	3,695	4	4	2	6	1.62
29	旭川市	40,729	19	36	28	64	1.57
30	日高町	1,950	2	1	2	3	1.54
31	室蘭市	12,756	6	6	13	19	1.49
32	仁木町	684	1	1	0	1	1.46
33	美幌町	2,869	3	4	0	4	1.39
34	古平町	732	1	1	0	1	1.37
35	恵庭市	5,888	3	4	4	8	1.36
36	栗山町	2,220	3	3	0	3	1.35
37	厚岸町	1,506	1	1	1	2	1.33
38	音更町	4,607	3	3	3	6	1.30
39	豊浦町	821	1	1	0	1	1.22
40	上士幌町	842	1	1	0	1	1.19
41	遠軽町	3,407	1	1	3	4	1.17
42	函館市	36,082	18	21	20	41	1.14
43	浜中町	899	1	1	0	1	1.11
44	小清水町	914	1	1	0	1	1.09
45	石狩市	6,048	5	6	0	6	0.99
46	登別市	6,536	2	2	4	6	0.92
47	釧路市	19,809	4	17	1	18	0.91
48	奈井江町	1,130	1	1	0	1	0.88
49	新十津川町	1,134	1	1	0	1	0.88
50	滝川市	5,402	3	4	0	4	0.74
51	岩見沢市	11,834	5	8	0	8	0.68
52	江別市	11,985	6	7	0	7	0.58
53	北広島市	5,319	3	3	0	3	0.56
54	せたな町	1,977	1	1	0	1	0.51
55	深川市	4,019	2	2	0	2	0.50
56	名寄市	4,116	2	2	0	2	0.49
57	芽室町	2,116	2	1	0	1	0.47
58	網走市	4,328	3	2	0	2	0.46
59	美瑛市	4,464	2	2	0	2	0.45
60	三笠市	2,424	1	1	0	1	0.41
61	北斗市	5,059	2	2	0	2	0.40
62	砂川市	2,918	1	1	0	1	0.34
63	幕別町	3,155	1	1	0	1	0.32
64	根室市	3,337	1	1	0	1	0.30

特定旅客自動車運送事業 実施市町村(13市町村)							
順位	市町村名	後期高齢 者人口	団体数等	車両台数			後期高齢 者1,000人 あたり台数
				事業用車 両数	ふら下がり (自家用車)	計	
	北海道	623,084	52	36	194	230	0.37
1	大樹町	940	1	1	11	12	12.77
2	北広島市	5,319	3	2	23	25	4.70
3	小樽市	20,411	13	12	50	62	3.04
4	恵庭市	5,888	1	1	8	9	1.53
5	帯広市	16,289	4	4	14	18	1.11
6	北斗市	5,059	1	1	3	4	0.79
7	登別市	6,536	1	1	3	4	0.61
8	札幌市	166,963	17	10	68	78	0.47
9	北見市	14,487	1	3	2	5	0.35
10	旭川市	40,729	3	1	12	13	0.32
11	函館市	36,082	5	台数不明			
11	釧路市	19,809	1	台数不明			
11	苫小牧市	15,459	1	台数不明			

運送の種類別 介護保険認定者（1,000人あたり）に対する車両台数

福祉有償運送 実施市町村(103市町村)													
順位	市町村名	介護認定者数	団体数等	車両台数								車両台数計	介護認定者1,000人あたりに対する台数
				寝台車	車いす車	兼用車	回転シート車	セダン車	バス				
				(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)		
	北海道	223,077	251	0	312 (130)	63 (1)	194 (88)	748 (288)	0 (0)			1,309 (499)	5.87
1	羅臼町	171	2	0	3 (1)	1	6 (1)	20 (8)	0			30 (10)	175.44
2	南富良野町	149	2	0	2	1	2 (1)	9 (1)	0			14 (2)	93.96
3	白糠町	431	1	0	4 (4)	1	1	26 (9)	0			32 (13)	74.25
4	厚沢部町	286	1	0	2 (1)	0	0	17 (10)	0			19 (11)	66.43
5	幌延町	106	2	0	1	2	1 (1)	3 (3)	0			7 (4)	66.04
6	当麻町	445	3	0	8 (5)	0	1 (1)	20 (5)	0			29 (11)	65.17
7	上湧別町	248	2	0	1	1	0	14 (9)	0			16 (9)	64.52
8	白老町	996	4	0	13 (1)	0	1	44 (17)	0			58 (18)	58.23
9	月形町	218	3	0	3 (1)	2	2 (1)	5 (2)	0			12 (4)	55.05
10	別海町	511	5	0	3 (1)	0	2 (1)	23 (8)	0			28 (10)	54.79
11	礼文町	151	1	0	2 (1)	0	2 (2)	4	0			8 (3)	52.98
12	陸別町	133	2	0	1	4	2	0	0			7 (0)	52.63
13	剣淵町	220	2	0	2 (2)	0	0	8 (1)	0			10 (3)	45.45
14	初山別村	102	1	0	1	0	1	2 (1)	0			4 (1)	39.22
15	新篠津村	144	1	0	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	0			5 (5)	34.72
16	南幌町	295	3	0	1 (1)	0	1	7	0			9 (1)	30.51
17	遠軽町	906	1	0	9 (5)	0	2 (2)	16 (12)	0			27 (19)	29.80
18	本別町	442	2	0	4 (2)	1	5 (5)	3	0			13 (7)	29.41
19	豊富町	242	1	0	2 (1)	1	1	3 (3)	0			7 (4)	28.93
20	更別村	140	1	0	4	0	0	0	0			4 (0)	28.57
21	奥尻町	142	1	0	0	0	4 (3)	0	0			4 (3)	28.17
22	大空町	375	4	0	5 (2)	0	2 (1)	3	0			10 (3)	26.67
23	豊頃町	188	2	0	3 (2)	1	1 (1)	0	0			5 (3)	26.60
24	浦河町	669	3	0	2	3	1 (1)	11 (7)	0			17 (8)	25.41
25	鹿追町	197	2	0	1	1	3	0	0			5 (0)	25.38
26	北広島市	2,043	6	0	14 (3)	0	3	34 (6)	0			51 (9)	24.96
27	清里町	243	2	0	5	0	0	1	0			6 (0)	24.69
28	下川町	249	1	0	2 (2)	0	2 (2)	2	0			6 (4)	24.10
29	森町	925	2	0	1 (1)	2	2	14 (10)	0			19 (11)	20.54
30	浦幌町	356	2	0	3 (0)	1	1 (1)	2	0			7 (1)	19.66
31	士別市	1,105	2	0	3 (2)	2	1 (1)	15 (14)	0			21 (17)	19.00
32	浜頓別町	217	1	0	1	1	0	2	0			4 (0)	18.43
33	厚岸町	503	1	0	0	2	0	7 (4)	0			9 (4)	17.89
34	松前町	610	1	0	3 (3)	0	3 (3)	4 (2)	0			10 (8)	16.39
34	愛別町	183	1	0	2 (1)	1	0	0	0			3 (1)	16.39
36	当別町	708	4	0	2	0	3	6	0			11 (0)	15.54
37	網走市	1,499	4	0	3 (1)	0	3 (1)	16 (6)	0			22 (8)	14.68
38	日高町	692	2	0	3 (2)	0	0	7 (5)	0			10 (7)	14.45
39	新得町	359	2	0	1 (2)	0	4	0	0			5 (2)	13.93
40	音更町	1,621	3	0	3	0	0	19 (12)	0			22 (12)	13.57
41	えりも町	224	1	0	0	0	1 (1)	2 (1)	0			3 (2)	13.39
42	石狩市	2,096	5	0	2 (1)	2	0	24 (14)	0			28 (15)	13.36
43	江差町	530	2	0	1 (1)	3	3 (1)	0	0			7 (2)	13.21
44	小清水町	303	1	0	1	0	1	2 (2)	0			4 (2)	13.20
45	上富良野町	392	2	0	2 (1)	2	1 (1)	0	0			5 (2)	12.76
46	由仁町	321	1	0	2 (1)	0	0	2 (2)	0			4 (3)	12.46
47	様似町	252	1	0	2	0	0	1	0			3 (0)	11.90
48	比布町	253	1	0	1 (1)	0	2 (2)	0	0			3 (3)	11.86
49	木古内町	348	1	0	2 (1)	0	2 (2)	0	0			4 (3)	11.49
50	上ノ国町	349	1	0	2 (1)	1	1 (1)	0	0			4 (2)	11.46
51	長沼町	629	1	0	2 (2)	0	0	5	0			7 (2)	11.13
52	広尾町	361	1	0	1 (1)	2	1 (1)	0	0			4 (2)	11.08
53	北竜町	94	1	0	0	1	0	0	0			1 (0)	10.64
54	土幌町	297	1	0	1 (1)	0	2 (1)	0	0			3 (2)	10.10
55	今金町	302	1	0	3 (2)	0	0	0	0			3 (2)	9.93
56	夕張市	920	3	0	5 (1)	2	0	2	0			9 (1)	9.78
57	大樹町	317	1	0	1 (1)	0	2 (2)	0	0			3 (3)	9.46

福祉有償運送 実施市町村(103市町村)												
順位	市町村名	介護認定者数	団体数等	車両台数								介護認定者1,000人あたりに対する台数
				寝台車	車いす車	兼用車	回転シート車	セダン車	バス	車両台数計		
				(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)		
58	足寄町	459	2	0	1 (1)	0	1	2	0	4 (1)	8.71	
59	室蘭市	3,838	3	0	3 (1)	0	6 (3)	24 (5)	0	33 (9)	8.60	
60	根室市	998	2	0	2 (1)	1	0	5	0	8 (1)	8.02	
61	岩内町	749	1	0	2 (2)	0	2 (2)	2 (1)	0	6 (5)	8.01	
62	釧路市	7,264	2	0	7	0	0	50 (21)	0	57 (21)	7.85	
63	北見市	4,816	6	0	5 (3)	2	7 (6)	23 (8)	0	37 (17)	7.68	
64	恵庭市	1,839	2	0	7	0	3	4 (1)	0	14 (1)	7.61	
65	斜里町	541	1	0	0	0	1 (1)	3	0	4 (1)	7.39	
66	中札内村	155	1	0	1 (1)	0	0	0	0	1 (1)	6.45	
67	むかわ町	476	1	0	1	0	0	2	0	3 (0)	6.30	
68	千歳市	2,074	4	0	5 (1)	0	4 (2)	4 (1)	0	13 (4)	6.27	
69	羽幌町	486	1	0	0	0	0	3	0	3 (0)	6.17	
70	天塩町	166	1	0	0	1	0	0	0	1 (0)	6.02	
71	苫小牧市	5,249	8	0	11 (5)	0	8 (6)	12 (3)	0	31 (14)	5.91	
72	清水町	528	2	0	0	1	1	1	0	3 (0)	5.68	
73	帯広市	6,467	6	0	8 (2)	0	3 (3)	25 (9)	0	36 (14)	5.57	
74	余市町	1,337	2	0	1	0	6 (1)	0	0	7 (1)	5.24	
75	洞爺湖町	575	2	0	1	0	2 (1)	0	0	3 (1)	5.22	
76	せたな町	587	1	0	2 (2)	0	1	0	0	3 (2)	5.11	
77	枝幸町	456	1	0	0	2	0	0	0	2 (0)	4.39	
78	伊達市	1,639	3	0	6 (4)	1	0	0	0	7 (4)	4.27	
79	上士幌町	244	1	0	1	0	0	0	0	1 (0)	4.10	
80	札幌市	66,279	59	0	83 (30)	5	46 (13)	99 (31)	0	233 (74)	3.52	
81	福島町	286	1	0	0	1	0	0	0	1 (0)	3.50	
82	幕別町	1,088	1	0	0	0	0	3 (1)	0	3 (1)	2.76	
83	留萌市	1,123	1	0	1 (1)	0	1	1 (1)	0	3 (2)	2.67	
84	登別市	2,074	1	0	3 (3)	0	0	1	0	4 (3)	1.93	
85	旭川市	15,537	3	0	3 (2)	0	10 (1)	6 (1)	0	19 (4)	1.22	
86	美幌町	853	1	0	0	0	0 (0)	1 (1)	0	1 (1)	1.17	
87	北斗市	1,878	1	0	0	1	0	1 (1)	0	2 (1)	1.06	
88	七飯町	1,160	1	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.86	
89	岩見沢市	3,994	1	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.25	
90	函館市	14,262	1	0	2	0	1	0	0	3 (0)	0.21	

以下市町村は、広域連合単位での認定者数のため、不明

黒松内町(後志広域連合)	1	0	1 (1)	0	2 (2)	5 (3)	0	8 (6)	-	
奈井江町(空知中部広域連合)	1	0	0	0	0	3 (1)	0	3 (1)	-	
真狩村(後志広域連合)	1	0	1	2	0	3 (3)	0	6 (3)	-	
東神楽町(大雪地区広域連合)	1	0	2 (2)	2	1 (1)	3	0	8 (3)	-	
積丹町(後志広域連合)	1	0	0	0	1 (1)	1	0	2 (1)	-	
古平町(後志広域連合)	2	0	3 (1)	0	3 (3)	13	0	19 (4)	-	
仁木町(後志広域連合)	1	0	1 (1)	0	0	2 (1)	0	3 (2)	-	
京極町(後志広域連合)	1	0	0	1	1	3 (1)	0	5 (1)	-	
新十津川町(空知中部広域連合)	1	0	0	0	2	1	0	3 (0)	-	
共和町(後志広域連合)	1	0	0	0	2 (1)	0	0	2 (1)	-	
東川町(大雪地区広域連合)	1	0	1 (1)	0	1 (1)	3 (3)	0	5 (5)	-	
新ひだか町(日高中部広域連合)	2	0	1 (1)	0	0	3 (1)	0	4 (2)	-	
倶知安町(後志広域連合)	2	0	2 (2)	1	2	7 (3)	0	12 (5)	-	
[参考] 広域連合分の集計										
日高中部広域連合	1,287	2	0	1 (1)	0	0	3 (1)	0	4 (2)	-
空知中部広域連合	1,535	2	0	0	0	2	4 (1)	0	6 (1)	-
後志広域連合	3,061	10	0	8 (5)	4	11 (7)	34 (11)	0	57 (23)	-
大雪地区広域連合	1,457	2	0	3 (3)	2	2 (2)	6 (3)	0	13 (8)	-

過疎地有償運送 実施市町村(9市町村)											
順位	市町村名	介護認定 者数	団体 数等	車両台数							介護認定 者1,000人 あたりに対 する台数
				寝台車	車いす車	兼用車	回転シート車	セダン車	バス	車両台数計	
				(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	
	北海道	223,077	10	0	11	2	4 (2)	41 (18)	0	58 (20)	0.26
1	占冠村	43	1	0	1	1	1	1	0	4 (0)	93.02
2	知内町	286	1	0	1	0	1 (1)	18 (11)	0	20 (12)	69.93
3	鹿部町	158	1	0	1	1	0	3	0	5 (0)	31.65
4	幌加内町	109	1	0	1	0	1	1	0	3 (0)	27.52
5	洞爺湖町	575	2	0	3	0	0	9 (1)	0	12 (1)	20.87
以下市町村は、広域連合単位での認定者数のため、不明											
	浦臼町(空知中部広域連合)		1	0	1	0	1 (1)	2 (1)	0	4 (2)	-
	泊村(後志広域連合)		1	0	2	0	0	2 (2)	0	4 (2)	-
	留寿都村(後志広域連合)		1	0	1	0	0	3 (2)	0	4 (2)	-
	新ひだか町(日高中部広域連合)		1	0	0	0	0	2 (1)	0	2 (1)	-

交通空白輸送 実施市町村(51市町村)										
順位	市町村名	介護認定 者数	車両台数						車両台数計 (うち軽自動車)	介護認定 者1,000人 あたりに対 する台数
			寝台車 (うち軽自動車)	車いす車 (うち軽自動車)	兼用車 (うち軽自動車)	回転シート車 (うち軽自動車)	セダン車 (うち軽自動車)	バス (うち軽自動車)		
	北海道	223,077	0	0	0	0	9	192 (7)	201 (7)	0.90
1	占冠村	43	0	0	0	0	0	7	7 (0)	162.79
2	奥尻町	142	0	0	0	0	0	7 (7)	7 (7)	49.30
3	湧別町	219	0	0	0	0	0	8	8 (0)	36.53
4	津別町	292	0	0	0	0	2	7	9 (0)	30.82
5	沼田町	170	0	0	0	0	0	5	5 (0)	29.41
6	本別町	442	0	0	0	0	0	10	10 (0)	22.62
7	北竜町	94	0	0	0	0	0	2	2 (0)	21.28
8	南富良野町	149	0	0	0	0	1	2	3 (0)	20.13
9	標茶町	453	0	0	0	0	1	8	9 (0)	19.87
10	和寒町	263	0	0	0	0	0	5	5 (0)	19.01
11	猿払村	107	0	0	0	0	0	2	2 (0)	18.69
12	西興部村	58	0	0	0	0	0	1	1 (0)	17.24
13	池田町	432	0	0	0	0	0	7	7 (0)	16.20
14	むかわ町	476	0	0	0	0	0	7	7 (0)	14.71
15	新篠津村	144	0	0	0	0	0	2	2 (0)	13.89
16	豊浦町	291	0	0	0	0	0	4	4 (0)	13.75
17	剣淵町	220	0	0	0	0	0	3	3 (0)	13.64
18	上富良野町	392	0	0	0	0	0	5	5 (0)	12.76
19	上士幌町	244	0	0	0	0	0	3	3 (0)	12.30
20	下川町	249	0	0	0	0	0	3	3 (0)	12.05
21	別海町	511	0	0	0	0	0	6	6 (0)	11.74
22	美深町	263	0	0	0	0	0	3	3 (0)	11.41
23	浦幌町	356	0	0	0	0	1	3	4 (0)	11.24
24	長沼町	629	0	0	0	0	0	7	7 (0)	11.13
25	平取町	274	0	0	0	0	0	3	3 (0)	10.95
26	興部町	189	0	0	0	0	0	2	2 (0)	10.58
27	美瑛市	1,460	0	0	0	0	0	15	15 (0)	10.27
28	栗山町	689	0	0	0	0	0	7	7 (0)	10.16
29	当麻町	445	0	0	0	0	1	3	4 (0)	8.99
30	中標津町	630	0	0	0	0	0	4	4 (0)	6.35
31	羽幌町	486	0	0	0	0	0	3	3 (0)	6.17
32	日高町	692	0	0	0	0	1	3	4 (0)	5.78
33	愛別町	183	0	0	0	0	0	1	1 (0)	5.46
34	妹背牛町	191	0	0	0	0	0	1	1 (0)	5.24
35	鷹栖町	408	0	0	0	0	0	2	2 (0)	4.90
36	白糠町	431	0	0	0	0	0	2	2 (0)	4.64
37	厚真町	238	0	0	0	0	0	1	1 (0)	4.20
38	上川町	243	0	0	0	0	1	0	1 (0)	4.12
39	上湧別町	248	0	0	0	0	0	1	1 (0)	4.03
40	美幌町	853	0	0	0	0	0	3	3 (0)	3.52
41	遠軽町	906	0	0	0	0	0	3	3 (0)	3.31
42	三笠市	752	0	0	0	0	0	2 (2)	2 (2)	2.66
43	八雲町	868	0	0	0	0	0	2 (2)	2 (2)	2.30
44	石狩市	2,096	0	0	0	0	0	4	4 (0)	1.91
45	恵庭市	1,839	0	0	0	0	0	2	2 (0)	1.09
46	北見市	4,816	0	0	0	0	0	1	1 (0)	0.21
以下市町村は、広域連合単位での認定者数のため、不明										
	浦臼町(空知中部広域連合)		0	0	0	0	0	4	4 (0)	-
	蘭越町(後志広域連合)		0	0	0	0	1	3 (2)	4 (2)	-
	奈井江町(空知中部広域連合)		0	0	0	0	0	2	2 (0)	-
	東川町(大雪地区広域連合)		0	0	0	0	0	5	5 (0)	-
	東神楽町(大雪地区広域連合)		0	0	0	0	0	5	5 (0)	-

市町村福祉輸送 実施市町村(29市町村)										
順位	市町村名	介護認定者数	車両台数							介護認定者1,000人 あたりに対 する台数
			寝台車 (うち軽自動車)	車いす車 (うち軽自動車)	兼用車 (うち軽自動車)	回転シート車 (うち軽自動車)	セダン車 (うち軽自動車)	バス (うち軽自動車)	車両台数計 (うち軽自動車)	
	北海道	223,077	3	21	9	4	53	2	92	0.41
1	浜中町	126	1	0	0	1	9	0	11 (0)	87.30
2	厚沢部町	286	0	2 (1)	0	0	16 (9)	0	18 (10)	62.94
3	苫前町	221	0	1	0	0	6 (5)	0	7 (5)	31.67
4	幌延町	106	0	1	0	0	2	0	3 (0)	28.30
5	鶴居村	120	0	0	0	0	3	0	3 (0)	25.00
6	豊浦町	291	0	1	0	0	6 (4)	0	7 (4)	24.05
7	利尻富士町	154	0	0	0	0	2	0	2 (0)	12.99
8	中川町	83	0	1	0	0	0	0	1 (0)	12.05
9	上富良野町	392	0	2 (1)	0	0	0	0	2 (1)	5.10
10	湧別町	219	0	1	0	0	0	0	1 (0)	4.57
11	剣淵町	220	1	0	0	0	0	0	1 (0)	4.55
12	厚真町	238	0	1	0	0	0	0	1 (0)	4.20
13	安平町	486	0	2	0	0	0	0	2 (0)	4.12
14	美深町	263	0	1	0	0	0	0	1 (0)	3.80
15	南幌町	295	0	0	1	0	0	0	1 (0)	3.39
16	日高町	692	0	1	0	0	1	0	2 (0)	2.89
17	鷹栖町	408	0	0	1	0	0	0	1 (0)	2.45
18	むかわ町	476	0	1	0	0	0	0	1 (0)	2.10
19	別海町	511	1	0	0	0	0	0	1 (0)	1.96
20	江差町	530	0	0	1	0	0	0	1 (0)	1.89
21	栗山町	689	0	1	0	0	0	0	1 (0)	1.45
22	三笠市	752	0	0	1	0	0	0	1 (0)	1.33
23	恵庭市	1,839	0	2 (1)	0	0	0	0	2 (1)	1.09
24	釧路市	7,264	0	0	2	3 (1)	0	0	5 (1)	0.69
25	北見市	4,816	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.21
以下市町村は、広域連合単位での認定者数のため、不明										
	黒松内町(後志広域連合)		0	1	0	0	0	2	3 (0)	-
	赤井川村(後志広域連合)		0	0	1	0	3	0	4 (0)	-
	東川町(大雪地区広域連合)		0	0	1	0	0	0	1 (0)	-
	新ひだか町(日高中部広域連合)		0	1	1	0	5 (4)	0	7 (4)	-

一般乗用旅客自動車運送事業 実施市町村(64市町村)							
順位	市町村名	介護認定 者数	団体数等	車両台数			介護認定 者1,000人 あたりに対 する台数
				事業用車 両数	ぶら下が (自家用 車)	計	
	北海道	223,077	390	531	917	1,448	6.49
1	別海町	511	1	1	50	51	99.80
2	浦河町	669	2	9	22	31	46.34
3	留萌市	1,123	6	6	37	43	38.29
4	紋別市	1,008	7	8	27	35	34.72
5	余市町	1,337	4	9	36	45	33.66
6	鷹栖町	408	2	2	11	13	31.86
7	乙部町	273	1	4	4	8	29.30
8	厚沢部町	286	2	2	6	8	27.97
9	増毛町	323	1	3	3	6	18.58
10	中標津町	630	3	3	7	10	15.87
11	千歳市	2,074	4	12	20	32	15.43
12	羽幌町	486	4	4	3	7	14.40
13	福島町	286	1	1	3	4	13.99
14	北見市	4,816	13	23	37	60	12.46
15	標茶町	453	2	2	3	5	11.04
16	苫小牧市	5,249	12	12	43	55	10.48
17	伊達市	1,639	3	3	14	17	10.37
18	鹿追町	197	1	1	1	2	10.15
19	札幌市	66,279	173	230	405	635	9.58
20	小樽市	8,404	17	19	55	74	8.81
21	浜中町	126	1	1	0	1	7.94
22	平取町	274	2	2	0	2	7.30
23	当別町	708	2	2	3	5	7.06
24	安平町	486	1	1	2	3	6.17
25	佐呂間町	355	1	2	0	2	5.63
26	帯広市	6,467	5	12	22	34	5.26
27	七飯町	1,160	4	4	2	6	5.17
28	室蘭市	3,838	6	6	13	19	4.95
29	美幌町	853	3	4	0	4	4.69
30	遠軽町	906	1	1	3	4	4.42
31	栗山町	689	3	3	0	3	4.35
32	恵庭市	1,839	3	4	4	8	4.35
33	日高町	692	2	1	2	3	4.34
34	旭川市	15,537	19	36	28	64	4.12
35	上士幌町	244	1	1	0	1	4.10
36	厚岸町	503	1	1	1	2	3.98
37	音更町	1,621	3	3	3	6	3.70
38	豊浦町	291	1	1	0	1	3.44
39	小清水町	303	1	1	0	1	3.30
40	登別市	2,074	2	2	4	6	2.89
41	函館市	14,262	18	21	20	41	2.87
42	石狩市	2,096	5	6	0	6	2.86
43	釧路市	7,264	4	17	1	18	2.48
44	滝川市	1,823	3	4	0	4	2.19
45	岩見沢市	3,994	5	8	0	8	2.00
46	せたな町	587	1	1	0	1	1.70
47	江別市	4,237	6	7	0	7	1.65
48	名寄市	1,290	2	2	0	2	1.55
49	北広島市	2,043	3	3	0	3	1.47
50	深川市	1,368	2	2	0	2	1.46
51	美唄市	1,460	2	2	0	2	1.37
52	網走市	1,499	3	2	0	2	1.33
53	三笠市	752	1	1	0	1	1.33
54	芽室町	772	2	1	0	1	1.30
55	砂川市	874	1	1	0	1	1.14
56	北斗市	1,878	2	2	0	2	1.06
57	根室市	998	1	1	0	1	1.00
58	幕別町	1,088	1	1	0	1	0.92
	古平町(後志広域連合)		1	1	0	1	-
	仁木町(後志広域連合)		1	1	0	1	-
	奈井江町(空知中部広域連合)		1	1	0	1	-
	新十津川町(空知中部広域連合)		1	1	0	1	-
	共和町(後志広域連合)		1	1	9	10	-
	新ひだか町(日高中部広域連合)		2	2	13	15	-

特定旅客自動車運送事業 実施市町村(13市町村)							
順位	市町村名	介護認定 者数	団体数等	車両台数			介護認定 者1,000人 あたりに対 する台数
				事業用車 両数	ぶら下が (自家用 車)	計	
	北海道	223,077	52	36	194	230	1.03
1	大樹町	317	1	1	11	12	37.85
2	北広島市	2,043	3	2	23	25	12.24
3	小樽市	8,404	13	12	50	62	7.38
4	恵庭市	1,839	1	1	8	9	4.89
5	帯広市	6,467	4	4	14	18	2.78
6	北斗市	1,878	1	1	3	4	2.13
7	登別市	2,074	1	1	3	4	1.93
8	札幌市	66,279	17	10	68	78	1.18
9	北見市	4,816	1	3	2	5	1.04
10	旭川市	15,537	3	1	12	13	0.84
11	函館市	14,262	5	台数不明		0	0.00
11	釧路市	7,264	1	台数不明		0	0.00
11	苫小牧市	5,249	1	台数不明		0	0.00

運送の種類別 身体障害者手帳取得者（1,000人あたり）に対する車両台数

福祉有償運送 実施市町村(103市町村)													
順位	市町村名	身体障害者手帳交付者	団体数等	車両台数									身体障害者1,000人あたりに対する台数
				寝台車	車いす車	兼用車	回転シート車	セダン車	バス	車両台数計			
				(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)			
	北海道	290,478	251	0	312 (130)	63 (1)	194 (88)	748 (288)	0 (0)	1,309 (499)	4.51		
1	羅臼町	333	2	0	3 (1)	1	6 (1)	20 (8)	0	30 (10)	90.09		
2	南富良野町	241	2	0	2	1	2 (1)	9 (1)	0	14 (2)	58.09		
3	厚沢部町	379	1	0	2 (1)	0	0	17 (10)	0	19 (11)	50.13		
4	月形町	243	3	0	3 (1)	2	2 (1)	5 (2)	0	12 (4)	49.38		
5	白糠町	692	1	0	4 (4)	1	1	26 (9)	0	32 (13)	46.24		
6	当麻町	654	3	0	8 (5)	0	1 (1)	20 (5)	0	29 (11)	44.34		
7	古平町	437	2	0	3 (1)	0	3 (3)	13	0	19 (4)	43.48		
8	幌延町	167	2	0	1	2	1 (1)	3 (3)	0	7 (4)	41.92		
9	初山別村	96	1	0	1	0	1	2 (1)	0	4 (1)	41.67		
10	上湧別町	386	2	0	1	1	0	14 (9)	0	16 (9)	41.45		
11	黒松内町	207	1	0	1 (1)	0	2 (2)	5 (3)	0	8 (6)	38.65		
12	真狩村	163	1	0	1	2	0	3 (3)	0	6 (3)	36.81		
13	別海町	773	5	0	3 (1)	0	2 (1)	23 (8)	0	28 (10)	36.22		
14	礼文町	223	1	0	2 (1)	0	2 (2)	4	0	8 (3)	35.87		
15	白老町	1,716	4	0	13 (1)	0	1	44 (17)	0	58 (18)	33.80		
16	陸別町	223	2	0	1	4	2	0	0	7 (0)	31.39		
17	剣淵町	339	2	0	2 (2)	0	0	8 (1)	0	10 (3)	29.50		
18	更別村	150	1	0	4	0	0	0	0	4 (0)	26.67		
19	清里町	246	2	0	5	0	0	1	0	6 (0)	24.39		
20	大空町	414	4	0	5 (2)	0	2 (1)	3	0	10 (3)	24.15		
21	豊富町	298	1	0	2 (1)	1	1	3 (3)	0	7 (4)	23.49		
22	本別町	554	2	0	4 (2)	1	5 (5)	3	0	13 (7)	23.47		
23	南幌町	389	3	0	1 (1)	0	1	7	0	9 (1)	23.14		
24	浦河町	746	3	0	2	3	1 (1)	11 (7)	0	17 (8)	22.79		
25	遠軽町	1,235	1	0	9 (5)	0	2 (2)	16 (12)	0	27 (19)	21.86		
26	京極町	258	1	0	0	1	1	3 (1)	0	5 (1)	19.38		
27	豊頃町	263	2	0	3 (2)	1	1 (1)	0	0	5 (3)	19.01		
28	北広島市	2,729	6	0	14 (3)	0	3	34 (6)	0	51 (9)	18.69		
29	奥尻町	219	1	0	0	0	4 (3)	0	0	4 (3)	18.26		
30	東神楽町	446	1	0	2 (2)	2	1 (1)	3	0	8 (3)	17.94		
31	下川町	345	1	0	2 (2)	0	2 (2)	2	0	6 (4)	17.39		
32	森町	1,120	2	0	1 (1)	2	2	14 (10)	0	19 (11)	16.96		
33	鹿追町	302	2	0	1	1	3	0	0	5 (0)	16.56		
34	浦幌町	438	2	0	3 (0)	1	1 (1)	2	0	7 (1)	15.98		
35	松前町	671	1	0	3 (3)	0	3 (3)	4 (2)	0	10 (8)	14.90		
36	新篠津村	347	1	0	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	0	5 (5)	14.41		
37	網走市	1,675	4	0	3 (1)	0	3 (1)	16 (6)	0	22 (8)	13.13		
38	浜頓別町	306	1	0	1	1	0	2	0	4 (0)	13.07		
39	倶知安町	952	2	0	2 (2)	1	2	7 (3)	0	12 (5)	12.61		
40	厚岸町	735	1	0	0	2	0	7 (4)	0	9 (4)	12.24		
41	音更町	1,905	3	0	3	0	0	19 (12)	0	22 (12)	11.55		
42	木古内町	349	1	0	2 (1)	0	2 (2)	0	0	4 (3)	11.46		
43	小清水町	362	1	0	1	0	1	2 (2)	0	4 (2)	11.05		
44	日高町	910	2	0	3 (2)	0	0	7 (5)	0	10 (7)	10.99		
45	江差町	658	2	0	1 (1)	3	3 (1)	0	0	7 (2)	10.64		
46	長沼町	676	1	0	2 (2)	0	0	5	0	7 (2)	10.36		
47	えりも町	306	1	0	0	0	1 (1)	2 (1)	0	3 (2)	9.80		
48	士別市	2,208	2	0	3 (2)	2	1 (1)	15 (14)	0	21 (17)	9.51		
49	愛別町	335	1	0	2 (1)	1	0	0	0	3 (1)	8.96		
50	東川町	574	1	0	1 (1)	0	1 (1)	3 (3)	0	5 (5)	8.71		
51	由仁町	466	1	0	2 (1)	0	0	2 (2)	0	4 (3)	8.58		
52	石狩市	3,283	5	0	2 (1)	2	0	24 (14)	0	28 (15)	8.53		
53	夕張市	1,070	3	0	5 (1)	2	0	2	0	9 (1)	8.41		
54	様似町	357	1	0	2	0	0	1	0	3 (0)	8.40		
55	上ノ国町	492	1	0	2 (1)	1	1 (1)	0	0	4 (2)	8.13		
56	当別町	1,371	4	0	2	0	3	6	0	11 (0)	8.02		
57	広尾町	503	1	0	1 (1)	2	1 (1)	0	0	4 (2)	7.95		

福祉有償運送 実施市町村(103市町村)											
順位	市町村名	身体障害者手帳交付者	団体数等	車両台数							身体障害者1,000人あたりに対する台数
				寝台車	車いす車	兼用車	回転シート車	セダン車	バス	車両台数計	
				(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	
58	新得町	659	2	0	1 (2)	0	4	0	0	5 (2)	7.59
59	足寄町	537	2	0	1 (1)	0	1	2	0	4 (1)	7.45
60	積丹町	269	1	0	0	0	1 (1)	1	0	2 (1)	7.43
61	奈井江町	410	1	0	0	0	0	3 (1)	0	3 (1)	7.32
62	大樹町	418	1	0	1 (1)	0	2 (2)	0	0	3 (3)	7.18
63	土幌町	429	1	0	1 (1)	0	2 (1)	0	0	3 (2)	6.99
64	上富良野町	716	2	0	2 (1)	2	1 (1)	0	0	5 (2)	6.98
65	比布町	431	1	0	1 (1)	0	2 (2)	0	0	3 (3)	6.96
66	仁木町	450	1	0	1 (1)	0	0	2 (1)	0	3 (2)	6.67
66	新十津川町	450	1	0	0	0	2	1	0	3 (0)	6.67
68	北見市	5,591	6	0	5 (3)	2	7 (6)	23 (8)	0	37 (17)	6.62
69	斜里町	681	1	0	0	0	1 (1)	3	0	4 (1)	5.87
70	羽幌町	513	1	0	0	0	0	3	0	3 (0)	5.85
71	今金町	535	1	0	3 (2)	0	0	0	0	3 (2)	5.61
72	北竜町	188	1	0	0	1	0	0	0	1 (0)	5.32
73	帯広市	7,391	6	0	8 (2)	0	3 (3)	25 (9)	0	36 (14)	4.87
74	恵庭市	2,941	2	0	7	0	3	4 (1)	0	14 (1)	4.76
75	室蘭市	6,952	3	0	3 (1)	0	6 (3)	24 (5)	0	33 (9)	4.75
76	釧路市	12,245	2	0	7	0	0	50 (21)	0	57 (21)	4.65
77	根室市	1,763	2	0	2 (1)	1	0	5	0	8 (1)	4.54
78	岩内町	1,405	1	0	2 (2)	0	2 (2)	2 (1)	0	6 (5)	4.27
79	中札内村	240	1	0	1 (1)	0	0	0	0	1 (1)	4.17
80	清水町	723	2	0	0	1	1	1	0	3 (0)	4.15
81	天塩町	264	1	0	0	1	0	0	0	1 (0)	3.79
82	余市町	1,929	2	0	1	0	6 (1)	0	0	7 (1)	3.63
83	むかわ町	833	1	0	1	0	0	2	0	3 (0)	3.60
84	千歳市	3,626	4	0	5 (1)	0	4 (2)	4 (1)	0	13 (4)	3.59
85	洞爺湖町	877	2	0	1	0	2 (1)	0	0	3 (1)	3.42
86	苫小牧市	9,192	8	0	11 (5)	0	8 (6)	12 (3)	0	31 (14)	3.37
87	共和町	613	1	0	0	0	2 (1)	0	0	2 (1)	3.26
88	伊達市	2,178	3	0	6 (4)	1	0	0	0	7 (4)	3.21
89	せたな町	956	1	0	2 (2)	0	1	0	0	3 (2)	3.14
90	札幌市	75,855	59	0	83 (30)	5	46 (13)	99 (31)	0	233 (74)	3.07
91	枝幸町	712	1	0	0	2	0	0	0	2 (0)	2.81
92	福島町	394	1	0	0	1	0	0	0	1 (0)	2.54
93	上士幌町	415	1	0	1	0	0	0	0	1 (0)	2.41
94	幕別町	1,248	1	0	0	0	0	3 (1)	0	3 (1)	2.40
95	新ひだか町	1,783	2	0	1 (1)	0	0	3 (1)	0	4 (2)	2.24
96	留萌市	1,365	1	0	1 (1)	0	1	1 (1)	0	3 (2)	2.20
97	登別市	2,896	1	0	3 (3)	0	0	1	0	4 (3)	1.38
98	旭川市	17,882	3	0	3 (2)	0	10 (1)	6 (1)	0	19 (4)	1.06
99	北斗市	1,914	1	0	0	1	0	1 (1)	0	2 (1)	1.04
100	美幌町	1,043	1	0	0	0	0 (0)	1 (1)	0	1 (1)	0.96
101	七飯町	1,207	1	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.83
102	函館市	13,526	1	0	2	0	1	0	0	3 (0)	0.22
103	岩見沢市	4,959	1	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.20

過疎地有償運送 実施市町村(9市町村)											
順位	市町村名	身体障害者手帳交付者	団体数等	車両台数							身体障害者1,000人あたりに対する台数
				寝台車	車いす車	兼用車	回転シート車	セダン車	バス	車両台数計	
				(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	
	北海道	290,478	10	0	11	2	4 (2)	41 (18)	0	58 (20)	0.20
1	知内町	335	1	0	1	0	1 (1)	18 (11)	0	20 (12)	59.70
2	占冠村	76	1	0	1	1	1	1	0	4 (0)	52.63
3	留寿都村	166	1	0	1	0	0	3 (2)	0	4 (2)	24.10
4	浦臼町	169	1	0	1	0	1 (1)	2 (1)	0	4 (2)	23.67
5	幌加内町	159	1	0	1	0	1	1	0	3 (0)	18.87
6	鹿部町	272	1	0	1	1	0	3	0	5 (0)	18.38
7	泊村	242	1	0	2	0	0	2 (2)	0	4 (2)	16.53
8	洞爺湖町	877	2	0	3	0	0	9 (1)	0	12 (1)	13.68
9	新ひだか町	1,783	1	0	0	0	0	2 (1)	0	2 (1)	1.12

交通空白輸送 実施市町村(51市町村)										
順位	市町村名	身体障害者 手帳交付者	車両台数							身体障害者 1,000人あたり に対する台数
			寝台車	車いす車	兼用車	回転シート車	セダン車	バス	車両台数計	
			(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	
	北海道	290,478	0	0	0	0	9	192 (7)	201 (7)	0.69
1	占冠村	76	0	0	0	0	0	7	7 (0)	92.11
2	奥尻町	219	0	0	0	0	0	7 (7)	7 (7)	31.96
3	湧別町	307	0	0	0	0	0	8	8 (0)	26.06
4	浦臼町	169	0	0	0	0	0	4	4 (0)	23.67
5	津別町	438	0	0	0	0	2	7	9 (0)	20.55
6	本別町	554	0	0	0	0	0	10	10 (0)	18.05
7	沼田町	289	0	0	0	0	0	5	5 (0)	17.30
8	池田町	480	0	0	0	0	0	7	7 (0)	14.58
9	和寒町	358	0	0	0	0	0	5	5 (0)	13.97
10	標茶町	647	0	0	0	0	1	8	9 (0)	13.91
11	猿払村	158	0	0	0	0	0	2	2 (0)	12.66
12	南富良野町	241	0	0	0	0	1	2	3 (0)	12.45
13	東神楽町	446	0	0	0	0	0	5	5 (0)	11.21
14	北竜町	188	0	0	0	0	0	2	2 (0)	10.64
15	長沼町	676	0	0	0	0	0	7	7 (0)	10.36
16	西興部村	105	0	0	0	0	0	1	1 (0)	9.52
17	浦幌町	438	0	0	0	0	1	3	4 (0)	9.13
18	豊浦町	443	0	0	0	0	0	4	4 (0)	9.03
19	剣淵町	339	0	0	0	0	0	3	3 (0)	8.85
20	東川町	574	0	0	0	0	0	5	5 (0)	8.71
21	下川町	345	0	0	0	0	0	3	3 (0)	8.70
22	むかわ町	833	0	0	0	0	0	7	7 (0)	8.40
23	栗山町	842	0	0	0	0	0	7	7 (0)	8.31
24	別海町	773	0	0	0	0	0	6	6 (0)	7.76
25	美唄市	2,019	0	0	0	0	0	15	15 (0)	7.43
26	上士幌町	415	0	0	0	0	0	3	3 (0)	7.23
27	興部町	278	0	0	0	0	0	2	2 (0)	7.19
28	上富良野町	716	0	0	0	0	0	5	5 (0)	6.98
29	平取町	433	0	0	0	0	0	3	3 (0)	6.93
30	美深町	462	0	0	0	0	0	3	3 (0)	6.49
31	当麻町	654	0	0	0	0	1	3	4 (0)	6.12
32	羽幌町	513	0	0	0	0	0	3	3 (0)	5.85
33	新篠津村	347	0	0	0	0	0	2	2 (0)	5.76
34	蘭越町	699	0	0	0	0	1	3 (2)	4 (2)	5.72
35	奈井江町	410	0	0	0	0	0	2	2 (0)	4.88
36	日高町	910	0	0	0	0	1	3	4 (0)	4.40
37	妹背牛町	238	0	0	0	0	0	1	1 (0)	4.20
38	鷹栖町	489	0	0	0	0	0	2	2 (0)	4.09
39	中標津町	979	0	0	0	0	0	4	4 (0)	4.09
40	上川町	330	0	0	0	0	1	0	1 (0)	3.03
41	愛別町	335	0	0	0	0	0	1	1 (0)	2.99
42	白糠町	692	0	0	0	0	0	2	2 (0)	2.89
43	美幌町	1,043	0	0	0	0	0	3	3 (0)	2.88
44	上湧別町	386	0	0	0	0	0	1	1 (0)	2.59
45	遠軽町	1,235	0	0	0	0	0	3	3 (0)	2.43
46	三笠市	891	0	0	0	0	0	2 (2)	2 (2)	2.24
47	厚真町	455	0	0	0	0	0	1	1 (0)	2.20
48	八雲町	1,249	0	0	0	0	0	2 (2)	2 (2)	1.60
49	石狩市	3,283	0	0	0	0	0	4	4 (0)	1.22
50	恵庭市	2,941	0	0	0	0	0	2	2 (0)	0.68
51	北見市	5,591	0	0	0	0	0	1	1 (0)	0.18

市町村福祉輸送 実施市町村(29市町村)													
順位	市町村名	身体障害者手帳交付者	車両台数								身体障害者1,000人あたりに対する台数		
			寝台車	車いす車	兼用車	回転シート車	セダン車	バス	車両台数計				
			(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)				
	北海道	290,478	3	21	9	4	53	2	92	0.32			
1	厚沢部町	379	0	2	(1)	0	0	16	(9)	0	18	(10)	47.49
2	赤井川村	137	0	0		1	0	3		0	4	(0)	29.20
3	苫前町	285	0	1		0	0	6	(5)	0	7	(5)	24.56
4	鶴居村	154	0	0		0	0	3		0	3	(0)	19.48
5	幌延町	167	0	1		0	0	2		0	3	(0)	17.96
6	豊浦町	443	0	1		0	0	6	(4)	0	7	(4)	15.80
7	黒松内町	207	0	1		0	0	0		2	3	(0)	14.49
8	浜中町	781	1	0		0	1	9		0	11	(0)	14.08
9	利尻富士町	232	0	0		0	0	2		0	2	(0)	8.62
10	中川町	131	0	1		0	0	0		0	1	(0)	7.63
11	新ひだか町	1,783	0	1		1	0	5	(4)	0	7	(4)	3.93
12	湧別町	307	0	1		0	0	0		0	1	(0)	3.26
13	安平町	620	0	2		0	0	0		0	2	(0)	3.23
14	剣淵町	339	1	0		0	0	0		0	1	(0)	2.95
15	上富良野町	716	0	2	(1)	0	0	0		0	2	(1)	2.79
16	南幌町	389	0	0		1	0	0		0	1	(0)	2.57
17	厚真町	455	0	1		0	0	0		0	1	(0)	2.20
17	日高町	910	0	1		0	0	1		0	2	(0)	2.20
19	美深町	462	0	1		0	0	0		0	1	(0)	2.16
20	鷹栖町	489	0	0		1	0	0		0	1	(0)	2.04
21	東川町	574	0	0		1	0	0		0	1	(0)	1.74
22	江差町	658	0	0		1	0	0		0	1	(0)	1.52
23	別海町	773	1	0		0	0	0		0	1	(0)	1.29
24	むかわ町	833	0	1		0	0	0		0	1	(0)	1.20
25	栗山町	842	0	1		0	0	0		0	1	(0)	1.19
26	三笠市	891	0	0		1	0	0		0	1	(0)	1.12
27	恵庭市	2,941	0	2	(1)	0	0	0		0	2	(1)	0.68
28	釧路市	12,245	0	0		2	3	(1)	0	0	5	(1)	0.41
29	北見市	5,591	0	1		0	0	0		0	1	(0)	0.18

一般乗用旅客自動車運送事業 実施市町村(64市町村)							
順位	市町村名	身体障害 者手帳交 付者	団体数等	車両台数			身体障害者 1,000人あた りに対する台 数
				事業用車 両数	ぶら下がり (自家用車)	計	
	北海道	290,478	390	531	917	1,448	4.98
1	別海町	773	1	1	50	51	65.98
2	浦河町	746	2	9	22	31	41.55
3	留萌市	1,365	6	6	37	43	31.50
4	鷹栖町	489	2	2	11	13	26.58
5	紋別市	1,456	7	8	27	35	24.04
6	余市町	1,929	4	9	36	45	23.33
7	乙部町	371	1	4	4	8	21.56
8	厚沢部町	379	2	2	6	8	21.11
9	共和町	613	1	1	9	10	16.31
10	羽幌町	513	4	4	3	7	13.65
11	増毛町	480	1	3	3	6	12.50
12	北見市	5,591	13	23	37	60	10.73
13	中標津町	979	3	3	7	10	10.21
14	福島町	394	1	1	3	4	10.15
15	千歳市	3,626	4	12	20	32	8.83
16	新ひだか町	1,783	2	2	13	15	8.41
17	札幌市	75,855	173	230	405	635	8.37
18	伊達市	2,178	3	3	14	17	7.81
19	標茶町	647	2	2	3	5	7.73
20	小樽市	11,141	17	19	55	74	6.64
21	鹿追町	302	1	1	1	2	6.62
22	佐呂間町	325	1	2	0	2	6.15
23	苫小牧市	9,192	12	12	43	55	5.98
24	七飯町	1,207	4	4	2	6	4.97
25	安平町	620	1	1	2	3	4.84
26	平取町	433	2	2	0	2	4.62
27	帯広市	7,391	5	12	22	34	4.60
28	美幌町	1,043	3	4	0	4	3.84
29	当別町	1,371	2	2	3	5	3.65
30	旭川市	17,882	19	36	28	64	3.58
31	栗山町	842	3	3	0	3	3.56
32	日高町	910	2	1	2	3	3.30
33	遠軽町	1,235	1	1	3	4	3.24
34	音更町	1,905	3	3	3	6	3.15
35	函館市	13,526	18	21	20	41	3.03
36	小清水町	362	1	1	0	1	2.76
37	室蘭市	6,952	6	6	13	19	2.73
38	厚岸町	735	1	1	1	2	2.72
39	恵庭市	2,941	3	4	4	8	2.72
40	奈井江町	410	1	1	0	1	2.44
41	上士幌町	415	1	1	0	1	2.41
42	古平町	437	1	1	0	1	2.29
43	豊浦町	443	1	1	0	1	2.26
44	仁木町	450	1	1	0	1	2.22
44	新十津川町	450	1	1	0	1	2.22
46	登別市	2,896	2	2	4	6	2.07
47	石狩市	3,283	5	6	0	6	1.83
48	滝川市	2,455	3	4	0	4	1.63
49	岩見沢市	4,959	5	8	0	8	1.61
50	釧路市	12,245	4	17	1	18	1.47
51	浜中町	781	1	1	0	1	1.28
52	名寄市	1,607	2	2	0	2	1.24
53	芽室町	827	2	1	0	1	1.21
54	深川市	1,659	2	2	0	2	1.21
55	網走市	1,675	3	2	0	2	1.19
56	三笠市	891	1	1	0	1	1.12
57	北広島市	2,729	3	3	0	3	1.10
58	江別市	6,666	6	7	0	7	1.05
59	せたな町	956	1	1	0	1	1.05
60	北斗市	1,914	2	2	0	2	1.04
61	美瑛市	2,019	2	2	0	2	0.99
62	砂川市	1,240	1	1	0	1	0.81
63	幕別町	1,248	1	1	0	1	0.80
64	根室市	1,763	1	1	0	1	0.57

特定旅客自動車運送事業 実施市町村(13市町村)							
順位	市町村名	身体障害 者手帳交 付者	団体数等	車両台数			身体障害者 1,000人あた りに対する台 数
				事業用車 両数	ぶら下がり (自家用車)	計	
	北海道	290,478	52	36	194	230	0.79
1	大樹町	418	1	1	11	12	28.71
2	北広島市	2,729	3	2	23	25	9.16
3	小樽市	11,141	13	12	50	62	5.57
4	恵庭市	2,941	1	1	8	9	3.06
5	帯広市	7,391	4	4	14	18	2.44
6	北斗市	1,914	1	1	3	4	2.09
7	登別市	2,896	1	1	3	4	1.38
8	札幌市	75,855	17	10	68	78	1.03
9	北見市	5,591	1	3	2	5	0.89
10	旭川市	17,882	3	1	12	13	0.73
11	釧路市	12,245	1	台数不明			
11	苫小牧市	9,192	1	台数不明			
11	函館市	13,526	5	台数不明			

運送の種類別 面積（100k㎡あたり）に対する車両台数

福祉有償運送 実施市町村(103市町村)												
順位	市町村名	面積(K㎡) 全国都道府県市区町村別面積調(H20、国土地理院)	団体数等	車両台数								面積100km ² あたりの車両台数
				寝台車	車いす車	兼用車	回転シート車	セダン車	バス	車両台数計		
				(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)		
	全道	83,456.58	251	0	312 (130)	63 (1)	194 (88)	748 (288)	0 (0)	1,309 (499)	1.57	
1	北広島市	118.54	6	0	14 (3)	0	3	34 (6)	0	51 (9)	43.02	
2	室蘭市	80.65	3	0	3 (1)	0	6 (3)	24 (5)	0	33 (9)	40.92	
3	札幌市	1,121.12	59	0	83 (30)	5	46 (13)	99 (31)	0	233 (74)	20.78	
4	当麻町	204.95	3	0	8 (5)	0	1 (1)	20 (5)	0	29 (11)	14.15	
5	白老町	425.75	4	0	13 (1)	0	1	44 (17)	0	58 (18)	13.62	
6	東神楽町	68.64	1	0	2 (2)	2	1 (1)	3	0	8 (3)	11.66	
7	南幌町	81.49	3	0	1 (1)	0	1	7	0	9 (1)	11.04	
8	古平町	188.41	2	0	3 (1)	0	3 (3)	13	0	19 (4)	10.08	
9	上湧別町	161.39	2	0	1	1	0	14 (9)	0	16 (9)	9.91	
10	礼文町	81.33	1	0	2 (1)	0	2 (2)	4	0	8 (3)	9.84	
11	岩内町	70.63	1	0	2 (2)	0	2 (2)	2 (1)	0	6 (5)	8.49	
12	月形町	151.05	3	0	3 (1)	2	2 (1)	5 (2)	0	12 (4)	7.94	
13	剣淵町	131.20	2	0	2 (2)	0	0	8 (1)	0	10 (3)	7.62	
14	羅臼町	397.88	2	0	3 (1)	1	6 (1)	20 (8)	0	30 (10)	7.54	
15	新篠津村	78.24	1	0	1 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (2)	0	5 (5)	6.39	
16	江差町	109.59	2	0	1 (1)	3	3 (1)	0	0	7 (2)	6.39	
17	帯広市	618.94	6	0	8 (2)	0	3 (3)	25 (9)	0	36 (14)	5.82	
18	苫小牧市	561.49	8	0	11 (5)	0	8 (6)	12 (3)	0	31 (14)	5.52	
19	真狩村	114.43	1	0	1	2	0	3 (3)	0	6 (3)	5.24	
20	森町	368.27	2	0	1 (1)	2	2	14 (10)	0	19 (11)	5.16	
21	余市町	140.60	2	0	1	0	6 (1)	0	0	7 (1)	4.98	
22	恵庭市	294.87	2	0	7	0	3	4 (1)	0	14 (1)	4.75	
23	音更町	466.09	3	0	3	0	0	19 (12)	0	22 (12)	4.72	
24	網走市	471.00	4	0	3 (1)	0	3 (1)	16 (6)	0	22 (8)	4.67	
25	倶知安町	261.24	2	0	2 (2)	1	2	7 (3)	0	12 (5)	4.59	
26	釧路市	1,362.75	2	0	7	0	0	50 (21)	0	57 (21)	4.18	
27	長沼町	168.36	1	0	2 (2)	0	0	5	0	7 (2)	4.16	
28	白糠町	773.75	1	0	4 (4)	1	1	26 (9)	0	32 (13)	4.14	
29	厚沢部町	460.42	1	0	2 (1)	0	0	17 (10)	0	19 (11)	4.13	
30	石狩市	721.86	5	0	2 (1)	2	0	24 (14)	0	28 (15)	3.88	
31	比布町	87.29	1	0	1 (1)	0	2 (2)	0	0	3 (3)	3.44	
32	松前町	293.10	1	0	3 (3)	0	3 (3)	4 (2)	0	10 (8)	3.41	
33	奈井江町	88.05	1	0	0	0	0	3 (1)	0	3 (1)	3.41	
34	本別町	391.99	2	0	4 (2)	1	5 (5)	3	0	13 (7)	3.32	
35	由仁町	133.86	1	0	2 (1)	0	0	2 (2)	0	4 (3)	2.99	
36	大空町	343.62	4	0	5 (2)	0	2 (1)	3	0	10 (3)	2.91	
37	奥尻町	142.98	1	0	0	0	4 (3)	0	0	4 (3)	2.80	
38	当別町	422.71	4	0	2	0	3	6	0	11 (0)	2.60	
39	北見市	1,427.56	6	0	5 (3)	2	7 (6)	23 (8)	0	37 (17)	2.59	
40	旭川市	747.60	3	0	3 (2)	0	10 (1)	6 (1)	0	19 (4)	2.54	
41	浦河町	694.24	3	0	2	3	1 (1)	11 (7)	0	17 (8)	2.45	
42	黒松内町	345.47	1	0	1 (1)	0	2 (2)	5 (3)	0	8 (6)	2.32	
43	更別村	176.45	1	0	4	0	0	0	0	4 (0)	2.27	
44	千歳市	594.95	4	0	5 (1)	0	4 (2)	4 (1)	0	13 (4)	2.19	
45	京極町	231.61	1	0	0	1	1	3 (1)	0	5 (1)	2.16	
46	別海町	1,320.22	5	0	3 (1)	0	2 (1)	23 (8)	0	28 (10)	2.12	
47	上富良野町	237.18	2	0	2 (1)	2	1 (1)	0	0	5 (2)	2.11	
48	南富良野町	665.52	2	0	2	1	2 (1)	9 (1)	0	14 (2)	2.10	
49	遠軽町	1,332.32	1	0	9 (5)	0	2 (2)	16 (12)	0	27 (19)	2.03	
50	東川町	247.06	1	0	1 (1)	0	1 (1)	3 (3)	0	5 (5)	2.02	
51	登別市	212.11	1	0	3 (3)	0	0	1	0	4 (3)	1.89	
52	士別市	1,119.29	2	0	3 (2)	2	1 (1)	15 (14)	0	21 (17)	1.88	
53	木古内町	221.88	1	0	2 (1)	0	2 (2)	0	0	4 (3)	1.80	
54	仁木町	167.93	1	0	1 (1)	0	0	2 (1)	0	3 (2)	1.79	
55	洞爺湖町	180.54	2	0	1		2 (1)	0	0	3 (1)	1.66	
56	伊達市	444.28	3	0	6 (4)	1	0	0	0	7 (4)	1.58	
57	根室市	512.71	2	0	2 (1)	1	0	5	0	8 (1)	1.56	

福祉有償運送 実施市町村(103市町村)											
順位	市町村名	面積(Km ²) 全国都道府県市区町村別面積調(H20、国土地理院)	団体数等	車両台数							面積100km ² あたりの車両台数
				寝台車	車いす車	兼用車	回転シート車	セダン車	バス	車両台数計	
				(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	
58	清里町	402.73	2	0	5	0	0	1	0	6 (0)	1.49
59	初山別村	280.04	1	0	1	0	1	2 (1)	0	4 (1)	1.43
60	小清水町	287.04	1	0	1	0	1	2 (2)	0	4 (2)	1.39
61	豊富町	520.67	1	0	2 (1)	1	1	3 (3)	0	7 (4)	1.34
62	鹿追町	402.86	2	0	1	1	3	0	0	5 (0)	1.24
63	幌延町	574.27	2	0	1	2	1 (1)	3 (3)	0	7 (4)	1.22
64	厚岸町	739.07	1	0	0	2	0	7 (4)	0	9 (4)	1.22
65	愛別町	249.71	1	0	2 (1)	1	0	0	0	3 (1)	1.20
66	夕張市	763.20	3	0	5 (1)	2	0	2	0	9 (1)	1.18
67	土幌町	259.13	1	0	1 (1)	0	2 (1)	0	0	3 (2)	1.16
68	陸別町	608.81	2	0	1	4	2	0	0	7 (0)	1.15
69	えりも町	283.93	1	0	0	0	1 (1)	2 (1)	0	3 (2)	1.06
70	留萌市	297.44	1	0	1 (1)	0	1	1 (1)	0	3 (2)	1.01
71	日高町	992.67	2	0	3 (2)	0	0	7 (5)	0	10 (7)	1.01
72	浜頓別町	401.56	1	0	1	1	0	2	0	4 (0)	1.00
73	浦幌町	729.64	2	0	3 (0)	1	1 (1)	2	0	7 (1)	0.96
74	豊頃町	536.52	2	0	3 (2)	1	1 (1)	0	0	5 (3)	0.93
75	下川町	644.20	1	0	2 (2)	0	2 (2)	2	0	6 (4)	0.93
76	積丹町	238.20	1	0	0	0	1 (1)	1	0	2 (1)	0.84
77	様似町	364.33	1	0	2	0	0	1	0	3 (0)	0.82
78	清水町	402.18	2	0	0	1	1	1	0	3 (0)	0.75
79	上ノ国町	547.58	1	0	2 (1)	1	1 (1)	0	0	4 (2)	0.73
80	広尾町	596.16	1	0	1 (1)	2	1 (1)	0	0	4 (2)	0.67
81	共和町	304.96	1	0	0	0	2 (1)	0	0	2 (1)	0.66
82	羽幌町	472.53	1	0	0	0	0	3	0	3 (0)	0.63
83	北竜町	158.82	1	0	0	1	0	0	0	1 (0)	0.63
84	幕別町	478.00	1	0	0	0	0	3 (1)	0	3 (1)	0.63
85	新十津川町	495.62	1	0	0	0	2	1	0	3 (0)	0.61
86	斜里町	737.01	1	0	0	0	1 (1)	3	0	4 (1)	0.54
87	福島町	187.23	1	0	0	1	0	0	0	1 (0)	0.53
88	今金町	568.14	1	0	3 (2)	0	0	0	0	3 (2)	0.53
89	北斗市	397.30	1	0	0	1	0	1 (1)	0	2 (1)	0.50
90	新得町	1,063.79	2	0	1 (2)	0	4	0	0	5 (2)	0.47
91	せたな町	638.67	1	0	2 (2)	0	1	0	0	3 (2)	0.47
92	七飯町	216.61	1	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.46
93	函館市	677.91	1	0	2	0	1	0	0	3 (0)	0.44
94	むかわ町	712.91	1	0	1	0	0	2	0	3 (0)	0.42
95	大樹町	816.38	1	0	1 (1)	0	2 (2)	0	0	3 (3)	0.37
96	新ひだか町	1,147.75	2	0	1 (1)	0	0	3 (1)	0	4 (2)	0.35
97	中札内村	292.69	1	0	1 (1)	0	0	0	0	1 (1)	0.34
98	足寄町	1,408.09	2	0	1 (1)	0	1	2	0	4 (1)	0.28
99	天塩町	353.31	1	0	0	1	0	0	0	1 (0)	0.28
100	美幌町	438.36	1	0	0	0	0 (0)	1 (1)	0	1 (1)	0.23
101	岩見沢市	481.10	1	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.21
102	枝幸町	1,115.68	1	0	0	2	0	0	0	2 (0)	0.18
103	上士幌町	694.09	1	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.14

過疎地有償運送 実施市町村(9市町村)											
順位	市町村名	面積(Km ²) 全国都道府県市区町村別面積調(H20、国土地理院)	団体数等	車両台数							面積100km ² あたりの車両台数
				寝台車	車いす車	兼用車	回転シート車	セダン車	バス	車両台数計	
				(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	
	全道	83,456.58	10	0	11	2	4 (2)	41 (18)	0	58 (20)	0.07
1	知内町	196.67	1	0	1	0	1 (1)	18 (11)	0	20 (12)	10.17
2	洞爺湖町	180.54	2	0	3	0	0	9 (1)	0	12 (1)	6.65
3	泊村	82.35	1	0	2	0	0	2 (2)	0	4 (2)	4.86
4	鹿部町	110.61	1	0	1	1	0	3	0	5 (0)	4.52
5	浦臼町	101.08	1	0	1	0	1 (1)	2 (1)	0	4 (2)	3.96
6	留寿都村	119.92	1	0	1	0	0	3 (2)	0	4 (2)	3.34
7	占冠村	571.31	1	0	1	1	1	1	0	4 (0)	0.70
8	幌加内町	767.03	1	0	1	0	1	1	0	3 (0)	0.39
9	新ひだか町	1,147.75	1	0	0	0	0	2 (1)	0	2 (1)	0.17

交通空白輸送 実施市町村(51市町村)										
順位	市町村名	面積(Km ²) 全国都道府県市区町村別面積調(H20、国土地理院)	車両台数							面積100km ² あたりの車両 台数
			寝台車	車いす車	兼用車	回転シート車	セダン車	バス	車両台数計	
			(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	(うち軽自動車)	
	全道	83,456.58	0	0	0	0	9	201 (7)	210 (7)	0.25
1	東神楽町	68.64	0	0	0	0	0	5	5 (0)	7.28
2	美唄市	277.61	0	0	0	0	0	15	15 (0)	5.40
3	奥尻町	142.98	0	0	0	0	0	7 (7)	7 (7)	4.90
4	長沼町	168.36	0	0	0	0	0	7	7 (0)	4.16
5	浦臼町	101.08	0	0	0	0	0	4	4 (0)	3.96
6	栗山町	203.84	0	0	0	0	0	7	7 (0)	3.43
7	新篠津村	78.24	0	0	0	0	0	2	2 (0)	2.56
8	本別町	391.99	0	0	0	0	0	10	10 (0)	2.55
9	湧別町	344.35	0	0	0	0	0	8	8 (0)	2.32
10	剣淵町	131.20	0	0	0	0	0	3	3 (0)	2.29
11	奈井江町	88.05	0	0	0	0	0	2	2 (0)	2.27
12	和寒町	224.83	0	0	0	0	0	5	5 (0)	2.22
13	上富良野町	237.18	0	0	0	0	0	5	5 (0)	2.11
14	妹背牛町	48.55	0	0	0	0	0	1	1 (0)	2.06
15	東川町	247.06	0	0	0	0	0	5	5 (0)	2.02
16	当麻町	204.95	0	0	0	0	1	3	4 (0)	1.95
17	池田町	371.91	0	0	0	0	0	7	7 (0)	1.88
18	沼田町	283.21	0	0	0	0	0	5	5 (0)	1.77
19	豊浦町	233.54	0	0	0	0	0	4	4 (0)	1.71
20	鷹栖町	139.44	0	0	0	0	0	2	2 (0)	1.43
21	北竜町	158.82	0	0	0	0	0	2	2 (0)	1.26
22	津別町	716.60	0	0	0	0	2	7	9 (0)	1.26
23	占冠村	571.31	0	0	0	0	0	7	7 (0)	1.23
24	むかわ町	712.91	0	0	0	0	0	7	7 (0)	0.98
25	蘭越町	449.68	0	0	0	0	1	3 (2)	4 (2)	0.89
26	標茶町	1,099.41	0	0	0	0	1	8	9 (0)	0.82
27	美幌町	438.36	0	0	0	0	0	3	3 (0)	0.68
28	恵庭市	294.87	0	0	0	0	0	2	2 (0)	0.68
29	三笠市	302.64	0	0	0	0	0	2 (2)	2 (2)	0.66
30	羽幌町	472.53	0	0	0	0	0	3	3 (0)	0.63
31	上湧別町	161.39	0	0	0	0	0	1	1 (0)	0.62
32	中標津町	684.98	0	0	0	0	0	4	4 (0)	0.58
33	石狩市	721.86	0	0	0	0	0	4	4 (0)	0.55
34	興部町	362.45	0	0	0	0	0	2	2 (0)	0.55
35	浦幌町	729.64	0	0	0	0	1	3	4 (0)	0.55
36	下川町	644.20	0	0	0	0	0	3	3 (0)	0.47
37	別海町	1,320.22	0	0	0	0	0	6	6 (0)	0.45
38	南富良野町	665.52	0	0	0	0	1	2	3 (0)	0.45
39	美深町	672.14	0	0	0	0	0	3	3 (0)	0.45
40	上士幌町	694.09	0	0	0	0	0	3	3 (0)	0.43
41	平取町	743.16	0	0	0	0	0	3	3 (0)	0.40
42	日高町	992.67	0	0	0	0	1	3	4 (0)	0.40
43	愛別町	249.71	0	0	0	0	0	1	1 (0)	0.40
44	猿払村	590.00	0	0	0	0	0	2	2 (0)	0.34
45	西興部村	308.12	0	0	0	0	0	1	1 (0)	0.32
46	白糠町	773.75	0	0	0	0	0	2	2 (0)	0.26
47	厚真町	404.56	0	0	0	0	0	1	1 (0)	0.25
48	遠軽町	1,332.32	0	0	0	0	0	3	3 (0)	0.23
49	八雲町	955.98	0	0	0	0	0	2 (2)	2 (2)	0.21
50	上川町	1,049.24	0	0	0	0	1	0	1 (0)	0.10
51	北見市	1,427.56	0	0	0	0	0	1	1 (0)	0.07

市町村福祉輸送 実施市町村(29市町村)										
順位	市町村名	面積(Km ²) 全国都道府県市区町村別面積調(H20、国土地理院)	車両台数							面積100km ² あたりの車両 台数
			寝台車 (うち軽自動車)	車いす車 (うち軽自動車)	兼用車 (うち軽自動車)	回転シート車 (うち軽自動車)	セダン車 (うち軽自動車)	バス (うち軽自動車)	車両台数計 (うち軽自動車)	
	全道	83,456.58	3	21	9	4	53	2	92	0.11
1	厚沢部町	460.42	0	2 (1)	0	0	16 (9)	0	18 (10)	3.91
2	豊浦町	233.54	0	1	0	0	6 (4)	0	7 (4)	3.00
3	浜中町	423.43	1	0	0	1	9	0	11 (0)	2.60
4	利尻富士町	105.69	0	0	0	0	2	0	2 (0)	1.89
5	苫前町	454.53	0	1	0	0	6 (5)	0	7 (5)	1.54
6	赤井川村	280.11	0	0	1	0	3	0	4 (0)	1.43
7	南幌町	81.49	0	0	1	0	0	0	1 (0)	1.23
8	江差町	109.59	0	0	1	0	0	0	1 (0)	0.91
9	黒松内町	345.47	0	1	0	0	0	2	3 (0)	0.87
10	安平町	237.13	0	2	0	0	0	0	2 (0)	0.84
11	上富良野町	237.18	0	2 (1)	0	0	0	0	2 (1)	0.84
12	剣淵町	131.20	1	0	0	0	0	0	1 (0)	0.76
13	鷹栖町	139.44	0	0	1	0	0	0	1 (0)	0.72
14	恵庭市	294.87	0	2 (1)	0	0	0	0	2 (1)	0.68
15	新ひだか町	1,147.75	0	1	1	0	5 (4)	0	7 (4)	0.61
16	鶴居村	571.84	0	0	0	0	3	0	3 (0)	0.52
17	幌延町	574.27	0	1	0	0	2	0	3 (0)	0.52
18	栗山町	203.84	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.49
19	東川町	247.06	0	0	1	0	0	0	1 (0)	0.40
20	釧路市	1,362.75	0	0	2	3 (1)	0	0	5 (1)	0.37
21	三笠市	302.64	0	0	1	0	0	0	1 (0)	0.33
22	湧別町	344.35	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.29
23	厚真町	404.56	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.25
24	日高町	992.67	0	1	0	0	1	0	2 (0)	0.20
25	中川町	594.87	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.17
26	美深町	672.14	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.15
27	むかわ町	712.91	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.14
28	別海町	1,320.22	1	0	0	0	0	0	1 (0)	0.08
29	北見市	1,427.56	0	1	0	0	0	0	1 (0)	0.07

一般乗用旅客自動車運送事業 実施市町村(64市町村)							
順位	市町村名	面積(Km ²) 全国都道府県市区町 村別面積調(H20、国 土地院)	団体数 等	車両台数			面積100km ² あたりの車両 台数
				事業用車 両数	ぶら下が (自家用車)	計	
	全道	83,456.58	390	531	917	1448	1.74
1	札幌市	1,121.12	173	230	405	635	56.64
2	余市町	140.60	4	9	36	45	32.01
3	小樽市	243.30	17	19	55	74	30.42
4	室蘭市	80.65	6	6	13	19	23.56
5	留萌市	297.44	6	6	37	43	14.46
6	苫小牧市	561.49	12	12	43	55	9.80
7	鷹栖町	139.44	2	2	11	13	9.32
8	旭川市	747.60	19	36	28	64	8.56
9	函館市	677.91	18	21	20	41	6.05
10	帯広市	618.94	5	12	22	34	5.49
11	千歳市	594.95	4	12	20	32	5.38
12	乙部町	162.56	1	4	4	8	4.92
13	浦河町	694.24	2	9	22	31	4.47
14	紋別市	830.70	7	8	27	35	4.21
15	北見市	1,427.56	13	23	37	60	4.20
16	別海町	1,320.22	1	1	50	51	3.86
17	伊達市	444.28	3	3	14	17	3.83
18	江別市	187.57	6	7	0	7	3.73
19	滝川市	115.82	3	4	0	4	3.45
20	共和町	304.96	1	1	9	10	3.28
21	登別市	212.11	2	2	4	6	2.83
22	七飯町	216.61	4	4	2	6	2.77
23	恵庭市	294.87	3	4	4	8	2.71
24	北広島市	118.54	3	3	0	3	2.53
25	福島町	187.23	1	1	3	4	2.14
26	厚沢部町	460.42	2	2	6	8	1.74
27	岩見沢市	481.10	5	8	0	8	1.66
28	増毛町	369.68	1	3	3	6	1.62
29	羽幌町	472.53	4	4	3	7	1.48
30	栗山町	203.84	3	3	0	3	1.47
31	中標津町	684.98	3	3	7	10	1.46
32	釧路市	1,362.75	4	17	1	18	1.32
33	新ひだか町	1,147.75	2	2	13	15	1.31
34	音更町	466.09	3	3	3	6	1.29
35	砂川市	78.69	1	1	0	1	1.27
36	安平町	237.13	1	1	2	3	1.27
37	当別町	422.71	2	2	3	5	1.18
38	奈井江町	88.05	1	1	0	1	1.14
39	美幌町	438.36	3	4	0	4	0.91
40	石狩市	721.86	5	6	0	6	0.83
41	美瑛市	277.61	2	2	0	2	0.72
42	仁木町	167.93	1	1	0	1	0.60
43	古平町	188.41	1	1	0	1	0.53
44	北斗市	397.30	2	2	0	2	0.50
45	鹿追町	402.86	1	1	1	2	0.50
46	佐呂間町	404.99	1	2	0	2	0.49
47	標茶町	1,099.41	2	2	3	5	0.45
48	豊浦町	233.54	1	1	0	1	0.43
49	網走市	471.00	3	2	0	2	0.42
50	深川市	529.23	2	2	0	2	0.38
51	名寄市	535.23	2	2	0	2	0.37
52	小清水町	287.04	1	1	0	1	0.35
53	三笠市	302.64	1	1	0	1	0.33
54	日高町	992.67	2	1	2	3	0.30
55	遠軽町	1,332.32	1	1	3	4	0.30
56	厚岸町	739.07	1	1	1	2	0.27
57	平取町	743.16	2	2	0	2	0.27
58	浜中町	423.43	1	1	0	1	0.24
59	幕別町	478.00	1	1	0	1	0.21
60	新十津川町	495.62	1	1	0	1	0.20
61	根室市	512.71	1	1	0	1	0.20
62	芽室町	513.91	2	1	0	1	0.19
63	せたな町	638.67	1	1	0	1	0.16
64	上士幌町	694.09	1	1	0	1	0.14

特定旅客自動車運送事業 実施市町村(13市町村)							
順位	市町村名	面積(Km ²) 全国都道府県市区町村別面積調(H20、国土地理院)	団体数 等	車両台数			面積100km ² あたりの車両 台数
				事業用車 両数	ぶら下がり (自家用車)	計	
	全道	83,456.58	52	36	194	230	0.28
203	小樽市	243.30	13	12	50	62	25.48
234	北広島市	118.54	3	2	23	25	21.09
100	札幌市	1,121.12	17	10	68	78	6.96
231	恵庭市	294.87	1	1	8	9	3.05
207	帯広市	618.94	4	4	14	18	2.91
230	登別市	212.11	1	1	3	4	1.89
204	旭川市	747.60	3	1	12	13	1.74
641	大樹町	816.38	1	1	11	12	1.47
236	北斗市	397.30	1	1	3	4	1.01
208	北見市	1,427.56	1	3	2	5	0.35
202	函館市	677.91	5	台数不明			
206	釧路市	1,362.75	1	台数不明			
213	苫小牧市	561.49	1	台数不明			

道内の市町村別人口と福祉運送

順位	市町村名	人 口 (H21.3末)			自家用有償旅客運送事業								旅客自動車運送事業			
					福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送							
		交通空白地運送		市町村福祉運送					一般乗用旅客自動車運送事業		特定旅客自動車運送事業					
		団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	
	北海道	5,543,556	2,631,725	2,911,831	251	1,309	10	58	52	210	29	92	390	1,448	52	230
1	札幌市	1,884,939	888,900	996,039	59	233		0		0		0	173	635	17	78
2	旭川市	354,559	165,549	189,010	3	19		0		0		0	19	64	3	13
3	函館市	284,910	130,429	154,481	1	3		0		0		0	18	41	5	0
4	釧路市	187,569	88,996	98,573	2	57		0		0	1	5	4	18	1	0
5	苫小牧市	173,572	84,783	88,789	8	31		0		0		0	12	55	1	0
6	帯広市	168,532	80,620	87,912	6	36		0		0		0	5	34	4	18
7	小樽市	135,500	61,546	73,954									17	74	13	62
8	北見市	125,977	60,136	65,841	6	37		0	1	1	1	1	13	60	1	5
9	江別市	122,344	58,419	63,925									6	7		0
10	室蘭市	96,050	46,170	49,880	3	33		0		0		0	6	19		0
11	千歳市	92,732	47,322	45,410	4	13		0		0		0	4	32		0
12	岩見沢市	91,191	42,879	48,312	1	1		0		0		0	5	8		0
13	恵庭市	68,483	33,734	34,749	2	14		0	1	2	1	2	3	8	1	9
14	石狩市	61,191	29,650	31,541	5	28		0	1	4		0	5	6		0
15	北広島市	60,802	29,373	31,429	6	51		0		0		0	3	3	3	25
16	登別市	52,572	25,096	27,476	1	4		0		0		0	2	6	1	4
17	北斗市	49,371	23,434	25,937	1	2		0		0		0	2	2	1	4
18	音更町	45,005	21,420	23,585	3	22		0		0		0	3	6		0
19	滝川市	44,005	20,736	23,269									3	4		0
20	稚内市	39,527	19,370	20,157												
21	網走市	39,420	19,368	20,052	4	22		0		0		0	3	2		0
22	伊達市	37,058	17,356	19,702	3	7		0		0		0	3	17		0
23	名寄市	30,919	14,957	15,962									2	2		0
24	根室市	30,209	14,504	15,705	2	8		0		0		0	1	1		0
25	七飯町	28,930	13,370	15,560	1	1		0		0		0	4	6		0
26	幕別町	27,364	13,058	14,306	1	3		0		0		0	1	1		0
27	美唄市	26,938	12,762	14,176		0		0	1	15		0	2	2		0
28	新ひだか町	26,139	12,770	13,369	2	4	1	2		0	1	7	2	15		0
29	留萌市	25,459	12,229	13,230	1	3		0		0		0	6	43		0
30	紋別市	25,248	12,005	13,243									7	35		0
31	富良野市	24,488	11,585	12,903												
32	深川市	24,220	11,292	12,928									2	2		0
33	中標津町	24,040	11,748	12,292		0		0	1	4		0	3	10		0
34	遠軽町	22,840	11,063	11,777	1	27		0	1	3		0	1	4		0
35	士別市	22,666	10,666	12,000	2	21		0		0		0		0		0
36	美幌町	22,193	10,797	11,396	1	1		0	1	3		0	3	4		0
37	余市町	21,702	10,119	11,583	2	7		0		0		0	4	45		0
38	釧路町	21,323	10,370	10,953												
39	白老町	20,148	9,648	10,500	4	58		0		0		0		0		0
40	芽室町	19,392	9,282	10,110									2	1		0
41	砂川市	19,349	9,008	10,341									1	1		0
42	八雲町	19,335	9,409	9,926		0		0	1	2		0		0		0
43	当別町	18,958	9,266	9,692	4	11		0		0		0	2	5		0
44	森町	18,433	8,789	9,644	2	19		0		0		0		0		0
45	芦別市	17,610	8,147	9,463												
46	別海町	16,207	8,084	8,123	5	28		0	1	6	1	1	1	51		0
47	岩内町	15,437	7,202	8,235	1	6		0		0		0		0		0
48	倶知安町	15,393	7,628	7,765	2	12		0		0		0		0		0
49	浦河町	14,507	7,081	7,426	3	17		0		0		0	2	31		0
50	日高町	14,059	6,942	7,117	2	10		0	1	4	1	2	2	3		0
51	栗山町	13,739	6,465	7,274		0		0	1	7	1	1	3	3		0
52	赤平市	13,258	6,105	7,153												
53	斜里町	12,846	6,292	6,554	1	4		0		0		0		0		0
54	長沼町	12,168	5,885	6,283	1	7		0	1	7		0		0		0
55	上富良野町	12,071	6,080	5,991	2	5		0	1	5	1	2		0		0
56	夕張市	11,633	5,443	6,190	3	9		0		0		0		0		0
57	美瑛町	11,105	5,250	5,855												
58	三笠市	11,015	5,001	6,014		0		0	1	2	1	1	1	1		0
59	厚岸町	11,014	5,236	5,778	1	9		0		0		0	1	2		0
60	洞爺湖町	10,518	4,926	5,592	2	3	2	12		0		0		0		0
61	清水町	10,366	5,053	5,313	2	3		0		0		0		0		0
62	せたな町	10,107	4,788	5,319	1	3		0		0		0	1	1		0
63	白糠町	9,934	4,706	5,228	1	32		0	1	2		0		0		0
64	むかわ町	9,919	4,874	5,045	1	3		0	1	7	1	1		0		0
65	松前町	9,568	4,596	4,972	1	10		0		0		0		0		0

順位	市町村名	人 口 (H21.3末)			自家用有償旅客運送事業								旅客自動車運送事業			
					福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送							
		総 数	男	女	福祉有償運送		過疎地有償運送		交通空白地運送		市町村福祉運送		一般乗用旅客自動車運送事業		特定旅客自動車運送事業	
					団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数
66	東神楽町	9,433	4,461	4,972	1	8		0	1	5		0		0		0
67	江差町	9,412	4,445	4,967	2	7		0		0	1	1		0		0
68	枝幸町	9,396	4,488	4,908	1	2		0		0		0		0		0
69	安平町	9,116	4,539	4,577		0		0		0	1	2	1	3		0
70	南幌町	9,028	4,370	4,658	3	9		0			1	1		0		0
71	本別町	8,564	4,204	4,360	2	13		0	1	10		0		0		0
72	弟子屈町	8,535	4,069	4,466												
73	標茶町	8,502	4,115	4,387		0		0	1	9		0	2	5		0
74	羽幌町	8,368	3,984	4,384	1	3		0	1	3		0	4	7		0
75	大空町	8,359	4,080	4,279	4	10		0		0		0		0		0
76	広尾町	8,161	3,937	4,224	1	4		0		0		0		0		0
77	池田町	7,995	3,718	4,277		0		0	1	7		0		0		0
78	足寄町	7,969	3,891	4,078	2	4		0		0		0		0		0
79	東川町	7,783	3,707	4,076	1	5		0	1	5	1	1		0		0
80	鷹栖町	7,600	3,600	4,000		0		0	1	2	1	1	2	13		0
81	新十津川町	7,397	3,434	3,963	1	3		0		0		0	1	1		0
82	当麻町	7,396	3,455	3,941	3	29		0	1	4		0		0		0
83	新得町	6,822	3,335	3,487	2	5		0		0		0		0		0
84	共和町	6,755	3,338	3,417	1	2		0		0		0	1	10		0
85	浜中町	6,735	3,264	3,471		0		0		0	1	11	1	1		0
86	士幌町	6,624	3,161	3,463	1	3		0		0		0		0		0
87	奈井江町	6,500	3,078	3,422	1	3		0	1	2		0	1	1		0
88	長万部町	6,386	2,967	3,419												
89	由仁町	6,242	2,991	3,251	1	4		0		0		0		0		0
90	今金町	6,190	2,963	3,227	1	3		0		0		0		0		0
91	大樹町	6,185	2,982	3,203	1	3		0		0		0		0	1	12
92	上ノ国町	6,172	2,932	3,240	1	4		0		0		0		0		0
93	羅臼町	6,130	3,052	3,078	2	30		0		0		0		0		0
94	佐呂間町	6,040	2,881	3,159		0		0	1	0		0	1	2		0
95	津別町	5,945	2,849	3,096		0		0	1	9		0		0		0
96	新冠町	5,901	2,875	3,026												
97	標津町	5,858	2,844	3,014												
97	浦幌町	5,858	2,810	3,048	2	7		0	1	4		0		0		0
99	平取町	5,757	2,791	2,966		0		0	1	3		0	2	2		0
100	訓子府町	5,744	2,767	2,977												
101	鹿追町	5,694	2,842	2,852	2	5		0		0		0	1	2		0
102	中富良野町	5,648	2,696	2,952												
103	えりも町	5,624	2,797	2,827	1	3		0		0		0		0		0
104	小清水町	5,557	2,627	2,930	1	4		0		0		0	1	1		0
105	上湧別町	5,552	2,630	2,922	2	16		0	1	1		0		0		0
106	木古内町	5,531	2,618	2,913	1	4		0		0		0		0		0
107	蘭越町	5,530	2,653	2,877		0		0	1	4		0		0		0
108	増毛町	5,411	2,487	2,924									1	6		0
109	福島町	5,398	2,537	2,861	1	1		0		0		0	1	4		0
110	様似町	5,380	2,549	2,831	1	3		0		0		0		0		0
111	知内町	5,296	2,577	2,719		0	1	20		0		0		0		0
112	上士幌町	5,233	2,545	2,688	1	1		0	1	3		0	1	1		0
113	美深町	5,158	2,460	2,698		0		0	1	3	1	1		0		0
114	雄武町	5,021	2,387	2,634												
115	厚真町	4,890	2,369	2,521		0		0	1	1	1	1		0		0
116	湧別町	4,853	2,345	2,508		0		0	1	8	1	1		0		0
117	歌志内市	4,759	2,171	2,588												
118	清里町	4,708	2,309	2,399	2	6		0		0		0		0		0
119	厚沢部町	4,680	2,277	2,403	1	19		0		0	1	18	2	8		0
120	鹿部町	4,674	2,280	2,394		0	1	5		0		0		0		0
121	二セコ町	4,673	2,255	2,418												
122	豊浦町	4,622	2,177	2,445		0		0	1	4	1	7	1	1		0
123	乙部町	4,586	2,128	2,458									1	8		0
124	豊富町	4,578	2,271	2,307	1	7		0		0		0		0		0
125	上川町	4,403	2,070	2,333		0		0	1	1		0		0		0
126	興部町	4,393	2,141	2,252		0		0	1	2		0		0		0
127	比布町	4,271	2,026	2,245	1	3		0		0		0		0		0
128	浜頓別町	4,231	2,054	2,177	1	4		0		0		0		0		0
129	上砂川町	4,156	1,888	2,268												
130	和寒町	4,069	1,890	2,179		0		0	1	5		0		0		0

順位	市町村名	人 口 (H21.3末)			自家用有償旅客運送事業								旅客自動車運送事業			
					福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送							
		交通空白地運送		市町村福祉運送					一般乗用旅客自動車運送事業		特定旅客自動車運送事業					
		団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	
131	中札内村	4,004	1,971	2,033	1	1		0		0		0		0		0
132	月形町	3,933	1,933	2,000	3	12		0		0		0		0		0
133	古平町	3,896	1,823	2,073	2	19		0		0		0	1	1		0
134	仁木町	3,874	1,864	2,010	1	3		0		0		0	1	1		0
135	小平町	3,843	1,841	2,002												
136	下川町	3,788	1,790	1,998	1	6		0	1	3		0		0		0
137	沼田町	3,786	1,788	1,998		0		0	1	5		0		0		0
138	苫前町	3,776	1,763	2,013		0		0		0	1	7		0		0
139	剣淵町	3,741	1,781	1,960	2	10		0	1	3	1	1		0		0
140	豊頃町	3,709	1,760	1,949	2	5		0		0		0		0		0
141	妹背牛町	3,706	1,759	1,947		0		0	1	1		0		0		0
142	新篠津村	3,681	1,793	1,888	1	5		0	1	2		0		0		0
143	天塩町	3,669	1,798	1,871	1	1		0		0		0		0		0
144	寿都町	3,568	1,716	1,852												
145	愛別町	3,528	1,682	1,846	1	3		0	1	1		0		0		0
146	置戸町	3,463	1,626	1,837												
147	更別村	3,459	1,701	1,758	1	4		0		0		0		0		0
148	京極町	3,444	1,659	1,785	1	5		0		0		0		0		0
149	奥尻町	3,343	1,688	1,655	1	4		0	1	7		0		0		0
150	滝上町	3,235	1,514	1,721												
151	黒松内町	3,219	1,526	1,693	1	8		0		0	1	3		0		0
152	遠別町	3,139	1,524	1,615												
153	礼文町	3,111	1,521	1,590	1	8		0		0		0		0		0
154	雨竜町	3,019	1,441	1,578												
155	壮瞥町	2,995	1,420	1,575												
156	利尻富士町	2,975	1,417	1,558		0		0		0	1	2		0		0
157	南富良野町	2,876	1,447	1,429	2	14		0	1	3		0		0		0
158	猿払村	2,855	1,405	1,450		0		0	1	2		0		0		0
159	秩父別町	2,842	1,360	1,482												
160	陸別町	2,790	1,399	1,391	2	7		0		0		0		0		0
161	穂丹町	2,729	1,256	1,473	1	2		0		0		0		0		0
162	幌延町	2,652	1,348	1,304	2	7		0		0	1	3		0		0
163	利尻町	2,574	1,225	1,349												
164	鶴居村	2,573	1,285	1,288		0		0		0	1	3		0		0
165	喜茂別町	2,543	1,275	1,268												
166	浦臼町	2,348	1,134	1,214		0	1	4	1	4		0		0		0
167	北竜町	2,288	1,090	1,198	1	1		0	1	2		0		0		0
168	真狩村	2,283	1,113	1,170	1	6		0		0		0		0		0
169	中頓別町	2,081	1,010	1,071		0		0		0		0		0		0
170	留寿都村	2,025	982	1,043		0	1	4		0		0		0		0
171	泊村	1,983	911	1,072		0	1	4		0		0		0		0
172	島牧村	1,927	909	1,018		0		0		0		0		0		0
173	中川町	1,898	942	956		0		0		0	1	1		0		0
174	幌加内町	1,790	868	922		0	1	3		0		0		0		0
175	初山別村	1,459	702	757	1	4		0		0		0		0		0
176	占冠村	1,259	620	639		0	1	4	1	7		0		0		0
177	赤井川村	1,231	616	615		0		0		0	1	4		0		0
178	西興部村	1,163	560	603		0		0	1	1		0		0		0
179	神恵内村	1,091	511	580												
180	音威子府村	879	458	421												

自家用有償旅客運送事業がない地域(複数地域での運行を申請している事業所を含まない)
 自家用有償旅客運送、旅客自動車運送事業ともない地域

道内の市町村別面積と福祉運送

順位	市町村名	面積(Km ²) 市町村別 面積調 (H20、国 土地理院)	自家用有償旅客運送事業								旅客自動車運送事業			
			福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送				一般乗用旅客自動車運送事業		特定旅客自動車運送事業	
			団体数 等	車両台 数	団体数 等	車両台 数	団体数 等	車両台 数	団体数 等	車両台 数	団体数 等	車両台 数	団体数 等	車両台 数
	北海道	83,457	251	1,309	10	58	52	210	29	92	390	1,448	52	230
1	北見市	1427.56	6	37		0	1	1	1	1	13	60	1	5
2	足寄町	1408.09	2	4		0		0		0		0		0
3	釧路市	1362.75	2	57		0		0	1	5	4	18	1	0
4	遠軽町	1332.32	1	27		0	1	3		0	1	4		0
5	別海町	1320.22	5	28		0	1	6	1	1	1	51		0
6	新ひだか町	1147.75	2	4	1	2		0	1	7	2	15		0
7	札幌市	1121.12	59	233		0		0		0	173	635	17	78
8	士別市	1119.29	2	21		0		0		0		0		0
9	枝幸町	1115.68	1	2		0		0		0		0		0
10	標茶町	1099.41		0		0	1	9		0	2	5		0
11	新得町	1063.79	2	5		0		0		0		0		0
12	上川町	1049.24		0		0	1	1		0		0		0
13	白高町	992.67	2	10		0	1	4	1	2	2	3		0
14	八雲町	955.98		0		0	1	2		0		0		0
15	芦別市	865.02												
16	紋別市	830.7									7	35		0
17	大樹町	816.38	1	3		0		0		0		0	1	12
18	弟子屈町	774.53		0		0		0		0		0		0
19	白糠町	773.75	1	32		0	1	2		0		0		0
20	幌加内町	767.03		0	1	3		0		0		0		0
21	滝上町	766.89												
22	夕張市	763.2	3	9		0		0		0		0		0
23	稚内市	760.83												
24	旭川市	747.6	3	19		0		0		0	19	64	3	13
25	平取町	743.16		0		0	1	3		0	2	2		0
26	厚岸町	739.07	1	9		0		0		0	1	2		0
27	斜里町	737.01	1	4		0		0		0		0		0
28	浦幌町	729.64	2	7		0	1	4		0		0		0
29	石狩市	721.86	5	28		0	1	4		0	5	6		0
30	津別町	716.6		0		0	1	9		0		0		0
31	むかわ町	712.91	1	3		0	1	7	1	1		0		0
32	浦河町	694.24	3	17		0		0		0	2	31		0
33	上士幌町	694.09	1	1		0	1	3		0	1	1		0
34	中標津町	684.98		0		0	1	4		0	3	10		0
35	函館市	677.91	1	3		0		0		0	18	41	5	0
36	美瑛町	677.16												
37	美深町	672.14		0		0	1	3	1	1		0		0
38	南富良野町	665.52	2	14		0	1	3		0		0		0
39	下川町	644.2	1	6		0	1	3		0		0		0
40	せたな町	638.67	1	3		0		0		0	1	1		0
41	雄武町	637.06												
42	小平町	627.29												
43	標津町	624.49												
44	帯広市	618.94	6	36		0		0		0	5	34	4	18
45	陸別町	608.81	2	7		0		0		0		0		0
46	富良野市	600.97												
47	広尾町	596.16	1	4		0		0		0		0		0
48	千歳市	594.95	4	13		0		0		0	4	32		0
49	中川町	594.87		0		0		0	1	1		0		0
50	遠別町	590.86												
51	猿払村	590		0		0	1	2		0		0		0
52	新冠町	585.88												
53	幌延町	574.27	2	7		0		0	1	3		0		0
54	鶴居村	571.84		0		0		0	1	3		0		0
55	占冠村	571.31		0	1	4	1	7		0		0		0
56	今金町	568.14	1	3		0		0		0		0		0
57	苫小牧市	561.49	8	31		0		0		0	12	55	1	0
58	上ノ国町	547.58	1	4		0		0		0		0		0
59	豊頃町	536.52	2	5		0		0		0		0		0
60	名寄市	535.23									2	2		0
61	深川市	529.23									2	2		0
62	置戸町	527.54												
63	豊富町	520.67	1	7		0		0		0		0		0
64	芽室町	513.91									2	1		0
65	根室市	512.71	2	8		0		0		0	1	1		0

順位	市町村名	面積(Km ²) 市町村別 面積調 (H20、国 土地院)	自家用有償旅客運送事業								旅客自動車運送事業			
			福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送				一般乗用旅客自動車運送事業		特定旅客自動車運送事業	
			団体数 等	車両台 数	団体数 等	車両台 数	団体数 等	車両台 数	団体数 等	車両台 数	団体数 等	車両台 数	団体数 等	車両台 数
66	新十津川町	495.62	1	3		0		0		0	1	1		0
67	岩見沢市	481.1	1	1		0		0		0	5	8		0
68	幕別町	478	1	3		0		0		0	1	1		0
69	羽幌町	472.53	1	3		0	1	3		0	4	7		0
70	網走市	471	4	22		0		0		0	3	2		0
71	音更町	466.09	3	22		0		0		0	3	6		0
72	厚沢部町	460.42	1	19		0		0	1	18	2	8		0
73	苫前町	454.53		0		0		0	1	7		0		0
74	蘭越町	449.68		0		0	1	4		0		0		0
75	伊達市	444.28	3	7		0		0		0	3	17		0
76	美幌町	438.36	1	1		0	1	3		0	3	4		0
77	島牧村	437.26												
78	白老町	425.75	4	58		0		0		0		0		0
79	浜中町	423.43		0		0		0	1	11	1	1		0
80	当別町	422.71	4	11		0		0		0	2	5		0
81	佐呂間町	404.99		0		0	1	0		0	1	2		0
82	厚真町	404.56		0		0	1	1	1	1		0		0
83	鹿追町	402.86	2	5		0		0		0	1	2		0
84	清里町	402.73	2	6		0		0		0		0		0
85	清水町	402.18	2	3		0		0		0		0		0
86	浜頓別町	401.56	1	4		0		0		0		0		0
87	中頓別町	398.55												
88	羅臼町	397.88	2	30		0		0		0		0		0
89	北斗市	397.3	1	2		0		0		0	2	2	1	4
90	本別町	391.99	2	13		0	1	10		0		0		0
91	池田町	371.91		0		0	1	7		0		0		0
92	増毛町	369.68									1	6		0
93	森町	368.27	2	19		0		0		0		0		0
94	様似町	364.33	1	3		0		0		0		0		0
95	興部町	362.45		0		0	1	2		0		0		0
96	天塩町	353.31	1	1		0		0		0		0		0
97	黒松内町	345.47	1	8		0		0	1	3		0		0
98	湧別町	344.35		0		0	1	8	1	1		0		0
99	大空町	343.62	4	10		0		0		0		0		0
100	長万部町	310.84												
101	西興部村	308.12		0		0	1	1		0		0		0
102	共和町	304.96	1	2		0		0		0	1	10		0
103	三笠市	302.64		0		0	1	2	1	1	1	1		0
104	留萌市	297.44	1	3		0		0		0	6	43		0
105	恵庭市	294.87	2	14		0	1	2	1	2	3	8	1	9
106	松前町	293.1	1	10		0		0		0		0		0
107	中札内村	292.69	1	1		0		0		0		0		0
108	小清水町	287.04	1	4		0		0		0	1	1		0
109	えりも町	283.93	1	3		0		0		0		0		0
110	沼田町	283.21		0		0	1	5		0		0		0
111	赤井川村	280.11		0		0		0	1	4		0		0
112	初山別村	280.04	1	4		0		0		0		0		0
113	美瑛市	277.61		0		0	1	15		0	2	2		0
114	音威子府村	275.64												
115	倶知安町	261.24	2	12		0		0		0		0		0
116	士幌町	259.13	1	3		0		0		0		0		0
117	釧路町	252.6												
118	愛別町	249.71	1	3		0	1	1		0		0		0
119	東川町	247.06	1	5		0	1	5	1	1		0		0
120	小樽市	243.3									17	74	13	62
121	積丹町	238.2	1	2		0		0		0		0		0
122	上富良野町	237.18	2	5		0	1	5	1	2		0		0
123	安平町	237.13		0		0		0	1	2	1	3		0
124	豊浦町	233.54		0		0	1	4	1	7	1	1		0
125	京極町	231.61	1	5		0		0		0		0		0
126	和寒町	224.83		0		0	1	5		0		0		0
127	木古内町	221.88	1	4		0		0		0		0		0
128	七飯町	216.61	1	1		0		0		0	4	6		0
129	登別市	212.11	1	4		0		0		0	2	6	1	4
130	壮瞥町	205.04												

順位	市町村名	面積(Km ²) 市町村別 面積調 (H20、国 土地理院)	自家用有償旅客運送事業								旅客自動車運送事業			
			福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送				一般乗用旅客自動車運送事業		特定旅客自動車運送事業	
							交通空白地運送		市町村福祉運送					
			団体数 等	車両台 数	団体数 等	車両台 数	団体数 等	車両台 数	団体数 等	車両台 数	団体数 等	車両台 数	団体数 等	車両台 数
131	当麻町	204.95	3	29		0	1	4		0		0		0
132	栗山町	203.84		0		0	1	7	1	1	3	3		0
133	二セコ町	197.13												
134	知内町	196.67		0	1	20		0		0		0		0
135	雨竜町	190.91												
136	訓子府町	190.89												
137	喜茂別町	189.51												
138	古平町	188.41	2	19		0		0		0	1	1		0
139	江別市	187.57									6	7		0
140	福島町	187.23	1	1		0		0		0	1	4		0
141	洞爺湖町	180.54	2	3	2	12		0		0		0		0
142	更別村	176.45	1	4		0		0		0		0		0
143	長沼町	168.36	1	7		0	1	7		0		0		0
144	仁木町	167.93	1	3		0		0		0	1	1		0
145	乙部町	162.56									1	8		0
146	上湧別町	161.39	2	16		0	1	1		0		0		0
147	北竜町	158.82	1	1		0	1	2		0		0		0
148	月形町	151.05	3	12		0		0		0		0		0
149	神恵内村	147.71		0		0		0		0		0		0
150	奥尻町	142.98	1	4		0	1	7		0		0		0
151	余市町	140.6	2	7		0		0		0	4	45		0
152	鷹栖町	139.44		0		0	1	2	1	1	2	13		0
153	由仁町	133.86	1	4		0		0		0		0		0
154	剣淵町	131.2	2	10		0	1	3	1	1		0		0
155	赤平市	129.88												
156	留寿都村	119.92		0	1	4		0		0		0		0
157	北広島市	118.54	6	51		0		0		0	3	3	3	25
158	滝川市	115.82									3	4		0
159	真狩村	114.43	1	6		0		0		0		0		0
160	鹿部町	110.61		0	1	5		0		0		0		0
161	江差町	109.59	2	7		0		0	1	1		0		0
162	中富良野町	108.7												
163	利尻富士町	105.69		0		0		0	1	2		0		0
164	浦臼町	101.08		0	1	4	1	4		0		0		0
165	寿都町	95.37												
166	奈井江町	88.05	1	3		0	1	2		0	1	1		0
167	比布町	87.29	1	3		0		0		0		0		0
168	泊村	82.35		0	1	4		0		0		0		0
169	南幌町	81.49	3	9		0		0	1	1		0		0
170	礼文町	81.33	1	8		0		0		0		0		0
171	室蘭市	80.65	3	33		0		0		0	6	19		0
172	砂川市	78.69									1	1		0
173	新篠津村	78.24	1	5		0	1	2		0		0		0
174	利尻町	76.49												
175	岩内町	70.63	1	6		0		0		0		0		0
176	東神楽町	68.64	1	8		0	1	5		0		0		0
177	歌志内市	55.99												
178	妹背牛町	48.55		0		0	1	1		0		0		0
179	秩父別町	47.26												
180	上砂川町	39.91												

自家用有償旅客運送事業がない地域(複数地域での運行を申請している事業所を含まない)

自家用有償旅客運送、旅客自動車運送事業ともない地域

道内の市町村別高齢化率（65 歳以上）と福祉運送

順位	市町村名	65 歳以上人口		自家用有償旅客運送事業								旅客自動車運送事業			
				福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送				一般乗用旅客自動車運送事業		特定旅客自動車運送事業	
		人口	高齢化率	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数
	北海道	1,315,443	23.7%	251	1,309	10	58	52	210	29	92	390	1,448	52	230
1	夕張市	5,084	43.7%	3	9		0		0		0		0		0
2	三笠市	4,603	41.8%		0		0	1	2	1	1	1	1		0
3	上砂川町	1,726	41.5%												
4	積丹町	1,104	40.5%	1	2		0		0		0		0		0
5	歌志内市	1,886	39.6%												
6	島牧村	739	38.3%												
7	和寒町	1,541	37.9%		0		0	1	5		0		0		0
8	木古内町	2,088	37.8%	1	4		0		0		0		0		0
9	増毛町	2,035	37.6%									1	6		0
10	長万部町	2,391	37.4%												
11	赤平市	4,935	37.2%												
12	滝上町	1,198	37.0%												
13	置戸町	1,282	37.0%												
14	北竜町	846	37.0%	1	1		0	1	2		0		0		0
15	芦別市	6,505	36.9%												
16	古平町	1,433	36.8%	2	19		0		0		0	1	1		0
17	下川町	1,391	36.7%	1	6		0	1	3		0		0		0
18	苫前町	1,384	36.7%		0		0		0	1	7		0		0
19	津別町	2,166	36.4%		0		0	1	9		0		0		0
20	上川町	1,604	36.4%		0		0	1	1		0		0		0
21	秩父別町	1,035	36.4%												
22	幌加内町	651	36.4%		0	1	3		0		0		0		0
23	利尻町	935	36.3%												
24	神恵内村	395	36.2%												
25	愛別町	1,273	36.1%	1	3		0	1	1		0		0		0
26	せたな町	3,645	36.1%	1	3		0		0		0	1	1		0
27	福島町	1,927	35.7%	1	1		0		0		0	1	4		0
28	松前町	3,411	35.7%	1	10		0		0		0		0		0
29	比布町	1,520	35.6%	1	3		0		0		0		0		0
30	寿都町	1,268	35.5%												
31	妹背牛町	1,314	35.5%		0		0	1	1		0		0		0
32	浦臼町	832	35.4%		0	1	4	1	4		0		0		0
33	利尻富士町	1,050	35.3%		0		0		0	1	2		0		0
34	陸別町	984	35.3%	2	7		0		0		0		0		0
35	中川町	669	35.2%		0		0		0	1	1		0		0
36	小平町	1,335	34.7%												
37	初山別村	505	34.6%	1	4		0		0		0		0		0
38	羽幌町	2,880	34.4%	1	3		0	1	3		0	4	7		0
39	泊村	680	34.3%		0	1	4		0		0		0		0
40	沼田町	1,298	34.3%		0		0	1	5		0		0		0
41	美深町	1,763	34.2%		0		0	1	3	1	1		0		0
42	喜茂別町	868	34.1%												
43	当麻町	2,514	34.0%	3	29		0	1	4		0		0		0
44	遠別町	1,066	34.0%												
45	厚沢部町	1,575	33.7%	1	19		0		0	1	18	2	8		0
46	乙部町	1,542	33.6%									1	8		0
47	上湧別町	1,860	33.5%	2	16		0	1	1		0		0		0
48	中頓別町	697	33.5%		0		0		0		0		0		0
49	奈井江町	2,173	33.4%	1	3		0	1	2		0	1	1		0
50	仁木町	1,294	33.4%	1	3		0		0		0	1	1		0
51	黒松内町	1,074	33.4%	1	8		0		0	1	3		0		0
52	深川市	8,011	33.1%									2	2		0
53	池田町	2,642	33.0%		0		0	1	7		0		0		0
54	由仁町	2,062	33.0%	1	4		0		0		0		0		0
55	足寄町	2,628	33.0%	2	4		0		0		0		0		0
56	月形町	1,297	33.0%	3	12		0		0		0		0		0
57	美瑛町	3,655	32.9%												
58	剣淵町	1,225	32.7%	2	10		0	1	3	1	1		0		0
59	豊頃町	1,212	32.7%	2	5		0		0		0		0		0
60	雨竜町	986	32.7%												
61	今金町	2,018	32.6%	1	3		0		0		0		0		0
62	厚真町	1,592	32.6%		0		0	1	1	1	1		0		0
63	壮瞥町	973	32.5%												
64	豊浦町	1,501	32.5%		0		0	1	4	1	7	1	1		0
65	礼文町	1,004	32.3%	1	8		0		0		0		0		0

順位	市町村名	65歳以上人口		自家用有償旅客運送事業								旅客自動車運送事業			
				福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送				一般乗用旅客自動車運送事業		特定旅客自動車運送事業	
		人口	高齢化率	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数
66	蘭越町	1,783	32.2%		0		0	1	4		0		0		0
67	浦幌町	1,888	32.2%	2	7		0	1	4		0		0		0
68	本別町	2,759	32.2%	2	13		0	1	10		0		0		0
69	佐呂間町	1,932	32.0%		0		0	1	0		0	1	2		0
70	美幌市	8,603	31.9%		0		0	1	15		0	2	2		0
71	西興部村	370	31.8%		0		0	1	1		0		0		0
72	栗山町	4,364	31.8%		0		0	1	7	1	1	3	3		0
73	新得町	2,161	31.7%	2	5		0		0		0		0		0
74	白老町	6,382	31.7%	4	58		0		0		0		0		0
75	上ノ国町	1,950	31.6%	1	4		0		0		0		0		0
76	洞爺湖町	3,322	31.6%	2	3	2	12		0		0		0		0
77	清里町	1,479	31.4%	2	6		0		0		0		0		0
78	士別市	7,120	31.4%	2	21		0		0		0		0		0
79	上士幌町	1,638	31.3%	1	1		0	1	3		0	1	1		0
80	奥尻町	1,045	31.3%	1	4		0	1	7		0		0		0
81	むかわ町	3,087	31.1%	1	3		0	1	7	1	1		0		0
82	新十津川町	2,302	31.1%	1	3		0		0		0	1	1		0
83	小清水町	1,718	30.9%	1	4		0		0		0	1	1		0
84	砂川市	5,917	30.6%									1	1		0
85	余市町	6,631	30.6%	2	7		0		0		0	4	45		0
86	南富良野町	878	30.5%	2	14		0	1	3		0		0		0
87	小樽市	41,164	30.4%									17	74	13	62
88	訓子府町	1,734	30.2%												
89	様似町	1,619	30.1%	1	3		0		0		0		0		0
90	白糠町	2,979	30.0%	1	32		0	1	2		0		0		0
91	遠軽町	6,829	29.9%	1	27		0	1	3		0	1	4		0
92	雄武町	1,495	29.8%												
93	清水町	3,077	29.7%	2	3		0		0		0		0		0
94	京極町	1,020	29.6%	1	5		0		0		0		0		0
95	湧別町	1,430	29.5%		0		0	1	8	1	1		0		0
96	弟子屈町	2,511	29.4%												
97	真狩村	671	29.4%	1	6		0		0		0		0		0
98	新篠津村	1,079	29.3%	1	5		0	1	2		0		0		0
99	岩内町	4,505	29.2%	1	6		0		0		0		0		0
100	安平町	2,657	29.1%		0		0		0	1	2	1	3		0
101	中富良野町	1,645	29.1%												
102	室蘭市	27,882	29.0%	3	33		0		0		0	6	19		0
103	伊達市	10,704	28.9%	3	7		0		0		0	3	17		0
104	知内町	1,525	28.8%		0	1	20		0		0		0		0
105	平取町	1,657	28.8%		0		0	1	3		0	2	2		0
106	江差町	2,688	28.6%	2	7		0		0	1	1		0		0
107	大樹町	1,765	28.5%	1	3		0		0		0		0	1	12
108	森町	5,210	28.3%	2	19		0		0		0		0		0
109	広尾町	2,305	28.2%	1	4		0		0		0		0		0
110	赤井川村	347	28.2%		0		0		0	1	4		0		0
111	標茶町	2,396	28.2%		0		0	1	9		0	2	5		0
112	厚岸町	3,102	28.2%	1	9		0		0		0	1	2		0
113	長沼町	3,423	28.1%	1	7		0	1	7		0		0		0
114	共和町	1,899	28.1%	1	2		0		0		0	1	10		0
115	大空町	2,342	28.0%	4	10		0		0		0		0		0
116	紋別市	7,067	28.0%									7	35		0
117	枝幸町	2,622	27.9%	1	2		0		0		0		0		0
118	興部町	1,225	27.9%		0		0	1	2		0		0		0
119	天塩町	1,022	27.9%	1	1		0		0		0		0		0
120	音威子府村	244	27.8%												
121	日高町	3,847	27.4%	2	10		0	1	4	1	2	2	3		0
122	東川町	2,126	27.3%	1	5		0	1	5	1	1		0		0
123	登別市	14,354	27.3%	1	4		0		0		0	2	6	1	4
124	岩見沢市	24,339	26.7%	1	1		0		0		0	5	8		0
125	斜里町	3,422	26.6%	1	4		0		0		0		0		0
126	美幌町	5,907	26.6%	1	1		0	1	3		0	3	4		0
127	新冠町	1,567	26.6%												
128	豊富町	1,215	26.5%	1	7		0		0		0		0		0
129	留萌市	6,751	26.5%	1	3		0		0		0	6	43		0
130	滝川市	11,667	26.5%									3	4		0

順位	市町村名	65歳以上人口		自家用有償旅客運送事業								旅客自動車運送事業			
				福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送				一般乗用旅客自動車運送事業		特定旅客自動車運送事業	
		人口	高齢化率	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数
131	名寄市	8,197	26.5%									2	2		0
132	函館市	75,276	26.4%	1	3		0		0		0	18	41	5	0
133	浜頓別町	1,115	26.4%	1	4		0		0		0		0		0
134	鹿部町	1,231	26.3%		0	1	5		0		0		0		0
135	士幌町	1,739	26.3%	1	3		0		0		0		0		0
136	新ひだか町	6,852	26.2%	2	4	1	2		0	1	7	2	15		0
137	鷹栖町	1,987	26.1%		0		0	1	2	1	1	2	13		0
138	留寿都村	529	26.1%		0	1	4		0		0		0		0
139	更別村	902	26.1%	1	4		0		0		0		0		0
140	八雲町	5,040	26.1%		0		0	1	2		0		0		0
141	鶴居村	669	26.0%		0		0		0	1	3		0		0
142	富良野市	6,346	25.9%												
143	七飯町	7,475	25.8%	1	1		0		0		0	4	6		0
144	浜中町	1,718	25.5%		0		0		0	1	11	1	1		0
145	二セコ町	1,192	25.5%												
146	根室市	7,677	25.4%	2	8		0		0		0	1	1		0
147	浦河町	3,624	25.0%	3	17		0		0		0	2	31		0
148	中札内村	990	24.7%	1	1		0		0		0		0		0
149	鹿追町	1,406	24.7%	2	5		0		0		0	1	2		0
150	旭川市	87,355	24.6%	3	19		0		0		0	19	64	3	13
151	上富良野町	2,963	24.5%	2	5		0	1	5	1	2		0		0
152	北見市	30,656	24.3%	6	37		0	1	1	1	1	13	60	1	5
153	えりも町	1,361	24.2%	1	3		0		0		0		0		0
154	幕別町	6,605	24.1%	1	3		0		0		0	1	1		0
155	幌延町	640	24.1%	2	7		0		0	1	3		0		0
156	占冠村	301	23.9%		0	1	4	1	7		0		0		0
157	釧路市	44,823	23.9%	2	57		0		0	1	5	4	18	1	0
158	標津町	1,393	23.8%												
159	稚内市	9,381	23.7%												
160	当別町	4,428	23.4%	4	11		0		0		0	2	5		0
161	網走市	9,070	23.0%	4	22		0		0		0	3	2		0
162	羅臼町	1,383	22.6%	2	30		0		0		0		0		0
163	猿払村	635	22.2%		0		0	1	2		0		0		0
164	芽室町	4,272	22.0%									2	1		0
165	南幌町	1,987	22.0%	3	9		0		0	1	1		0		0
166	石狩市	13,235	21.6%	5	28		0	1	4		0	5	6		0
167	北斗市	10,641	21.6%	1	2		0		0		0	2	2	1	4
168	音更町	9,675	21.5%	3	22		0		0		0	3	6		0
169	帯広市	36,206	21.5%	6	36		0		0		0	5	34	4	18
170	江別市	26,052	21.3%									6	7		0
171	倶知安町	3,259	21.2%	2	12		0		0		0		0		0
172	東神楽町	1,960	20.8%	1	8		0	1	5		0		0		0
173	北広島市	12,550	20.6%	6	51		0		0		0	3	3	3	25
174	別海町	3,341	20.6%	5	28		0	1	6	1	1	1	51		0
175	苫小牧市	34,788	20.0%	8	31		0		0		0	12	55	1	0
176	恵庭市	13,531	19.8%	2	14		0	1	2	1	2	3	8	1	9
177	札幌市	368,001	19.5%	59	233		0		0		0	173	635	17	78
178	中標津町	4,502	18.7%		0		0	1	4		0	3	10		0
179	釧路町	3,916	18.4%												
180	千歳市	15,424	16.6%	4	13		0		0		0	4	32		0

自家用有償旅客運送事業がない地域(複数地域での運行を申請している事業所を含まない)

自家用有償旅客運送、旅客自動車運送事業ともない地域

道内の市町村別前期高齢化率（65 歳以上 75 歳未満）と福祉運送

順位	市町村名	前期高齢者		自家用有償旅客運送事業								旅客自動車運送事業			
				福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送							
		人口	高齢化率	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	交通空白地運送		市町村福祉運送		一般乗用旅客自動車運送事業		特定旅客自動車運送事業	
	北海道	692,359	12.5%	251	1,309	10	58	52	210	29	92	390	1,448	52	230
1	夕張市	2,453	21.1%	3	9		0		0		0		0		0
2	上砂川町	873	21.0%												
3	三笠市	2,179	19.8%		0		0	1	2	1	1	1	1		0
4	上川町	825	18.7%		0		0	1	1		0		0		0
5	赤平市	2,453	18.5%												
6	木古内町	1,022	18.5%	1	4		0		0		0		0		0
7	歌志内市	865	18.2%												
8	松前町	1,732	18.1%	1	10		0		0		0		0		0
9	古平町	701	18.0%	2	19		0		0		0	1	1		0
10	積丹町	482	17.7%	1	2		0		0		0		0		0
11	芦別市	3,101	17.6%												
12	比布町	752	17.6%	1	3		0		0		0		0		0
13	福島町	950	17.6%	1	1		0		0		0	1	4		0
14	中川町	331	17.4%		0		0		0	1	1		0		0
15	島牧村	336	17.4%												
16	乙部町	792	17.3%									1	8		0
17	幌加内町	309	17.3%		0	1	3		0		0		0		0
18	北竜町	391	17.1%	1	1		0	1	2		0		0		0
19	津別町	1,014	17.1%		0		0	1	9		0		0		0
20	和寒町	694	17.1%		0		0	1	5		0		0		0
21	白老町	3,435	17.0%	4	58		0		0		0		0		0
22	喜茂別町	432	17.0%												
23	愛別町	598	17.0%	1	3		0	1	1		0		0		0
24	妹背牛町	628	16.9%		0		0	1	1		0		0		0
25	置戸町	579	16.7%												
26	苫前町	630	16.7%		0		0		0	1	7		0		0
27	秩父別町	474	16.7%												
28	下川町	631	16.7%	1	6		0	1	3		0		0		0
29	滝上町	534	16.5%												
30	せたな町	1,668	16.5%	1	3		0		0		0	1	1		0
31	長万部町	1,053	16.5%												
32	深川市	3,992	16.5%									2	2		0
33	羽幌町	1,371	16.4%	1	3		0	1	3		0	4	7		0
34	寿都町	580	16.3%												
35	小平町	622	16.2%												
36	上湧別町	893	16.1%	2	16		0	1	1		0		0		0
37	由仁町	1,002	16.1%	1	4		0		0		0		0		0
38	奈井江町	1,043	16.0%	1	3		0	1	2		0	1	1		0
39	鹿部町	747	16.0%		0	1	5		0		0		0		0
40	初山別村	233	16.0%	1	4		0		0		0		0		0
41	美深町	823	16.0%		0		0	1	3	1	1		0		0
42	遠別町	500	15.9%												
43	美瑛町	1,765	15.9%												
44	新十津川町	1,168	15.8%	1	3		0		0		0	1	1		0
45	新得町	1,075	15.8%	2	5		0		0		0		0		0
46	当麻町	1,165	15.8%	3	29		0	1	4		0		0		0
47	室蘭市	15,126	15.7%	3	33		0		0		0	6	19		0
48	仁木町	610	15.7%	1	3		0		0		0	1	1		0
49	増毛町	850	15.7%									1	6		0
50	洞爺湖町	1,652	15.7%	2	3	2	12		0		0		0		0
51	本別町	1,342	15.7%	2	13		0	1	10		0		0		0
52	雨竜町	473	15.7%												
53	中頓別町	326	15.7%												
54	壮瞥町	469	15.7%												
55	利尻町	403	15.7%												
56	弟子屈町	1,332	15.6%												
57	栗山町	2,144	15.6%		0		0	1	7	1	1	3	3		0
58	白糠町	1,546	15.6%	1	32		0	1	2		0		0		0
59	池田町	1,243	15.5%		0		0	1	7		0		0		0
60	足寄町	1,237	15.5%	2	4		0		0		0		0		0
61	砂川市	2,999	15.5%									1	1		0
62	厚沢部町	725	15.5%	1	19		0		0	1	18	2	8		0
63	陸別町	432	15.5%	2	7		0		0		0		0		0
64	岩内町	2,387	15.5%	1	6		0		0		0		0		0
65	厚真町	755	15.4%		0		0	1	1	1	1		0		0

順位	市町村名	前期高齢者		自家用有償旅客運送事業								旅客自動車運送事業			
				福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送				一般乗用旅客自動車運送事業		特定旅客自動車運送事業	
		人口	高齢化率	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数
66	土別市	3,499	15.4%	2	21		0		0		0		0		0
67	沼田町	584	15.4%		0		0	1	5		0		0		0
68	清里町	725	15.4%	2	6		0		0		0		0		0
69	上/国町	950	15.4%	1	4		0		0		0		0		0
70	美唄市	4,139	15.4%		0		0	1	15		0	2	2		0
71	小樽市	20,753	15.3%									17	74	13	62
72	上士幌町	796	15.2%	1	1		0	1	3		0	1	1		0
73	浦臼町	357	15.2%		0	1	4	1	4		0		0		0
74	余市町	3,280	15.1%	2	7		0		0		0	4	45		0
75	奥尻町	504	15.1%	1	4		0	1	7		0		0		0
76	遠軽町	3,422	15.0%	1	27		0	1	3		0	1	4		0
77	浦幌町	876	15.0%	2	7		0	1	4		0		0		0
78	伊達市	5,532	14.9%	3	7		0		0		0	3	17		0
79	むかわ町	1,480	14.9%	1	3		0	1	7	1	1		0		0
80	雄武町	747	14.9%												
81	登別市	7,818	14.9%	1	4		0		0		0	2	6	1	4
82	紋別市	3,747	14.8%									7	35		0
83	今金町	914	14.8%	1	3		0		0		0		0		0
84	利尻富士町	439	14.8%		0		0		0	1	2		0		0
85	豊浦町	680	14.7%		0		0	1	4	1	7	1	1		0
86	佐呂間町	888	14.7%		0		0	1	0		0	1	2		0
87	豊頃町	544	14.7%	2	5		0		0		0		0		0
88	厚岸町	1,596	14.5%	1	9		0		0		0	1	2		0
89	小清水町	804	14.5%	1	4		0		0		0	1	1		0
90	広尾町	1,178	14.4%	1	4		0		0		0		0		0
91	様似町	776	14.4%	1	3		0		0		0		0		0
92	剣淵町	539	14.4%	2	10		0	1	3	1	1		0		0
93	留萌市	3,667	14.4%	1	3		0		0		0	6	43		0
94	蘭越町	796	14.4%		0		0	1	4		0		0		0
95	根室市	4,340	14.4%	2	8		0		0		0	1	1		0
96	月形町	562	14.3%	3	12		0		0		0		0		0
97	江差町	1,340	14.2%	2	7		0		0	1	1		0		0
98	滝川市	6,265	14.2%									3	4		0
99	知内町	753	14.2%		0	1	20		0		0		0		0
100	清水町	1,471	14.2%	2	3		0		0		0		0		0
101	泊村	281	14.2%		0	1	4		0		0		0		0
102	礼文町	440	14.1%	1	8		0		0		0		0		0
103	新篠津村	520	14.1%	1	5		0	1	2		0		0		0
104	中富良野町	797	14.1%												
105	平取町	811	14.1%		0		0	1	3		0	2	2		0
106	興部町	617	14.0%		0		0	1	2		0		0		0
107	訓子府町	804	14.0%												
108	安平町	1,271	13.9%		0		0		0	1	2	1	3		0
109	森町	2,566	13.9%	2	19		0		0		0		0		0
110	枝幸町	1,305	13.9%	1	2		0		0		0		0		0
111	黒松内町	446	13.9%	1	8		0		0	1	3		0		0
112	函館市	39,194	13.8%	1	3		0		0		0	18	41	5	0
113	長沼町	1,670	13.7%	1	7		0	1	7		0		0		0
114	岩見沢市	12,505	13.7%	1	1		0		0		0	5	8		0
115	標茶町	1,164	13.7%		0		0	1	9		0	2	5		0
116	美幌町	3,038	13.7%	1	1		0	1	3		0	3	4		0
117	新ひだか町	3,553	13.6%	2	4	1	2		0	1	7	2	15		0
118	神恵内村	148	13.6%												
119	日高町	1,897	13.5%	2	10		0	1	4	1	2	2	3		0
120	東川町	1,047	13.5%	1	5		0	1	5	1	1		0		0
121	共和町	908	13.4%	1	2		0		0		0	1	10		0
122	大樹町	825	13.3%	1	3		0		0		0		0	1	12
123	釧路市	25,014	13.3%	2	57		0		0	1	5	4	18	1	0
124	西興部村	155	13.3%		0		0	1	1		0		0		0
125	斜里町	1,709	13.3%	1	4		0		0		0		0		0
126	稚内市	5,228	13.2%												
127	鶴居村	340	13.2%		0		0		0	1	3		0		0
128	浜頓別町	559	13.2%	1	4		0		0		0		0		0
129	名寄市	4,081	13.2%									2	2		0
130	赤井川村	162	13.2%		0		0		0	1	4		0		0

順位	市町村名	前期高齢者		自家用有償旅客運送事業								旅客自動車運送事業			
				福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送				一般乗用旅客自動車運送事業		特定旅客自動車運送事業	
		人口	高齢化率	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数
131	旭川市	46,626	13.2%	3	19		0		0		0	19	64	3	13
132	京極町	450	13.1%	1	5		0		0		0		0		0
133	七飯町	3,780	13.1%	1	1		0		0		0	4	6		0
134	南富良野町	374	13.0%	2	14		0	1	3		0		0		0
135	富良野市	3,170	12.9%												
136	湧別町	624	12.9%		0		0	1	8	1	1		0		0
137	鷹栖町	976	12.8%		0		0	1	2	1	1	2	13		0
138	北見市	16,169	12.8%	6	37		0	1	1	1	1	13	60	1	5
139	音威子府村	112	12.7%												
140	標津町	745	12.7%												
141	上富良野町	1,529	12.7%	2	5		0	1	5	1	2		0		0
142	幕別町	3,450	12.6%	1	3		0		0		0	1	1		0
143	羅臼町	770	12.6%	2	30		0		0		0		0		0
144	浦河町	1,812	12.5%	3	17		0		0		0	2	31		0
145	大空町	1,041	12.5%	4	10		0		0		0		0		0
146	天塩町	456	12.4%	1	1		0		0		0		0		0
147	中札内村	496	12.4%	1	1		0		0		0		0		0
148	更別村	428	12.4%	1	4		0		0		0		0		0
149	新冠町	729	12.4%												
150	真狩村	282	12.4%	1	6		0		0		0		0		0
151	当別町	2,306	12.2%	4	11		0		0		0	2	5		0
152	浜中町	819	12.2%		0		0		0	1	11	1	1		0
153	八雲町	2,347	12.1%		0		0	1	2		0		0		0
154	網走市	4,742	12.0%	4	22		0		0		0	3	2		0
155	二セコ町	561	12.0%												
156	北広島市	7,231	11.9%	6	51		0		0		0	3	3	3	25
157	豊富町	543	11.9%	1	7		0		0		0		0		0
158	帯広市	19,917	11.8%	6	36		0		0		0	5	34	4	18
159	石狩市	7,187	11.7%	5	28		0	1	4		0	5	6		0
160	えりも町	659	11.7%	1	3		0		0		0		0		0
161	幌延町	310	11.7%	2	7		0		0	1	3		0		0
162	鹿追町	665	11.7%	2	5		0		0		0	1	2		0
163	占冠村	147	11.7%		0	1	4	1	7		0		0		0
164	土幌町	770	11.6%	1	3		0		0		0		0		0
165	南幌町	1,042	11.5%	3	9		0		0	1	1		0		0
166	江別市	14,067	11.5%									6	7		0
167	北斗市	5,582	11.3%	1	2		0		0		0	2	2	1	4
168	音更町	5,068	11.3%	3	22		0		0		0	3	6		0
169	恵庭市	7,643	11.2%	2	14		0	1	2	1	2	3	8	1	9
170	苫小牧市	19,329	11.1%	8	31		0		0		0	12	55	1	0
171	芽室町	2,156	11.1%									2	1		0
172	留寿都村	225	11.1%		0	1	4		0		0		0		0
173	倶知安町	1,702	11.1%	2	12		0		0		0		0		0
174	東神楽町	1,042	11.0%	1	8		0	1	5		0		0		0
175	札幌市	201,038	10.7%	59	233		0		0		0	173	635	17	78
176	釧路町	2,263	10.6%												
177	中標津町	2,502	10.4%		0		0	1	4		0	3	10		0
178	別海町	1,614	10.0%	5	28		0	1	6	1	1	1	51		0
179	千歳市	8,834	9.5%	4	13		0		0		0	4	32		0
180	猿払村	266	9.3%		0		0	1	2		0		0		0

自家用有償旅客運送事業がない地域(複数地域での運行を申請している事業所を含まない)
 自家用有償旅客運送、旅客自動車運送事業ともない地域

道内の市町村別後期高齢化率（75歳以上）と福祉運送

順位	市町村名	後期高齢者		自家有償旅客運送事業								旅客自動車運送事業			
				福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送							
		人口	高齢化率	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	交通空白地運送	市町村福祉運送	一般乗用旅客自動車運送事業	特定旅客自動車運送事業				
				団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数
	北海道	623,084	11.2%	251	1,309	10	58	52	210	29	92	384	1,448	52	230
1	積丹町	622	22.8%	1	2		0		0		0		0		0
2	神恵内村	247	22.6%												
3	夕張市	2,631	22.6%	3	9		0		0		0		0		0
4	三笠市	2,424	22.0%		0		0	1	2	1	1	1	1		0
5	増毛町	1,185	21.9%									1	6		0
6	歌志内市	1,021	21.5%												
7	長万部町	1,338	21.0%												
8	島牧村	403	20.9%												
9	和寒町	847	20.8%		0		0	1	5		0		0		0
10	利尻町	532	20.7%												
11	利尻富士町	611	20.5%		0		0		0	1	2		0		0
12	滝上町	664	20.5%												
13	上砂川町	853	20.5%												
14	置戸町	703	20.3%												
15	浦臼町	475	20.2%		0	1	4	1	4		0		0		0
16	泊村	399	20.1%		0	1	4		0		0		0		0
17	下川町	760	20.1%	1	6		0	1	3		0		0		0
18	苫前町	754	20.0%		0		0		0	1	7		0		0
19	北竜町	455	19.9%	1	1		0	1	2		0		0		0
20	陸別町	552	19.8%	2	7		0		0		0		0		0
21	秩父別町	561	19.7%												
22	せたな町	1,977	19.6%	1	3		0		0		0	1	1		0
23	黒松内町	628	19.5%	1	8		0		0	1	3		0		0
24	津別町	1,152	19.4%		0		0	1	9		0		0		0
25	芦別市	3,404	19.3%												
26	寿都町	688	19.3%												
27	木古内町	1,066	19.3%	1	4		0		0		0		0		0
28	愛別町	675	19.1%	1	3		0	1	1		0		0		0
29	幌加内町	342	19.1%		0	1	3		0		0		0		0
30	沼田町	714	18.9%		0		0	1	5		0		0		0
31	古平町	732	18.8%	2	19		0		0		0	1	1		0
32	赤平市	2,482	18.7%												
33	月形町	735	18.7%	3	12		0		0		0		0		0
34	初山別村	272	18.6%	1	4		0		0		0		0		0
35	小平町	713	18.6%												
36	妹背牛町	686	18.5%		0		0	1	1		0		0		0
37	西興部村	215	18.5%		0		0	1	1		0		0		0
38	剣淵町	686	18.3%	2	10		0	1	3	1	1		0		0
39	当麻町	1,349	18.2%	3	29		0	1	4		0		0		0
40	美深町	940	18.2%		0		0	1	3	1	1		0		0
41	厚沢部町	850	18.2%	1	19		0		0	1	18	2	8		0
42	礼文町	564	18.1%	1	8		0		0		0		0		0
43	福島町	977	18.1%	1	1		0		0		0	1	4		0
44	羽幌町	1,509	18.0%	1	3		0	1	3		0	4	7		0
45	遠別町	566	18.0%												
46	豊頃町	668	18.0%	2	5		0		0		0		0		0
47	比布町	768	18.0%	1	3		0		0		0		0		0
48	蘭越町	987	17.8%		0		0	1	4		0		0		0
49	今金町	1,104	17.8%	1	3		0		0		0		0		0
50	中頓別町	371	17.8%												
51	中川町	338	17.8%		0		0		0	1	1		0		0
52	豊浦町	821	17.8%		0		0	1	4	1	7	1	1		0
53	上川町	779	17.7%		0		0	1	1		0		0		0
54	仁木町	684	17.7%	1	3		0		0		0	1	1		0
55	松前町	1,679	17.5%	1	10		0		0		0		0		0
56	南富良野町	504	17.5%	2	14		0	1	3		0		0		0
57	池田町	1,399	17.5%		0		0	1	7		0		0		0
58	足寄町	1,391	17.5%	2	4		0		0		0		0		0
59	上湧別町	967	17.4%	2	16		0	1	1		0		0		0
60	奈井江町	1,130	17.4%	1	3		0	1	2		0	1	1		0
61	佐呂間町	1,044	17.3%		0		0	1	0		0	1	2		0
62	浦幌町	1,012	17.3%	2	7		0	1	4		0		0		0
63	喜茂別町	436	17.1%												
64	厚真町	837	17.1%		0		0	1	1	1	1		0		0
65	真狩村	389	17.0%	1	6		0		0		0		0		0

順位	市町村名	後期高齢者		自家用有償旅客運送事業								旅客自動車運送事業			
				福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送				一般乗用旅客自動車運送事業		特定旅客自動車運送事業	
		人口	高齢化率	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数
66	美瑛町	1,890	17.0%												
67	雨竜町	513	17.0%												
68	由仁町	1,060	17.0%	1	4		0		0		0		0		0
69	壮瞥町	504	16.8%												
70	湧別町	806	16.6%		0		0	1	8	1	1		0		0
71	深川市	4,019	16.6%									2	2		0
72	美瑛市	4,464	16.6%		0		0	1	15		0	2	2		0
73	京極町	570	16.6%	1	5		0		0		0		0		0
74	本別町	1,417	16.5%	2	13		0	1	10		0		0		0
75	小清水町	914	16.4%	1	4		0		0		0	1	1		0
76	乙部町	750	16.4%									1	8		0
77	上ノ国町	1,000	16.2%	1	4		0		0		0		0		0
78	むかわ町	1,607	16.2%	1	3		0	1	7	1	1		0		0
79	訓子府町	930	16.2%												
80	奥尻町	541	16.2%	1	4		0	1	7		0		0		0
81	栗山町	2,220	16.2%		0		0	1	7	1	1	3	3		0
82	上士幌町	842	16.1%	1	1		0	1	3		0	1	1		0
83	清里町	754	16.0%	2	6		0		0		0		0		0
84	士別市	3,621	16.0%	2	21		0		0		0		0		0
85	新得町	1,086	15.9%	2	5		0		0		0		0		0
86	洞爺湖町	1,670	15.9%	2	3	2	12		0		0		0		0
87	様似町	843	15.7%	1	3		0		0		0		0		0
88	大空町	1,301	15.6%	4	10		0		0		0		0		0
89	清水町	1,606	15.5%	2	3		0		0		0		0		0
90	余市町	3,351	15.4%	2	7		0		0		0	4	45		0
91	天塩町	566	15.4%	1	1		0		0		0		0		0
92	新十津川町	1,134	15.3%	1	3		0		0		0	1	1		0
93	安平町	1,386	15.2%		0		0		0	1	2	1	3		0
94	大樹町	940	15.2%	1	3		0		0		0		0	1	12
95	新篠津村	559	15.2%	1	5		0	1	2		0		0		0
96	砂川市	2,918	15.1%									1	1		0
97	小樽市	20,411	15.1%									17	74	13	62
98	赤井川村	185	15.0%		0		0		0	1	4		0		0
99	音威子府村	132	15.0%												
100	中富良野町	848	15.0%												
101	留寿都村	304	15.0%		0	1	4		0		0		0		0
102	遠軽町	3,407	14.9%	1	27		0	1	3		0	1	4		0
103	雄武町	748	14.9%												
104	平取町	846	14.7%		0		0	1	3		0	2	2		0
105	豊富町	672	14.7%	1	7		0		0		0		0		0
106	共和町	991	14.7%	1	2		0		0		0	1	10		0
107	士幌町	969	14.6%	1	3		0		0		0		0		0
108	白老町	2,947	14.6%	4	58		0		0		0		0		0
109	知内町	772	14.6%		0	1	20		0		0		0		0
110	標茶町	1,232	14.5%		0		0	1	9		0	2	5		0
111	白糠町	1,433	14.4%	1	32		0	1	2		0		0		0
112	長沼町	1,753	14.4%	1	7		0	1	7		0		0		0
113	森町	2,644	14.3%	2	19		0		0		0		0		0
114	江差町	1,348	14.3%	2	7		0		0	1	1		0		0
115	新冠町	838	14.2%												
116	枝幸町	1,317	14.0%	1	2		0		0		0		0		0
117	伊達市	5,172	14.0%	3	7		0		0		0	3	17		0
118	八雲町	2,693	13.9%		0		0	1	2		0		0		0
119	日高町	1,950	13.9%	2	10		0	1	4	1	2	2	3		0
120	東川町	1,079	13.9%	1	5		0	1	5	1	1		0		0
121	興部町	608	13.8%		0		0	1	2		0		0		0
122	弟子屈町	1,179	13.8%												
123	広尾町	1,127	13.8%	1	4		0		0		0		0		0
124	岩内町	2,118	13.7%	1	6		0		0		0		0		0
125	更別村	474	13.7%	1	4		0		0		0		0		0
126	厚岸町	1,506	13.7%	1	9		0		0		0	1	2		0
127	二セコ町	631	13.5%												
128	浜中町	899	13.3%		0		0		0	1	11	1	1		0
129	斜里町	1,713	13.3%	1	4		0		0		0		0		0
130	名寄市	4,116	13.3%									2	2		0

順位	市町村名	後期高齢者		自家用有償旅客運送事業								旅客自動車運送事業			
				福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送							
		人口	高齢化率	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	交通空白地運送	市町村福祉運送	一般乗用旅客自動車運送事業	特定旅客自動車運送事業				
131	鷹栖町	1,011	13.3%		0		0	1	2	1	1	2	13		0
132	室蘭市	12,756	13.3%	3	33		0		0		0	6	19		0
133	紋別市	3,320	13.1%									7	35		0
134	浜頓別町	556	13.1%	1	4		0		0		0		0		0
135	鹿追町	741	13.0%	2	5		0		0		0	1	2		0
136	岩見沢市	11,834	13.0%	1	1		0		0		0	5	8		0
137	富良野市	3,176	13.0%												
138	美幌町	2,869	12.9%	1	1		0	1	3		0	3	4		0
139	猿払村	369	12.9%		0		0	1	2		0		0		0
140	鶴居村	329	12.8%		0		0		0	1	3		0		0
141	七飯町	3,695	12.8%	1	1		0		0		0	4	6		0
142	函館市	36,082	12.7%	1	3		0		0		0	18	41	5	0
143	新ひだか町	3,299	12.6%	2	4	1	2		0	1	7	2	15		0
144	浦河町	1,812	12.5%	3	17		0		0		0	2	31		0
145	えりも町	702	12.5%	1	3		0		0		0		0		0
146	幌延町	330	12.4%	2	7		0		0	1	3		0		0
147	登別市	6,536	12.4%	1	4		0		0		0	2	6	1	4
148	中札内村	494	12.3%	1	1		0		0		0		0		0
149	滝川市	5,402	12.3%									3	4		0
150	占冠村	154	12.2%		0	1	4	1	7		0		0		0
151	留萌市	3,084	12.1%	1	3		0		0		0	6	43		0
152	上富良野町	1,434	11.9%	2	5		0	1	5	1	2		0		0
153	幕別町	3,155	11.5%	1	3		0		0		0	1	1		0
154	北見市	14,487	11.5%	6	37		0	1	1	1	1	13	60	1	5
155	旭川市	40,729	11.5%	3	19		0		0		0	19	64	3	13
156	当別町	2,122	11.2%	4	11		0		0		0	2	5		0
157	標津町	648	11.1%												
158	根室市	3,337	11.0%	2	8		0		0		0	1	1		0
159	網走市	4,328	11.0%	4	22		0		0		0	3	2		0
160	芽室町	2,116	10.9%									2	1		0
161	別海町	1,727	10.7%	5	28		0	1	6	1	1	1	51		0
162	釧路市	19,809	10.6%	2	57		0		0	1	5	4	18	1	0
163	稚内市	4,153	10.5%												
164	南幌町	945	10.5%	3	9		0		0	1	1		0		0
165	鹿部町	484	10.4%		0	1	5		0		0		0		0
166	北斗市	5,059	10.2%	1	2		0		0		0	2	2	1	4
167	音更町	4,607	10.2%	3	22		0		0		0	3	6		0
168	倶知安町	1,557	10.1%	2	12		0		0		0		0		0
169	羅臼町	613	10.0%	2	30		0		0		0		0		0
170	石狩市	6,048	9.9%	5	28		0	1	4		0	5	6		0
171	江別市	11,985	9.8%										7		0
172	東神楽町	918	9.7%	1	8		0	1	5		0		0		0
173	帯広市	16,289	9.7%	6	36		0		0		0	5	34	4	18
174	苫小牧市	15,459	8.9%	8	31		0		0		0	12	55	1	0
175	札幌市	166,963	8.9%	59	233		0		0		0	173	635	17	78
176	北広島市	5,319	8.7%	6	51		0		0		0	3	3	3	25
177	恵庭市	5,888	8.6%	2	14		0	1	2	1	2	3	8	1	9
178	中標津町	2,000	8.3%		0		0	1	4		0	3	10		0
179	釧路町	1,653	7.8%												
180	千歳市	6,590	7.1%	4	13		0		0		0	4	32		0

自家用有償旅客運送事業がない地域(複数地域での運行を申請している事業所を含まない)
 自家用有償旅客運送、旅客自動車運送事業ともない地域

道内の市町村別介護保険認定率と福祉運送

順位	市町村名	65歳以上人口	介護保険 認定者数 (第1号被 保険者)	認定率	自家用有償旅客運送事業								旅客自動車運送事業			
					福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送				一般乗用旅客自動車運送事業		特定旅客自動車運送事業	
					団体数 等	車両台 数	団体数 等	車両台 数	団体数 等	車両台 数	団体数 等	車両台 数	団体数 等	車両台 数	団体数 等	車両台 数
	北海道	1,315,443	223,077	17.0%	251	1,309	10	58	52	210	29	92	390	1,448	52	230
1	鷹栖町	1,987	408	20.5%		0		0	1	2	1	1	2	13		0
2	小樽市	41,164	8,404	20.4%									17	74	13	62
3	初山別村	505	102	20.2%	1	4		0		0		0		0		0
4	余市町	6,631	1,337	20.2%	2	7		0		0		0	4	45		0
5	豊富町	1,215	242	19.9%	1	7		0		0		0		0		0
6	江差町	2,688	530	19.7%	2	7		0		0	1	1		0		0
7	浜頓別町	1,115	217	19.5%	1	4		0		0		0		0		0
8	豊富町	1,501	291	19.4%		0		0	1	4	1	7	1	1		0
9	滝上町	1,198	229	19.1%												
10	寿都町	1,268	242	19.1%												
11	函館市	75,276	14,262	18.9%	1	3		0		0		0	18	41	5	0
12	標茶町	2,396	453	18.9%		0		0	1	9		0	2	5		0
13	浦幌町	1,888	356	18.9%	2	7		0	1	4		0		0		0
15	知内町	1,525	286	18.8%		0	1	20		0		0		0		0
16	浦河町	3,624	669	18.5%	3	17		0		0		0	2	31		0
17	長沼町	3,423	629	18.4%	1	7		0	1	7		0		0		0
18	佐呂間町	1,932	355	18.4%		0		0	1	0		0	1	2		0
19	安平町	2,657	486	18.3%		0		0		0	1	2	1	3		0
20	厚沢部町	1,575	286	18.2%	1	19		0		0	1	18	2	8		0
21	夕張市	5,084	920	18.1%	3	9		0		0		0		0		0
22	芽室町	4,272	772	18.1%									2	1		0
23	札幌市	368,001	66,279	18.0%	59	233		0		0		0	173	635	17	78
24	日高町	3,847	692	18.0%	2	10		0	1	4	1	2	2	3		0
25	大樹町	1,765	317	18.0%	1	3		0		0		0		0	1	12
26	剣淵町	1,225	220	18.0%	2	10		0	1	3	1	1		0		0
27	鶴居村	669	120	17.9%		0		0		0	1	3		0		0
28	下川町	1,391	249	17.9%	1	6		0	1	3		0		0		0
29	上ノ国町	1,950	349	17.9%	1	4		0		0		0		0		0
30	松前町	3,411	610	17.9%	1	10		0		0		0		0		0
31	帯広市	36,206	6,467	17.9%	6	36		0		0		0	5	34	4	18
32	旭川市	87,355	15,537	17.8%	3	19		0		0		0	19	64	3	13
33	森町	5,210	925	17.8%	2	19		0		0		0		0		0
34	乙部町	1,542	273	17.7%									1	8		0
35	当麻町	2,514	445	17.7%	3	29		0	1	4		0		0		0
36	北斗市	10,641	1,878	17.6%	1	2		0		0		0	2	2	1	4
37	中頓別町	697	123	17.6%												
38	小清水町	1,718	303	17.6%	1	4		0		0		0	1	1		0
39	足寄町	2,628	459	17.5%	2	4		0		0		0		0		0
40	枝幸町	2,622	456	17.4%	1	2		0		0		0		0		0
41	洞爺湖町	3,322	575	17.3%	2	3	2	12		0		0		0		0
42	八雲町	5,040	868	17.2%		0		0	1	2		0		0		0
43	清水町	3,077	528	17.2%	2	3		0		0		0		0		0
44	長万部町	2,391	410	17.1%												
45	士幌町	1,739	297	17.1%	1	3		0		0		0		0		0
46	深川市	8,011	1,368	17.1%									2	2		0
47	和寒町	1,541	263	17.1%		0		0	1	5		0		0		0
48	美瑛市	8,603	1,460	17.0%		0		0	1	15		0	2	2		0
49	南富良野町	878	149	17.0%	2	14		0	1	3		0		0		0
50	羽幌町	2,880	486	16.9%	1	3		0	1	3		0	4	7		0
51	猿払村	635	107	16.9%		0		0	1	2		0		0		0
52	月形町	1,297	218	16.8%	3	12		0		0		0		0		0
53	音更町	9,675	1,621	16.8%	3	22		0		0		0	3	6		0
54	幌加内町	651	109	16.7%		0	1	3		0		0		0		0
56	木古内町	2,088	348	16.7%	1	4		0		0		0		0		0
57	比布町	1,520	253	16.6%	1	3		0		0		0		0		0
58	留萌市	6,751	1,123	16.6%	1	3		0		0		0	6	43		0
59	岩内町	4,505	749	16.6%	1	6		0		0		0		0		0
60	新得町	2,161	359	16.6%	2	5		0		0		0		0		0
61	遠別町	1,066	177	16.6%												
62	幌延町	640	106	16.6%	2	7		0		0	1	3		0		0
63	平取町	1,657	274	16.5%		0		0	1	3		0	2	2		0
64	網走市	9,070	1,499	16.5%	4	22		0		0		0	3	2		0
65	幕別町	6,605	1,088	16.5%	1	3		0		0		0	1	1		0

順位	市町村名	65歳以上人口	介護保険 認定者数 (第1号被 保険者)	認定率	自家用有償旅客運送事業								旅客自動車運送事業			
					福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送				一般乗用旅客自動車運送事業		特定旅客自動車運送事業	
					団体数 等	車両台 数	団体数 等	車両台 数	交通空白地運送 団体数 等	車両台 数	市町村福祉運送 団体数 等	車両台 数	団体数 等	車両台 数	団体数 等	車両台 数
66	えりも町	1,361	224	16.5%	1	3		0		0		0		0		0
67	清里町	1,479	243	16.4%	2	6		0		0		0		0		0
68	中富良野町	1,645	270	16.4%												
69	岩見沢市	24,339	3,994	16.4%	1	1		0		0		0	5	8		0
70	池田町	2,642	432	16.4%		0		0	1	7		0		0		0
71	三笠市	4,603	752	16.3%		0		0	1	2	1	1	1	1		0
72	北広島市	12,550	2,043	16.3%	6	51		0		0		0	3	3	3	25
73	江別市	26,052	4,237	16.3%									6	7		0
74	天塩町	1,022	166	16.2%	1	1		0		0		0		0		0
75	厚岸町	3,102	503	16.2%	1	9		0		0		0	1	2		0
76	釧路市	44,823	7,264	16.2%	2	57		0		0	1	5	4	18	1	0
77	富良野市	6,346	1,022	16.1%												
78	せたな町	3,645	587	16.1%	1	3		0		0		0	1	1		0
79	本別町	2,759	442	16.0%	2	13		0	1	10		0		0		0
80	大空町	2,342	375	16.0%	4	10		0		0		0		0		0
81	当別町	4,428	708	16.0%	4	11		0		0		0	2	5		0
82	苫前町	1,384	221	16.0%		0		0		0	1	7		0		0
83	増毛町	2,035	323	15.9%									1	6		0
84	石狩市	13,235	2,096	15.8%	5	28		0	1	4		0	5	6		0
85	斜里町	3,422	541	15.8%	1	4		0		0		0		0		0
86	芦別市	6,505	1,028	15.8%												
87	栗山町	4,364	689	15.8%		0		0	1	7	1	1	3	3		0
88	名寄市	8,197	1,290	15.7%									2	2		0
89	小平町	1,335	210	15.7%												
90	北見市	30,656	4,816	15.7%	6	37		0	1	1	1	1	13	60	1	5
91	西興部村	370	58	15.7%		0		0	1	1		0		0		0
92	広尾町	2,305	361	15.7%	1	4		0		0		0		0		0
93	中札内村	990	155	15.7%	1	1		0		0		0		0		0
94	滝川市	11,667	1,823	15.6%									3	4		0
95	白老町	6,382	996	15.6%	4	58		0		0		0		0		0
96	由仁町	2,062	321	15.6%	1	4		0		0		0		0		0
97	様似町	1,619	252	15.6%	1	3		0		0		0		0		0
98	更別村	902	140	15.5%	1	4		0		0		0		0		0
99	士別市	7,120	1,105	15.5%	2	21		0		0		0		0		0
100	七飯町	7,475	1,160	15.5%	1	1		0		0		0	4	6		0
101	豊頃町	1,212	188	15.5%	2	5		0		0		0		0		0
103	標津町	1,393	215	15.4%												
104	興部町	1,225	189	15.4%		0		0	1	2		0		0		0
105	むかわ町	3,087	476	15.4%	1	3		0	1	7	1	1		0		0
106	壮瞥町	973	150	15.4%												
107	赤平市	4,935	757	15.3%												
108	湧別町	1,430	219	15.3%		0		0	1	8	1	1		0		0
109	伊達市	10,704	1,639	15.3%	3	7		0		0		0	3	17		0
110	別海町	3,341	511	15.3%	5	28		0	1	6	1	1	1	51		0
111	利尻町	935	143	15.3%												
113	釧路町	3,916	598	15.3%												
114	上川町	1,604	243	15.1%		0		0	1	1		0		0		0
115	苫小牧市	34,788	5,249	15.1%	8	31		0		0		0	12	55	1	0
116	礼文町	1,004	151	15.0%	1	8		0		0		0		0		0
117	今金町	2,018	302	15.0%	1	3		0		0		0		0		0
118	厚真町	1,592	238	14.9%		0		0	1	1	1	1		0		0
119	美深町	1,763	263	14.9%		0		0	1	3	1	1		0		0
120	上士幌町	1,638	244	14.9%	1	1		0	1	3		0	1	1		0
121	南幌町	1,987	295	14.8%	3	9		0		0	1	1		0		0
122	福島町	1,927	286	14.8%	1	1		0		0		0	1	4		0
123	砂川市	5,917	874	14.8%									1	1		0
124	弟子屈町	2,511	369	14.7%												
125	利尻富士町	1,050	154	14.7%		0		0		0	1	2		0		0
126	秩父別町	1,035	151	14.6%												
127	妹背牛町	1,314	191	14.5%		0		0	1	1		0		0		0
128	白糠町	2,979	431	14.5%	1	32		0	1	2		0		0		0
129	登別市	14,354	2,074	14.4%	1	4		0		0		0	2	6	1	4
130	美幌町	5,907	853	14.4%	1	1		0	1	3		0	3	4		0

順位	市町村名	65歳以上人口	介護保険 認定者数 (第1号被 保険者)	認定率	自家用有償旅客運送事業								旅客自動車運送事業			
					福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送				一般乗用旅客自動 車運送事業		特定旅客自動車運 送事業	
					団体数 等	車両台 数	団体数 等	車両台 数	団体数 等	車両台 数	団体数 等	車両台 数	団体数 等	車両台 数	団体数 等	車両台 数
131	訓子府町	1,734	250	14.4%												
132	愛別町	1,273	183	14.4%	1	3		0	1	1		0		0		0
133	占冠村	301	43	14.3%		0	1	4	1	7		0		0		0
134	置戸町	1,282	183	14.3%												
135	紋別市	7,067	1,008	14.3%									7	35		0
136	雄武町	1,495	210	14.0%												
137	鹿追町	1,406	197	14.0%	2	5		0		0		0	1	2		0
138	中標津町	4,502	630	14.0%		0		0	1	4		0	3	10		0
139	室蘭市	27,882	3,838	13.8%	3	33		0		0		0	6	19		0
140	稚内市	9,381	1,282	13.7%												
141	恵庭市	13,531	1,839	13.6%	2	14		0	1	2	1	2	3	8	1	9
142	奥尻町	1,045	142	13.6%	1	4		0	1	7		0		0		0
143	陸別町	984	133	13.5%	2	7		0		0		0		0		0
144	津別町	2,166	292	13.5%		0		0	1	9		0		0		0
145	千歳市	15,424	2,074	13.4%	4	13		0		0		0	4	32		0
146	新篠津村	1,079	144	13.3%	1	5		0	1	2		0		0		0
147	上湧別町	1,860	248	13.3%	2	16		0	1	1		0		0		0
148	遠軽町	6,829	906	13.3%	1	27		0	1	3		0	1	4		0
149	上富良野町	2,963	392	13.2%	2	5		0	1	5	1	2		0		0
150	沼田町	1,298	170	13.1%		0		0	1	5		0		0		0
151	根室市	7,677	998	13.0%	2	8		0		0		0	1	1		0
152	鹿部町	1,231	158	12.8%		0	1	5		0		0		0		0
153	中川町	669	83	12.4%		0		0		0	1	1		0		0
154	羅臼町	1,383	171	12.4%	2	30		0		0		0		0		0
155	音威子府村	244	30	12.3%												
156	北竜町	846	94	11.1%	1	1		0	1	2		0		0		0
157	浜中町	1,718	126	7.3%		0		0		0	1	11	1	1		0
以下市町村は、広域連合単位での認定者数のため、不明																
市町村名後ろの()は所属連合略称 (日):日高中部広域連合 (空):空知中部広域連合 (後):後志広域連合 (大):大雪地区広域連合																
158	歌志内市(空)	1,886		0.0%												
158	島牧村(後)	739		0.0%												
158	二セコ町(後)	1,192		0.0%												
158	喜茂別町(後)	868		0.0%												
158	神恵内村(後)	395		0.0%												
158	上砂川町(空)	1,726		0.0%												
158	雨竜町(空)	986		0.0%												
158	美瑛町(大)	3,655		0.0%												
158	新冠町(日)	1,567		0.0%												
158	黒松内町(後)	1,074		0.0%	1	8		0		0	1	3		0		0
158	蘭越町(後)	1,783		0.0%		0		0	1	4		0		0		0
158	真狩村(後)	671		0.0%	1	6		0		0		0		0		0
158	留寿都村(後)	529		0.0%		0	1	4		0		0		0		0
158	京極町(後)	1,020		0.0%	1	5		0		0		0		0		0
158	倶知安町(後)	3,259		0.0%	2	12		0		0		0		0		0
158	共和町(後)	1,899		0.0%	1	2		0		0		0	1	10		0
158	泊村(後)	680		0.0%		0	1	4		0		0		0		0
158	積丹町(後)	1,104		0.0%	1	2		0		0		0		0		0
158	古平町(後)	1,433		0.0%	2	19		0		0		0	1	1		0
158	仁木町(後)	1,294		0.0%	1	3		0		0		0	1	1		0
158	赤井川村(後)	347		0.0%		0		0		0	1	4		0		0
158	奈井江町(空)	2,173		0.0%	1	3		0	1	2		0	1	1		0
158	浦臼町(空)	832		0.0%		0	1	4	1	4		0		0		0
158	新十津川町(空)	2,302		0.0%	1	3		0		0		0	1	1		0
158	東神楽町(大)	1,960		0.0%	1	8		0	1	5		0		0		0
158	東川町(大)	2,126		0.0%	1	5		0	1	5	1	1		0		0
158	新ひだか町(日)	6,852		0.0%	2	4	1	2		0	1	7	2	15		0
【参考】広域連合分の集計																
日高中部広域連合		8,419	1,287	15.3%												
空知中部広域連合		9,905	1,535	15.5%												
後志広域連合		18,287	3,061	16.7%												
大雪地区広域連合		7,741	1,457	18.8%												

自家用有償旅客運送事業がない地域(複数地域での運行を申請している事業所を含まない)
 自家用有償旅客運送、旅客自動車運送事業ともない地域

道内の市町村別身体障害者手帳交付率と福祉運送

順位	市町村名	人口	身体障害者手帳		自家用有償旅客運送事業								旅客自動車運送事業			
					福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送							
			交付人数	交付率	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	交通空白地運送		市町村福祉運送		一般乗用旅客自動車運送事業		特定旅客自動車運送事業	
									団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数
	北海道	5,543,556	290,478	5.2%	251	1,309	10	58	52	210	29	92	390	1,448	52	230
	1 神恵内村	1,091	169	15.5%												
	2 蘭越町	5,530	699	12.6%		0		0	1	4		0		0		0
	3 滝上町	3,235	400	12.4%												
	4 泊村	1,983	242	12.2%		0	1	4		0		0		0		0
	5 壮瞥町	2,995	360	12.0%												
	6 寿都町	3,568	424	11.9%												
	7 上砂川町	4,156	487	11.7%												
	8 仁木町	3,874	450	11.6%	1	3		0		0		0	1	1		0
	9 浜中町	6,735	781	11.6%		0		0		0	1	11	1	1		0
	10 古平町	3,896	437	11.2%	2	19		0		0		0	1	1		0
	11 赤井川村	1,231	137	11.1%		0		0		0	1	4		0		0
	12 島牧村	1,927	202	10.5%												
	13 喜茂別町	2,543	266	10.5%												
	14 赤平市	13,258	1,383	10.4%												
	15 比布町	4,271	431	10.1%	1	3		0		0		0		0		0
	16 積丹町	2,729	269	9.9%	1	2		0		0		0		0		0
	17 士別市	22,666	2,208	9.7%	2	21		0		0		0		0		0
	18 新得町	6,822	659	9.7%	2	5		0		0		0		0		0
	19 豊浦町	4,622	443	9.6%		0		0	1	4	1	7	1	1		0
	20 愛別町	3,528	335	9.5%	1	3		0	1	1		0		0		0
	21 せたな町	10,107	956	9.5%	1	3		0		0		0	1	1		0
	22 新篠津村	3,681	347	9.4%	1	5		0	1	2		0		0		0
	23 芦別市	17,610	1,657	9.4%												
	24 厚真町	4,890	455	9.3%		0		0	1	1	1	1		0		0
	25 夕張市	11,633	1,070	9.2%	3	9		0		0		0		0		0
	26 歌志内市	4,759	437	9.2%												
	27 利尻町	2,574	235	9.1%												
	28 下川町	3,788	345	9.1%	1	6		0	1	3		0		0		0
	29 岩内町	15,437	1,405	9.1%	1	6		0		0		0		0		0
	30 共和町	6,755	613	9.1%	1	2		0		0		0	1	10		0
	31 剣淵町	3,741	339	9.1%	2	10		0	1	3	1	1		0		0
	32 西興部村	1,163	105	9.0%		0		0	1	1		0		0		0
	33 美深町	5,158	462	9.0%		0		0	1	3	1	1		0		0
	34 余市町	21,702	1,929	8.9%	2	7		0		0		0	4	45		0
	35 幌加内町	1,790	159	8.9%		0	1	3		0		0		0		0
	36 増毛町	5,411	480	8.9%									1	6		0
	37 当麻町	7,396	654	8.8%	3	29		0	1	4		0		0		0
	38 和寒町	4,069	358	8.8%		0		0	1	5		0		0		0
	39 遠別町	3,139	276	8.8%												
	40 中頓別町	2,081	182	8.7%												
	41 今金町	6,190	535	8.6%	1	3		0		0		0		0		0
	42 秩父別町	2,842	243	8.6%												
	43 白老町	20,148	1,716	8.5%	4	58		0		0		0		0		0
	44 雨竜町	3,019	255	8.4%												
	45 むかわ町	9,919	833	8.4%	1	3		0	1	7	1	1		0		0
	46 南富良野町	2,876	241	8.4%	2	14		0	1	3		0		0		0
	47 洞爺湖町	10,518	877	8.3%	2	3	2	12		0		0		0		0
	48 小樽市	135,500	11,141	8.2%									17	74	13	62
	49 北竜町	2,288	188	8.2%	1	1		0	1	2		0		0		0
	50 留寿都村	2,025	166	8.2%		0	1	4		0		0		0		0
	51 厚沢部町	4,680	379	8.1%	1	19		0		0	1	18	2	8		0
	52 中富良野町	5,648	457	8.1%												
	53 乙部町	4,586	371	8.1%									1	8		0
	54 三笠市	11,015	891	8.1%		0		0	1	2	1	1	1	1		0
	55 陸別町	2,790	223	8.0%	2	7		0		0		0		0		0
	56 上ノ国町	6,172	492	8.0%	1	4		0		0		0		0		0
	57 上士幌町	5,233	415	7.9%	1	1		0	1	3		0	1	1		0
	58 利尻富士町	2,975	232	7.8%		0		0		0	1	2		0		0
	59 沼田町	3,786	289	7.6%		0		0	1	5		0		0		0
	60 標茶町	8,502	647	7.6%		0		0	1	9		0	2	5		0
	61 枝幸町	9,396	712	7.6%	1	2		0		0		0		0		0
	62 苫前町	3,776	285	7.5%		0		0		0	1	7		0		0
	63 平取町	5,757	433	7.5%		0		0	1	3		0	2	2		0
	64 美唄市	26,938	2,019	7.5%		0		0	1	15		0	2	2		0
	65 上川町	4,403	330	7.5%		0		0	1	1		0		0		0

順位	市町村名	人口	身体障害者手帳		自家用有償旅客運送事業								旅客自動車運送事業			
					福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送							
			交付人数	交付率	福祉有償運送		過疎地有償運送		交通空白地運送		市町村福祉運送		一般乗用旅客自動車運送事業		特定旅客自動車運送事業	
					団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数
66	京極町	3,444	258	7.5%	1	5		0		0		0		0		0
67	長万部町	6,386	478	7.5%												
68	浦幌町	5,858	438	7.5%	2	7		0	1	4		0		0		0
69	由仁町	6,242	466	7.5%	1	4		0		0		0		0		0
70	東川町	7,783	574	7.4%	1	5		0	1	5	1	1		0		0
71	津別町	5,945	438	7.4%		0		0	1	9		0		0		0
72	福島町	5,398	394	7.3%	1	1		0		0		0	1	4		0
73	弟子屈町	8,535	620	7.3%												
74	室蘭市	96,050	6,952	7.2%	3	33		0		0		0	6	19		0
75	浜頓別町	4,231	306	7.2%	1	4		0		0		0		0		0
76	当別町	18,958	1,371	7.2%	4	11		0		0		0	2	5		0
77	浦臼町	2,348	169	7.2%		0	1	4	1	4		0		0		0
78	天塩町	3,669	264	7.2%	1	1		0		0		0		0		0
79	礼文町	3,111	223	7.2%	1	8		0		0		0		0		0
80	真狩村	2,283	163	7.1%	1	6		0		0		0		0		0
81	豊頃町	3,709	263	7.1%	2	5		0		0		0		0		0
82	富良野市	24,488	1,720	7.0%												
83	美瑛町	11,105	779	7.0%												
84	松前町	9,568	671	7.0%	1	10		0		0		0		0		0
85	江差町	9,412	658	7.0%	2	7		0		0	1	1		0		0
86	清水町	10,366	723	7.0%	2	3		0		0		0		0		0
87	白糠町	9,934	692	7.0%	1	32		0	1	2		0		0		0
88	上湧別町	5,552	386	7.0%	2	16		0	1	1		0		0		0
89	小平町	3,843	266	6.9%												
90	中川町	1,898	131	6.9%		0		0		0	1	1		0		0
91	深川市	24,220	1,659	6.8%									2	2		0
92	新ひだか町	26,139	1,783	6.8%	2	4	1	2		0	1	7	2	15		0
93	安平町	9,116	620	6.8%		0		0		0	1	2	1	3		0
94	大樹町	6,185	418	6.8%	1	3		0		0		0		0	1	12
95	足寄町	7,969	537	6.7%	2	4		0		0		0		0		0
96	二セコ町	4,673	312	6.7%												
97	厚岸町	11,014	735	6.7%	1	9		0		0		0	1	2		0
98	様似町	5,380	357	6.6%	1	3		0		0		0		0		0
99	音威子府村	879	58	6.6%												
100	初山別村	1,459	96	6.6%	1	4		0		0		0		0		0
101	奥尻町	3,343	219	6.6%	1	4		0	1	7		0		0		0
102	釧路市	187,569	12,245	6.5%	2	57		0		0	1	5	4	18	1	0
103	小清水町	5,557	362	6.5%	1	4		0		0		0	1	1		0
104	豊富町	4,578	298	6.5%	1	7		0		0		0		0		0
105	新冠町	5,901	383	6.5%												
106	士幌町	6,624	429	6.5%	1	3		0		0		0		0		0
107	日高町	14,059	910	6.5%	2	10		0	1	4	1	2	2	3		0
108	本別町	8,564	554	6.5%	2	13		0	1	10		0		0		0
109	八雲町	19,335	1,249	6.5%		0		0	1	2		0		0		0
110	鷹栖町	7,600	489	6.4%		0		0	1	2	1	1	2	13		0
111	黒松内町	3,219	207	6.4%	1	8		0		0	1	3		0		0
112	妹背牛町	3,706	238	6.4%		0		0	1	1		0		0		0
113	砂川市	19,349	1,240	6.4%									1	1		0
114	興部町	4,393	278	6.3%		0		0	1	2		0		0		0
115	湧別町	4,853	307	6.3%		0		0	1	8	1	1		0		0
116	知内町	5,296	335	6.3%		0	1	20		0		0		0		0
117	木古内町	5,531	349	6.3%	1	4		0		0		0		0		0
118	奈井江町	6,500	410	6.3%	1	3		0	1	2		0	1	1		0
119	幌延町	2,652	167	6.3%	2	7		0		0	1	3		0		0
120	倶知安町	15,393	952	6.2%	2	12		0		0		0		0		0
121	月形町	3,933	243	6.2%	3	12		0		0		0		0		0
122	広尾町	8,161	503	6.2%	1	4		0		0		0		0		0
123	羽幌町	8,368	513	6.1%	1	3		0	1	3		0	4	7		0
124	栗山町	13,739	842	6.1%		0		0	1	7	1	1	3	3		0
125	置戸町	3,463	211	6.1%												
126	新十津川町	7,397	450	6.1%	1	3		0		0		0	1	1		0
127	森町	18,433	1,120	6.1%	2	19		0		0		0		0		0
128	占冠村	1,259	76	6.0%		0	1	4	1	7		0		0		0
129	池田町	7,995	480	6.0%		0		0	1	7		0		0		0
130	中札内村	4,004	240	6.0%	1	1		0		0		0		0		0

順位	市町村名	人口	身体障害者手帳		自家用有償旅客運送事業								旅客自動車運送事業			
					福祉有償運送		過疎地有償運送		市町村運営有償運送							
			交付人数	交付率	交通空白地運送		市町村福祉運送		一般乗用旅客自動車運送事業		特定旅客自動車運送事業					
					団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数	団体数等	車両台数		
131	訓子府町	5,744	344	6.0%												
132	鶴居村	2,573	154	6.0%		0		0		0	1	3		0		0
133	上富良野町	12,071	716	5.9%	2	5		0	1	5	1	2		0		0
134	伊達市	37,058	2,178	5.9%	3	7		0		0		0	3	17		0
135	根室市	30,209	1,763	5.8%	2	8		0		0		0	1	1		0
136	鹿部町	4,674	272	5.8%		0	1	5		0		0		0		0
137	紋別市	25,248	1,456	5.8%									7	35		0
138	雄武町	5,021	286	5.7%												
139	稚内市	39,527	2,251	5.7%												
140	滝川市	44,005	2,455	5.6%									3	4		0
141	標津町	5,858	326	5.6%												
142	長沼町	12,168	676	5.6%	1	7		0	1	7		0		0		0
143	猿払村	2,855	158	5.5%		0		0	1	2		0		0		0
144	登別市	52,572	2,896	5.5%	1	4		0		0		0	2	6	1	4
145	江別市	122,344	6,666	5.4%									6	7		0
146	えりも町	5,624	306	5.4%	1	3		0		0		0		0		0
147	岩見沢市	91,191	4,959	5.4%	1	1		0		0		0	5	8		0
148	羅臼町	6,130	333	5.4%	2	30		0		0		0		0		0
149	遠軽町	22,840	1,235	5.4%	1	27		0	1	3		0	1	4		0
150	佐呂間町	6,040	325	5.4%		0		0	1	0		0	1	2		0
151	石狩市	61,191	3,283	5.4%	5	28		0	1	4		0	5	6		0
152	留萌市	25,459	1,365	5.4%	1	3		0		0		0	6	43		0
153	鹿追町	5,694	302	5.3%	2	5		0		0		0	1	2		0
154	斜里町	12,846	681	5.3%	1	4		0		0		0		0		0
155	苫小牧市	173,572	9,192	5.3%	8	31		0		0		0	12	55	1	0
156	清里町	4,708	246	5.2%	2	6		0		0		0		0		0
157	名寄市	30,919	1,607	5.2%									2	2		0
158	浦河町	14,507	746	5.1%	3	17		0		0		0	2	31		0
159	旭川市	354,559	17,882	5.0%	3	19		0		0		0	19	64	3	13
160	大空町	8,359	414	5.0%	4	10		0		0		0		0		0
161	別海町	16,207	773	4.8%	5	28		0	1	6	1	1	1	51		0
162	函館市	284,910	13,526	4.7%	1	3		0		0		0	18	41	5	0
163	東神楽町	9,433	446	4.7%	1	8		0	1	5		0		0		0
164	美幌町	22,193	1,043	4.7%	1	1		0	1	3		0	3	4		0
165	幕別町	27,364	1,248	4.6%	1	3		0		0		0	1	1		0
166	北広島市	60,802	2,729	4.5%	6	51		0		0		0	3	3	3	25
167	北見市	125,977	5,591	4.4%	6	37		0	1	1	1	1	13	60	1	5
168	帯広市	168,532	7,391	4.4%	6	36		0		0		0	5	34	4	18
169	更別村	3,459	150	4.3%	1	4		0		0		0		0		0
170	南幌町	9,028	389	4.3%	3	9		0		0	1	1		0		0
171	恵庭市	68,483	2,941	4.3%	2	14		0	1	2	1	2	3	8	1	9
172	芽室町	19,392	827	4.3%									2	1		0
173	網走市	39,420	1,675	4.2%	4	22		0		0		0	3	2		0
174	音更町	45,005	1,905	4.2%	3	22		0		0		0	3	6		0
175	釧路町	21,323	897	4.2%												
176	七飯町	28,930	1,207	4.2%	1	1		0		0		0	4	6		0
177	中標津町	24,040	979	4.1%		0		0	1	4		0	3	10		0
178	札幌市	1,884,939	75,855	4.0%	59	233		0		0		0	173	635	17	78
179	千歳市	92,732	3,626	3.9%	4	13		0		0		0	4	32		0
180	北斗市	49,371	1,914	3.9%	1	2		0		0		0	2	2	1	4

 自家用有償旅客運送事業がない地域(複数地域での運行を申請している事業所を含まない)
 自家用有償旅客運送、旅客自動車運送事業とにもない地域

【調査委員】(五十音順 敬称略)

- ・阿部 司 N) 日本移送・移動サービス地域ネット連合会
- ・越谷 秀昭 青森県移送サービスネットワーク(Dネット)
- ・竹田 保 北海道移送・移動サービス連絡会
- ・中岡 良司 日本赤十字北海道看護大学教授
- ・保木本 茂雄 北海道移送・移動サービス連絡会
- ・山下 文夫 介護タクシー事業者



北海道内の福祉輸送の実態把握に関する調査

2010年3月発行

頒布価格 ￥2,500円

発行元 北海道移送・移動サービス連絡会

〒062-0008 札幌市豊平区美園8-1-3-23

TEL: 011-842-9337 FAX: 011-842-9330

info@stnet-hokkaido.jp

<http://www.stnet-hokkaido.jp>

この調査報告書の無断転載・複写を禁止します